

平成 30 年度 住宅市場整備推進等事業

大工・職人の実態に関するアンケート調査
報告書

平成 3 1 年 3 月

一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

大工・職人の実態に関するアンケート調査 報告書

目次

1章 アンケート調査の目的および概要	1
1. 背景・目的	1
2. アンケート調査実施概要	2
3. アンケート回答者の属性	5
2章 アンケート調査 結果概要	8
3章 アンケート調査 集計結果	
1. 職種別集計	16
2. 地域別集計	43
3. 年齢別集計	70
4. 経験年数別集計	92
5. 雇用形態別集計	113
6. 賃金別集計	136
資料編 アンケート調査 自由記述回答	
1. 設問(3) 職種【その他】の自由記述回答	資料編-1-
2. 設問(10)-3 健康保険【その他】の自由記述回答	資料編-7-
3. 設問(21) なぜ育てる予定はないのですか【その他】の自由記述回答	資料編-8-
4. 設問(23) 担い手育成についての意見(自由記述)	資料編-9-

1章 アンケート調査の目的および概要

1. 背景・目的

木造住宅・建築物の施工の中核的な存在である大工の不足が危惧されている。大工数は、特に若い世代の大工就業者が少ないため高齢化が進み、年々減少傾向にある。国勢調査によれば 2005 年に 54 万人いた大工は 2010 年には 40 万人に減少しており、この 5 年間でこれまでで最大の 14 万人の減少を招いた。2015 年の国勢調査では 35 万人と減少のペースは緩やかとなったものの、近い将来に高齢化した大工の引退により大工が減少し、不足する状況に陥ることは明らかである。

木造住宅の新築工事では、プレカットの 9 割に達する普及により施工の合理化が進み、部材の墨付けや加工といった作業は大工の手から離れ、造作を含め加工済みの部材の組立・取付が、今日の大工の主たる作業となった。しかし、増改築やリフォームの現場では、大工が構造から造作・仕上げ、工事の進捗管理と工事を担う重要な役割を演じ、本来大工が備えるべき技能が不可欠となっている。

また、プレカットの普及により新築の現場では、熟練した技術よりパワーと早さが求められたため、高い賃金を得やすい一人親方の増加を招き、大工技術の習熟度による賃金体系を崩壊させ、特に大規模なビルダーの世界では、従来の大工技能を修得していない中堅大工が増加し、造作大工やリフォーム大工としての将来性が見いだせない組立工の職に嫌気をさして、多くの離職者を生み出している。

大工以外の設計者や工務店の現場監督、プレカット技術者等も、木造住宅・建築物を支える重要な技術者で、職業倫理とコンプライアンスが求められ、適切な設計や施工を遂行する上で、彼等の木造に関する知識・ノウハウ等が不可欠となっている。その技術者の多くは、大学や工業高校といった教育機関における建築専門課程を経て、就職することが一般的であるが、これらの教育機関では、木造に関わる講義・実習の機会はほとんどなく、大学や工業高校等で木造建築に関わる知識やノウハウを習得することは困難となっている。

これらの木造住宅・建築物を取り巻く状況により、企業や個人の努力に負って来た木造技能や技術の習得が急速に衰え、今後の健全な木造の生産活動が危惧される状況となっている。

木造建築を理解し、関連する専門的な職能を備えた担い手を育成しなければ、人材の空洞化は今後一層深刻になることは明らかで、健全な市場形成が危ぶまれる。木造建築の担い手のあり様や育成の枠組みを包括的に検討することが求められている。

本調査は、大工・職人の現状と実態を把握することを目的とし、全国木造住宅生産体制推進協議会が平成 24 年から平成 30 年までの 7 年間にわたり実施した住宅の省エネルギー技術講習会の受講者を対象として、アンケート形式により行われた。

本報告書は、最終年度である平成 30 年度アンケート調査結果をまとめたものであり、7 年間の累計結果については、別途作成されているパンフレットを参照されたい。

2. アンケート調査実施概要

(1) 大工・職人の実態調査実施概要

①調査対象

平成 30 年度 住宅省エネルギー技術 施工技術者講習会に参加した木造技能者等。

②実施期間

2018 年 8 月～2019 年 2 月

③調査場所

全国 47 都道府県で開催の講習会(平成 30 年度 住宅省エネルギー技術 施工技術者講習会)会場。

④アンケート票配布及び回収方法

講習会で教材と共に配布。終了考査解答用紙と共に提出を原則義務付けた。

⑤アンケート票回収数

全国で 3,210 票。

うち大工職種（内装大工含む）1,335 票。（3. アンケート回答者の属性において後述）

過去のアンケート票回収数の推移を以下の表に示す。（図 1-2-1）

図 1-2-1. アンケート票回収数推移

年度	過去調査 2012 (H24)	過去調査 2013 (H25)	過去調査 2014 (H26)	過去調査 2015 (H27)	過去調査 2016 (H28)	前回調査 2017 (H29)	今回調査 2018 (H30)
アンケート票 回収総数	8,046票	10,923票	10,183票	8,392票	7,032票	4,717票	3,210票
大工職種 (内装大工を含む)	4,139票	5,753票	5,021票	4,169票	3,253票	2,147票	1,335票

アンケート回答者数は、7 年間で累計 52,503 人であった。

うち大工職種（内装大工含む）は累計 25,817 人であった。

(2) アンケート調査票

大工・職人の実態調査で用いたアンケート調査票を次頁に示す。（図 1-2-2）

H29 年度調査からアンケート票の設問等の変更点はない。

図 1-2-2. アンケート調査票

受講日:平成 年 月 日() 会場:_____会場(都道府県名でお書きください)

大工の実態に関するアンケート調査

施工C

現在、地域に根ざした木造住宅等の生産体制の強化に向けて、大工の実態把握に向けた調査を実施しております。お分かりの範囲内で結構ですので、ご回答をお願い致します。

※なお、お答えいただいた情報は、個人を特定できる情報として外部に公表されることはありません。

全国木造住宅生産体制推進協議会

■あなたの職業等について、お答え下さい。

(1) 年齢 [] 歳 (2) 性別 [1. 男 2. 女]

(3) 職種 (下欄のあてはまるもの1つに○をつけてください)

1. 建築大工 2. 内装大工 3. 設備組立工 4. その他[]

(4) 上記の職種の経験年数 (下欄のあてはまるもの1つに○をつけてください)

1. 3年未満 2. 3~5年 3. 6~10年 4. 11~20年
5. 21~30年 6. 31~40年 7. 41~50年 8. 51年以上

(5) あなたはこの職種においてベテランだと思いますか。(下欄のあてはまるもの1つに○をつけてください)

1. ベテラン 2. ややベテラン 3. 中堅 4. やや中堅 5. 見習い

■あなたの雇用形態について、お答え下さい。

(6) あなたの雇用形態(工務店等との)は次のうちどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 工務店社員 2. 外注常用(日当制) 3. 外注常用(坪請主体) 4. その都度契約
5. 元請として仕事 6. その他(アルバイト等)

(7) 就業規則 [1. 有 2. 無] (8) 有給休暇 [1. 有 2. 無] (9) 年間就業日数 約[]日

(10) 保険等について、あなたが現在加入しているものをそれぞれお選びください。(複数選択可)

10-1) 年金 :1. 厚生年金 2. 国民年金 3. 企業年金
10-2) 労働保険:1. 雇用保険 2. 労災保険 3. 一人親方労災保険
10-3) 健康保険:1. 国民健康保険 2. 組合健康保険(建設国保) 3. 組合保険(建設国保以外)
4. その他の健康保険()

(11) 賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの全てに○をつけてください。(複数選択可)

1. 手道具 2. 電動工具 3. クギ金物 4. 車(保険含む) 5. ガソリン 6. 全て所属する工務店等が負担

(12) あなたのおおよその賃金((10)、(11)の諸経費が含まれた1日あたりの平均単価)をお答えください。1日あたりの平均単価が不明な場合は、総月収を労働日数で割ったおおよその額でご回答ください。

1. 8,000円未満 2. 8,000~10,000円未満 3. 10,000~15,000円未満
4. 15,000~20,000円未満 5. 20,000~25,000円未満 6. 25,000円以上

■あなたがお持ちの資格や技能について、お答え下さい。

(13) 次の1~12の資格のうち、あなたがお持ちのもの全てに○をつけてください。

1. 1級建築士 2. 2級建築士 3. 木造建築士 4. 1級建築施工管理技士
5. 2級建築施工管理技士 6. 1級建築大工技能士 7. 2級建築大工技能士
8. 枠組壁建築技能士 9. 職業訓練指導員 10. 増改築相談員
11. 足場の組立て等作業主任者 12. 木造建築物組立て作業主任者 13. 玉掛け技能講習修了者
14. クレーン運転技能講習修了者 15. 木材加工用機械作業主任者

⇒大工職の方のみご回答ください。

(14) 次の各項目について、「はい」か「いいえ」のどちらかあてはまる方に○をつけてください。

- | | | |
|----------------------------------|--------|---------|
| ①墨付けができますか。 | [1. はい | 2. いいえ] |
| ②今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。 (新築) | [1. はい | 2. いいえ] |
| ③今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。 (増改築) | [1. はい | 2. いいえ] |
| ④和室造作ができますか。 | [1. はい | 2. いいえ] |
| ⑤2×4工法の住宅の施工ができますか。 | [1. はい | 2. いいえ] |

■仕事に対する満足度や今後の意向について、お答え下さい。

(15) あなたは現在の仕事の内容について満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. とても満足している 2. まあ満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない

(16) あなたは現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. とても満足している 2. まあ満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない

(17) あなたは今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 60歳で引退する 2. 65歳で引退する 3. 70歳で引退する 4. 75歳で引退する
5. 仕事が出る限り続ける 6. 仕事がないため近々退職・引退する予定である

■担い手育成について、お答え下さい。

(18) 現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 現在育てている 2. 現在は育てていないが、人材がいれば育てたい
3. 現在は育てていないし、今後も育てる予定はない

⇒「1. 現在育てている」と答えた方のみご回答ください。

(19) 育成期間の担い手の立場は次のうちどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 正社員（職業訓練校） 2. 正社員（弟子として）
3. 一人親方等にあずける（職業訓練校） 4. 一人親方等にあずける（弟子として）

(20) 上記の育成にかかる費用負担を行っていますか [1. 有 2. 無]

⇒「3. 現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」と答えた方のみご回答ください。

(21) なぜ育てる予定はないのですか。その理由として、1～8のうちあてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------|-----------------|------------|
| 1. 育てても、一人前になると辞めてしまうため | 2. 教えるのが面倒なため | |
| 3. 費用がかかるため | 4. 言うことを聞かないため | 5. 人材がないため |
| 6. 育てる自信がないため | 7. 将来の保障ができないため | 8. 年齢のため |
| 9. 仕事がプレカットのため | 10. 新築が少ないため | 11. その他[] |

(22) 担い手の育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 3万円/月 2. 5万円/月 3. 10万円/月 4. 15万円/月 5. 必要ない

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたら、下欄にご自由にご記入下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

3. アンケート回答者の属性

(1) 都道府県、エリア

アンケート回答者を都道府県別の割合が大きい順でみると「愛媛県（6.5%）」、「愛知県（6.3%）」、「兵庫県（5.2%）」。

地域別の割合では、「関東（20.5%）」、「東北（15.7%）」、「九州・沖縄（15.2%）」。

図 1-3-1-1. アンケート回答者属性：都道府県

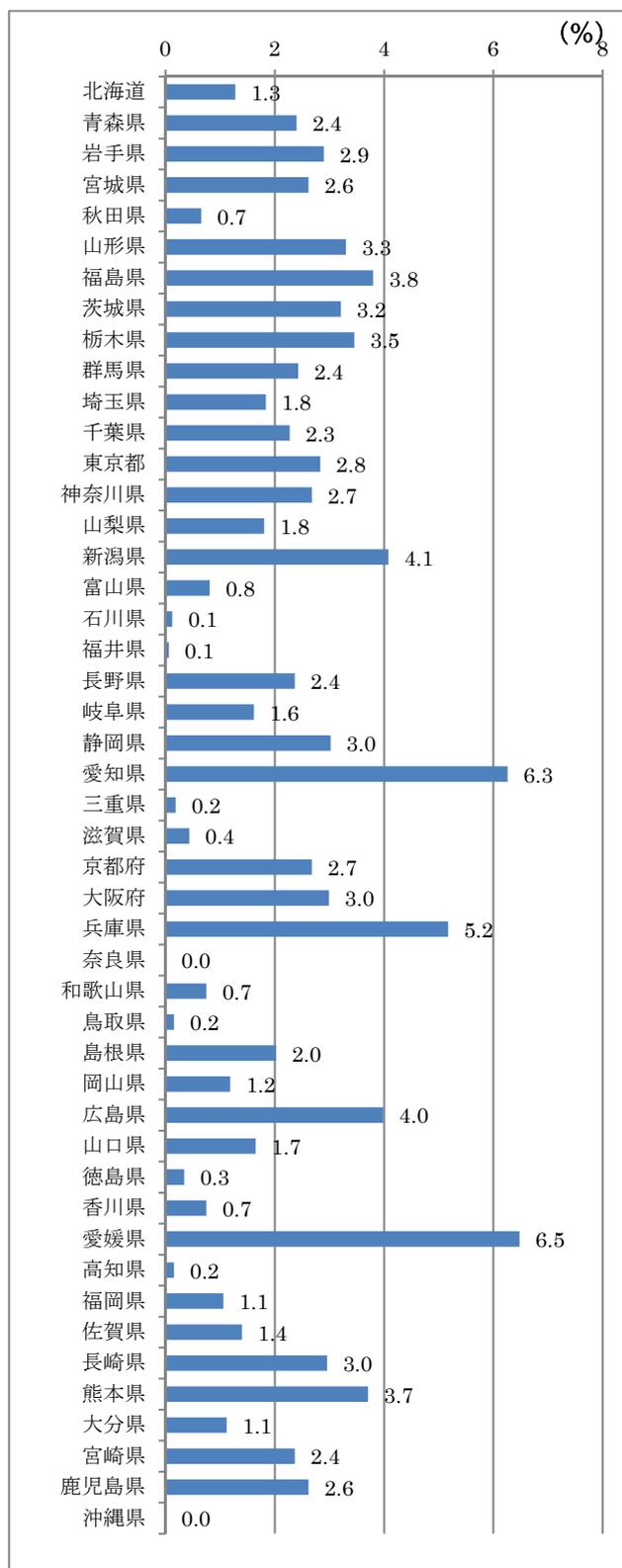
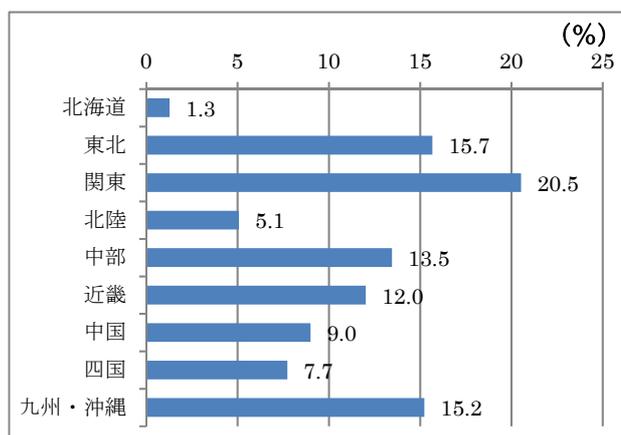


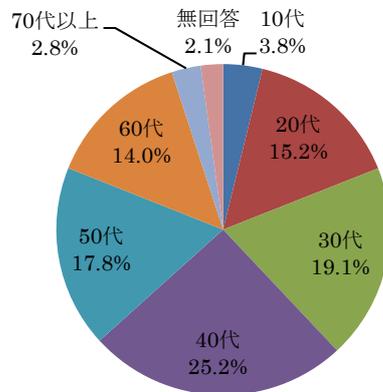
図 1-3-1-2. アンケート回答者属性：エリア



(2) 年齢

アンケート回答者を年齢別でみると、「40代(25.2%)」、次いで「30代(19.1%)」、「50代(17.8%)」。

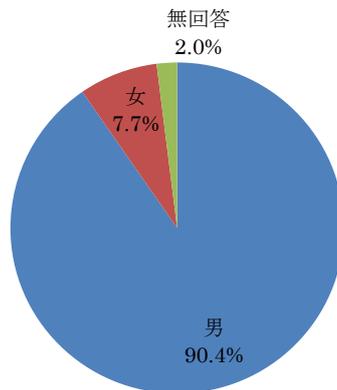
図 1-3-2. アンケート回答者属性：年齢



(3) 性別

男女別でみると、「男性 (90.4%)」、「女性 (7.7%)」。ほとんどが男性の回答であった。

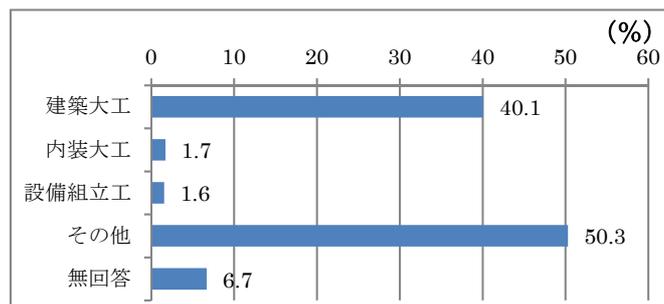
図 1-3-3. アンケート回答者属性：性別



(4) 職種

職種では「建築大工 (40.1%)」の割合が大きく、「内装大工 (1.7%)」、「設備組立工 (1.6%)」は少数であった。「その他 (50.3%)」の内訳としては現場管理、設計、施工管理、学生、現場監督、営業という回答が多くみられた。

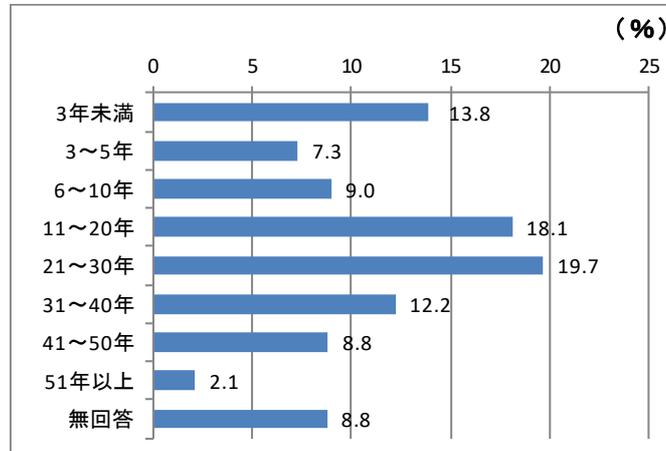
図 1-3-4. アンケート回答者属性：職種



(5) 職種の経験年数

職種の経験年数では、回答の割合が大きい経験年数層は「21～30年（19.7%）」、次いで「11～20年（18.1%）」、「3年未満（13.8%）」。

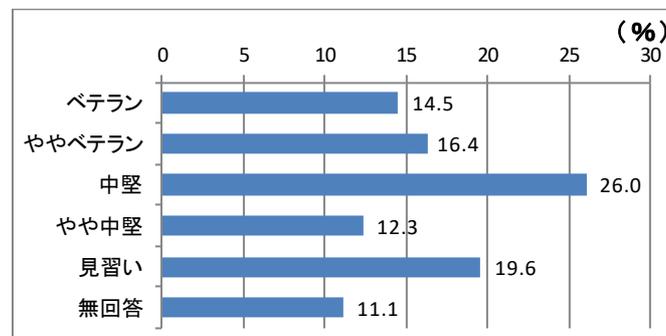
図 1-3-5. アンケート回答者属性：経験年数



(6) 職種のベテラン度合い

自身のベテラン度合いについて、割合が大きいものは「中堅（26.0%）」、次いで「見習い（19.6%）」、「ややベテラン（16.4%）」。

図 1-3-6. アンケート回答者属性：ベテラン度合い



2章 アンケート調査 結果概要

得られたアンケート調査結果のうち、職種として建築大工及び内装大工（以下、大工職種）を選択した1,335票について、以下に結果概要を示す。

(1) 職業等について

①年齢

- ・全体の平均年齢は45.1歳であった。
- ・地域別の平均年齢は、「四国（51.9歳）」が最も高く、「九州・沖縄（40.5歳）」が最も低い。

②性別

- ・性別は97.7%が男性であった。
- ・地域別では女性の割合が総じて低いが、「北海道（5.0%）」及び「北陸（3.1%）」、「東北（2.5%）」では他の地域と比較して回答が得られている。

③職種の経験年数

- ・「21～30年（24.1%）」が最も多く、次いで「11～20年（19.8%）」、「31～40年（14.2%）」であった。
- ・「3年未満（9.4%）」は、前回調査（H29年度：8.8%）より0.6ポイント増加している。また「41～50年（13.4%）」は、前回調査（H29年度：13.1%）より0.3ポイント増加している。
- ・地域別では、北海道以外の地域で「21～30年」の割合が高い。また地域差はあるものの、北海道、四国以外の地域で「3年未満」から「31～40年」までが概ね8割以上であった。
- ・年代別では、入職初期である経験年数「3年未満」について「30代（4.6%）」、「50代（1.8%）」、「40代（0.3%）」、の回答もみられた。

④職種においてベテランだと思いますか

- ・「中堅（31.4%）」が最も多く、次いで「ややベテラン（20.7%）」、「ベテラン（18.1%）」であった。
- ・選択肢に対して最も多く回答が得られた地域は、「ベテラン」：「北海道（30.0%）」、「ややベテラン」：「近畿（24.1%）」、「中堅」：「北陸（43.8%）」、「やや中堅」：「北陸（17.2%）」、「見習い」：「北海道（25.0%）」。
- ・選択肢に対して最も多く回答が得られた年代は、「ベテラン」：「60代（43.8%）」、「ややベテラン」：「60代（33.2%）」、「中堅」：「40代（50.9%）」、「やや中堅」：「20代（23.0%）」、「見習い」：「10代（90.9%）」。
- ・選択肢に対して最も多く回答が得られた経験年数は、「ベテラン」：「41～50年（44.1%）」、「ややベテラン」：「31～40年（39.7%）」、「中堅」：「11～20年（55.7%）」、「やや中堅」：「6～10年（37.1%）」、「見習い」：「5年未満（80.5%）」。
- ・選択肢に対して最も多く回答が得られた雇用形態は、「ベテラン」：「その都度契約（34.5%）」、「ややベテラン」：「外注常用（坪請主体）（31.9%）」、「中堅」：「外注常用（日当制）（36.6%）」、「やや中堅」：「工務店社員（14.9%）」、「見習い」：「その他（アルバイト等）（55.6%）」。
- ・選択肢に対して最も多く回答が得られた賃金は、「ベテラン」：「25,000円以上（40.9%）」、「ややベテラン」：「20,000～25,000円未満（29.7%）」、「中堅」：「10,000～15,000円未満（37.6%）」、「やや中堅」：「8,000～10,000円未満（19.4%）」、「見習い」：「8,000円未満（69.4%）」。

(2) 雇用形態について

①雇用形態（工務店等との契約関係）

- ・「工務店社員(39.3%)」が最も多く、次いで「元請として仕事(33.9%)」、「外注常用(日当制)(9.2%)」。
- ・選択肢に対して最も多く回答が得られた地域は、「工務店社員」:「北海道(75.0%)」、「外注常用(日当制)」:「四国(15.2%)」、「外注常用(坪請主体)」:「中部(13.0%)」、「その都度契約」:「北陸(7.8%)」、「元請として仕事」:「近畿(52.6%)」、「その他(アルバイト等)」:「東北(3.3%)」。
- ・選択肢に対して最も多く回答が得られた年代は、「工務店社員」:「20代(77.5%)」、「外注常用(日当制)」:「10代(18.2%)」、「外注常用(坪請主体)」:「60代(13.6%)」、「その都度契約」:「60代(7.7%)」、「元請として仕事」:「70代以上(65.0%)」、「その他(アルバイト等)」:「10代(9.1%)」。
- ・選択肢に対して最も多く回答が得られた経験年数は、「工務店社員」:「6~10年(72.4%)」、「外注常用(日当制)」:「51年以上(11.8%)」、「外注常用(坪請主体)」:「41~50年(14.5%)」、「その都度契約」:「51年以上(11.8%)」、「元請として仕事」:「51年以上(51.0%)」、「その他(アルバイト等)」:「5年未満(4.7%)」。

②就業規則

- ・就業規則が「無い(48.3%)」が最も多く、次いで「有る(30.3%)」、「不明(21.3%)」であった。
- ・就業規則が「有る」と回答した割合が最も高い地域は「北海道(50.0%)」。一方「無い」と回答した割合が最も高い地域は「四国(64.5%)」。
- ・就業規則が「有る」と回答した割合が最も高い年代は「10代(45.5%)」及び「20代(45.5%)」。一方「無い」と回答した割合が最も高い年代は「40代(61.0%)」。
- ・就業規則が「有る」と回答した割合が最も高い経験年数は「6~10年(51.4%)」。一方「無い」と回答した割合が最も高い経験年数は「21~30年(59.6%)」。
- ・就業規則が「有る」と回答した割合が最も高い雇用形態は「工務店社員(48.8%)」。一方「無い」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用(坪請主体)(74.3%)」。

③有給休暇

- ・有給休暇が「無い(59.7%)」が最も多く、次いで「不明(24.0%)」、「有る(16.3%)」であった。
- ・有給休暇が「有る」と回答した割合が最も高い地域は「北海道(35.0%)」。一方「無い」と回答した割合が最も高い地域は「関東(66.2%)」。
- ・有給休暇が「有る」と回答した割合が最も高い年代は「10代(31.8%)」。一方「無い」と回答した割合が最も高い年代は「40代(68.5%)」。
- ・有給休暇が「有る」と回答した割合が最も高い経験年数は「6~10年(29.5%)」。一方「無い」と回答した割合が最も高い経験年数は「21~30年(68.6%)」。
- ・有給休暇が「有る」と回答した割合が最も高い雇用形態は「工務店社員(30.1%)」。一方「無い」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その都度契約(77.6%)」。

④年間就業日数

- ・平均年間就業日数は259.68日であった。また「不明(48.6%)」との回答が多かった。
- ・平均年間就業日数が最も多い地域は「関東(266.60日)」。一方最も少ない地域は「北海道(237.40日)」。
- ・平均年間就業日数が最も多い年代は「10代(274.22日)」。一方最も少ない年齢層は、「70代以上(215.38日)」。
- ・平均年間就業日数が最も多い経験年数は「11~20年(268.06日)」。一方最も少ない経験年数は「41~50年(247.45日)」。
- ・平均年間就業日数が最も多い雇用形態は「その都度契約(268.33日)」。一方最も少ない雇用形態は

「その他（アルバイト等）（240.00日）」。

⑤保険等について

1) 年金保険

- ・「国民年金（48.3%）」が最も多く、次いで「厚生年金（36.6%）」であった。また、年金保険について「不明（15.8%）」との回答も一定数いる結果であった。
- ・「国民年金」、「厚生年金」、「企業年金」に加入している割合の合計値が最も高い地域は「近畿（91.3%）」。
- ・一方最も低い地域は「四国（76.7%）」。
- ・選択肢に対し最も多く回答が得られた雇用形態は、「厚生年金」：「工務店社員（61.5%）」、「国民年金」：「その都度契約（91.4%）」、「企業年金」：「元請として仕事（2.2%）」。

2) 労働保険

- ・「労災保険（一人親方労災保険を含む）（60.7%（労災保険／34.8%、一人親方労災保険／25.9%）」が最も多い。また、「雇用保険（23.8%）」であった。
- ・選択肢に対して最も多く回答が得られた地域は、「雇用保険」：「東北（40.8%）」、「労災保険」：「近畿（44.5%）」、「一人親方労災保険」：「四国（39.1%）」。
- ・選択肢に対して最も多く回答が得られた雇用形態は、「雇用保険」：「工務店社員（45.3%）」、「労災保険」：「元請として仕事（46.7%）」、「一人親方労災保険」：「その都度契約（70.7%）」。

3) 健康保険

- ・「組合健康保険（建設国保）（37.7%）」が最も多く、次いで「国民健康保険（29.1%）」であった。
- ・「国民健康保険」、「組合健康保険（建設国保）」、「組合保険（建設国保以外）」、「その他の健康保険」に加入している割合の合計値が最も高い地域は「近畿（80.3%）」及び「四国（80.3%）」。
- ・一方最も低い地域は「北海道（60.0%）」。
- ・選択肢に対し最も多く回答が得られた雇用形態は、「国民健康保険」：「工務店社員（33.1%）」、「組合健康保険（建設国保）」：「その都度契約（63.8%）」、「組合健康保険（建設国保以外）」：「元請として仕事（4.2%）」、「その他の健康保険」：「その他（アルバイト等）（5.6%）」。

⑥賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

- ・賃金の中に含まれ、自己負担となっているものの割合について、「大工」の合計値は、240.2%であった。その内訳は「手道具（66.0%）」が最も高く、次いで「電動工具（58.7%）」、「車（保険含む）（47.3%）」、「ガソリン（46.9%）」であった。一方「クギ金物（21.3%）」は他の選択肢と比較して低い。
- ・地域別では「四国（300.0%）」が最も高い。一方「九州・沖縄（210.8%）」が最も低い。
- ・年代別では「60代（273.2%）」が最も高い。一方「10代（172.7%）」が最も低い。
- ・経験年数別では「51年以上（290.2%）」が最も高い。一方「5年未満（166.1%）」が最も低い。
- ・雇用形態別では「その都度契約（432.8%）」が最も高い。一方「その他（アルバイト等）（150.0%）」が最も低い。

⑦おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

- ・一日あたりのおおよその賃金の平均値は14,745円。
- ・平均賃金が最も高い地域は「近畿（16,948円）」。一方最も低い地域は「北海道（12,425円）」。
- ・平均賃金が最も高い年代は「40代（16,452円）」。一方最も低い年代は「10代（8,063円）」。
- ・平均賃金が最も高い経験年数は「21～30年（16,594円）」。一方最も低い経験年数は「5年未満（10,122円）」。
- ・平均賃金が最も高い雇用形態は「外注常用（坪請主体）（17,409円）」。一方最も低いのは「工務店社員（12,273円）」。

（3）資格や技能について

①持っている資格

- ・「玉掛け技能講習修了者（41.0%）」が最も多く、次いで「木造建築物組立て作業主任者（35.9%）」、「足場の組立て等作業主任者（35.1%）」であり、労働安全衛生法の技能講習取得割合が大きい。
- ・持っている資格の割合の合計値が最も高い地域は「北陸（314.1%）」。一方最も低い地域は「四国（193.5%）」。
- ・持っている資格の割合の合計値が最も高い年代は「70代以上（360.0%）」。一方最も低い年代は「10代（63.6%）」。
- ・持っている資格の割合の合計値が最も高い経験年数は「41～50年（357.0%）」。一方最も低い年代は「5年未満（107.9%）」。
- ・持っている資格の割合の合計値が最も高い雇用形態は「元請として仕事（306.0%）」。一方最も低い雇用形態は「その他（アルバイト等）（138.9%）」。
- ・持っている資格の割合の合計値が最も高い賃金帯は「15,000～20,000円未満（277.6%）」。一方最も低い賃金帯は「8,000円未満（134.7%）」。

②墨付けができますか

- ・「はい（67.3%）」、「いいえ（17.2%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い地域は「中部（76.8%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い地域は「中国（24.6%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い年代は「60代（81.7%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い年代は「20代（49.0%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い経験年数は「41～50年（83.8%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満（50.7%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い雇用形態は「元請けとして仕事（80.5%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い雇用形態は「工務店社員（28.0%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い賃金帯は「15,000～20,000円未満（79.1%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い賃金帯は「8,000～10,000円未満（41.7%）」。

③今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。（新築）

- ・「はい（20.7%）」、「いいえ（62.3%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い地域は「北海道（35.0%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い地域は「中国（76.1%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い年代は「60代（26.8%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い年代は「30代（68.4%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い経験年数は「51年以上（33.3%）」。一方「いいえ」と回答した割合が高い経験年数は「11～20年（72.0%）」。

- ・「はい」と回答した割合が最も高い雇用形態は「元請として仕事（24.1%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その都度契約（74.1%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い賃金帯は「15,000～20,000 円未満（23.1%）」。一方「いいえ」と回答した割合が高い賃金帯は「8,000 円未満（68.4%）」。

④今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。（増改築）

- ・「はい（42.9%）」、「いいえ（40.2%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い地域は「東北（50.4%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い地域は「四国（46.4%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い年代は「60代（50.2%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い年代は「10代（59.1%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い経験年数は「41～50年（53.6%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満（53.0%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い雇用形態は「元請として仕事（54.4%）」。「いいえ」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（坪請主体）（61.1%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い賃金帯は「25,000 円以上（52.3%）」。「いいえ」と回答した割合が最も高い賃金帯は「8,000 円未満（53.1%）」。

⑤和室造作ができますか。

- ・「はい（61.6%）」、「いいえ（22.3%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い地域は「北陸（68.8%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い地域は「中国（29.9%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い年代は「50代（80.2%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い年代は「10代（72.7%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い経験年数は「41～50年（83.2%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満（68.4%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その都度契約（77.6%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その他（アルバイト等）（50.0%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い賃金帯は「15,000～20,000 円未満（78.9%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い賃金帯は「8,000 円未満（67.3%）」。

⑥2×4工法の住宅の施工ができますか。

- ・「はい（26.1%）」、「いいえ（56.6%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い地域は「北海道（35.0%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い地域は「北陸（67.2%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い年代は「70代以上（32.5%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い年齢層は「10代（72.7%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い経験年数は「51年以上（43.1%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満（69.8%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その都度契約（41.4%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その他（アルバイト等）（72.2%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い賃金帯は「25,000 円以上（34.1%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い賃金帯は「8,000 円未満（74.5%）」。

(4) 仕事に対する満足度や今後の意向について

①現在の仕事の内容について満足していますか。

- ・「満足している (63.0%)」、「満足していない (25.4%)」。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い地域は「北海道 (70.0%)」。一方「満足していない」と回答した割合が最も高い地域は「中部 (32.4%)」。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い年代は「20代 (66.0%)」。一方「満足していない」と回答した割合が最も高い年代は「40代 (29.2%)」。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満 (66.1%)」。一方「満足していない」と回答した割合が最も高い経験年数は「21～30年 (29.9%)」。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い雇用形態は「工務店社員 (66.7%)」。一方「満足していない」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用 (坪請主体) (44.2%)」。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い賃金帯は「25,000円以上 (72.7%)」。一方「満足していない」と回答した割合が最も高い賃金帯は「15,000～20,000円未満 (28.5%)」。

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

- ・「満足している (37.8%)」、「満足していない (50.5%)」。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い地域は「北海道 (50.0%)」。一方「満足していない」と回答した割合が最も高い地域は「中部 (61.1%)」。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い年代は「70代以上 (42.5%)」。一方「満足していない」と回答した割合が最も高い年代は「40代 (59.3%)」。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満 (43.7%)」。一方「満足していない」と回答した割合が最も高い経験年数は「21～30年 (58.0%)」。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い雇用形態は「工務店社員 (43.2%)」。一方「満足していない」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用 (坪請主体) (68.1%)」。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い賃金帯は「25,000円以上 (56.8%)」。「満足していない」と回答した割合が最も高い賃金帯は「15,000～20,000円未満 (56.5%)」。

③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

- ・「仕事ができる限り続ける (51.4%)」が最も多く、次いで「65歳で引退する (13.8%)」、「70歳で引退する (12.0%)」。
- ・「仕事ができる限り続ける」と回答した割合が最も高い地域は「近畿 (60.6%)」。一方最も低い地域は「北海道 (30.0%)」。
- ・「仕事ができる限り続ける」と回答した割合が最も高い年代は「10代 (72.7%)」。一方最も低い年代は「60代 (34.5%)」。
- ・「仕事ができる限り続ける」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満 (67.0%)」。一方最も低い経験年数は「41～50年 (37.4%)」。
- ・「仕事ができる限り続ける」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用 (日当制) (61.8%)」。一方最も低い雇用形態は「その他 (アルバイト等) (38.9%)」。

(5) 担い手育成について

①現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

- ・「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい（37.4%）」が最も多く、次いで「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない（31.2%）」、「現在育てている（13.3%）」。
- ・「現在育てている」と回答した割合が最も高い地域は「北海道（25.0%）」。
- ・「現在育てている」と回答した割合が最も高い年代は「30代（17.5%）」。
- ・「現在育てている」と回答した割合が最も高い経験年数は「41～50年（17.3%）」。
- ・「現在育てている」と回答した割合が最も高い雇用形態は「元請として仕事（17.9%）」。

②育成期間の担い手の立場

- ・「正社員（弟子として）（70.1%）」が最も多く、次いで「正社員（職業訓練校）（18.6%）」、「一人親方等にあずける（弟子として）（8.5%）」。
- ・「正社員（弟子として）」と回答した割合が最も高い地域は「北陸（100.0%）」。次いで「中国（94.1%）」、「中部（78.6%）」。また「正社員（職業訓練校）」と回答した割合が最も高い地域は「北海道（40.0%）」。次いで「東北（29.8%）」、「関東（25.0%）」。
- ・「正社員（弟子として）」と回答した割合が最も高い年代は「10代（100.0%）」。次いで「40代（76.7%）」、「30代（73.9%）」。また「正社員（職業訓練校）」と回答した割合が最も高い年代は「70代以上（40.0%）」。次いで「20代（30.8%）」、「30代（19.6%）」。
- ・「正社員（弟子として）」と回答した割合が最も高い経験年数は「11～20年（79.5%）」。次いで「31～40年（73.9%）」、「21～30年（73.1%）」。また「正社員（職業訓練校）」と回答した割合が最も高い経験年数は「6～10年（40.0%）」。次いで「41～50年（25.8%）」、「21～30年（17.3%）」。
- ・「正社員（弟子として）」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その都度契約（100.0%）」。次いで「外注常用（日当制）（80.0%）」、「元請として仕事（74.1%）」。また「正社員（職業訓練校）」と回答した割合が最も高い雇用形態は「工務店社員（28.6%）」。次いで「元請けとして仕事（12.3%）」、「外注常用（坪請主体）（10.0%）」。

③育成にかかる費用負担

- ・費用の負担について「有る（32.8%）」、「無い（15.3%）」であり、無回答などの「不明（52.0%）」が多い。
- ・「有る」と回答した割合が最も高い地域は「中部（42.9%）」。一方「無い」と回答した割合が最も高い地域は「東北（27.7%）」。
- ・「有る」と回答した割合が最も高い年代は「60代（41.7%）」。一方「無い」と回答した割合が最も高い年代は「20代（38.5%）」。
- ・「有る」と回答した割合が最も高い経験年数は「41～50年（45.2%）」。一方「無い」と回答した割合が最も高い経験年数は「6～10年（40.0%）」。
- ・「有る」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その都度契約（100.0%）」。一方「無い」と回答した割合が高い雇用形態は「外注常用（日当制）（20.0%）」。

④なぜ育てる予定はないのか。

- ・「将来の保障ができないため（36.5%）」が最も多く、次いで「人材がないため（21.9%）」、「費用がかかるため（17.8%）」。
- ・育てる予定はない理由として回答した割合の合計値が最も高い地域は「関東（174.0%）」。いずれの地域においても「将来の保証ができないため」、「人材がないため」の割合が高い。また「北海道」以外の地域で、地域差はあるものの「費用がかかるため」の割合が高い。
- ・育てる予定はない理由として回答した割合の合計値が最も高い年代は「50代（177.8%）」。また「30代」以上では「将来の保障ができないため」、「人材がないため」と回答した割合が高く、「60代」以上では「年齢のため」の割合が高い。
- ・育てる予定はない理由として回答した割合の合計値が最も高い経験年数は「21～30年（175.5%）」。また「将来の保障ができないため」と回答した割合は「31～40年（50.0%）」、「21～30年（48.0%）」、「11～20年（40.3%）」が他の年代と比較して高い。
- ・育てる予定はない理由として回答した割合の合計値が最も高い雇用形態は「元請けとして仕事（186.0%）」。また「将来の保障ができないため」と回答した割合は「その都度契約（48.0%）」、「外注常用（坪請主体）（47.3%）」、「元請として仕事（45.7%）」が他の雇用形態と比較して高い。

⑤担い手育成にかかる費用の公的補助について、1人／月当たりどの程度必要と考えますか。

- ・「10万円／月（25.4%）」が最も多く、次いで「15万円／月（19.0%）」、「5万円／月（12.6%）」。
- ・「北海道」、「中部」以外の各地域に共通して「10万円／月」の割合が最も高い。
- ・年代別では「10代」では「3万円／月」から「15万円／月」がすべて同じ割合となっている。「20代」から「70代以上」の年齢層では「10万円／月」の割合が高い。
- ・各経験年数に共通して「10万円／月」の割合が高い。
- ・「外注常用（坪請主体）」以外の各雇用形態に共通して「10万円／月」の割合が高い。

3章 アンケート調査 集計結果

1. 職種別集計

(1) 職業等について

①年齢

- ・「大工」の平均年齢は 45.06 歳であった。前回調査 (H29 年度) における「大工」の平均年齢 (44.66 歳) と大きな変化はない。
- ・「40代 (25.2%)」が最も大きい。次いで「30代 (19.7%)」、「60代 (17.6%)」、「50代 (16.6%)」。
- ・前回調査 (H29 年度) と比較して「設備組立工」における「30代」が減少し、「10代」、「20代」が増加している。

職種	合計	(1)年齢									平均
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明		
全体	3,210	3.8	15.2	19.1	25.2	17.8	14.0	2.8	2.1	43.77	
大工	1,335	1.6	15.0	19.7	25.2	16.6	17.6	3.0	1.3	45.06	
設備組立工	50	8.0	8.0	16.0	32.0	22.0	10.0	2.0	2.0	44.06	
その他	1,615	4.6	15.0	19.2	26.1	19.1	11.8	2.8	1.3	43.20	

表 3.1.1 年齢 (H30 年度) (割合%)

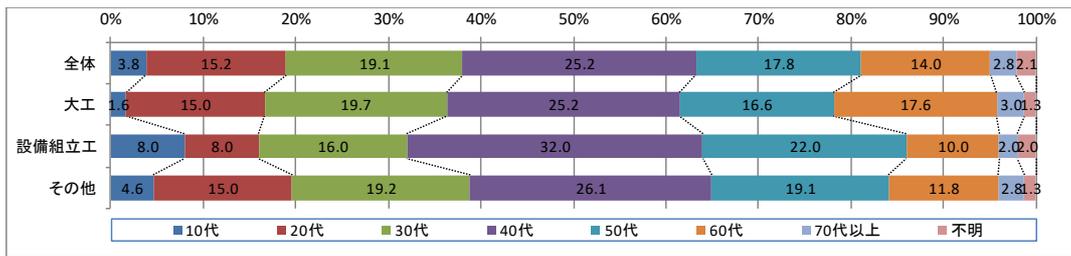


図 3.1.1 年齢 (H30 年度)

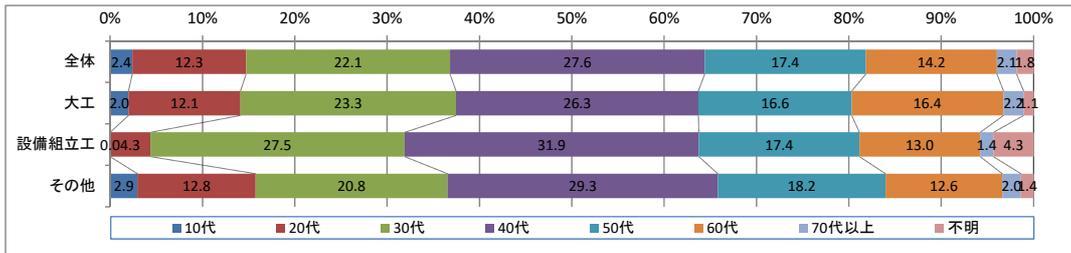


図 3.1.1# 年齢 (H29 年度)

②性別

- ・「大工」の性別は「男性（97.7%）」、「女性（1.3%）（17票）」であった。
- ・「大工」における「女性」の割合は、「設備組立工」及び「その他」と比較して少ない。
- ・前回調査（H29年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(2)性別		
		男	女	不明
全体	3,210	90.4	7.7	2.0
職種 大工	1,335	97.7	1.3	1.0
設備組立工	50	96.0	4.0	0.0
その他	1,615	85.8	12.9	1.2

表 3.1.2 性別（H30年度）（割合%）

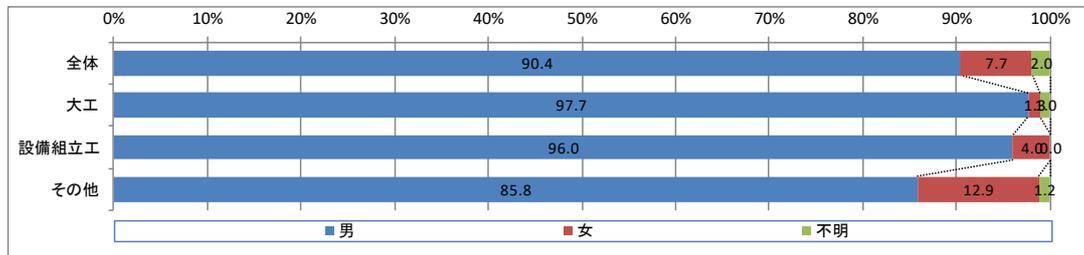


図 3.1.2 性別（H30年度）

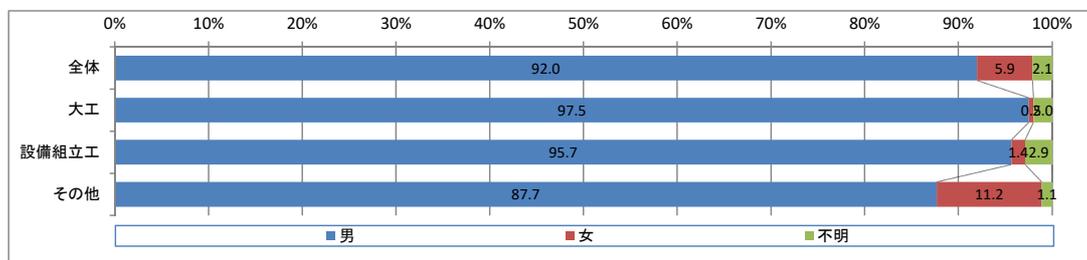


図 3.1.2# 性別（H29年度）

③職種の経験年数

- ・「大工」の経験年数は「21～30年（24.1%）」が最も大きい。次いで「11～20年（19.8%）」、「31～40年（14.2%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較してすべての職種で「11～20年」が減少しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(4)職種の経験年数								
		3年未満	3～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51年以上	不明
全体	3,210	13.8	7.3	9.0	18.1	19.7	12.2	8.8	2.1	8.8
職種										
大工	1,335	9.4	6.7	7.9	19.8	24.1	14.2	13.4	3.8	0.7
設備組立工	50	20.0	4.0	8.0	24.0	22.0	10.0	10.0	2.0	0.0
その他	1,615	18.2	8.6	10.9	18.1	18.1	11.9	6.1	1.0	7.0

表 3.1.3 職種の経験年数（H30年度）（割合%）

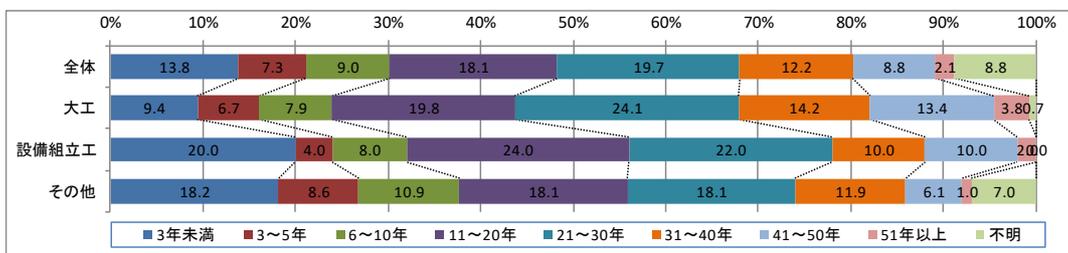


図 3.1.3 職種の経験年数（H30年度）

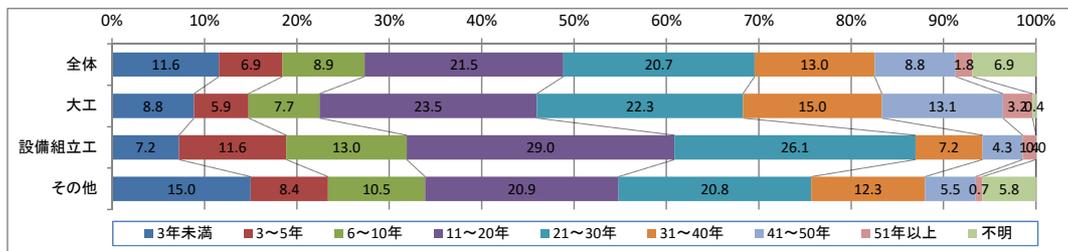


図 3.1.3# 職種の経験年数（H29年度）

④職種においてベテランだと思いませんか。

- ・「大工」のベテラン度合いは「中堅（31.4%）」が最も大きい。次いで「ややベテラン（20.7%）」、「ベテラン（18.1%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「設備組立工」における「中堅」が減少し、「ベテラン」、「見習い」が増加している。

	合計	(5)あなたのベテラン度合いについて					
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明
全体	3210	14.5	16.4	26.0	12.3	19.6	11.1
大工	1335	18.1	20.7	31.4	10.9	15.9	3.0
設備組立工	50	20.0	12.0	32.0	12.0	22.0	2.0
その他	1615	13.2	14.7	23.9	14.4	24.0	9.8

表 3.1.4 職種のベテラン度合（H30年度）（割合%）

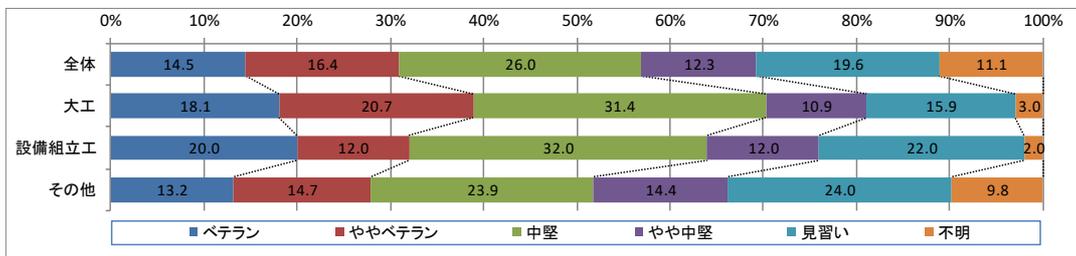


図 3.1.4 職種のベテラン度合（H30年度）

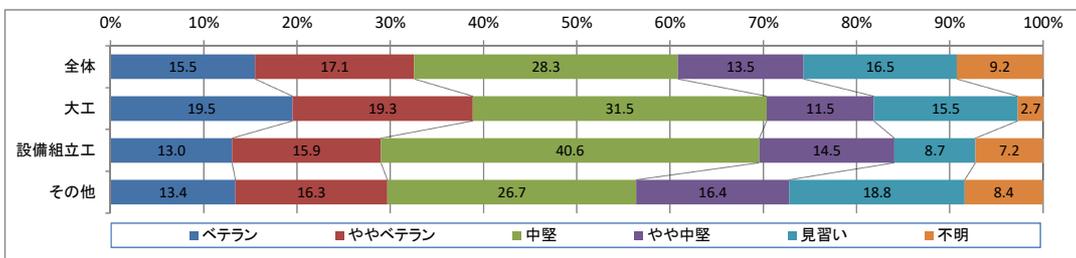


図 3.1.4# 職種のベテラン度合（H29年度）

(2) 雇用形態について

①雇用形態（工務店等との）

- ・「大工」では「工務店社員（39.3%）」が最も大きい。次いで「元請として仕事（33.9%）」、「外注常用（日当制）（9.2%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「設備組立工」で「工務店社員」が減少しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

職種	合計	(6)あなたの雇用形態						
		工務店社員	外注常用（日当制）	外注常用（坪請主体）	その都度契約	元請として仕事	その他（アルバイト等）	不明
全体	3210	38.8	4.3	4.2	3.4	27.0	4.1	18.2
大工	1335	39.3	9.2	8.5	4.3	33.9	1.3	3.4
設備組立工	50	14.0	8.0	2.0	14.0	38.0	8.0	16.0
その他	1615	41.9	0.7	1.1	2.5	23.8	6.5	23.5

表 3.1.5 雇用形態（H29年度）（割合%）

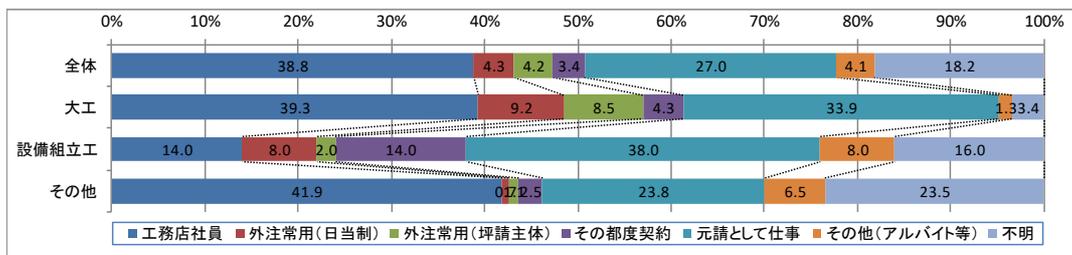


図 3.1.5 雇用形態（H30年度）

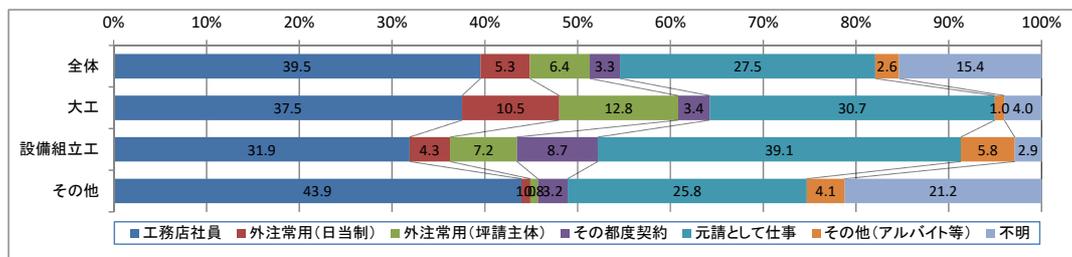


図 3.1.5# 雇用形態（H29年度）

②就業規則

- ・「大工」では、就業規則が「有る（30.3%）」、「無い（48.3%）」であった。
- ・就業規則が「有る」との回答は、「設備組立工（48.0%）」、「その他（58.4%）」となっている。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「設備組立工」では「有る」が減少し、「大工」では構成に大きな変化はない。

	合計	(7)就業規則		
		有	無	不明
全体	3210	44.2	28.8	27.0
職種 大工	1335	30.3	48.3	21.3
設備組立工	50	48.0	26.0	26.0
その他	1615	58.4	15.8	25.8

表 3.1.5 就業規則（H30年度）（割合%）

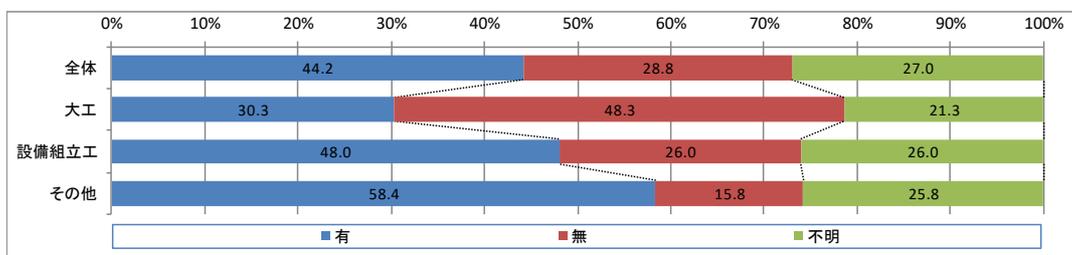


図 3.1.5 就業規則（H30年度）

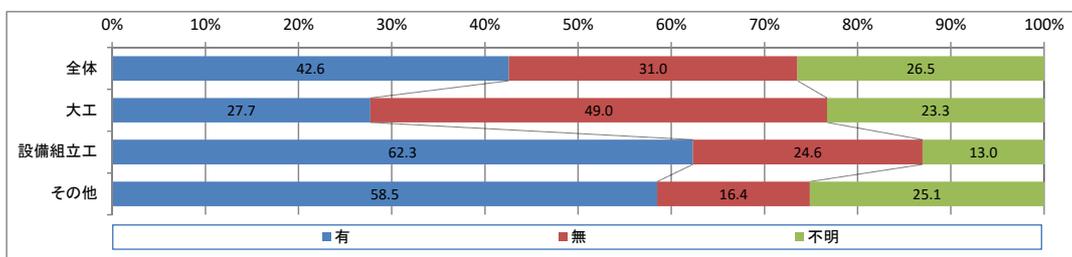


図 3.1.5# 就業規則（H29年度）

③有給休暇

- ・「大工」では、有給休暇が「有る（16.3%）」、「無い（59.7%）」であった。
- ・有給休暇が「有る」との回答は、「設備組立工（40.0%）」、「その他（53.6%）」となっている。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「設備組立工」では「有る」が減少し、「大工」では構成に大きな変化はない。

	合計	(8)有給休暇		
		有	無	不明
全体	3210	35.5	35.2	29.3
職種 大工	1335	16.3	59.7	24.0
設備組立工	50	40.0	32.0	28.0
その他	1615	53.6	18.3	28.1

表 3.1.7 有給休暇（H30年度）（割合%）

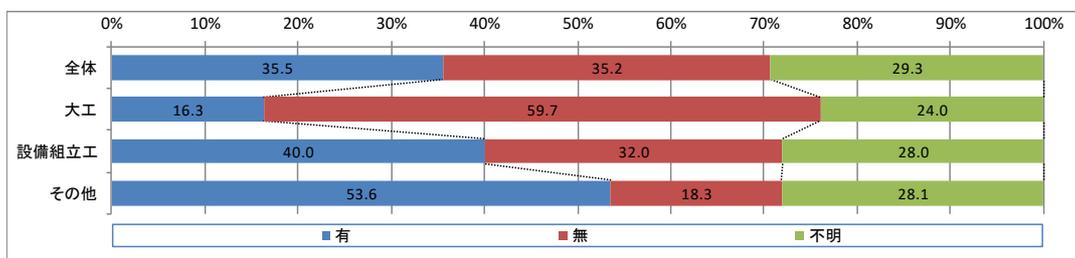


図 3.1.7 有給休暇（H30年度）

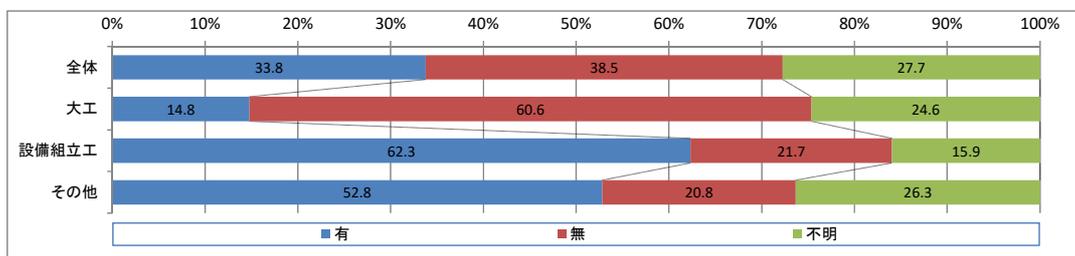


図 3.1.7# 有給休暇（H29年度）

④年間就業日数

- 平均年間就業日数は、「大工」が259.68日、「設備組立工」が261.81日、「その他」が233.13日であり、「設備組立工」が最も多い結果となっている。一方いずれの職種も隔週2日休（264日）より少ない。
- 大工では「300日以上（21.9%）」が最も大きい。次いで「250～300日未満（18.3%）」。
- 前回調査（H29年度）と比較して「設備組立工」で「100日未満」、「100～150日未満」、「300日以上」が減少し、「250～300日未満」が増加している。

	合計	(9)年間就業日数							平均
		100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上	不明	
全体	3210	3.0	3.8	0.6	5.6	17.9	15.0	54.1	245.72
職種									
大工	1335	3.0	1.5	0.9	5.8	18.3	21.9	48.6	259.68
設備組立工	50	0.0	0.0	0.0	8.0	28.0	6.0	58.0	261.81
その他	1615	3.2	6.3	0.5	5.7	19.0	11.1	54.2	233.13

表 3.1.8 年間就業日数（H30年度）（割合%）

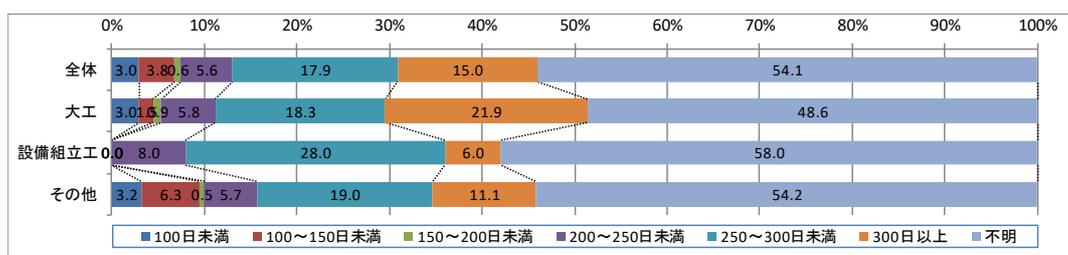


図 3.1.8 年間就業日数（H30年度）

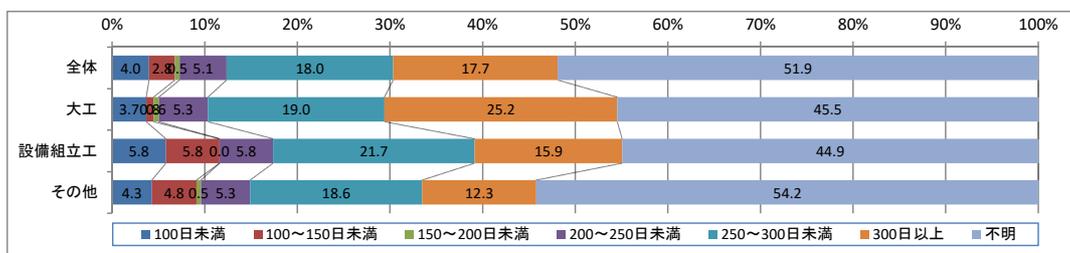


図 3.1.8# 年間就業日数（H29年度）

⑤保険等について

1) 年金保険

- ・「大工」では「国民年金（48.3%）」が最も大きい。次いで「厚生年金（36.6%）」。
- ・「設備組立工」では「厚生年金（44.0%）」、「国民年金（22.0%）」、「その他」では「厚生年金（59.8%）」、「国民年金（15.3%）」。
- ・「設備組立工」、「その他」と比較して「大工」は「厚生年金」が最も小さく、「国民年金」が最も大きい。また「厚生年金」、「国民年金」、「企業年金」の合計値は「大工（86.0%）」が最も大きい。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「大工」は「国民年金」が減少し、「厚生年金」が増加している。

	合計	(10-1)加入している年金			
		厚生年金	国民年金	企業年金	不明
全体	3210	47.6	28.6	1.7	24.9
職種					
大工	1335	36.6	48.3	1.1	15.8
設備組立工	50	44.0	22.0	4.0	30.0
その他	1615	59.8	15.3	2.2	26.5

図 3.1.9 年金保険（H30年度）（割合%）

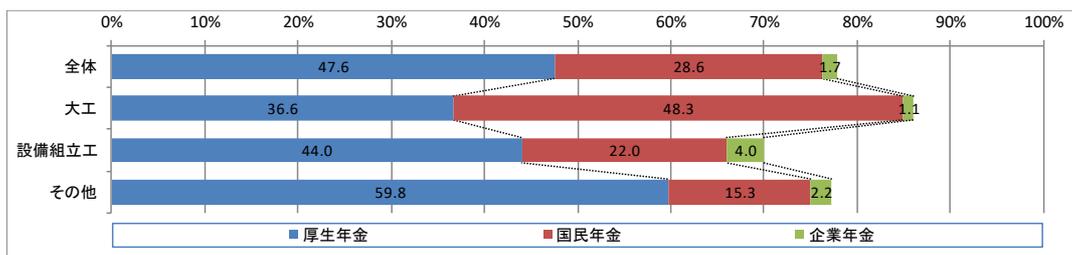


図 3.1.9 年金保険（H30年度）

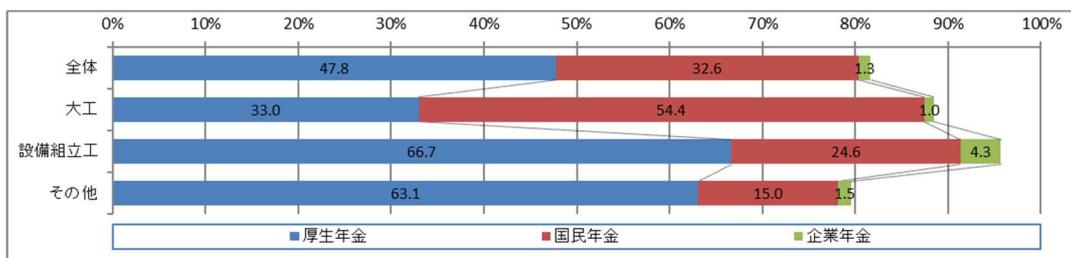


図 3.1.9# 年金保険（H29年度）

2) 労働保険

・前回調査（H29 年度）と比較して「大工」は「雇用保険」、「労災保険」の割合が増加している。

○雇用保険

- ・「雇用保険」に加入している割合は「大工（23.8）」、「設備組立工（38.0）」、「その他（45.9）」。
- ・「大工」の P.20 雇用形態における「工務店社員（39.3）」の割合と比較して「雇用保険（23.8）」への加入率は低い。

○労災保険・一人親方労災保険

- ・労災保険等（一人親方労災保険を含む）に加入している割合の合計値は「大工 60.7%（労災保険／34.8%、一人親方労災保険／25.9%）」が最も大きい。次いで「設備組立工（48.0%（労災保険／24.0%、一人親方労災保険／24.0%）」、「その他（20.6%（労災保険／16.5%、一人親方労災保険／4.1%）」であり、「大工」は他の職種と比較して労災保険等への加入率が高い。

	合計	(10-2)加入している労働保険			
		雇用保険	労災保険	一人親方 労災保険	不明
全体	3210	34.6	23.5	13.4	38.6
職種 大工	1335	23.8	34.8	25.9	27.9
設備組立工	50	38.0	24.0	24.0	26.0
その他	1615	45.9	16.5	4.1	42.7

表 3.1.10 労働保険（H30 年度）（割合％）

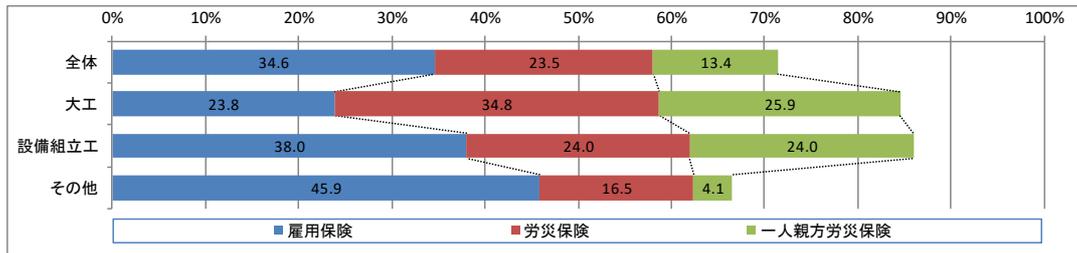


図 3.1.10 労働保険（H30 年度）

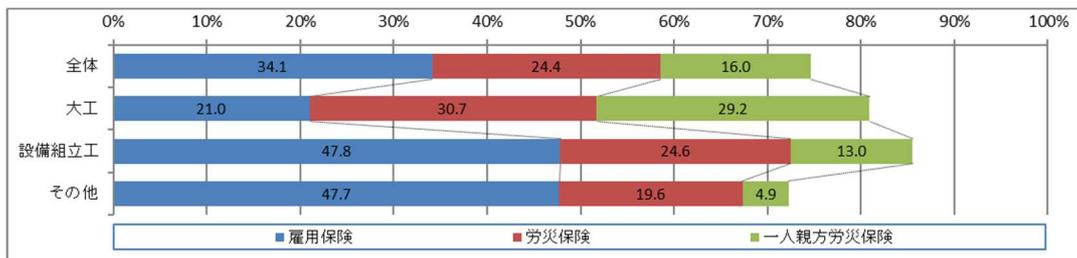


図 3.1.10# 労働保険（H29 年度）

3) 健康保険

- ・「大工」では加入している健康保険の割合は、「組合健康保険（建設国保）（37.7%）」が最も大きい。次いで「国民健康保険（29.1%）」。
- ・「設備組立工」では「組合健康保険（建設国保）（38.0%）」が最も大きい。次いで「国民健康保険（18.0%）」。
- ・「その他」では「国民健康保険（26.0%）」、「組合健康保険（建設国保）（17.0%）」。
- ・前回調査（H29 年度）と比較して「設備組立工」で「国民健康保険」が減少し、「組合健康保険（建設国保）」が増加している。

	合計	(10-3)加入している健康保険				
		国民健康保険	組合健康保険(建設国保)	組合保険(建設国保以外)	その他の健康保険	不明
全体	3210	26.3	25.2	5.5	5.6	38.1
職種 大工	1335	29.1	37.7	3.4	3.4	27.4
設備組立工	50	18.0	38.0	10.0	2.0	34.0
その他	1615	26.0	17.0	7.5	8.0	42.0

表 3.1.11 健康保険（H30 年度）（割合%）

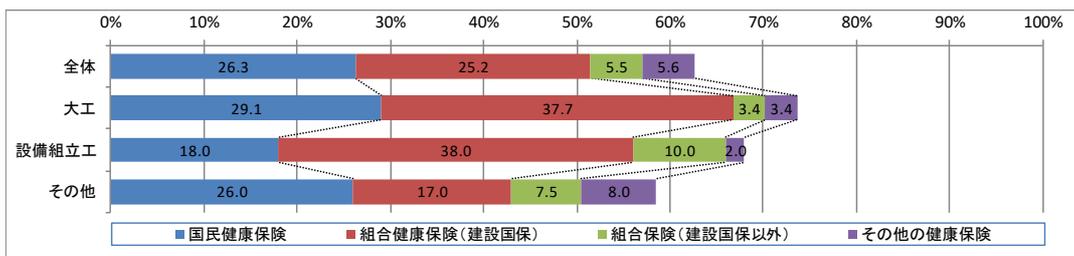


図 3.1.11 健康保険（H30 年度）

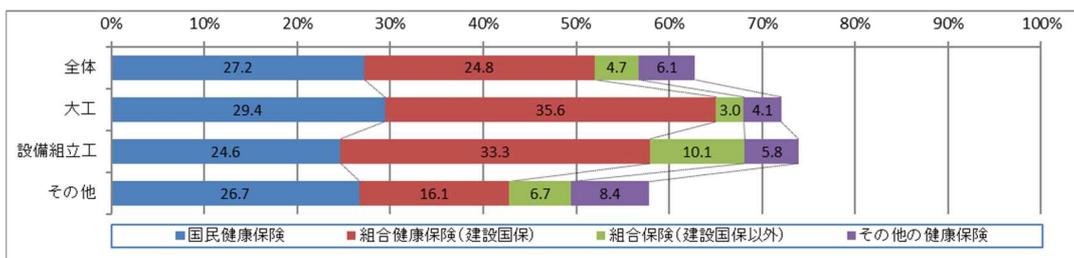


図 3.1.11# 健康保険（H29 年度）

⑥賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

- ・自己負担となっているものの割合の合計値は「大工（240.2%）」が最も大きい。次いで「設備組立工（154.0%）」、「その他（55.3%）」であり、「大工」は他の職種と比較して自己負担となっているものが多い。
- ・「大工」では、自己負担となっているものとして「手道具（66.0%）」が最も多い。次いで「電動工具（58.7%）」、「車（保険含む）（47.3%）」、「ガソリン（46.9%）」。
- ・一方「クギ金物（21.3%）」は比較的少ない。
- ・前回調査（H29 年度）と比較して「大工」における選択肢の合計値は減少している。一方、「設備組立工」における選択肢の合計値は増加している。

	合計	(11)自己負担となっているもの						
		手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明
全体	3210	35.6	30.1	11.2	28.6	26.8	21.7	33.4
職種								
大工	1335	66.0	58.7	21.3	47.3	46.9	17.5	10.6
設備組立工	50	38.0	34.0	16.0	36.0	30.0	34.0	24.0
その他	1615	14.0	9.5	3.5	15.7	12.6	26.6	46.4

表 3.1.12 自己負担となっているもの（H30 年度）（割合％）

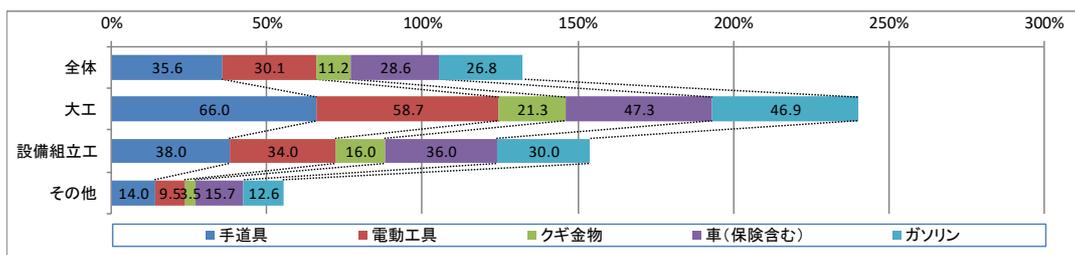


図 3.1.12.1 自己負担となっているもの（H30 年度）

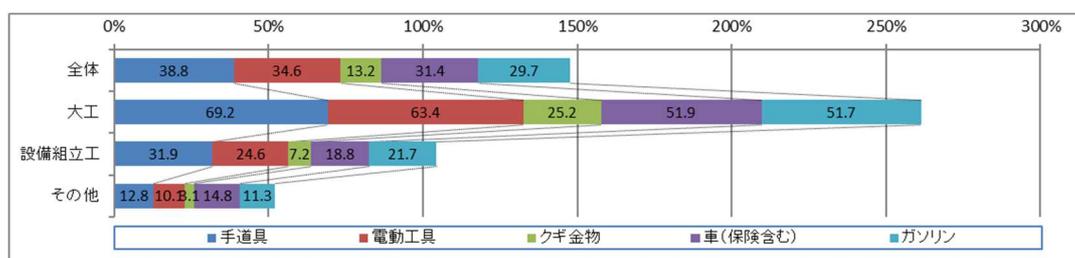


図 3.1.12.1# 自己負担となっているもの（H29 年度）

⑦おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

- ・一日あたりのおおよその賃金の平均値は「大工 14,745 円」、「設備組立工 15,573 円」、「その他 14,677 円」。
- ・大工では「10,000～15,000 円未満（34.3%）」が最も大きい。次いで「15,000～20,000 円未満（30.5%）」、「8,000～10,000 円未満（10.4%）」。
- ・前回調査（H29 年度）と比較して「大工」の「10,000～15,000 円未満」が増加し、「15,000～20,000 円未満」は減少している。また、賃金の平均値が「設備組立工」及び「その他」は増加しているが、「大工」は減少している。

	合計	(12)1日あたりのおおよその賃金							平均 (円)
		8,000円未 満	8,000～ 10,000円 未満	10,000～ 15,000円 未満	15,000～ 20,000円 未満	20,000～ 25,000円 未満	25,000円 以上	不明	
全体	3210	6.1	9.4	25.5	19.7	7.2	3.7	28.4	14686
職 種									
大工	1335	7.3	10.4	34.3	30.5	8.8	3.3	5.3	14745
設備組立工	50	0.0	18.0	24.0	22.0	8.0	10.0	18.0	15573
その他	1615	5.7	8.5	20.9	12.8	6.6	4.3	41.3	14677

表 3.1.13 一日あたりのおおよその賃金（H30 年度）（割合%）

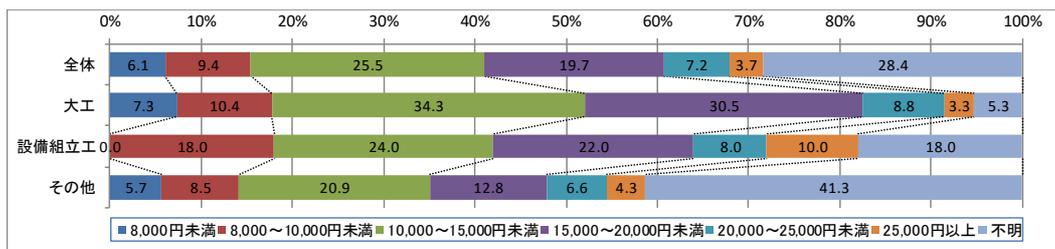


図 3.1.13 一日あたりのおおよその賃金（H30 年度）

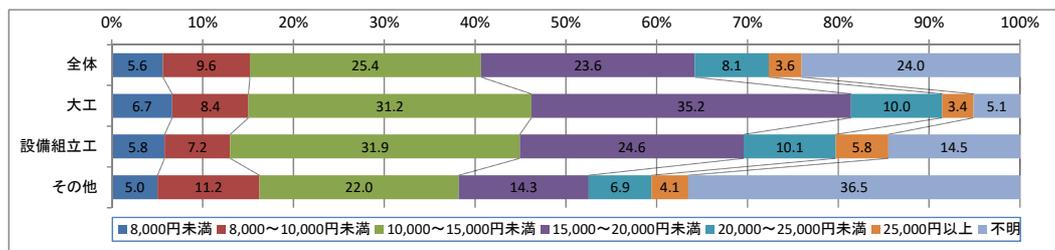


図 3.1.13# 一日あたりのおおよその賃金（H29 年度）

(3) 資格や技能について

①持っている資格

- ・「大工」では「玉掛け技能講習修了者（41.0%）」が最も大きい。次いで「木造建築物組立て作業主任者（35.9%）」、「足場の組立て等作業主任者（35.1%）」。また「2級建築士（30.3%）」、「建築大工技能士（1級・2級）（22.5%）」の取得割合が高い。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「設備組立工」は持っている資格の合計値が減少しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

職種	合計	(13)お持ちの資格														
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級・2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体	3210	11.7	27.1	1.3	11.3	12.7	10.2	0.7	4.5	4.4	24.2	20.4	30.2	12.8	4.1	31.3
大工	1335	4.9	30.3	2.2	5.4	14.4	22.5	1.0	9.3	7.0	35.1	35.9	41.0	17.8	8.7	19.9
設備組立工	50	2.0	8.0	4.0	4.0	8.0	0.0	0.0	0.0	6.0	14.0	2.0	30.0	24.0	0.0	48.0
その他	1615	18.3	26.7	0.7	17.0	12.3	1.4	0.4	1.2	2.7	17.8	10.2	22.5	8.8	1.1	35.9

表 3.1.14 持っている資格（H30年度）（割合%）

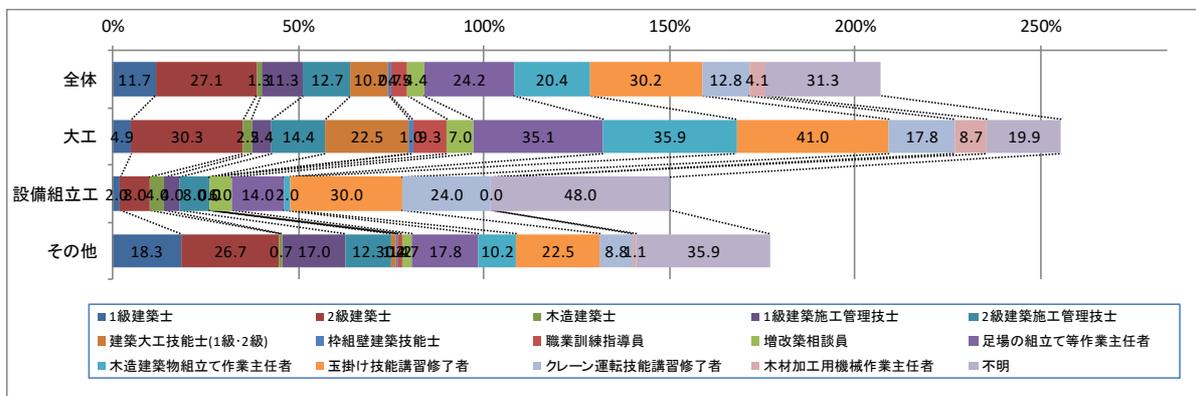


図 3.1.14 持っている資格（H30年度）

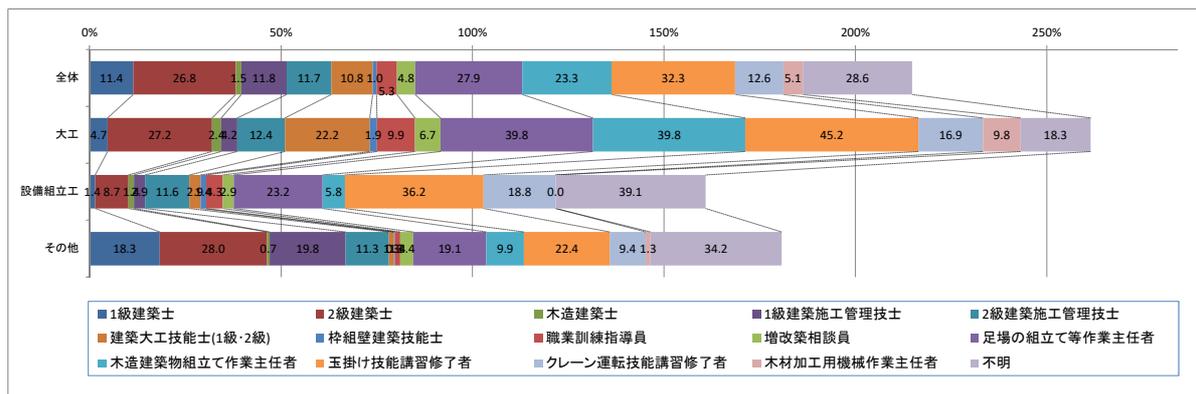


図 3.1.14# 持っている資格（H29年度）

②大工職のみ回答 墨付けができますか。

- ・「はい (67.3%)」、「いいえ (17.2%)」
- ・前回調査 (H29 年度) と同様に、全体の 7 割弱が墨付けができる。

	合計	(14)①墨付けができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	1335	67.3	17.2	15.5
職種				
大工	1335	67.3	17.2	15.5
設備組立工	1	100.0	0.0	0.0
その他	3	33.3	33.3	33.3

表 3.1.15 墨付け (H30 年度) (割合%)

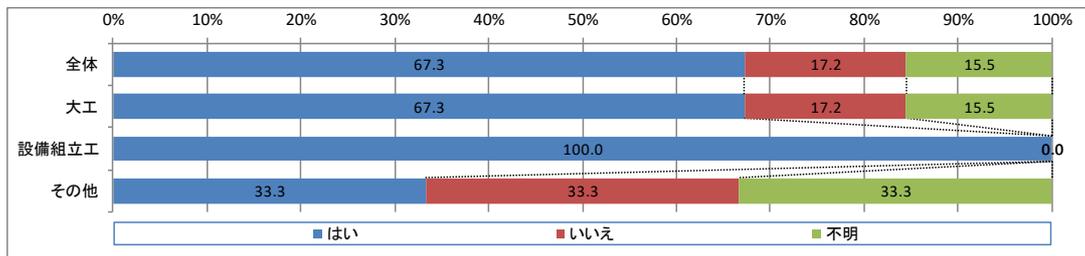


図 3.1.15 墨付け (H30 年度)

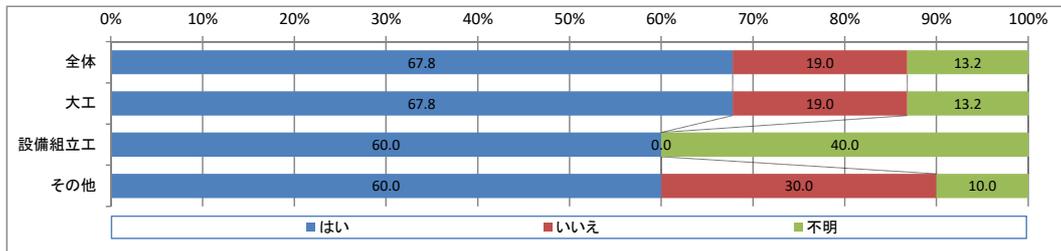


図 3.1.15# 墨付け (H29 年度)

- ③ **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(新築)
- ・「はい (20.7%)」、「いいえ (62.3%)」
 - ・前回調査 (H29 年度) と同様に、全体の2割程度が手刻みを年1棟以上行っている。

	合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	不明
全体	1335	20.7	62.3	17.0
大工	1335	20.7	62.3	17.0
設備組立工	1	0.0	100.0	0.0
その他	3	0.0	33.3	66.7

表 3.1.16 手刻み加工の仕事 (新築) (H30 年度) (割合%)

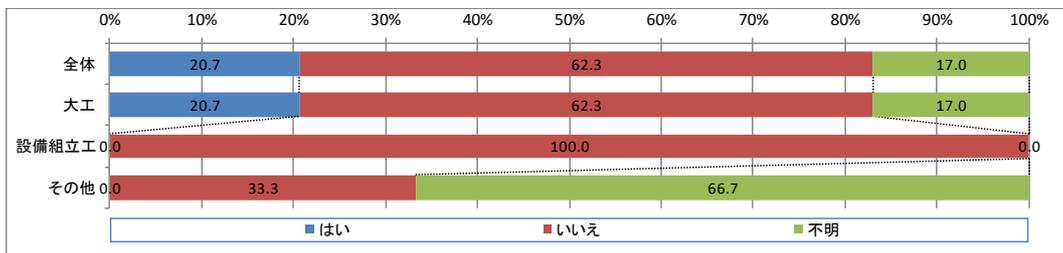


図 3.1.16 手刻み加工の仕事 (新築) (H30 年度)

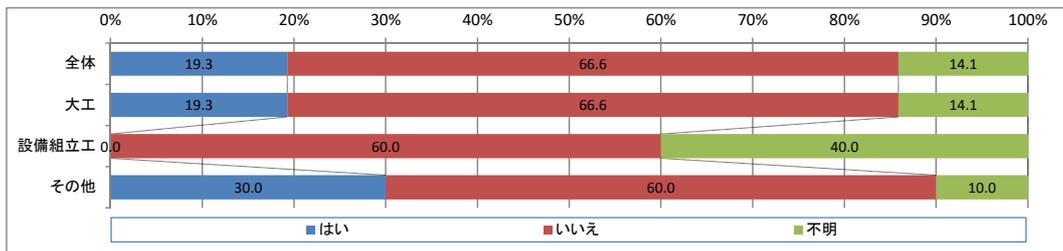


図 3.1.16 手刻み加工の仕事 (新築) (H29 年度)

④ **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(増改築)

- ・「はい (42.9%)」、「いいえ (40.2%)」
- ・前回調査 (H29 年度) と同様に、全体の 4 割強が手刻みを年 1 棟以上行っている。

	合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	不明
全体	1335	42.9	40.2	16.9
職種				
大工	1335	42.9	40.2	16.9
設備組立工	1	100.0	0.0	0.0
その他	3	33.3	0.0	66.7

表 3.1.17 手刻み加工の仕事 (増改築) (H30 年度) (割合%)

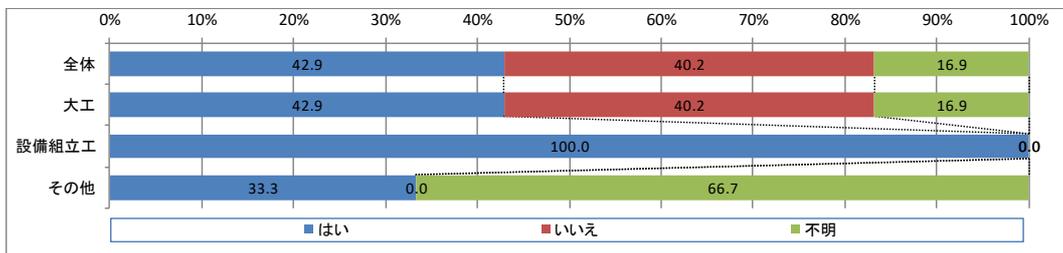


図 3.1.17 手刻み加工の仕事 (増改築) (H30 年度)

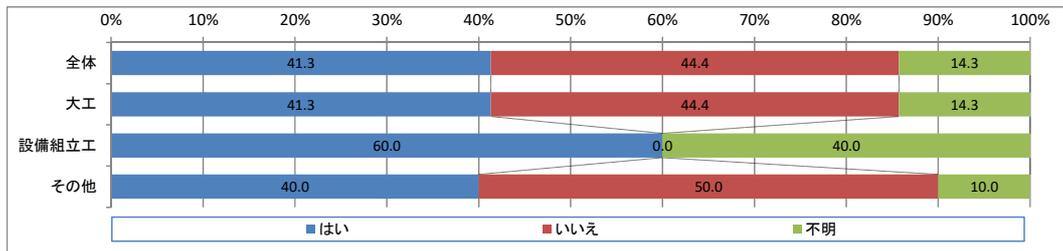


図 3.1.17# 手刻み加工の仕事 (増改築) (H29 年度)

⑤ **大工職のみ回答** 和室造作ができますか。

- ・「はい (61.6%)」、「いいえ (22.3%)」。
- ・前回調査 (H29 年度) と同様に、全体の 6 割強は和室造作ができる。

	合計	(14)④和室造作ができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	1335	61.6	22.3	16.1
職種 大工	1335	61.6	22.3	16.1
設備組立工	1	100.0	0.0	0.0
その他	3	33.3	0.0	66.7

表 3.1.18 和室造作 (H30 年度) (割合%)

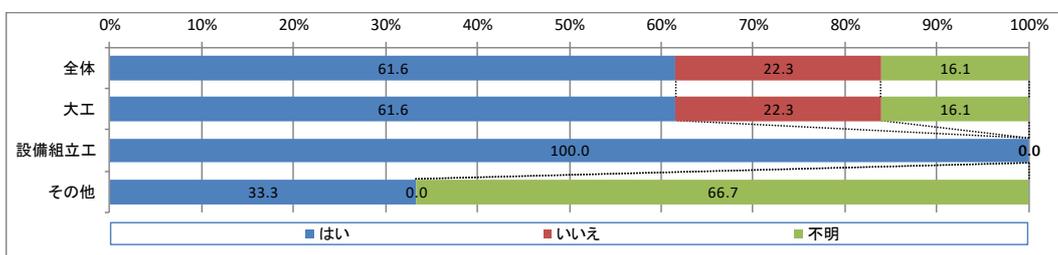


図 3.1.18 和室造作 (H30 年度)

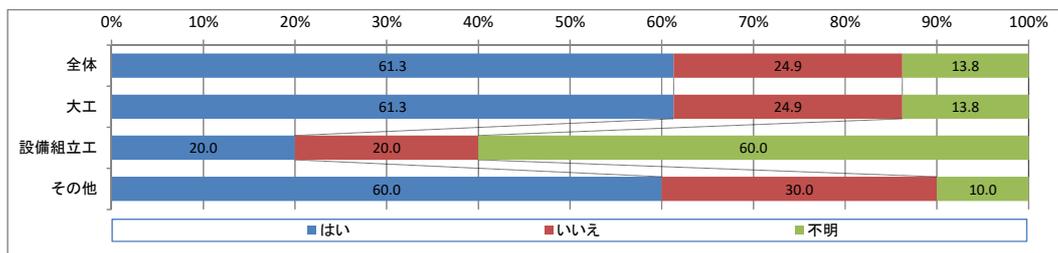


図 3.1.18# 和室造作 (H29 年度)

⑥大工職のみ回答 2×4 工法の住宅の施工ができますか。

- ・「はい (26.1%)」、「いいえ (56.6%)」。
- ・前回調査 (H29 年度) と同様に、全体の 4 分の 1 程度が 2×4 工法の住宅の施工ができる。

		合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工 ができますか		
			はい	いいえ	不明
全体		1335	26.1	56.6	17.3
職 種	大工	1335	26.1	56.6	17.3
	設備組立工	1	100.0	0.0	0.0
	その他	3	0.0	33.3	66.7

表 3.1.19 2×4 工法の住宅の施工 (H30 年度) (割合%)

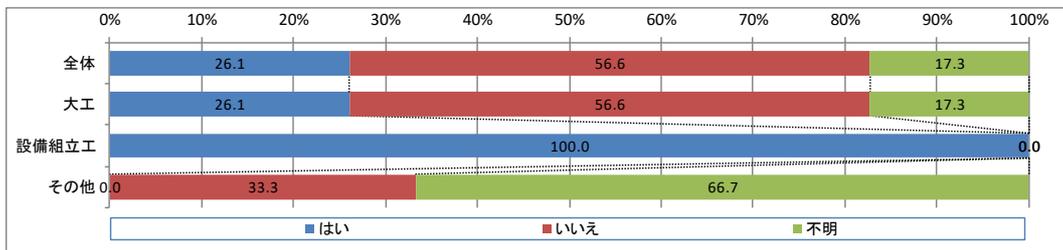


図 3.1.19 2×4 工法の住宅の施工 (H30 年度)

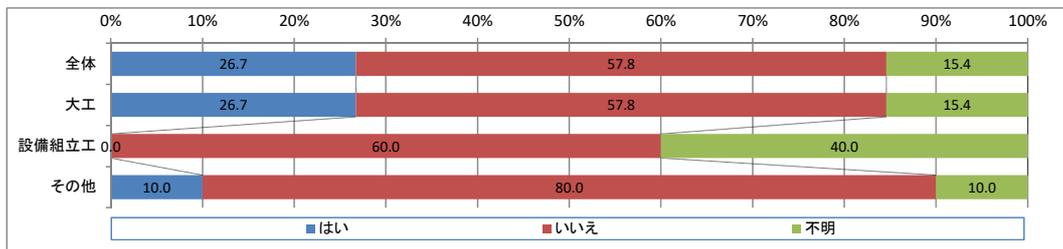


図 3.1.19# 2×4 工法の住宅の施工 (H29 年度)

(4) 仕事に対する満足度や今後の意向について

①現在の仕事の内容について満足していますか。

- ・「大工」では「とても満足している (10.5%)」、「まあ満足している (52.5%)」の合計値は 63.0%。
一方「あまり満足していない (20.8%)」、「満足していない (4.6%)」の合計値は 25.4%。
- ・「設備組立工」、「その他」と比較して「大工」は「まあ満足している」が大きい。
- ・前回調査 (H29 年度) と比較して「設備組立工」における「とても満足している」が増加し、「まあ満足している」が減少しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

		合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体		3210	9.8	44.9	16.5	3.7	25.0
職種	大工	1335	10.5	52.5	20.8	4.6	11.6
	設備組立工	50	24.0	34.0	20.0	2.0	20.0
	その他	1615	9.8	42.0	14.2	3.4	30.6

表 3.1.20 仕事の内容についての満足度 (H30 年度) (割合%)

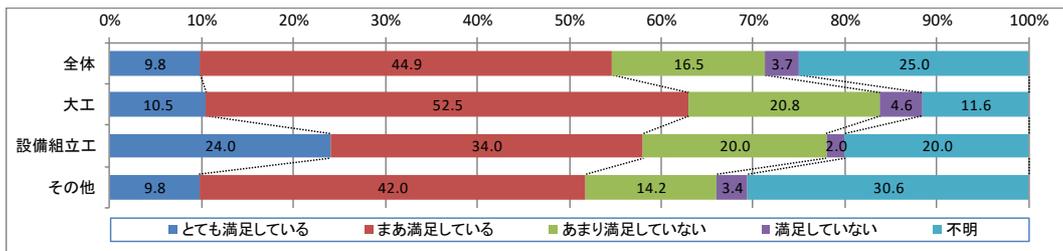


図 3.1.20 仕事の内容についての満足度 (H30 年度)

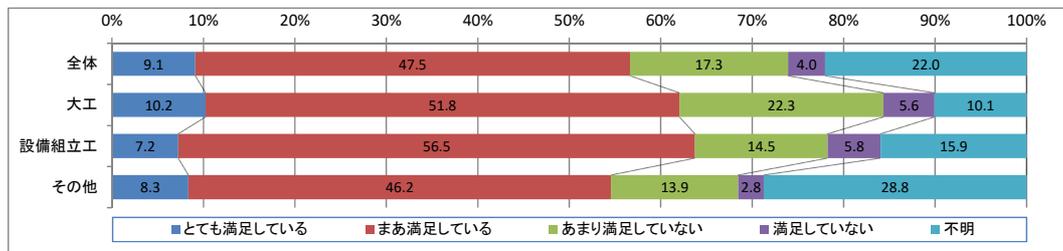


図 3.1.20# 仕事の内容についての満足度 (H29 年度)

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

- ・「大工」では「とても満足している（3.8%）」、「まあ満足している（34.0%）」の合計値は 37.8%。
一方「あまり満足していない（35.6%）」、「満足していない（14.9%）」の合計値は 50.5%。
- ・「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値が、「設備組立工（36.0%）」、「その他（34.1%）」は「大工」と比較して小さい。
- ・前回調査（H29 年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	3210	4.0	31.1	28.3	11.4	25.3
職種 大工	1335	3.8	34.0	35.6	14.9	11.7
設備組立工	50	2.0	42.0	30.0	6.0	20.0
その他	1615	4.7	30.2	24.5	9.6	31.0

表 3.1.21 収入等についての満足度（H30 年度）（割合%）

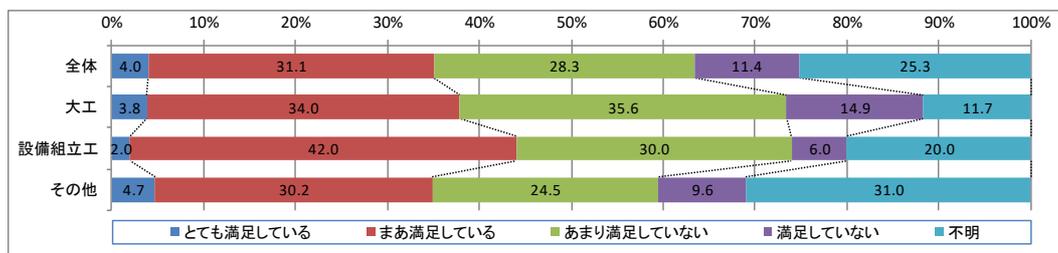


図 3.1.21 収入等についての満足度（H30 年度）

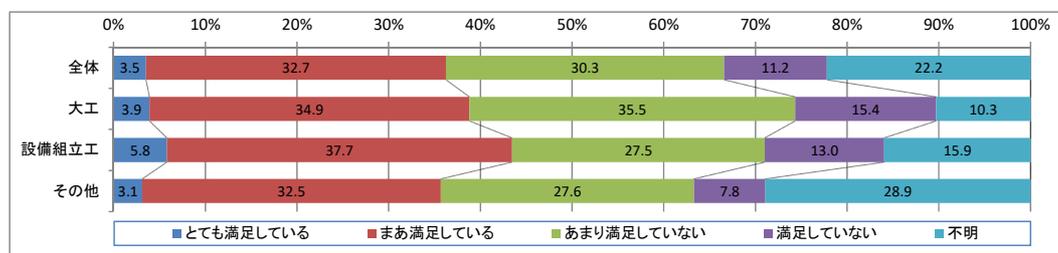


図 3.1.21# 収入等についての満足度（H29 年度）

③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

- ・「大工」では「仕事ができる限り続ける（51.4%）」が最も大きい。次いで「65歳で引退する（13.8%）」、「70歳で引退する（12.0%）」。
- ・「仕事ができる限り続ける」の割合は、「設備組立工（46.0%）」、「その他（30.5%）」は「大工」と比較して小さい。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「設備組立工」における「仕事ができる限り続ける」が増加しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか						
		60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明
全体	3210	7.4	15.7	9.3	2.4	38.5	0.7	26.0
職種								
大工	1335	6.4	13.8	12.0	3.4	51.4	0.7	12.3
設備組立工	50	8.0	14.0	10.0	2.0	46.0	0.0	20.0
その他	1615	8.8	18.4	7.7	1.8	30.5	0.8	32.0

表 3.1.22 何歳まで仕事を続ける予定か（H30年度）（割合%）

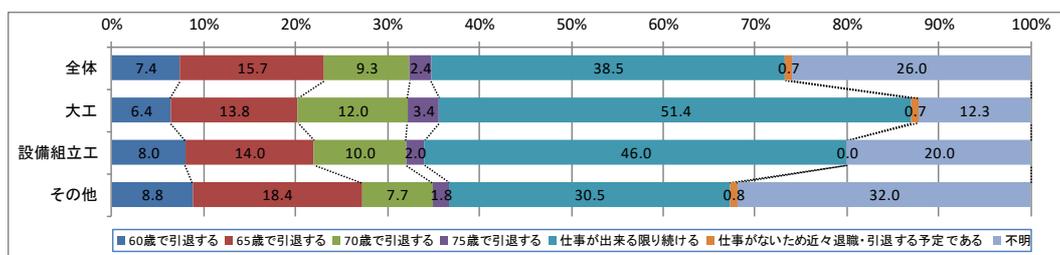


図 3.1.22 何歳まで仕事を続ける予定か（H30年度）

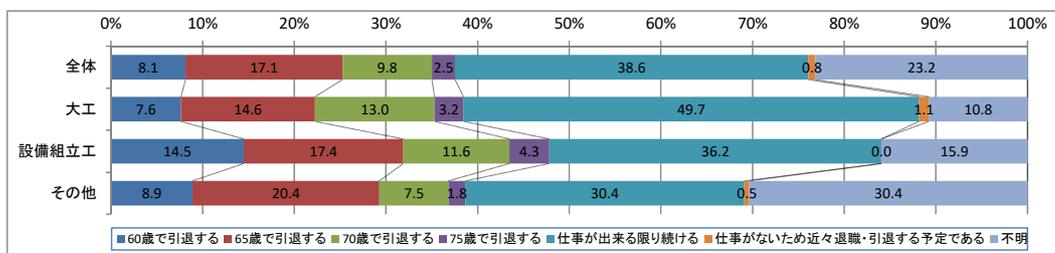


図 3.1.22# 何歳まで仕事を続ける予定か（H29年度）

(5) 担い手育成について

①現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

- ・「大工」では、「現在育てている（13.3%）」、「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい（37.4%）」であり、前回調査（H29年度）と同様に、合計値は全体の5割程度となっている。
- ・「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」の割合は、「設備組立工（12.0%）」、「その他（15.3%）」は「大工（31.2%）」と大きく差がある。
- ・前回調査（H29年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか			
		現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明
全体	3210	11.5	32.8	21.3	34.4
大工	1335	13.3	37.4	31.2	18.2
設備組立工	50	22.0	44.0	12.0	22.0
その他	1615	10.6	31.0	15.3	43.2

表 3.1.23 担い手の育成状況（H30年度）（割合%）

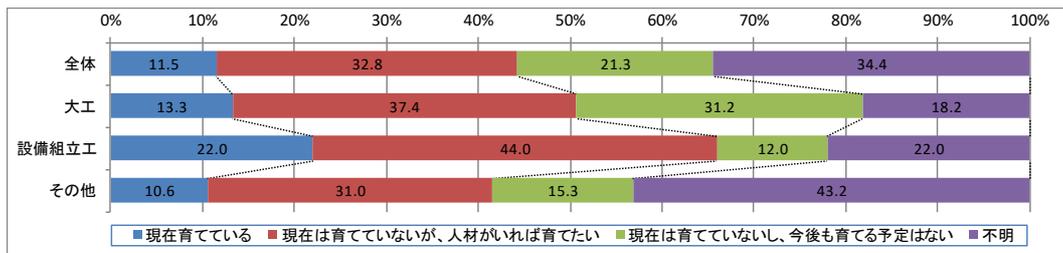


図 3.1.23 担い手の育成状況（H30年度）

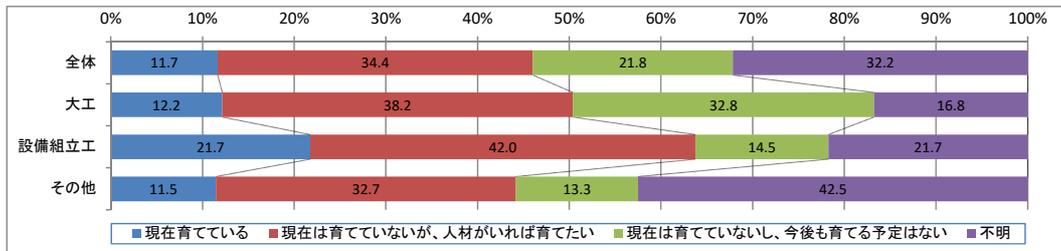


図 3.1.23# 担い手の育成状況（H29年度）

② 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

- ・「大工」の育成期間の担い手の立場は、「正社員（職業訓練校・弟子として）（88.7%）」、「一人親方等にあずける（職業訓練校・弟子として）（9.6%）」。
- ・「大工」では、「正社員（弟子として）（70.1%）」が最も大きい。次いで「正社員（職業訓練校）（18.6%）」、「一人親方等にあずける（弟子として）（8.5%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「大工」の「一人親方等にあずける（職業訓練校・弟子として）」が減少し、「正社員（職業訓練校・弟子として）」が増加している。

	合計	(19)育成期間の担い手の立場				
		正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親方 等にあずける (職業訓練校)	一人親方 等にあずける (弟子として)	不明
全体	369	26.0	58.8	1.9	6.2	7.0
大工	177	18.6	70.1	1.1	8.5	1.7
設備組立工	11	27.3	54.5	9.1	9.1	0.0
その他	171	33.9	48.5	1.8	4.1	11.7

表 3.1.24 育成期間の担い手の立場（H30年度）（割合%）

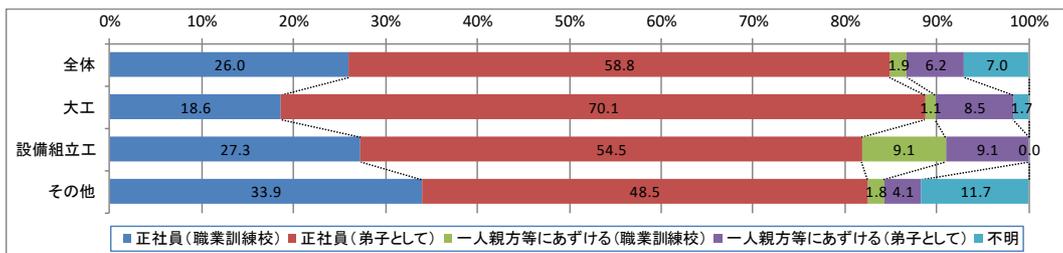


図 3.1.24 育成期間の担い手の立場（H30年度）

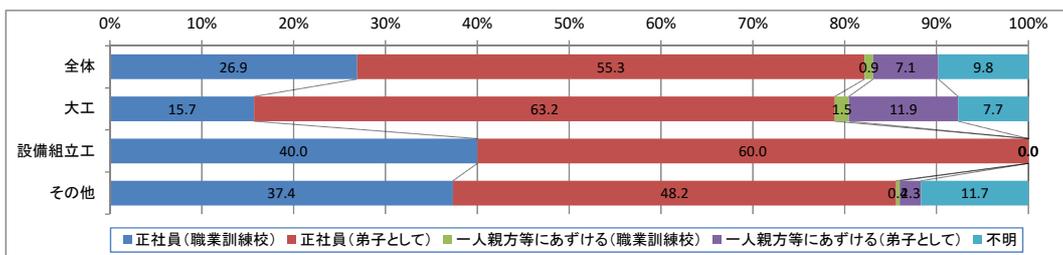


図 3.1.24# 育成期間の担い手の立場（H29年度）

③ 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成にかかる費用負担

- ・「大工」では「有る（32.8%）」、「無い（15.3%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「設備組立工」の「無い」が減少し、「有る」が増加しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
		有	無	不明
全体	369	28.2	13.3	58.5
職種 大工	177	32.8	15.3	52.0
設備組立工	11	36.4	9.1	54.5
その他	171	24.0	12.3	63.7

表 3.1.25 育成期間にかかる費用負担（H30年度）（割合%）

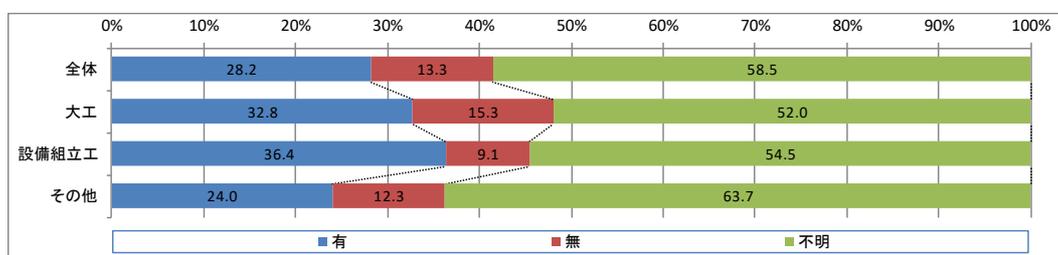


図 3.1.25 育成期間にかかる費用負担（H30年度）

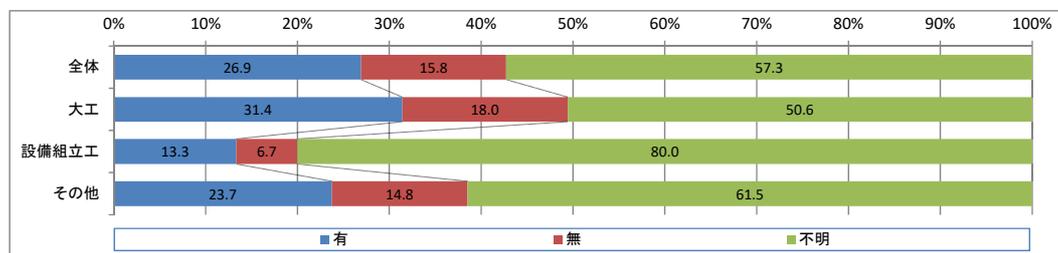


図 3.1.25# 育成期間にかかる費用負担（H29年度）

④「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答

なぜ育てる予定はないのか。

- ・「大工」では「将来の保障ができないため（36.5%）」が最も大きい。次いで「人材がいないため（21.9%）」、「費用がかかるため（17.8%）」、「新築が少ないため（16.3%）」である。また育成に係る費用負担の項目である「費用がかかるため」、「新築が少ないため」を合算すると 33.9% となる。
- ・「設備組立工」では「将来の保障ができないため（50.0%）」、「その他」では「人材がいないため（25.9%）」が最も大きい。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「設備組立工」では「育てても、一人前になると辞めてしまう」、「将来の保障ができないため」、「年齢のため」が増加し、その他の項目が減少している。

職種	合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がいないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカートのため	新築が少ないため	その他	不明
全体	684	6.4	6.6	14.9	1.9	22.8	13.6	27.8	14.8	5.3	11.5	9.4	14.8
大工	416	7.7	7.9	17.8	2.9	21.9	15.9	36.5	15.1	7.7	16.3	5.3	10.8
設備組立工	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7
その他	247	4.5	4.0	10.1	0.4	25.9	10.9	12.6	14.6	1.2	17.0	20.2	20.2

表 3.1.26 なぜ育てる予定はないのか（H30年度）（割合%）

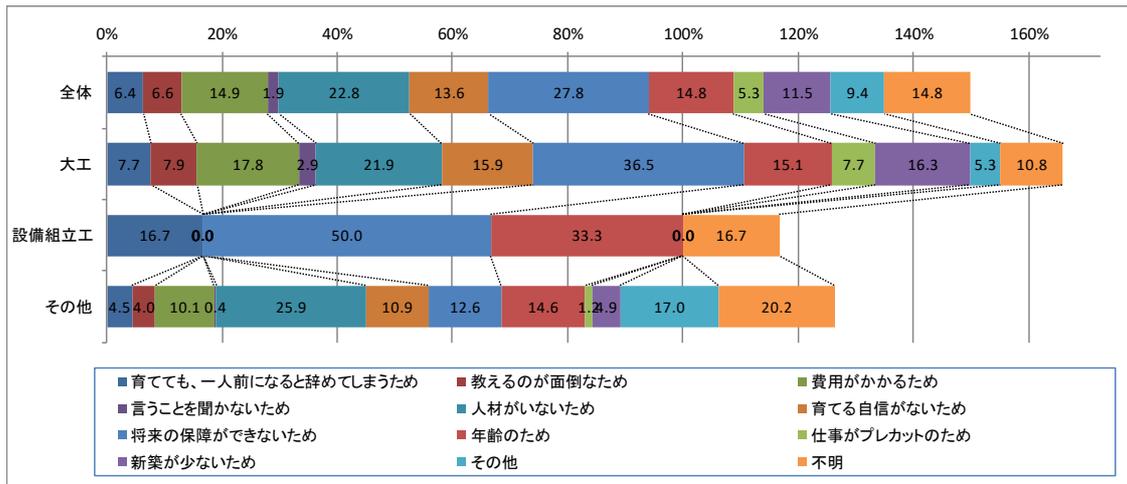


図 3.1.26 なぜ育てる予定はないのか（H30年度）

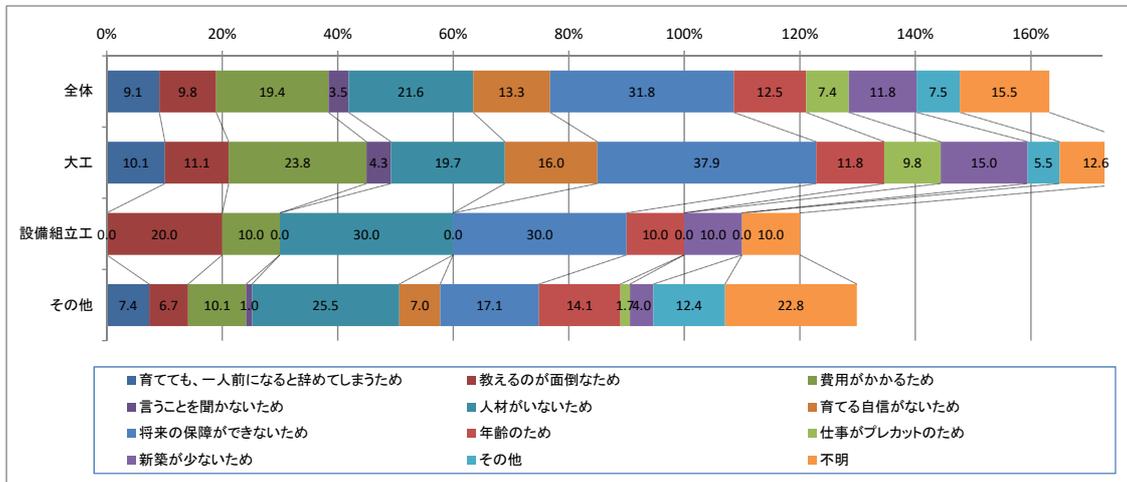


図 3.1.26# なぜ育てる予定はないのか（H29年度）

⑤担い手育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。

- ・「大工」では「10万円/月（25.4%）」が最も大きい。次いで「15万円/月（19.0%）」、「5万円/月（12.6%）」。また、「その他」も「10万円/月（16.7%）」が最も大きい。
- ・「設備組立工」では「5万円/月（20.0%）」が最も大きい。次いで「15万円/月（16.0%）」、「10万円/月（14.0%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「設備組立工」では「10万円/月」が減少し、「3万円/月」が増加している。

	合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か					
		3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明
全体	3210	4.1	10.8	19.6	12.7	3.6	49.2
職種							
大工	1335	5.4	12.6	25.4	19.0	3.7	33.9
設備組立工	50	10.0	20.0	14.0	16.0	6.0	34.0
その他	1615	3.3	9.7	16.7	8.5	3.7	58.2

表 3.1.27 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H30年度）（割合%）

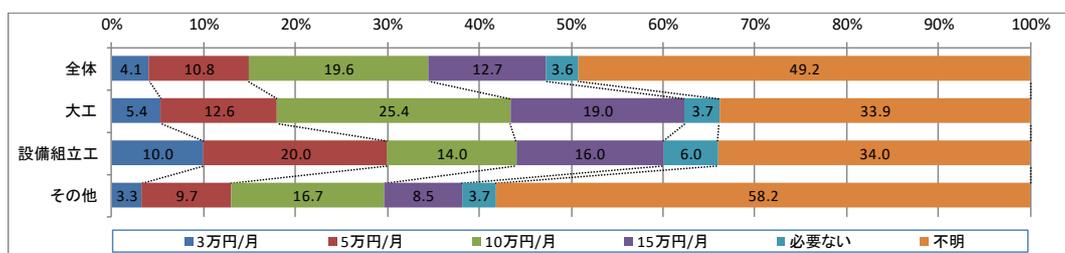


図 3.1.27 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H30年度）

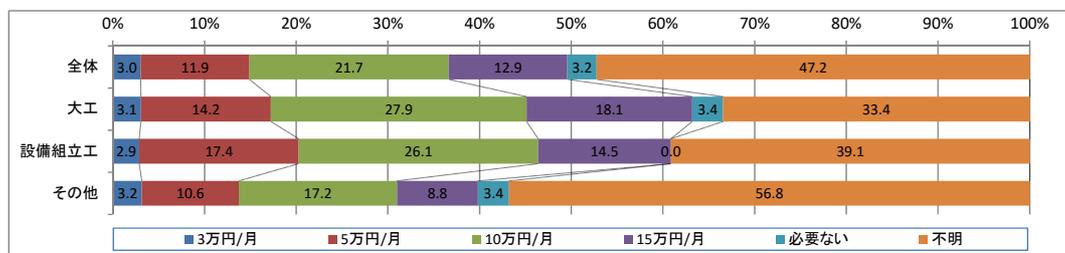


図 3.1.27# 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H29年度）

2. 地域別集計

(1) 職業等について

①年齢

- ・地域別の平均年齢は「四国（51.90歳）」で最も高い。「九州・沖縄（40.48歳）」で最も低い。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「北海道」、「東北」、「関東」、「中部」、「近畿」、「中国」、「四国」では平均年齢が上がっている。一方「北陸」、「九州・沖縄」では平均年齢が下がっている。

	合計	(1)年齢								平均
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	
全体	1335	1.6	15.0	19.7	25.2	16.6	17.6	3.0	1.3	45.06
地域										
北海道	20	0.0	35.0	10.0	0.0	15.0	35.0	5.0	0.0	46.70
東北	240	2.1	22.9	15.4	20.8	15.8	20.8	2.1	0.0	43.89
関東	260	0.4	13.5	18.8	28.1	16.5	17.7	3.5	1.5	45.83
北陸	64	4.7	3.1	28.1	39.1	12.5	7.8	0.0	4.7	41.85
中部	185	1.1	11.9	21.6	25.4	16.2	22.2	0.5	1.1	45.93
近畿	137	0.7	12.4	14.6	33.6	16.8	15.3	2.9	3.6	45.81
中国	134	2.2	14.2	26.1	23.9	17.2	14.2	2.2	0.0	43.37
四国	138	0.7	8.7	10.1	21.7	21.7	26.1	9.4	1.4	51.90
九州・沖縄	157	3.8	19.7	30.6	21.0	15.3	6.4	2.5	0.6	40.48

表 3.2.1 年齢(H30年度) (割合%)

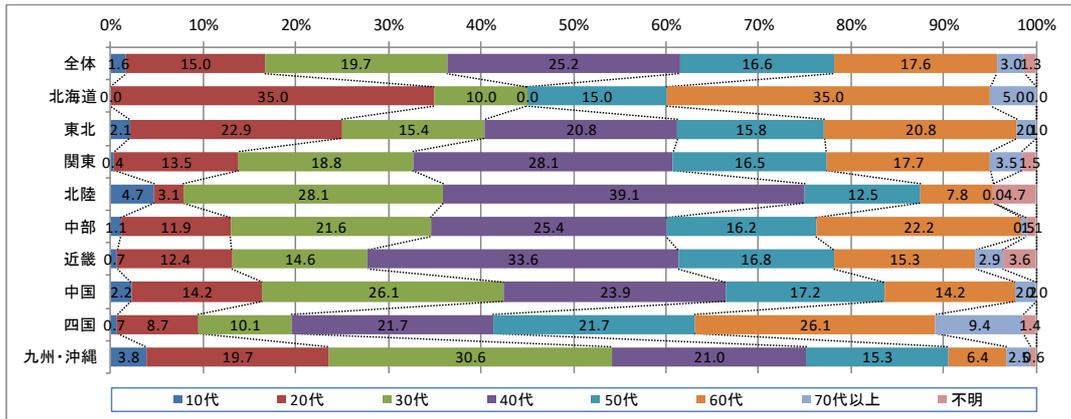


図 3.2.1 年齢(H30年度)

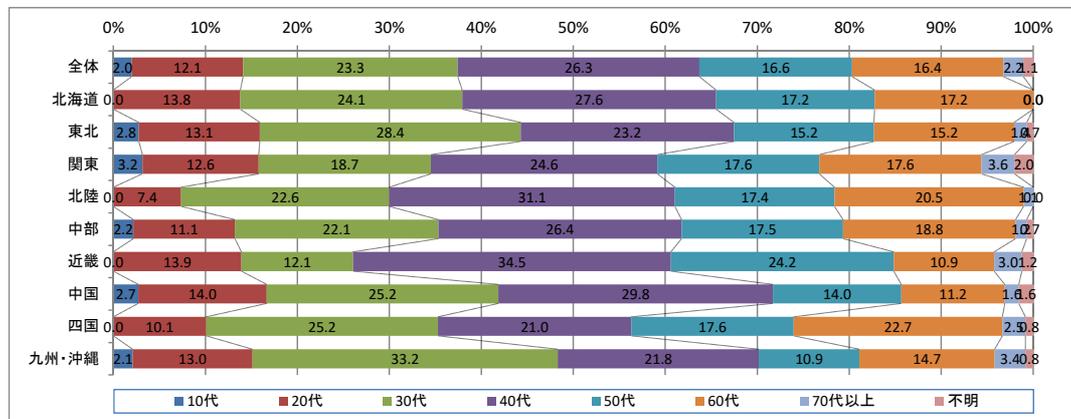


図 3.2.1# 年齢(H29年度)

②性別

- ・「女性」は「北海道 (5.0%)」、「東北 (2.5%)」「関東 (0.8%)」「北陸 (3.1%)」、「中部 (1.1%)」、「近畿 (0.7%)」「中国 (0.7%)」「九州・沖縄 (1.3%)」であった。
- ・今年度の調査は「四国」で「女性」の回答は得られなかった。
- ・前回調査 (H29 年度) と比較して「四国」以外の地域で「女性」が増加しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(2)性別		
		男	女	不明
全体	1335	97.7	1.3	1.0
地域				
北海道	20	90.0	5.0	5.0
東北	240	97.1	2.5	0.4
関東	260	98.1	0.8	1.2
北陸	64	96.9	3.1	0.0
中部	185	97.8	1.1	1.1
近畿	137	97.1	0.7	2.2
中国	134	99.3	0.7	0.0
四国	138	97.8	0.0	2.2
九州・沖縄	157	98.1	1.3	0.6

表 3.2.2 性別(H30 年度) (割合%)

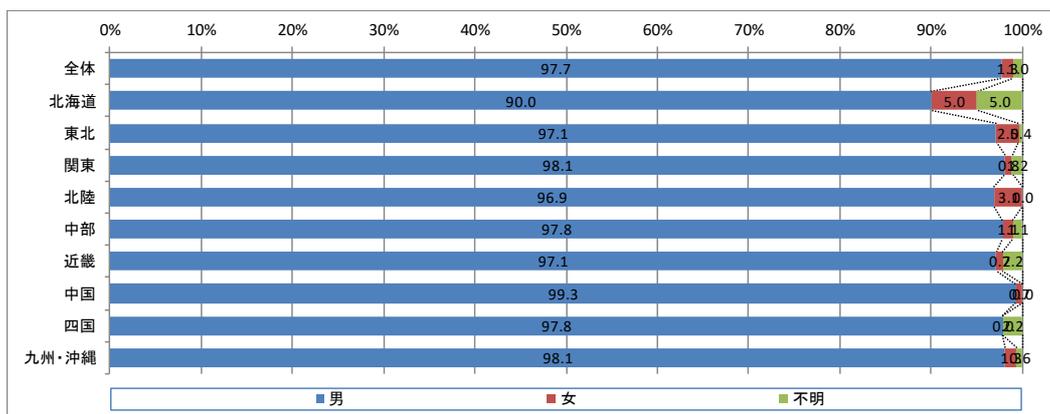


図 3.2.2 性別(H30 年度)

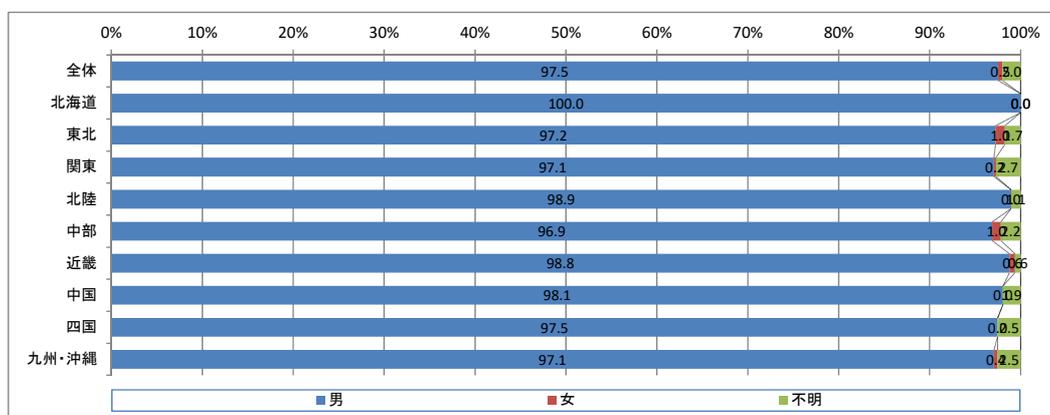


図 3.2.2# 性別(H29 年度)

③職種の経験年数

- ・「北海道」を除いた各地域に共通して「21～30年」の割合が大きい。
- ・「3年未満」は「北海道(20.0%)」が最も大きい。次いで「九州・沖縄(17.2%)」、「東北(12.5%)」。
- ・「41～50年」は「北海道(40.0%)」が最も大きい。次いで「中部(17.8%)」、「四国(16.7%)」。
- ・前回調査(H29年度)と比較して北海道で「11～20年」～「31～40年」が減少し、「3年未満」、「6～10年」、「41～50年」が増加している。また、「四国」で「11～20年」が減少し、「31～40年」、「51年以上」が増加している。その他の地域では全体的な構成に大きな変化はない。

地域	合計	(4)職種の経験年数								
		3年未満	3～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51年以上	不明
全体	1335	9.4	6.7	7.9	19.8	24.1	14.2	13.4	3.8	0.7
北海道	20	20.0	5.0	20.0	0.0	5.0	5.0	40.0	5.0	0.0
東北	240	12.5	8.3	10.8	15.4	19.2	12.5	16.3	4.2	0.8
関東	260	8.1	7.3	8.1	15.8	29.2	13.5	13.1	5.0	0.0
北陸	64	9.4	0.0	7.8	31.3	32.8	10.9	6.3	0.0	1.6
中部	185	5.9	8.6	5.4	22.7	21.6	16.2	17.8	1.1	0.5
近畿	137	7.3	3.6	10.2	19.7	30.7	16.1	10.9	1.5	0.0
中国	134	9.0	8.2	7.5	28.4	21.6	12.7	9.7	3.0	0.0
四国	138	3.6	4.3	3.6	12.3	23.2	23.2	16.7	10.9	2.2
九州・沖縄	157	17.2	7.0	6.4	26.8	22.3	9.6	6.4	2.5	1.9

表 3.2.3 職種の経験年数(H30年度) (割合%)

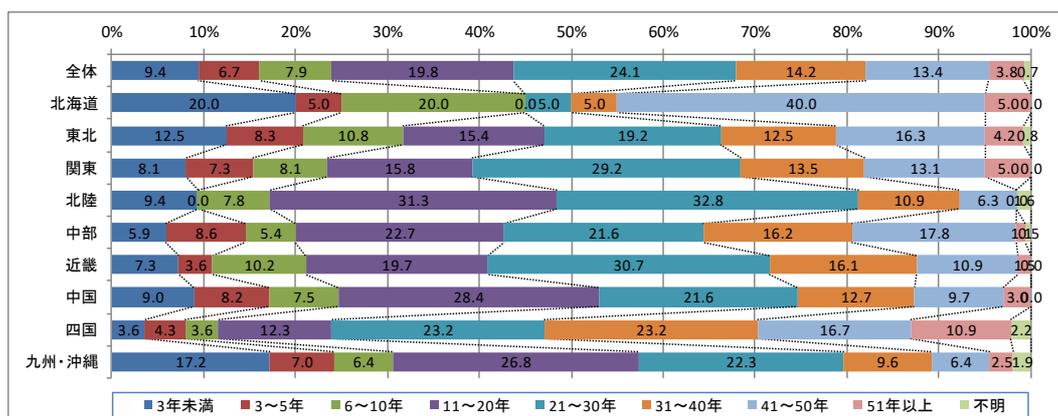


図 3.2.3 職種の経験年数(H30年度)

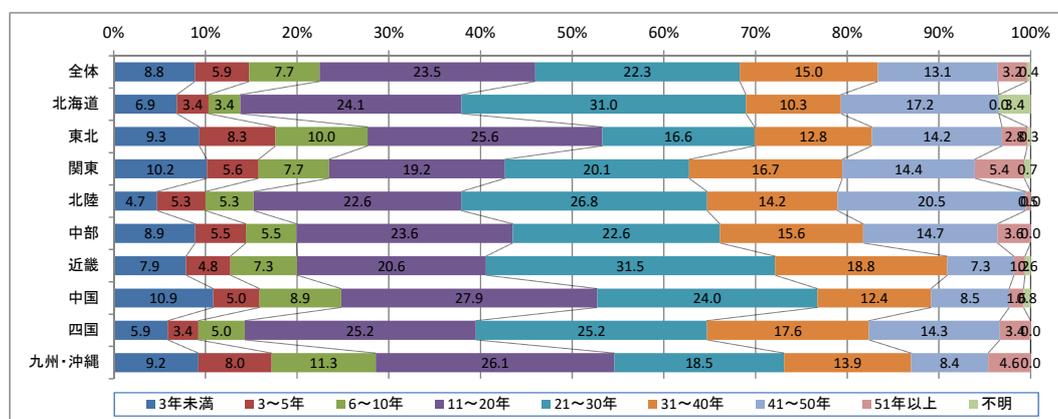


図 3.2.3# 職種の経験年数(H29年度)

⑤職種においてベテランだと思いませんか。

- ・「ベテラン」は「北海道 (30.0%)」が最も大きい。次いで「四国 (26.1%)」、「近畿 (21.9%)」。
- ・「ややベテラン」は「近畿 (24.1%)」が最も大きい。次いで「四国 (23.9%)」、「中国 (22.4%)」。
- ・「中堅」は「北陸 (43.8%)」が最も大きい。次いで「関東、九州・沖縄 (33.8%)」、「中部 (33.0%)」。
- ・「やや中堅」は「北陸 (17.2%)」が最も大きい。次いで「東北 (12.5%)」、「中国 (11.2%)」。
- ・「見習い」は「北海道 (25.0%)」が最も大きい。次いで「九州・沖縄 (22.9%)」、「東北 (19.2%)」。
- ・前回調査 (H29 年度) と比較して「北海道」で「中堅」、「やや中堅」が減少し、「ベテラン」、「見習い」が増加している。また、「北陸」で「ややベテラン」、「ベテラン」が減少し、「中堅」が増加している。また、「四国」で「見習い」が減少し、「ベテラン」が増加している。その他の地域で全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(5)あなたのベテラン度合いについて					
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明
全体	1335	18.1	20.7	31.4	10.9	15.9	3.0
地域							
北海道	20	30.0	10.0	30.0	0.0	25.0	5.0
東北	240	17.5	20.4	27.5	12.5	19.2	2.9
関東	260	16.5	21.9	33.8	10.4	14.6	2.7
北陸	64	14.1	12.5	43.8	17.2	9.4	3.1
中部	185	18.9	22.2	33.0	10.8	14.1	1.1
近畿	137	21.9	24.1	29.2	10.9	12.4	1.5
中国	134	14.2	22.4	32.8	11.2	17.9	1.5
四国	138	26.1	23.9	23.9	8.7	10.1	7.2
九州・沖縄	157	14.0	15.3	33.8	9.6	22.9	4.5

表 3.2.4 職種のベテラン度合(H30 年度) (割合%)

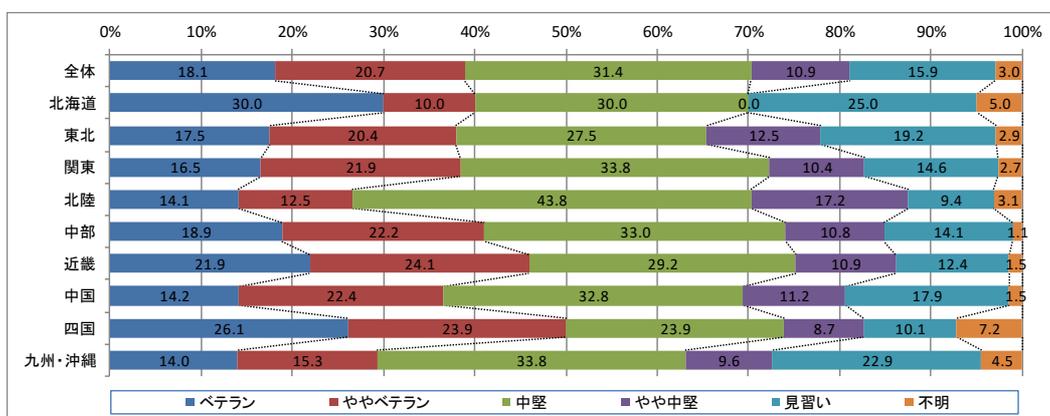


図 3.2.4 職種のベテラン度合(H30 年度)

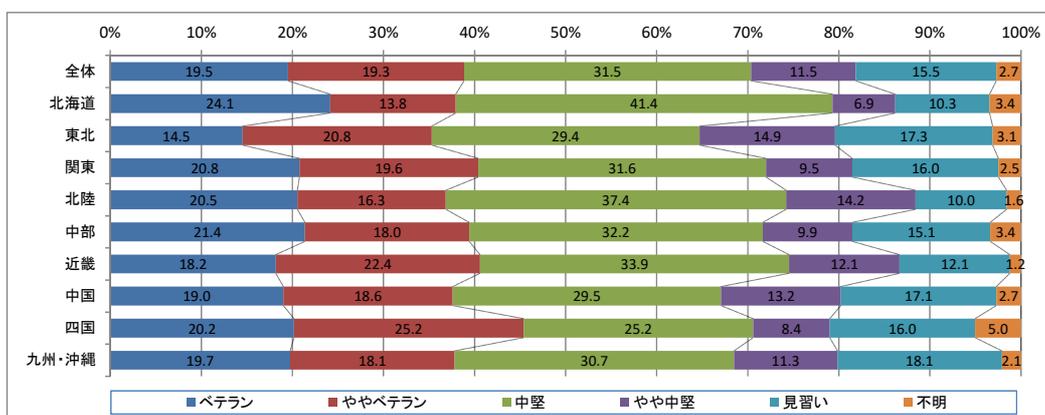


図 3.2.4# 職種のベテラン度合(H29 年度)

(2) 雇用形態について

①雇用形態（工務店等との）

- ・「工務店社員」は「北海道（75.0%）」が最も大きい。次いで「北陸（54.7%）」、「東北（53.8%）」。
- ・「外注常用（日当制）」は「四国（15.2%）」が最も大きい。次いで「北海道（15.0%）」、「中部（13.0%）」。
- ・「外注常用（坪請主体）」は「中部（13.0%）」が最も大きい。次いで「四国（12.3%）」、「関東（11.2%）」。
- ・「その都度契約」は「北陸（7.8%）」が最も大きい。次いで「中国（6.0%）」、「中部（5.9%）」。
- ・「元請として仕事」は「近畿（52.6%）」が最も大きい。次いで「四国（42.8%）」、「関東（38.1%）」。
- ・「その他（アルバイト等）」は「東北（3.3%）」が最も大きい。次いで「関東（1.9%）」、「中国（1.5%）」。
- ・「関東」、「近畿」、「四国」では「元請として仕事」が多く、他の地域は「工務店社員」が多い。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「北海道」、「北陸」、「中国」で「外注常用（坪請主体）」が減少し、「工務店社員」が占める割合が高くなっている。一方「近畿」、「四国」で「工務店社員」が減少し、「元請として仕事」が増加している。

	合計	(6)あなたの雇用形態						
		工務店社員	外注常用(日当制)	外注常用(坪請主体)	その都度契約	元請として仕事	その他(アルバイト等)	不明
全体	1335	39.3	9.2	8.5	4.3	33.9	1.3	3.4
地域								
北海道	20	75.0	15.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
東北	240	53.8	6.7	2.9	1.7	27.9	3.3	3.8
関東	260	33.5	6.2	11.2	5.4	38.1	1.9	3.8
北陸	64	54.7	7.8	6.3	7.8	21.9	0.0	1.6
中部	185	34.1	13.0	13.0	5.9	32.4	0.0	1.6
近畿	137	31.4	9.5	2.9	2.2	52.6	0.7	0.7
中国	134	41.8	10.4	9.0	6.0	27.6	1.5	3.7
四国	138	18.8	15.2	12.3	5.8	42.8	0.7	4.3
九州・沖縄	157	45.2	7.0	10.2	3.2	26.8	0.6	7.0

表 3.2.5 雇用形態(H30年度) (割合%)

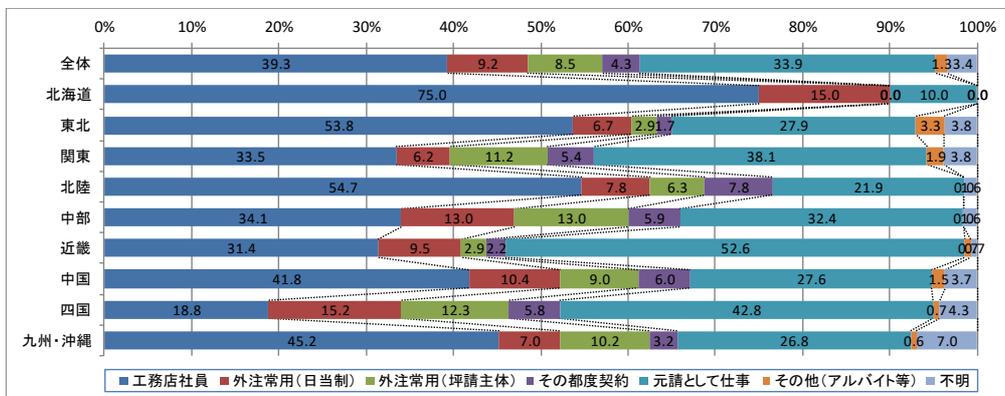


図 3.2.5 雇用形態(H30年度)

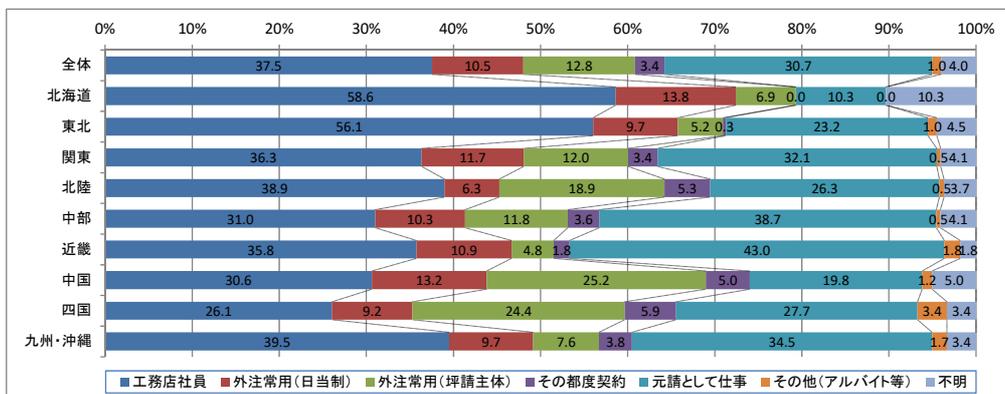


図 3.2.5# 雇用形態(H29年度)

②就業規則

- ・「有る」は「北海道 (50.0%)」が最も大きい。次いで「東北 (45.8%)」、「北陸 (43.8%)」。
- ・「無い」は「四国 (64.5%)」が最も大きい。次いで「中部 (58.4%)」、「関東 (57.7%)」。他に、「近畿 (48.9%)」、「中国 (47.0%)」が高い値となっている。
- ・前回調査 (H29 年度) と比較して「有る」との回答は「東北」、「北陸」、「中部」、「近畿」、「中国」、「九州・沖縄」で増加し、その他の地域では減少している。

	合計	(7)就業規則		
		有	無	不明
全体	1335	30.3	48.3	21.3
地域				
北海道	20	50.0	30.0	20.0
東北	240	45.8	33.3	20.8
関東	260	21.5	57.7	20.8
北陸	64	43.8	35.9	20.3
中部	185	26.5	58.4	15.1
近畿	137	30.7	48.9	20.4
中国	134	31.3	47.0	21.6
四国	138	13.8	64.5	21.7
九州・沖縄	157	31.2	37.6	31.2

表 3.2.6 就業規則(H30 年度) (割合%)

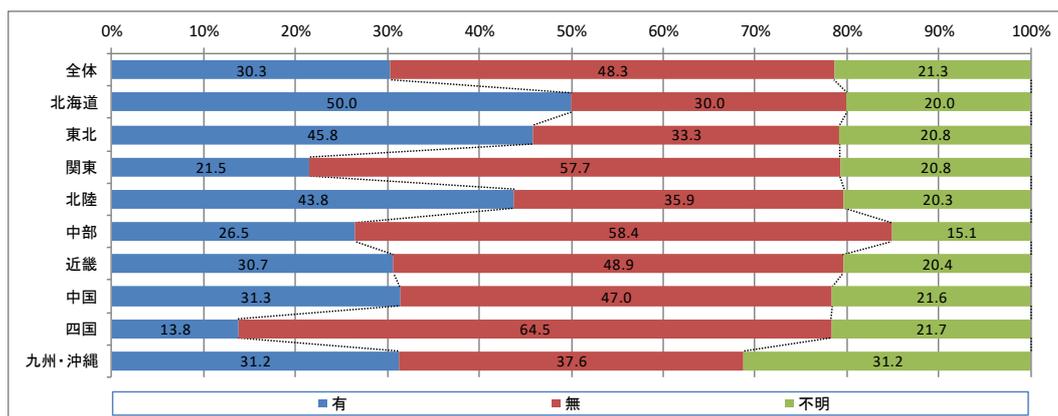


図 3.2.6 就業規則(H30 年度)

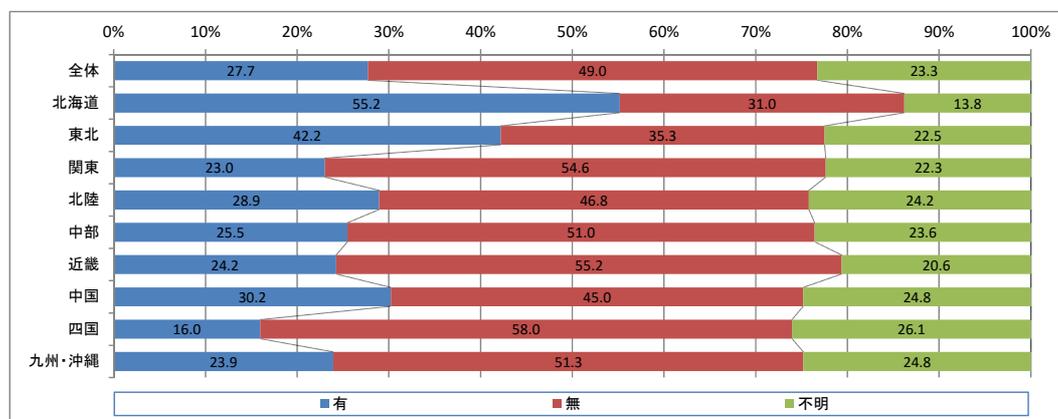


図 3.2.6# 就業規則(H29 年度)

③有給休暇

- ・「有る」は「北海道（35.0%）」が最も大きい。次いで「北陸（25.0%）」、「東北（22.9%）」。
- ・「無い」は「関東（66.2%）」が最も大きい。次いで「中部（65.9%）」、「四国（64.5%）」だが、「北海道（45.0%）」を除き、すべて高い値となっている。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「有る」との回答は「北海道」、「東北」、「北陸」、「近畿」「中国」で増加し、その他の地域では減少している。

	合計	(8)有給休暇		
		有	無	不明
全体	1335	16.3	59.7	24.0
地域				
北海道	20	35.0	45.0	20.0
東北	240	22.9	54.2	22.9
関東	260	11.2	66.2	22.7
北陸	64	25.0	62.5	12.5
中部	185	13.5	65.9	20.5
近畿	137	19.0	56.2	24.8
中国	134	20.9	53.7	25.4
四国	138	4.3	64.5	31.2
九州・沖縄	157	16.6	54.8	28.7

表 3.2.7 有給休暇(H30年度) (割合%)

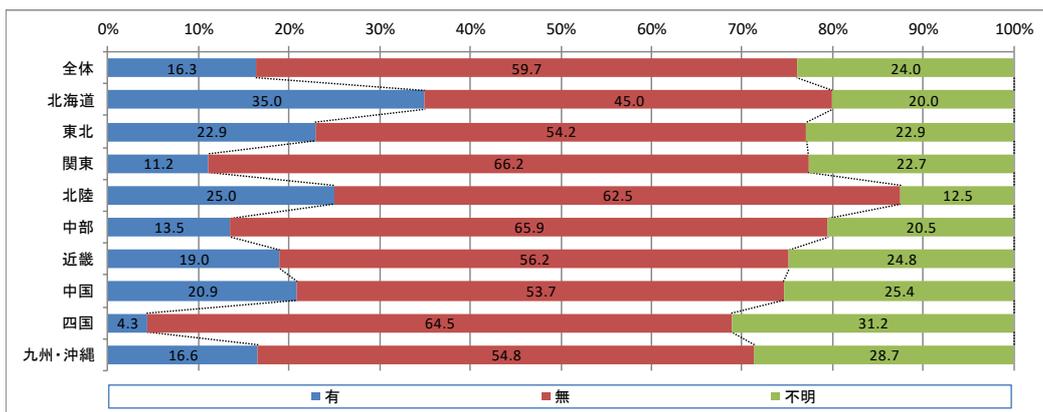


図 3.2.7 有給休暇(H30年度)

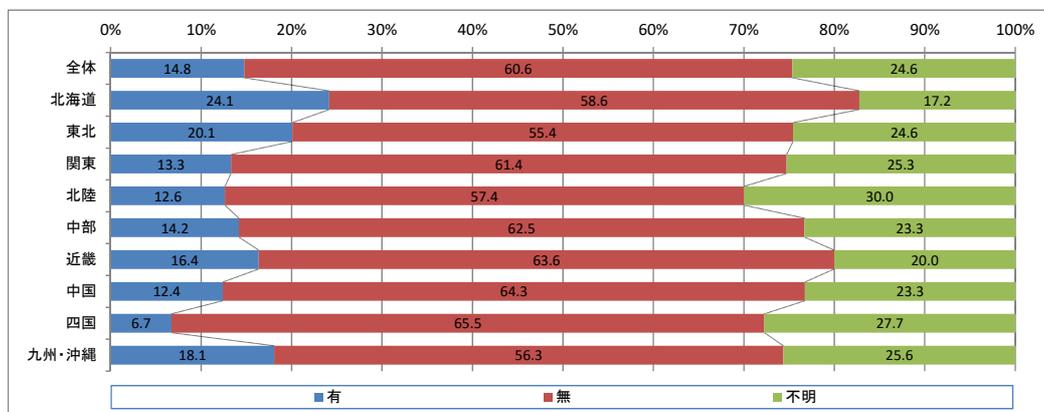


図 3.2.7# 有給休暇(H29年度)

④年間就業日数

- 平均年間就業日数は「関東（266.60日）」が最も多い。次いで「中部（262.56日）」、「北陸（260.71日）」。「一方「北海道（237.40日）」が最も少ない。次いで「九州・沖縄（254.58日）」、「東北（255.27日）」。
- 平均年間就業日数が最も多い地域と少ない地域では29.2日の差がみられた。また、平均年間就業日数が260日未満（年間休日105日）の地域は「北海道」「東北」「近畿」「四国」「九州・沖縄」であった。
- 前回調査（H29年度）と比較して「東北」「関東」「北陸」「中部」では平均年間就業日数が増加し、その他の地域では減少している。

	合計	(9)年間就業日数							平均
		100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上	不明	
全体	1335	3.0	1.5	0.9	5.8	18.3	21.9	48.6	259.68
地域									
北海道	20	5.0	0.0	5.0	5.0	15.0	20.0	50.0	237.40
東北	240	1.7	3.3	1.3	7.1	23.8	16.7	46.3	255.27
関東	260	2.7	0.0	0.8	4.6	15.8	21.2	55.0	266.60
北陸	64	1.6	3.1	0.0	4.7	28.1	17.2	45.3	260.71
中部	185	4.3	1.1	1.1	4.3	18.9	29.2	41.1	262.56
近畿	137	2.9	0.7	1.5	5.8	21.9	21.2	46.0	258.51
中国	134	3.0	2.2	0.7	9.7	10.4	29.1	44.8	260.57
四国	138	2.9	1.4	0.0	6.5	15.9	23.2	50.0	259.71
九州・沖縄	157	4.5	1.3	0.6	4.5	15.3	17.8	56.1	254.58

表 3.2.8 年間就業日数(H30年度) (割合%)

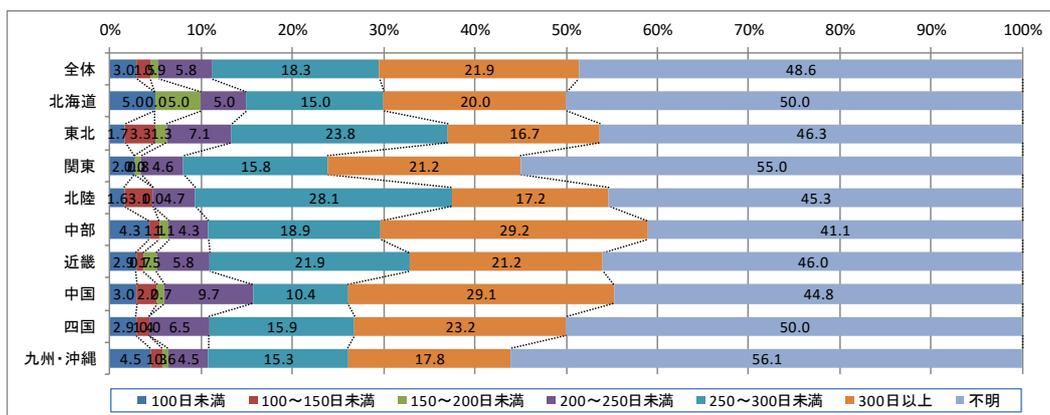


図 3.2.8 年間就業日数(H30年度)

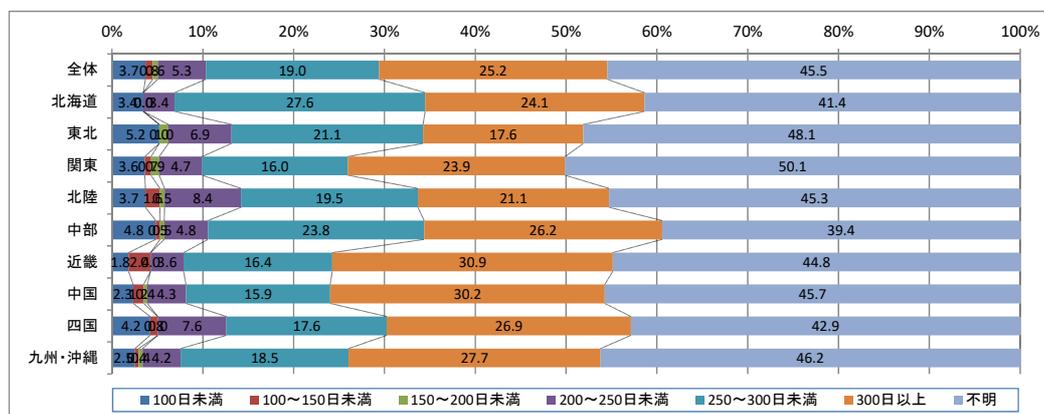


図 3.2.8# 年間就業日数(H29年度)

⑤保険等について

1) 年金保険

- ・「厚生年金」、「国民年金」、「企業年金」の合計値は「近畿（91.3%）」が最も大きい。次いで「北陸（89.1%）」、「中部（88.7%）」。一方「四国（76.7%）」が最も小さい。次いで「九州・沖縄（82.8%）」、「北海道（85.0%）」。
- ・「厚生年金」は「東北（45.8%）」が最も大きい。次いで「北海道（45.0%）」、「中国（44.8%）」。
- ・「国民年金」は「四国（56.5%）」が最も大きい。次いで「関東（55.8%）」、「中部（54.6%）」。
- ・前回調査（H29年度）では「厚生年金」、「国民年金」、「企業年金」の合計値が「北海道」、「北陸」、「中部」で90%を越していたが、今年度は下回っている。

	合計	(10-1)加入している年金			
		厚生年金	国民年金	企業年金	不明
全体	1335	36.6	48.3	1.1	15.8
地域					
北海道	20	45.0	40.0	0.0	20.0
東北	240	45.8	41.3	0.8	15.0
関東	260	29.6	55.8	0.4	15.8
北陸	64	40.6	46.9	1.6	14.1
中部	185	33.0	54.6	1.1	11.9
近畿	137	38.0	50.4	2.9	10.9
中国	134	44.8	41.0	0.7	16.4
四国	138	18.8	56.5	1.4	24.6
九州・沖縄	157	43.3	38.2	1.3	17.8

表 3.2.9 年金保険(H30年度) (割合%)

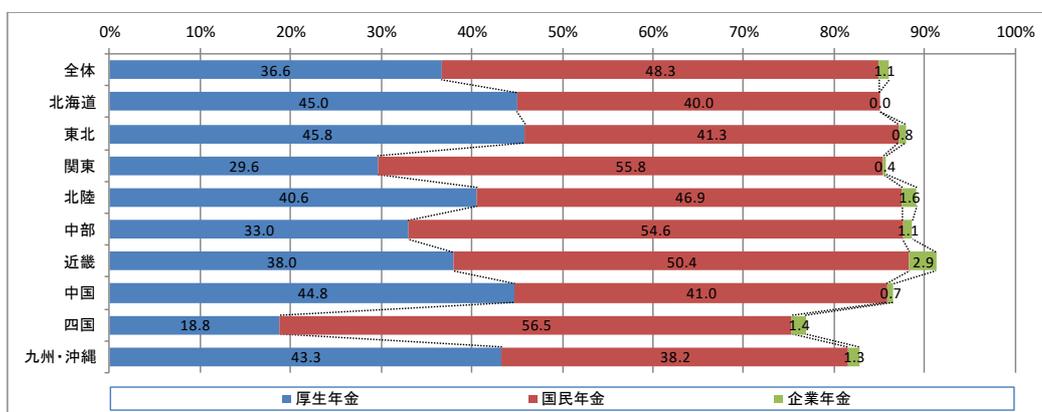


図 3.2.9 年金保険(H30年度)

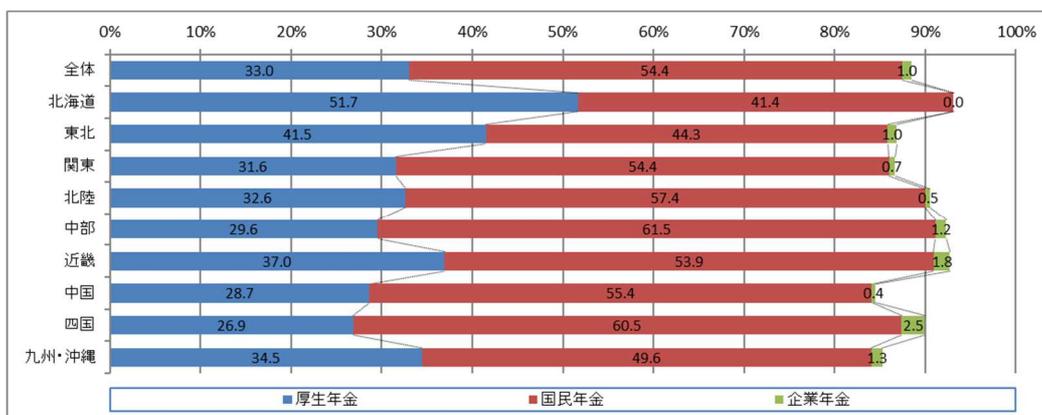


図 3.2.9# 年金保険(H29年度)

2) 労働保険

- ・「雇用保険」は「東北（40.8%）」が最も大きい。次いで「北海道（35.0%）」、「北陸（32.8%）」。
- ・「労災保険」は「近畿（44.5%）」が最も大きい。次いで「関東（42.3%）」、「東北（35.0%）」。
- ・「一人親方労災保険」は「四国（39.1%）」が最も大きい。次いで「中部（35.1%）」、「中国（28.4%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「雇用保険」、「労災保険」、「一人親方労災保険」の合計値は「北海道」が100%から65%（35%減）となり、「中部」、「九州・沖縄」も3%程度減少しているが、他の地域では4~15%増加している。

	合計	(10-2)加入している労働保険			
		雇用保険	労災保険	一人親方 労災保険	不明
全体	1335	23.8	34.8	25.9	27.9
地域					
北海道	20	35.0	30.0	0.0	50.0
東北	240	40.8	35.0	18.3	27.1
関東	260	12.3	42.3	27.7	27.7
北陸	64	32.8	31.3	25.0	25.0
中部	185	20.0	31.4	35.1	22.7
近畿	137	21.2	44.5	21.9	31.4
中国	134	25.4	30.6	28.4	24.6
四国	138	8.7	28.3	39.1	25.4
九州・沖縄	157	30.6	29.3	17.2	35.7

表 3.2.10 労働保険(H30年度) (割合%)

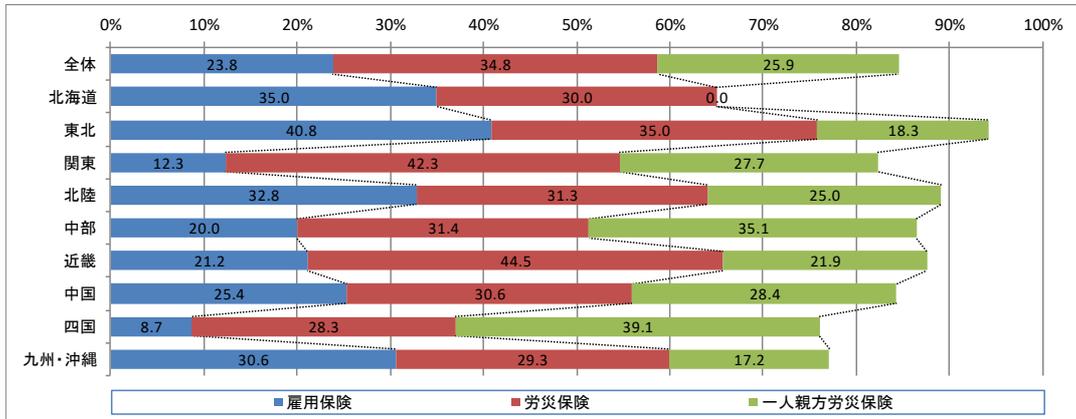


図 3.2.10 労働保険(H30年度)

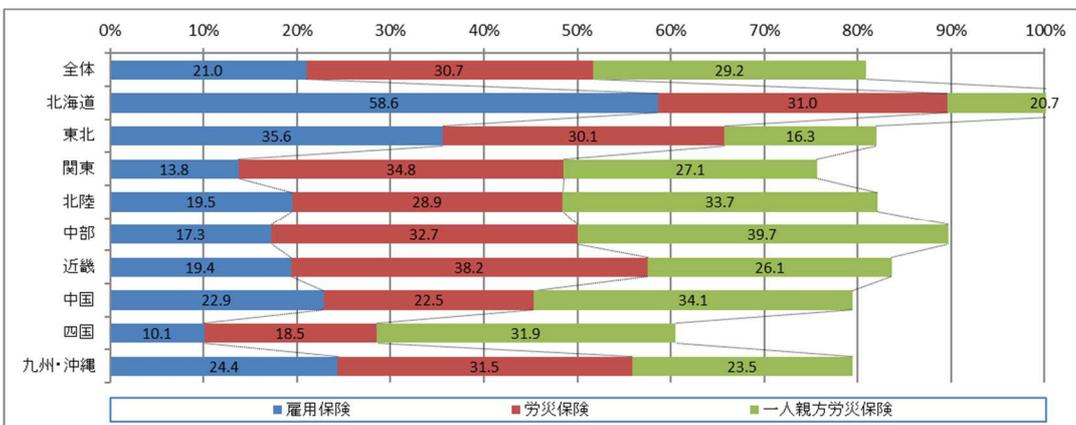


図 3.2.10# 労働保険(H29年度)

3) 健康保険

- ・「国民健康保険」は「北海道 (35.0%)」が最も大きい。次いで「関東 (33.5%)」、「中部 (31.9%)」。
- ・「組合健康保険 (建設国保)」は「四国 (60.1%)」が最も大きい。次いで「中国 (45.5%)」、「北陸 (43.8%)」。
- ・前回調査 (H29 年度) と比較して「国民健康保険」は「北海道」、「北陸」で大きく増加し、「組合健康保険 (建設国保)」は「近畿」、「四国」で大きく増加している。また、加入している健康保険の合計値は、「北海道」、「関東」、「九州・沖縄」で減少し、「四国」で増加している。

	合計	(10-3)加入している健康保険				
		国民健康保険	組合健康保険 (建設国保)	組合保険 (建設国保以外)	その他の健康保険	不明
全体	1335	29.1	37.7	3.4	3.4	27.4
地域						
北海道	20	35.0	20.0	0.0	5.0	40.0
東北	240	31.3	28.3	3.3	6.3	32.1
関東	260	33.5	30.0	4.2	3.1	29.6
北陸	64	26.6	43.8	3.1	3.1	25.0
中部	185	31.9	41.1	3.2	2.7	22.7
近畿	137	29.9	41.6	4.4	4.4	21.2
中国	134	26.9	45.5	4.5	3.0	22.4
四国	138	18.1	60.1	1.4	0.7	19.6
九州・沖縄	157	26.1	30.6	3.2	2.5	38.2

表 3.2.11 健康保険(H30 年度) (割合%)

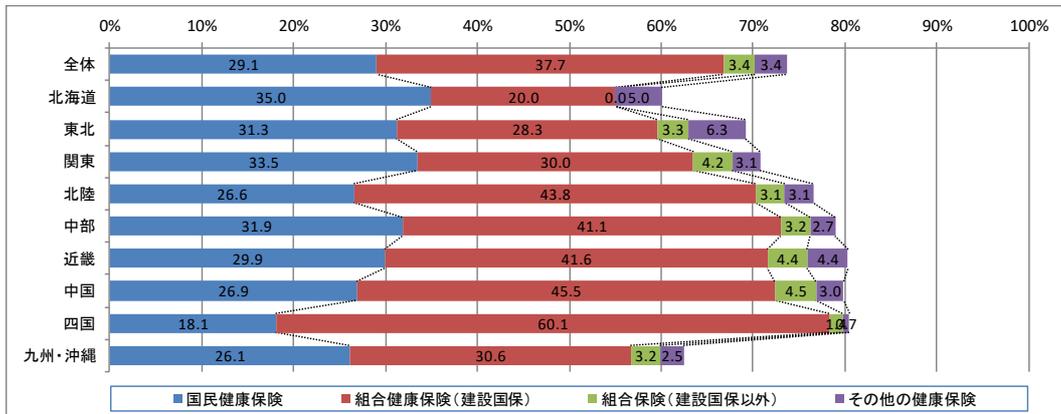


図 3.2.11 健康保険(H30 年度)

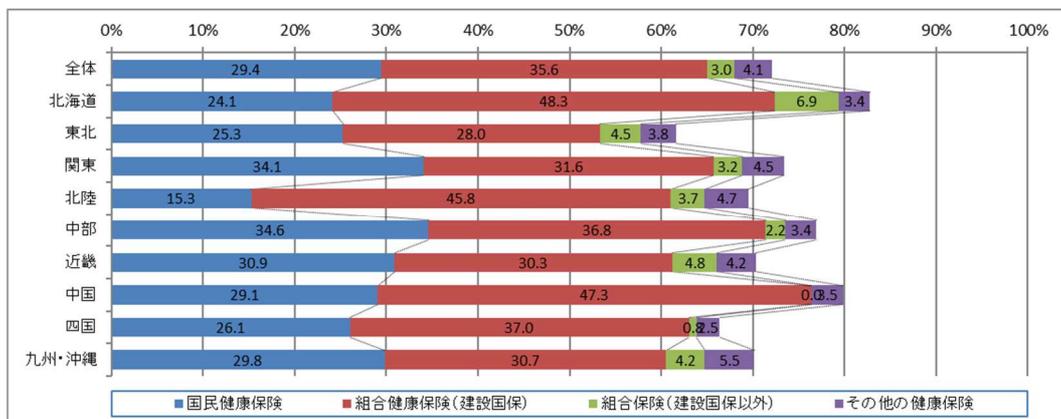


図 3.2.11# 健康保険(H29 年度)

⑥賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

- ・わずかだが、全体減少傾向となっている。
- ・自己負担となっているものの割合の合計値は「四国（300.0%）」が最も大きい。次いで「中部（256.2%）」、「北海道（240.0%）」。
- ・一方「九州・沖縄（210.8%）」が最も小さい。
- ・「全て所属する工務店等が負担」は「近畿（29.9%）」が最も大きい。次いで「中部（20.5%）」、「関東（20.0%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「手道具」は「北陸」、「中部」、「近畿」以外の地域で減少している。「電動工具」は「中部」以外の地域で減少している。「クギ金物」は「北海道」、「関東」、「近畿」、「四国」以外の地域で減少している。「車（保険含む）」は「北海道」、「関東」以外の地域で減少している。「ガソリン」は「北海道」以外の地域で減少している。

	合計	(11)自己負担となっているもの						
		手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明
全体	1335	66.0	58.7	21.3	47.3	46.9	17.5	10.6
地域								
北海道	20	65.0	60.0	5.0	50.0	60.0	15.0	5.0
東北	240	72.5	66.7	7.1	45.8	45.4	10.8	10.0
関東	260	61.5	52.3	27.3	47.7	46.5	20.0	12.7
北陸	64	75.0	57.8	15.6	48.4	42.2	12.5	6.3
中部	185	68.1	60.5	27.6	50.8	49.2	20.5	5.9
近畿	137	57.7	52.6	20.4	40.9	39.4	29.9	8.0
中国	134	64.9	59.7	18.7	45.5	47.0	19.4	9.7
四国	138	70.3	66.7	39.9	60.1	63.0	11.6	12.3
九州・沖縄	157	61.8	52.9	17.2	39.5	39.5	14.6	17.2

表 3.2.12 自己負担となっているもの(H30年度) (割合%)

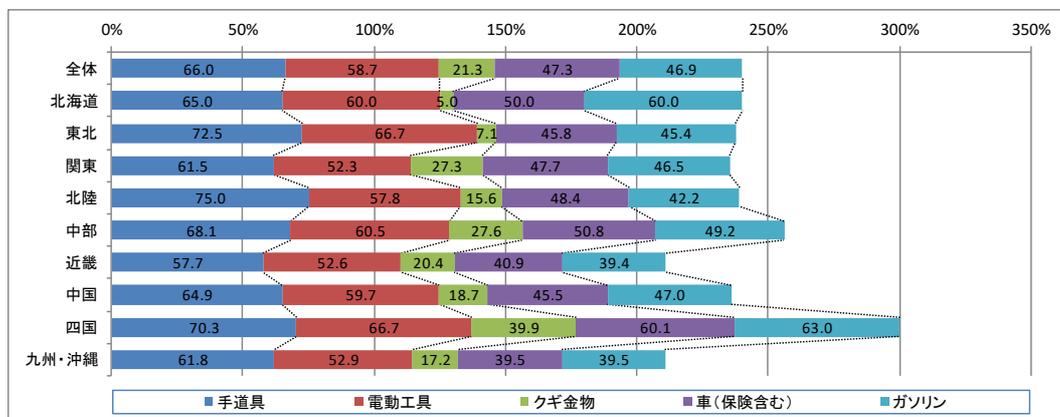


図 3.2.12 自己負担となっているもの(H30年度)

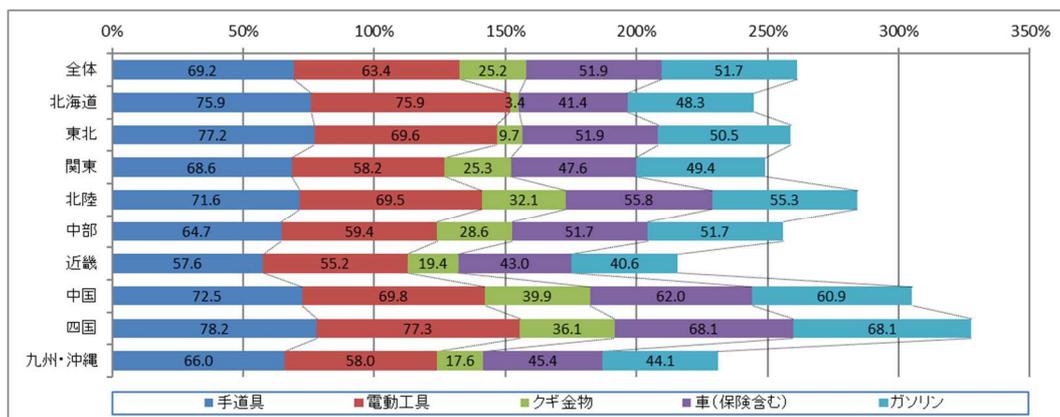


図 3.2.12# 自己負担となっているもの(H29年度)

⑦おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

- ・一日あたりのおおよその賃金の平均値は「近畿（16,948円）」が最も高く、次いで「中部（15,997円）」。
- ・一方「北海道（12,425円）」が最も低く、次いで「東北（12,766円）」。
- ・「10,000～15,000円未満」は「東北（49.2%）」が最も大きい。次いで「四国（41.3%）」、「北海道（40.0%）」。
- ・「15,000～20,000円未満」は「中国（40.3%）」が最も大きい。次いで「中部（38.9%）」、「近畿（35.0%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「北海道」で「20,000円～25,000円未満」以上の割合が0%となっているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(12)1日あたりのおおよその賃金							平均 (円)
		8,000円未 満	8,000～ 10,000円 未満	10,000～ 15,000円 未満	15,000～ 20,000円 未満	20,000～ 25,000円 未満	25,000円 以上	不明	
全体	1335	7.3	10.4	34.3	30.5	8.8	3.3	5.3	14745
地域									
北海道	20	10.0	25.0	40.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12425
東北	240	10.4	16.3	49.2	14.6	2.5	2.5	4.6	12766
関東	260	6.5	9.2	29.6	33.8	12.7	4.2	3.8	15488
北陸	64	9.4	7.8	39.1	31.3	7.8	1.6	3.1	14403
中部	185	6.5	8.1	23.8	38.9	16.8	2.7	3.2	15997
近畿	137	3.6	8.8	18.2	35.0	19.0	7.3	8.0	16948
中国	134	4.5	9.7	31.3	40.3	7.5	3.7	3.0	15269
四国	138	5.8	7.2	41.3	34.8	2.2	1.4	7.2	14250
九州・沖縄	157	10.8	10.2	39.5	23.6	2.5	2.5	10.8	13518

表 3.2.13 1日あたりのおおよその賃金(H30年度) (割合%)

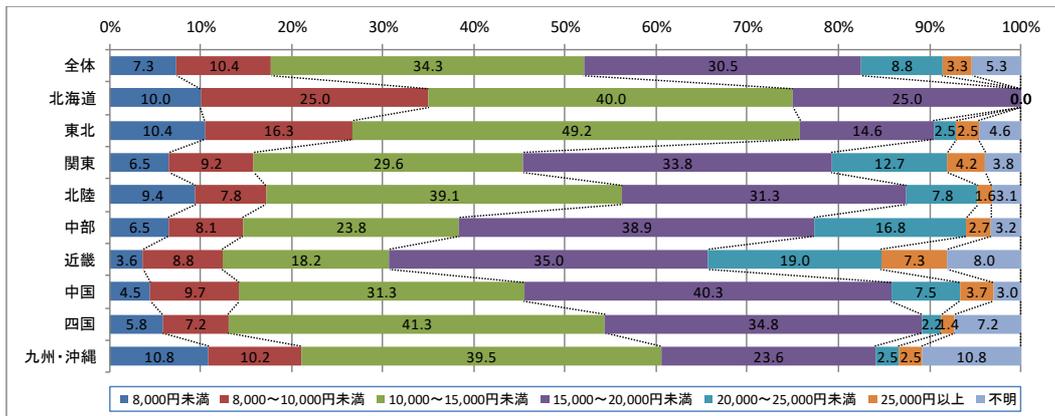


図 3.2.13 1日あたりのおおよその賃金(H30年度)

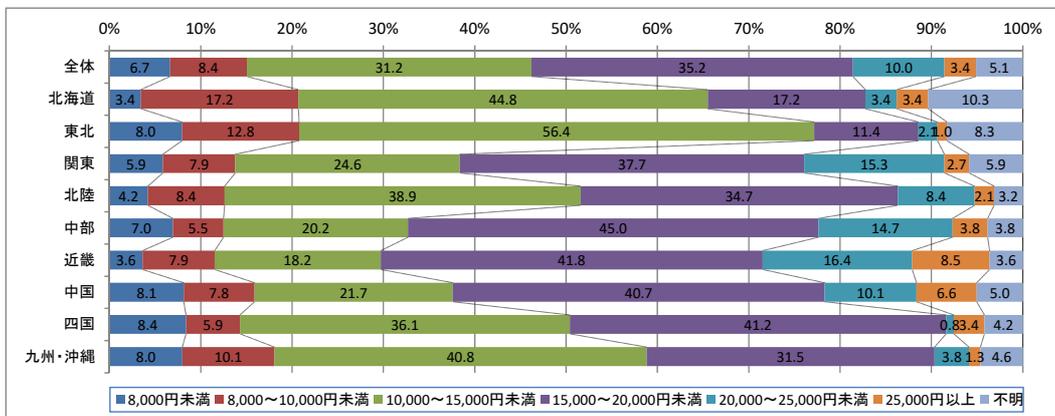


図 3.2.13# 1日あたりのおおよその賃金(H29年度)

(3) 資格や技能について

①持っている資格

- ・持っている資格の割合の合計値は「北陸 (314.1%)」が最も大きく、次いで「北海道 (275.0%)」。
- ・一方「四国 (193.5%)」が最も小さく、次いで「近畿 (194.9%)」。
- ・「北陸」では、他地域と比較して「2級建築士」、「足場の組立て等作業主任者」、「玉掛け技能講習修了者」、「木材加工用機械作業主任者」の割合が大きい。
- ・前回調査 (H29 年度) と同様「北海道」、「東北」、「北陸」、「中部」は合計値が大きく、その他の地域は小さい。また、前回調査でも「四国」は最も小さい結果であった。

地域	合計	(13)お持ちの資格														
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級・2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体	1335	4.9	30.3	2.2	5.4	14.4	22.5	1.0	9.3	7.0	35.1	35.9	41.0	17.8	8.7	19.9
北海道	20	5.0	20.0	5.0	10.0	20.0	35.0	5.0	20.0	0.0	45.0	30.0	40.0	30.0	10.0	5.0
東北	240	4.6	33.3	2.5	6.3	15.0	35.0	1.3	16.7	7.5	35.8	44.2	44.2	20.8	6.7	16.7
関東	260	6.2	27.3	1.9	3.5	11.2	18.8	0.8	7.3	6.2	35.4	33.1	34.6	16.2	10.8	19.6
北陸	64	4.7	45.3	0.0	0.0	7.8	32.8	1.6	9.4	1.6	50.0	37.5	65.6	26.6	31.3	6.3
中部	185	1.6	25.4	2.2	4.9	14.1	25.9	2.2	16.2	8.1	37.8	42.2	51.4	26.5	11.9	16.8
近畿	137	8.0	29.9	3.6	6.6	21.2	14.6	0.0	5.8	9.5	25.5	27.7	24.1	10.9	7.3	27.7
中国	134	6.0	27.6	2.2	5.2	12.7	11.9	0.7	1.5	8.2	41.0	34.3	50.0	16.4	7.5	25.4
四国	138	3.6	34.1	3.6	3.6	7.2	11.6	0.7	2.9	8.0	38.4	39.1	26.8	10.1	3.6	27.5
九州・沖縄	157	5.1	30.6	0.6	10.2	22.9	25.5	0.6	7.0	5.1	22.9	26.1	44.6	14.6	1.9	18.5

表 3.2.14 持っている資格(H30 年度) (割合%)

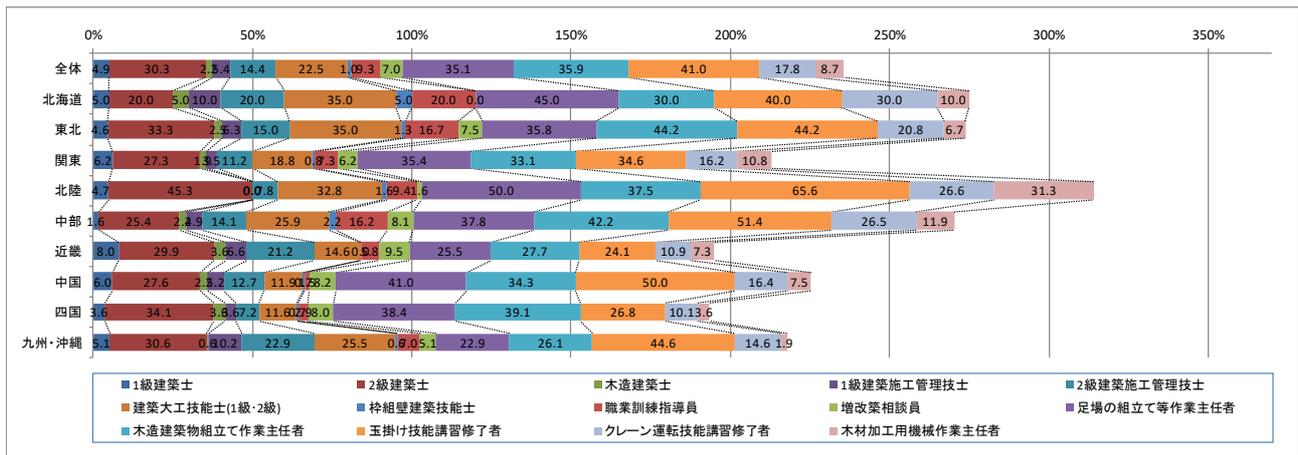


図 3.2.14 持っている資格(H30 年度)

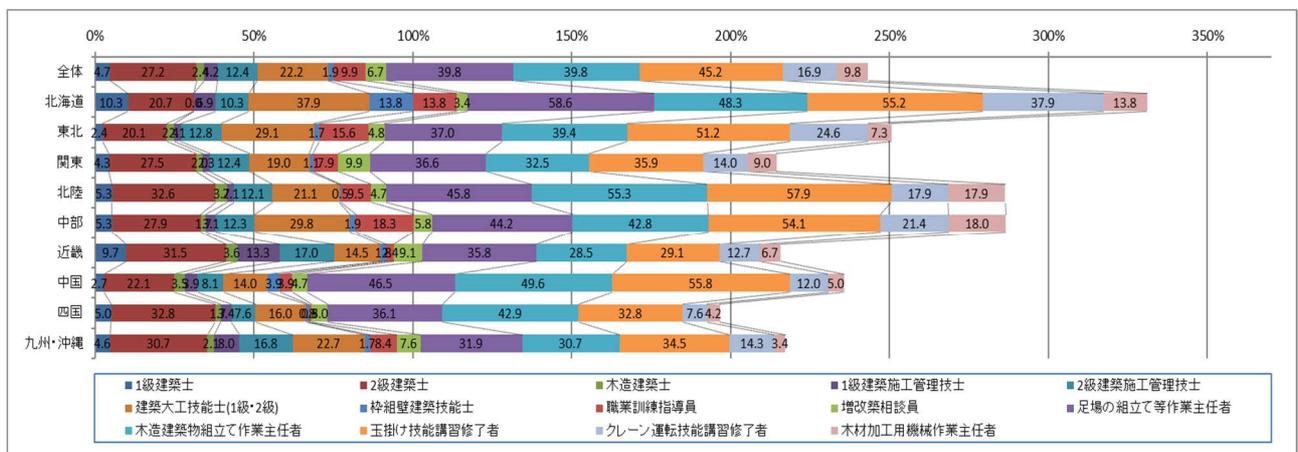


図 3.2.14# 持っている資格(H29 年度)

②大工職のみ回答 墨付けができますか。

- ・前回調査（H29 年度）と同様に、全体の 7 割弱が墨付けができる。
- ・「はい」は前回調査と同様に「中部（76.8%）」が最も大きい。次いで「北陸（70.3%）」、「関東、九州・沖縄（66.9%）」。
- ・「いいえ」は「中国（24.6%）」が最も大きい。次いで「関東、九州・沖縄（18.5%）」、「東北（17.5%）」。
- ・前回調査（H29 年度）と比較して、「東北」、「関東」、「北陸」、「近畿」、「四国」で「はい」が減少している。また「北海道」、「東北」、「九州・沖縄」で「いいえ」が増加している。

	合計	(14)①墨付けができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	1335	67.3	17.2	15.5	
地域	北海道	20	65.0	15.0	20.0
	東北	240	66.3	17.5	16.3
	関東	260	66.9	18.5	14.6
	北陸	64	70.3	17.2	12.5
	中部	185	76.8	13.0	10.3
	近畿	137	65.0	14.6	20.4
	中国	134	62.7	24.6	12.7
	四国	138	63.0	14.5	22.5
	九州・沖縄	157	66.9	18.5	14.6

表 3.2.15 墨付け(H30 年度) (割合%)

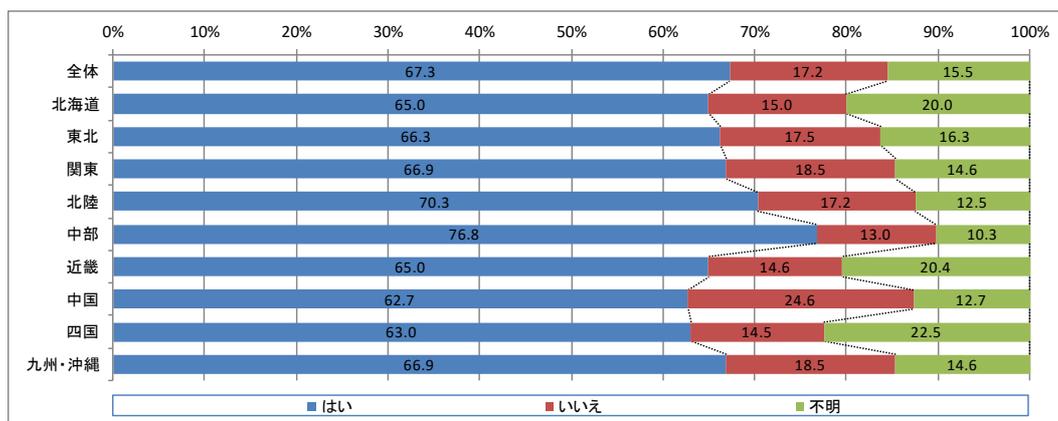


図 3.2.15 墨付け(H30 年度)

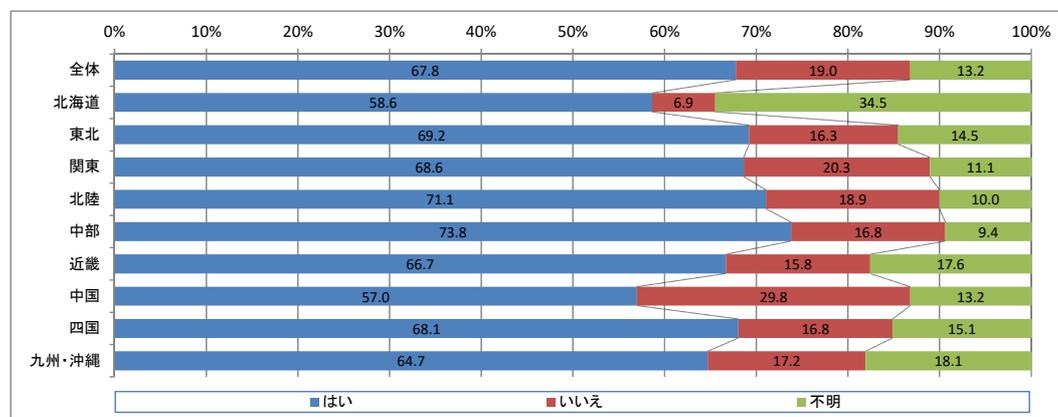


図 3.2.15# 墨付け(H29 年度)

③大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(新築)

- ・前回調査（H29年度）と同様に、全体の2割程度が手刻みを年1棟以上行っている。
- ・「はい」は「北海道（35.0%）」が最も大きい。次いで「東北（30.8%）」、「北陸（29.7%）」。
- ・「いいえ」は「中国（76.1%）」が最も大きい。次いで「関東（65.8%）」、「中部（64.3%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「北海道」、「東北」、「関東」、「北陸」、「中部」で「はい」の割合が増加している。また、前回調査と同様に「はい」は「中国」が最も低い。

	合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	不明
全体	1335	20.7	62.3	17.0
地域				
北海道	20	35.0	45.0	20.0
東北	240	30.8	54.2	15.0
関東	260	18.1	65.8	16.2
北陸	64	29.7	56.3	14.1
中部	185	23.8	64.3	11.9
近畿	137	16.1	59.1	24.8
中国	134	11.2	76.1	12.7
四国	138	12.3	61.6	26.1
九州・沖縄	157	19.7	63.1	17.2

表 3.2.16 手刻み加工の仕事（新築）（H30年度）（割合%）

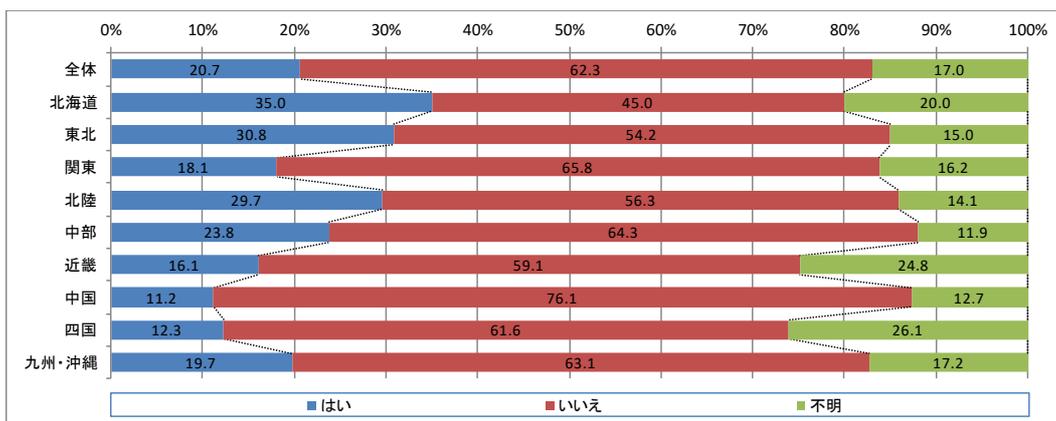


図 3.2.16 手刻み加工の仕事（新築）（H30年度）

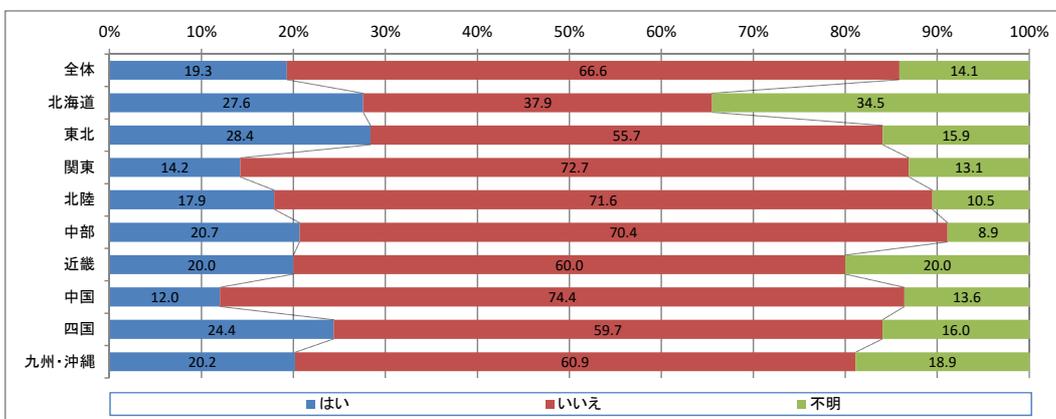


図 3.2.16# 手刻み加工の仕事（新築）（H29年度）

④大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事年1棟以上行っていますか。(増改築)

- ・前回調査（H29年度）と同様に、全体の4割強が手刻みを年1棟以上は行っている。
- ・「はい」は「東北（50.4%）」が最も大きい。次いで「北陸（45.3%）」、「九州・沖縄（45.2%）」。
- ・「いいえ」は「四国（46.4%）」が最も大きい。次いで「中国（46.3%）」、「中部（43.2%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「北海道」、「東北」、「関東」、「北陸」、「中国」で「はい」の割合が増加している。

	合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	不明
全体	1335	42.9	40.2	16.9
地域				
北海道	20	45.0	35.0	20.0
東北	240	50.4	33.8	15.8
関東	260	43.1	42.3	14.6
北陸	64	45.3	40.6	14.1
中部	185	44.3	43.2	12.4
近畿	137	41.6	34.3	24.1
中国	134	41.0	46.3	12.7
四国	138	26.8	46.4	26.8
九州・沖縄	157	45.2	38.2	16.6

表 3.2.17 手刻み加工の仕事（増改築）（H30年度）（割合%）

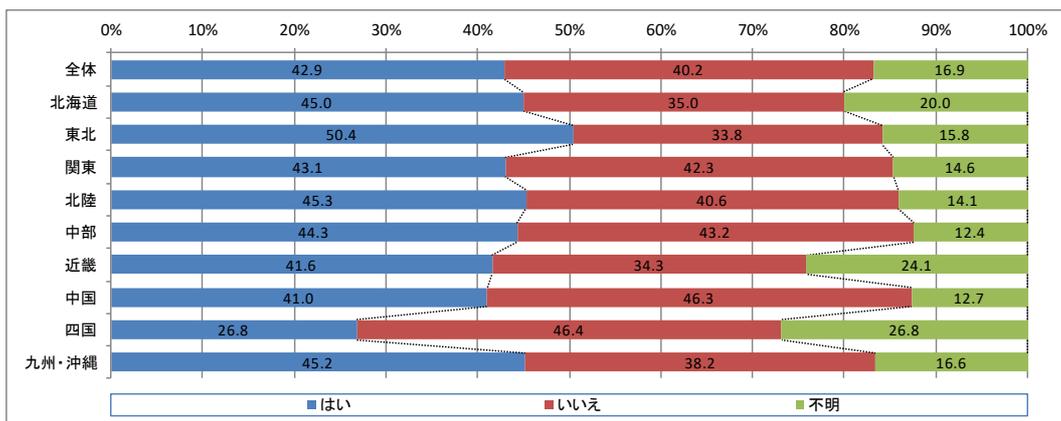


図 3.2.17 手刻み加工の仕事（増改築）（H30年度）

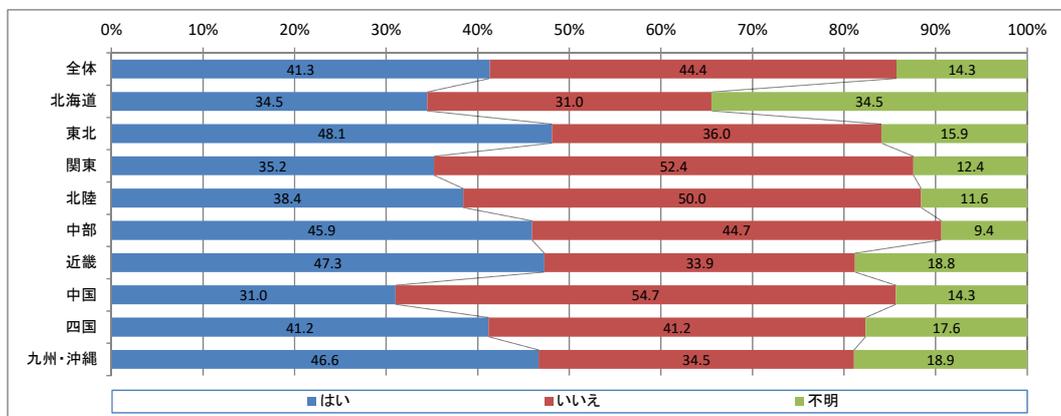


図 3.2.17# 手刻み加工の仕事（増改築）（H29年度）

⑤大工職のみ回答 和室造作ができますか。

- ・前回調査（H29 年度）と同様に、全体の 6 割強は和室造作ができる。特に、「北陸」、「中部」は 7 割近い結果となっている。
- ・「はい」は「北陸（68.8%）」が最も大きい。次いで「中部（68.6%）」、「関東（63.5%）」。
- ・「いいえ」は「中国（29.9%）」が最も大きい。次いで「東北（25.8%）」、「九州・沖縄（25.5%）」。
- ・前回調査（H29 年度）と比較して「中部」、「四国」以外の地域で「はい」が増加している。

	合計	(14)④和室造作ができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	1335	61.6	22.3	16.1	
地域	北海道	20	60.0	20.0	20.0
	東北	240	57.9	25.8	16.3
	関東	260	63.5	21.9	14.6
	北陸	64	68.8	18.8	12.5
	中部	185	68.6	20.0	11.4
	近畿	137	60.6	18.2	21.2
	中国	134	59.0	29.9	11.2
	四国	138	59.4	15.2	25.4
	九州・沖縄	157	58.0	25.5	16.6

表 3.2.18 和室造作(H30 年度) (割合%)

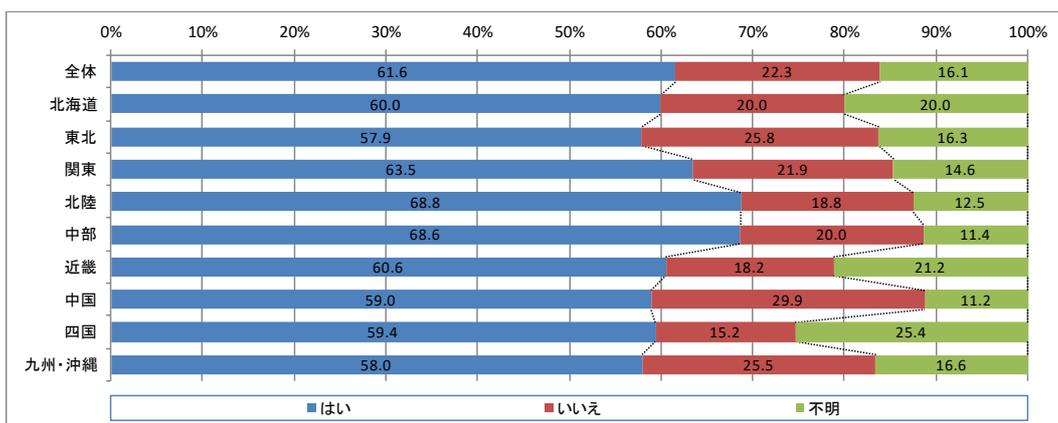


図 3.2.18 和室造作(H30 年度)

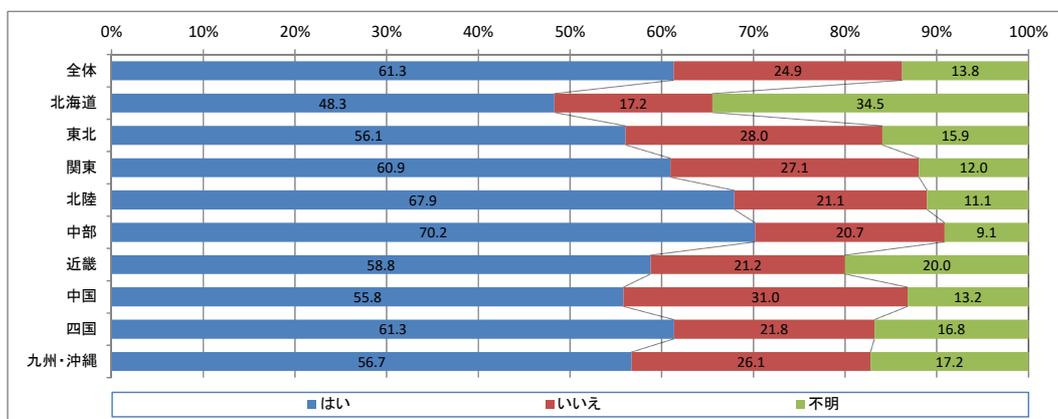


図 3.2.18# 和室造作(H29 年度)

⑥大工職のみ回答 2×4 工法の住宅の施工ができますか。

- ・前回調査（H29 年度）と同様に、全体の 4 分の 1 程度が 2×4 工法の住宅の施工ができる。
- ・「はい」は前回調査と同様「北海道（35.0%）」が最も大きい。次いで「中部（31.4%）」、「関東（28.1%）」。
- ・「いいえ」は「北陸（67.2%）」が最も大きい。次いで「中国（60.4%）」、「近畿（59.1%）」。
- ・前回調査（H29 年度）と比較して「関東」、「中部」、「九州・沖縄」で「はい」の割合が増加しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工 ができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	1335	26.1	56.6	17.3
地域				
北海道	20	35.0	45.0	20.0
東北	240	25.4	57.5	17.1
関東	260	28.1	56.9	15.0
北陸	64	20.3	67.2	12.5
中部	185	31.4	55.1	13.5
近畿	137	17.5	59.1	23.4
中国	134	24.6	60.4	14.9
四国	138	26.8	46.4	26.8
九州・沖縄	157	26.8	57.3	15.9

表 3.2.19 2×4 工法の住宅の施工(H30 年度) (割合%)

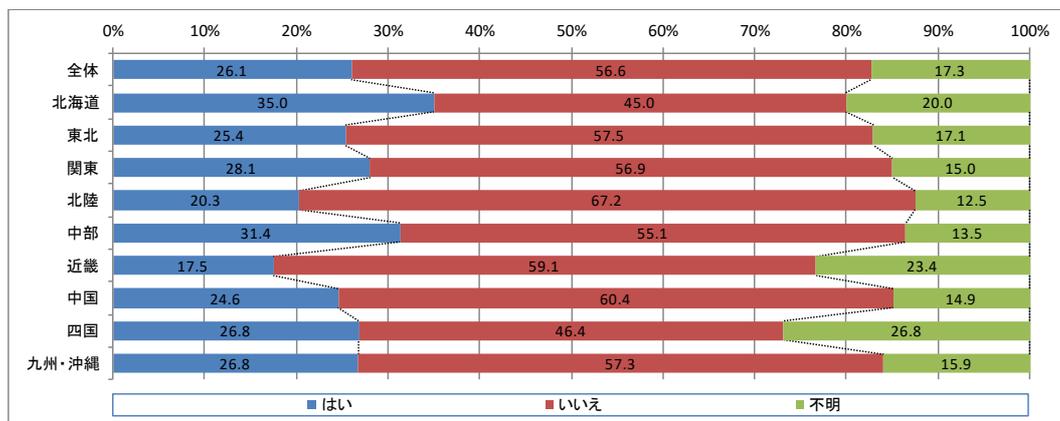


図 3.2.19 2×4 工法の住宅の施工(H30 年度)

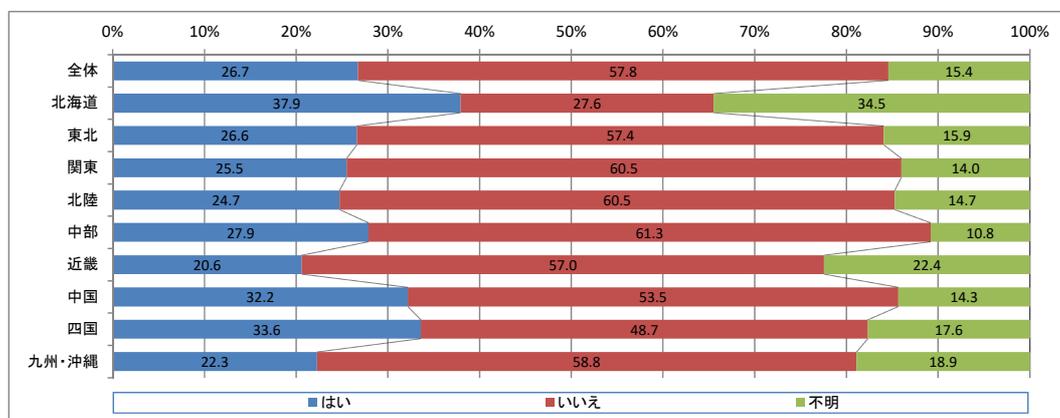


図 3.2.19# 2×4 工法の住宅の施工(H29 年度)

(4) 仕事に対する満足度や今後の意向について

①現在の仕事の内容について満足していますか。

- 全体で「とても満足している (10.5%)」、「まあ満足している (52.5%)」であり、前回調査 (H29年度) と同様に、全体の6割強が満足していると回答している。
- 「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値は「北海道 (70.0%)」が最も大きい。次いで「東北 (68.3%)」、「九州・沖縄 (68.2%)」。
- 「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値は「中部 (32.4%)」が最も大きい。次いで「中国 (32.1%)」、「関東 (28.1%)」。
- 前回調査 (H29年度) と比較して「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値が大きく変動している地域は「中部」、「四国」で減少、「北海道」、「近畿」で増加であった。

	合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	1335	10.5	52.5	20.8	4.6	11.6
地域						
北海道	20	20.0	50.0	10.0	5.0	15.0
東北	240	12.5	55.8	17.9	5.8	7.9
関東	260	9.6	53.1	24.6	3.5	9.2
北陸	64	7.8	57.8	20.3	3.1	10.9
中部	185	7.6	48.6	25.9	6.5	11.4
近畿	137	10.9	56.2	14.6	3.6	14.6
中国	134	11.2	45.5	25.4	6.7	11.2
四国	138	8.0	49.3	18.8	3.6	20.3
九州・沖縄	157	13.4	54.8	17.8	2.5	11.5

表 3.2.20 仕事の内容についての満足度(H30年度) (割合%)

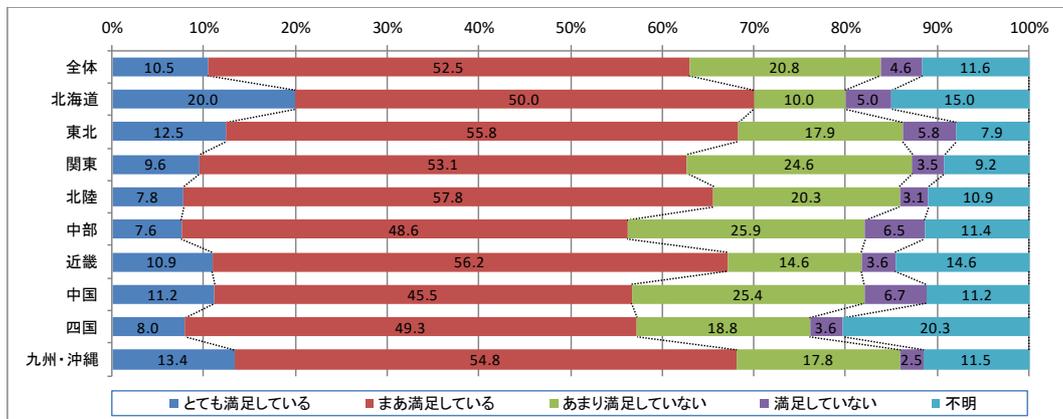


図 3.2.20 仕事の内容についての満足度(H30年度)

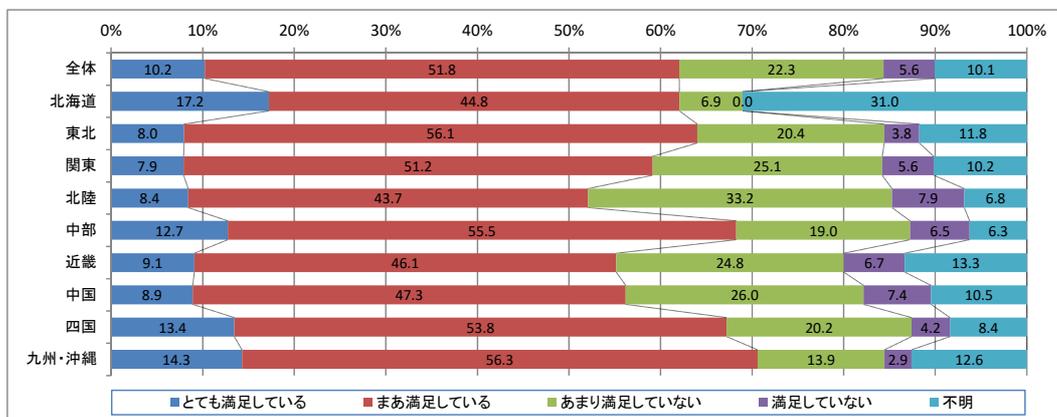


図 3.2.20# 仕事の内容についての満足度(H29年度)

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

- ・全体で「とても満足している（3.8%）」、「まあ満足している（34.0%）」であり、前回調査（H29年度）と同様に、全体の4割弱が満足していると回答している。
- ・「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値は「北海道（50.0%）」が最も大きい。次いで「近畿（43.1%）」、「東北（41.3%）」。
- ・「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値は「中部（61.1%）」が最も大きい。次いで「中国（52.9%）」、「北陸（51.6%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値が大きく変動している地域は「中部」、「四国」で減少であった。「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値が大きく変動している地域は「北海道」、「中部」で増加、「北陸」で減少であった。

	合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	1335	3.8	34.0	35.6	14.9	11.7
地域						
北海道	20	5.0	45.0	25.0	10.0	15.0
東北	240	5.0	36.3	31.7	17.5	9.6
関東	260	2.7	35.8	34.2	16.5	10.8
北陸	64	3.1	34.4	25.0	26.6	10.9
中部	185	1.6	27.6	42.7	18.4	9.7
近畿	137	5.1	38.0	33.6	10.9	12.4
中国	134	4.5	32.1	41.0	11.9	10.4
四国	138	3.6	30.4	34.8	11.6	19.6
九州・沖縄	157	5.1	35.0	38.9	8.9	12.1

表 3.2.21 収入等についての満足度(H30年度) (割合%)

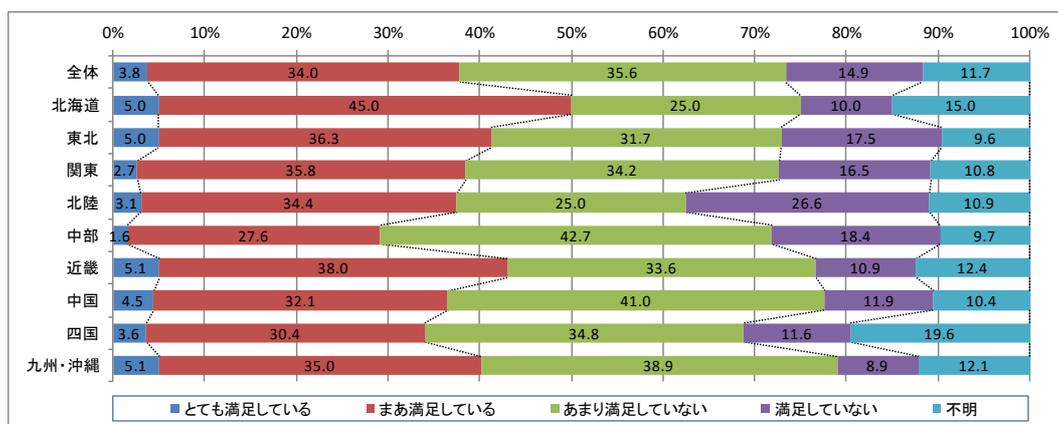


図 3.2.21 収入等についての満足度(H30年度)

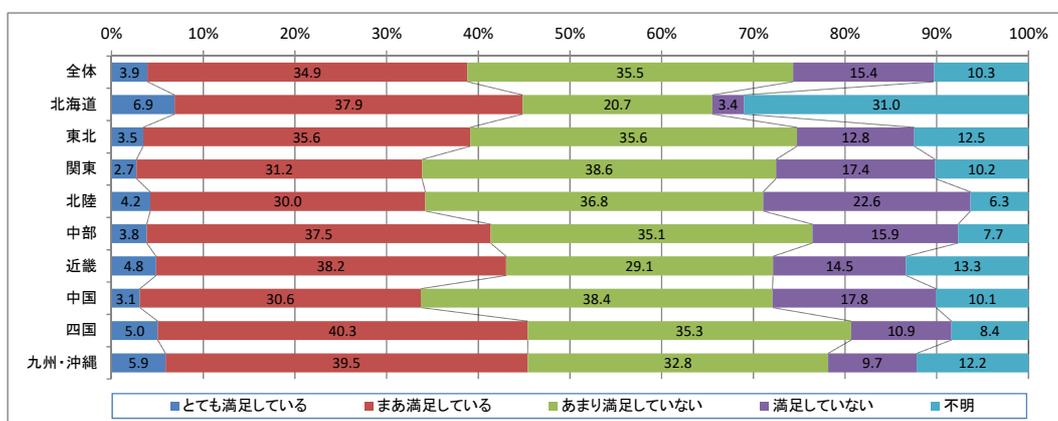


図 3.2.21# 収入等についての満足度(H29年度)

③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

- ・「仕事ができる限り続ける」は「近畿（60.6%）」が最も大きい。次いで「北陸（57.8%）」、「中国（56.0%）」。一方「北海道（30.0%）」が最も小さい。
- ・各地域に共通して「仕事ができる限り続ける」が最も大きい。次いで「北海道」、「中部」、「中国」、「四国」で「70歳で引退する」、その他の地域で「65歳で引退する」となっている。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「70歳で引退する」は「北海道」で増加し、「北陸」で減少しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか						
		60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明
全体	1335	6.4	13.8	12.0	3.4	51.4	0.7	12.3
地域								
北海道	20	10.0	20.0	25.0	0.0	30.0	0.0	15.0
東北	240	6.7	17.1	13.3	3.3	47.5	1.7	10.4
関東	260	7.3	15.0	13.5	3.8	48.1	1.5	10.8
北陸	64	4.7	15.6	6.3	4.7	57.8	0.0	10.9
中部	185	4.9	12.4	14.1	4.3	55.1	0.5	8.6
近畿	137	3.6	14.6	5.1	1.5	60.6	0.0	14.6
中国	134	7.5	9.7	14.2	2.2	56.0	0.0	10.4
四国	138	5.1	8.7	14.5	5.1	44.9	0.0	21.7
九州・沖縄	157	9.6	14.0	7.6	3.2	52.2	0.0	13.4

表 3.2.22 何歳まで仕事を続ける予定か(H30年度) (割合%)

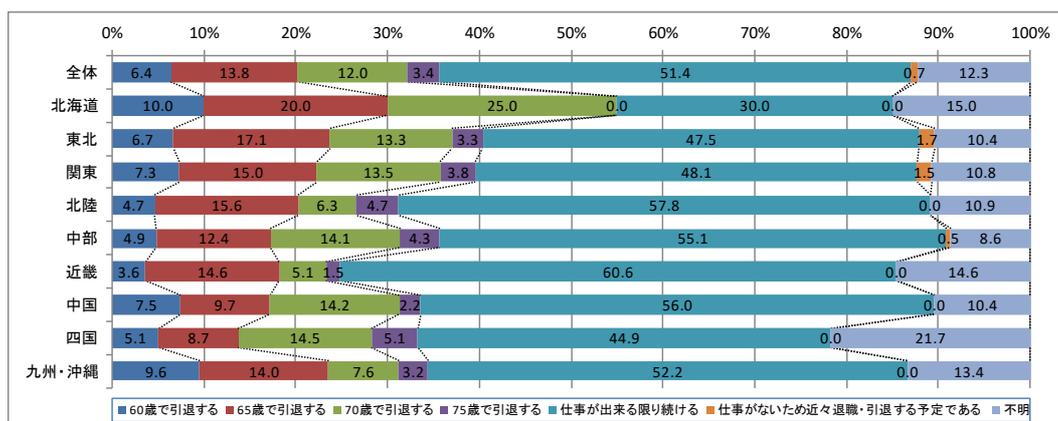


図 3.2.22 何歳まで仕事を続ける予定か(H30年度)

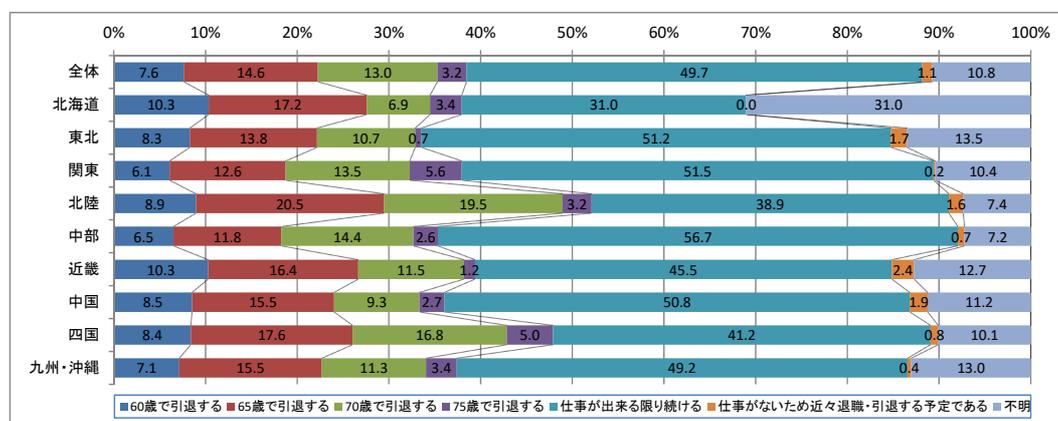


図 3.2.22# 何歳まで仕事を続ける予定か(H29年度)

(5) 担い手育成について

①現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

- ・全体で「現在育てている（13.3%）」、「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい（37.4%）」であり、前回調査（H29年度）と同様に、合計値は全体の5割程度となっている。
- ・「現在育てている」は「北海道（25.0%）」が最も大きい。次いで「東北（19.6%）」、「近畿（16.8%）」。
- ・「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」は「北陸（48.4%）」が最も大きい。次いで「九州・沖縄（45.2%）」、「中部（41.1%）」。
- ・「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」は「四国（45.7%）」が最も大きい。次いで「関東（36.9%）」、「中部（36.8%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「現在育てている」、「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」の合計値は「北海道」、「北陸」で大きく増加し、「四国」で大きく減少している。

	合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか			
		現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明
全体	1335	13.3	37.4	31.2	18.2
地域					
北海道	20	25.0	40.0	20.0	15.0
東北	240	19.6	34.6	26.3	19.6
関東	260	10.8	37.3	36.9	15.0
北陸	64	10.9	48.4	21.9	18.8
中部	185	7.6	41.1	36.8	14.6
近畿	137	16.8	38.0	25.5	19.7
中国	134	12.7	36.6	29.9	20.9
四国	138	10.1	23.2	45.7	21.0
九州・沖縄	157	14.0	45.2	21.0	19.7

表 3.2.23 担い手の育成状況(H30年度) (割合%)

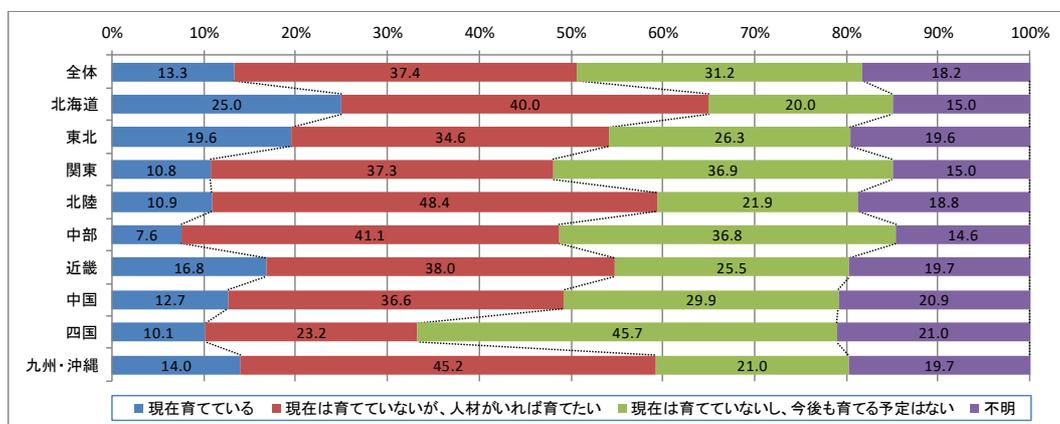


図 3.2.23 担い手の育成状況(H30年度)

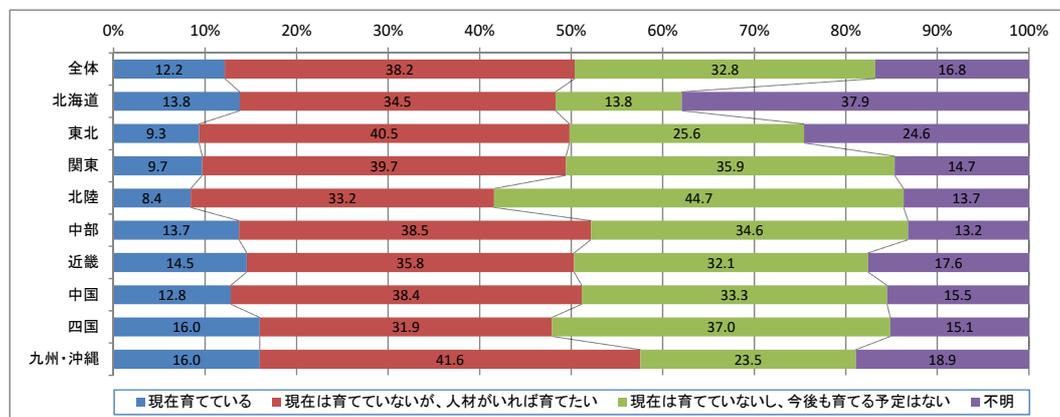


図 3.2.23# 担い手の育成状況(H29年度)

② 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

- ・全体で「正社員（職業訓練校）（18.6%）」、「正社員（弟子として）（70.1%）」であり、前回調査（H29年度）と比較して、合計値は1割程度増加している。
- ・「正社員（職業訓練校）」は「北海道（40.0%）」が最も大きい。次いで「東北（29.8%）」、「関東（25.0%）」。
- ・「正社員（弟子として）」は「北陸（100.0%）」が最も大きい。次いで「中国（94.1%）」、「中部（78.6%）」。
- ・「一人親方等にあずける（職業訓練校）」は「四国（7.1%）」が最も大きい。次いで「東北（2.1%）」。
- ・「一人親方等にあずける（弟子として）」は「四国（21.4%）」が最も大きい。次いで「北海道（20.0%）」、「関東、中部（14.3%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「正社員（職業訓練校）」、「正社員（弟子として）」の合計値は「沖縄」以外の地域で増加している。

	合計	(19)育成期間の担い手の立場				
		正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親方 等にあず ける(職業 訓練校)	一人親方 等にあず ける(弟子 として)	不明
全体	177	18.6	70.1	1.1	8.5	1.7
地域						
北海道	5	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0
東北	47	29.8	61.7	2.1	4.3	2.1
関東	28	25.0	60.7	0.0	14.3	0.0
北陸	7	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
中部	14	7.1	78.6	0.0	14.3	0.0
近畿	23	21.7	73.9	0.0	4.3	0.0
中国	17	5.9	94.1	0.0	0.0	0.0
四国	14	0.0	64.3	7.1	21.4	7.1
九州・沖縄	22	13.6	72.7	0.0	9.1	4.5

表 3.2.24 育成期間の担い手の立場(H30年度) (割合%)

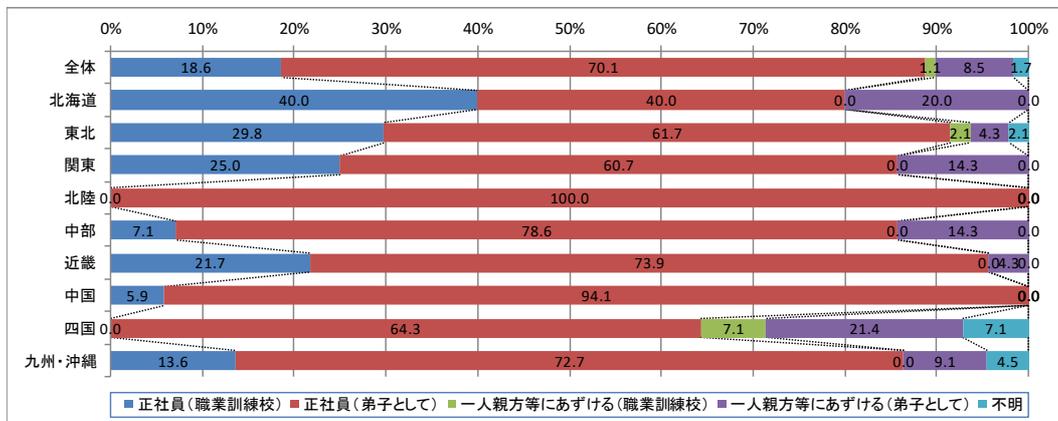


図 3.2.24 育成期間の担い手の立場(H30年度)

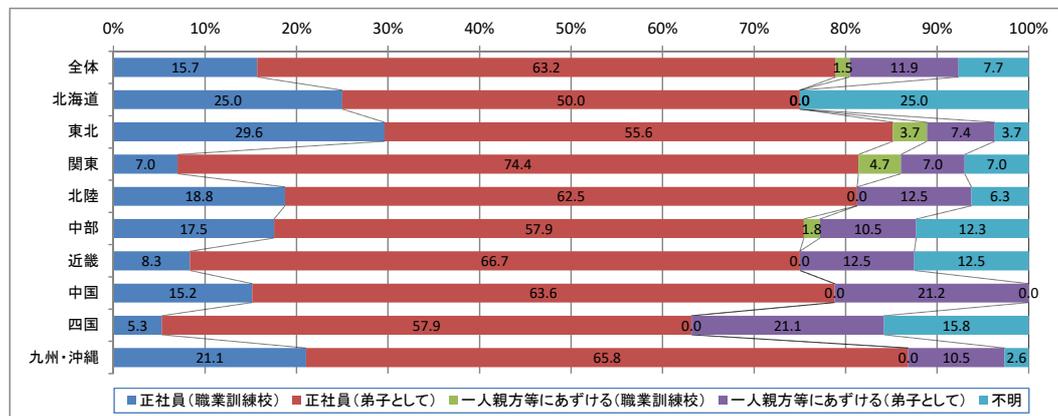


図 3.2.24# 育成期間の担い手の立場(H29年度)

③ 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成にかかる費用負担

- ・前回調査（H29年度）と同様に、全体の3割強が育成にかかる費用負担が有ると回答している。
- ・「有る」は「中部（42.9%）」が最も大きい。次いで「九州・沖縄（40.9%）」、「近畿（39.1%）」。
- ・「無い」は「東北（27.7%）」が最も大きい。次いで「北海道（20.0%）」、「関東、四国（14.3%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「中部」、「近畿」、「四国」、「九州・沖縄」では「有る」の割合が増加している。また、「北海道」、「北陸」、「中部」、「中国」、「九州・沖縄」、では「無い」の割合が減少している。

	合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
		有	無	不明
全体	177	32.8	15.3	52.0
地域				
北海道	5	20.0	20.0	60.0
東北	47	25.5	27.7	46.8
関東	28	35.7	14.3	50.0
北陸	7	28.6	0.0	71.4
中部	14	42.9	0.0	57.1
近畿	23	39.1	13.0	47.8
中国	17	23.5	5.9	70.6
四国	14	35.7	14.3	50.0
九州・沖縄	22	40.9	13.6	45.5

表 3.2.25 育成期間にかかる費用負担(H30年度) (割合%)

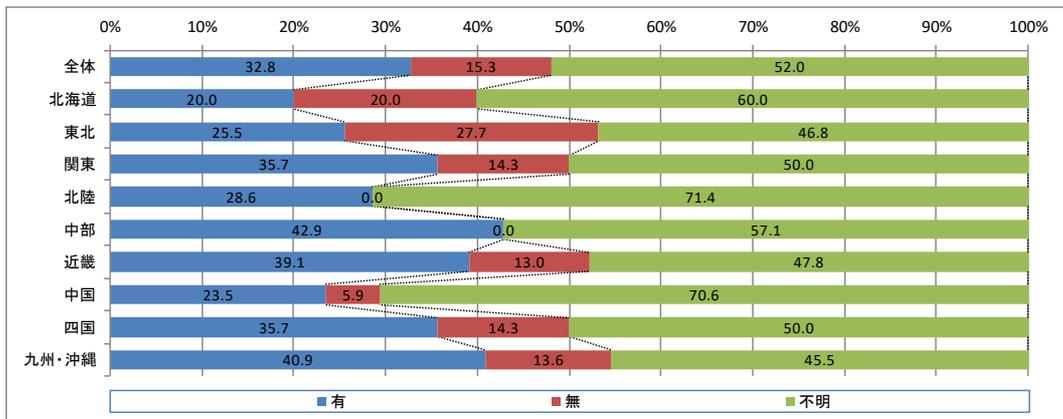


図 3.2.25 育成期間にかかる費用負担(H30年度)

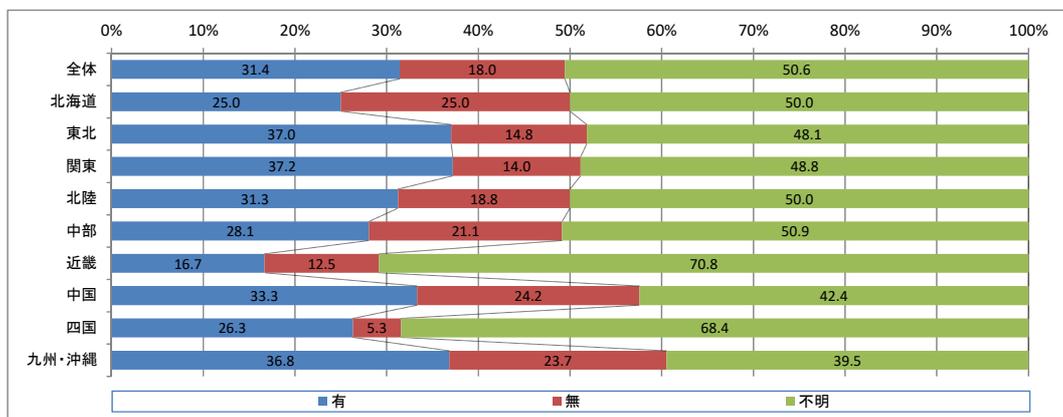


図 3.2.25# 育成期間にかかる費用負担(H29年度)

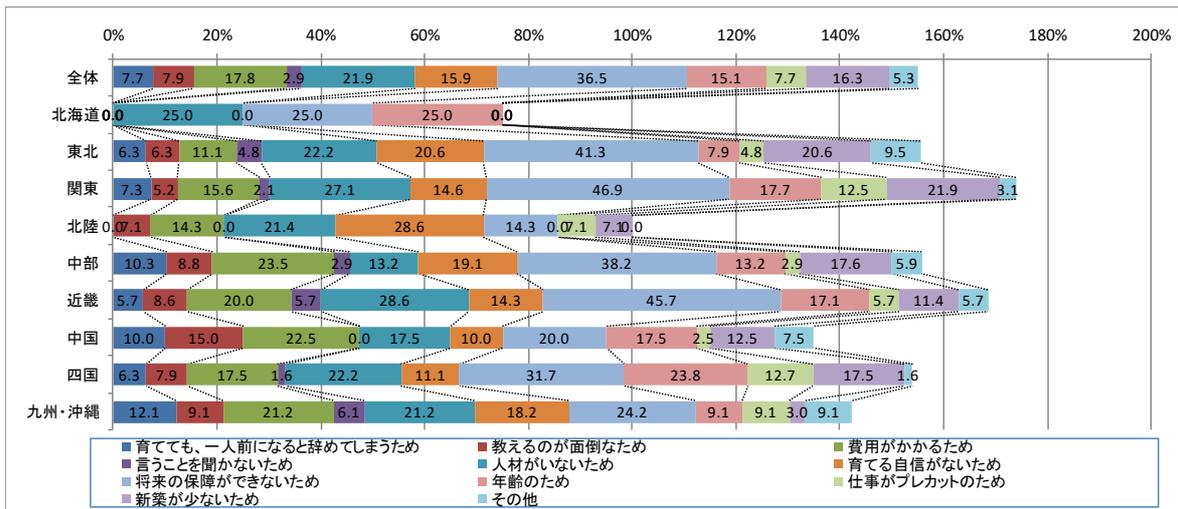
④ 「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答

なぜ育てる予定はないのか。

- ・育てる予定がない理由として回答した割合の合計値は「関東（174.0%）」が最も大きい。次いで「近畿（168.6%）」、「中部（155.9%）」。
- ・各地域に共通して「将来の保障ができないため」、「人材がいらないため」の割合が大きい。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「費用がかかるため」が「中部」、「四国」以外の地域で減少している。また「年齢のため」が「東北」、「北陸」、「九州・沖縄」以外の地域で増加している。

地域	合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がいらないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカートのため	新築が少ないため	その他	不明
全体	416	7.7	7.9	17.8	2.9	21.9	15.9	36.5	15.1	7.7	16.3	5.3	10.8
北海道	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
東北	63	6.3	6.3	11.1	4.8	22.2	20.6	41.3	7.9	4.8	20.6	9.5	7.9
関東	96	7.3	5.2	15.6	2.1	27.1	14.6	46.9	17.7	12.5	21.9	3.1	12.5
北陸	14	0.0	7.1	14.3	0.0	21.4	28.6	14.3	0.0	7.1	7.1	0.0	21.4
中部	68	10.3	8.8	23.5	2.9	13.2	19.1	38.2	13.2	2.9	17.6	5.9	8.8
近畿	35	5.7	8.6	20.0	5.7	28.6	14.3	45.7	17.1	5.7	11.4	5.7	2.9
中国	40	10.0	15.0	22.5	0.0	17.5	10.0	20.0	17.5	2.5	12.5	7.5	10.0
四国	63	6.3	7.9	17.5	1.6	22.2	11.1	31.7	23.8	12.7	17.5	1.6	11.1
九州・沖縄	33	12.1	9.1	21.2	6.1	21.2	18.2	24.2	9.1	9.1	3.0	9.1	18.2

表 3.2.26 なぜ育てる予定はないのか(H30年度) (割合%)



2.2.26 なぜ育てる予定はないのか(H30年度)

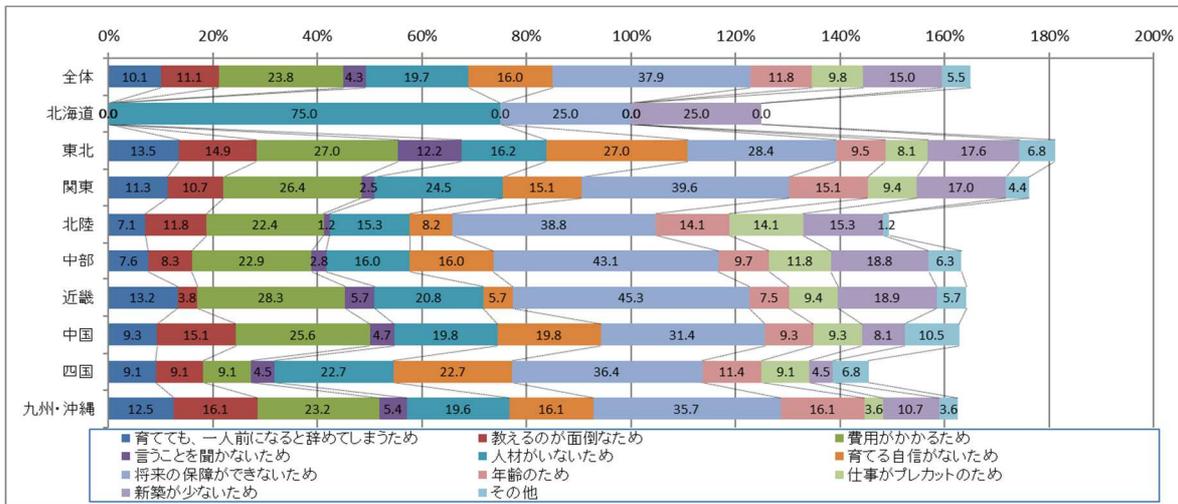


図 3.2.26# なぜ育てる予定はないのか(H29年度)

⑤担い手育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。

- ・前回調査（H29年度）と同様に、全体では「10万円/月（25.4%）」、「15万円/月（19.0%）」の順で高い。
- ・「10万円/月」は、「北海道」を除いた地域で2～3割程度を占めている。また「北海道」、「中部」以外の地域では最も多くなっている。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「北海道」、「中部」、「中国」、「九州・沖縄」で「10万円/月」が減少し、「15万円/月」が増加しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か					
		3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明
全体	1335	5.4	12.6	25.4	19.0	3.7	33.9
地域							
北海道	20	10.0	10.0	15.0	20.0	15.0	30.0
東北	240	7.9	12.1	25.8	12.9	4.2	37.1
関東	260	2.3	15.4	25.0	20.8	1.5	35.0
北陸	64	9.4	6.3	28.1	15.6	7.8	32.8
中部	185	5.9	11.9	23.2	28.6	5.9	24.3
近畿	137	5.1	16.8	25.5	16.8	3.6	32.1
中国	134	1.5	15.7	23.9	14.9	3.7	40.3
四国	138	5.8	11.6	28.3	15.9	1.4	37.0
九州・沖縄	157	7.0	7.0	26.8	23.6	3.2	32.5

表 3.2.27 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か(H30年度) (割合%)

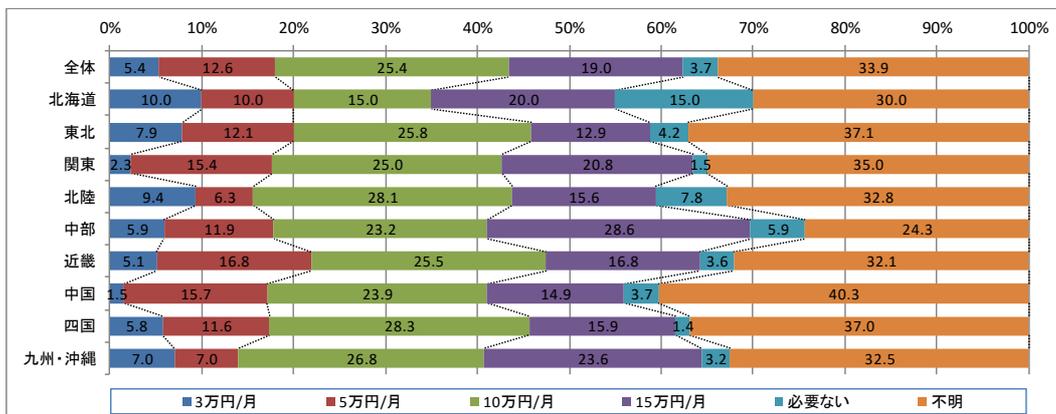


図 3.2.27 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か(H30年度)



図 3.2.27# 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か(H29年度)

3. 年齢別集計

(1) 職業等について

① 職種の経験年数

- ・ 入職初期である「3年未満」について、少数ではあるが「30代」、「40代」、「50代」で回答がみられた。
- ・ 「30代」は「11～20年（63.1%）」が最も大きい。「40代」は「21～30年（65.5%）」が最も大きい。「50代」は「31～40年（54.1%）」が最も大きい。「60代」は「41～50年（60.9%）」が最も大きい。この結果から、各年代共に18、19歳で入職した技能者が6割程度であり、次いで20代で入職した大工が2割強～4割弱となっている。
- ・ 前回調査（H29年度）と比較して「50代」で「31～40年」が減少し、「21～30年」が増加している。「70代以上」で「51年以上」が減少し、「41～50年」が増加している。

	合計	(4)職種の経験年数								
		3年未満	3～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51年以上	不明
全体	1335	9.4	6.7	7.9	19.8	24.1	14.2	13.4	3.8	0.7
10代	22	95.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5
20代	200	43.0	30.5	23.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
30代	263	4.6	7.6	16.0	63.1	8.0	0.4	0.0	0.0	0.4
40代	336	0.3	1.5	3.0	25.0	65.5	3.9	0.3	0.0	0.6
50代	222	1.8	0.5	1.8	3.2	29.3	54.1	8.6	0.9	0.0
60代	235	0.0	0.0	0.0	0.9	4.3	22.6	60.9	10.2	1.3
70代以上	40	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	37.5	55.0	2.5

表 3.3.1 職種の経験年数（H30年度）（割合%）

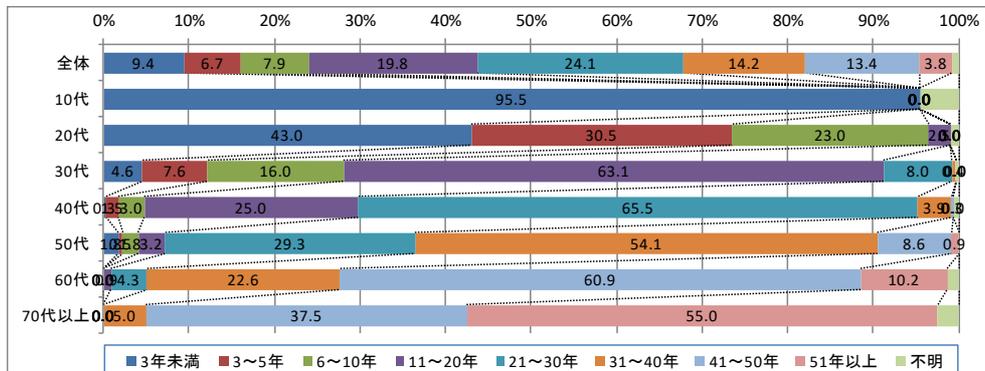


図 3.3.1 職種の経験年数（H30年度）

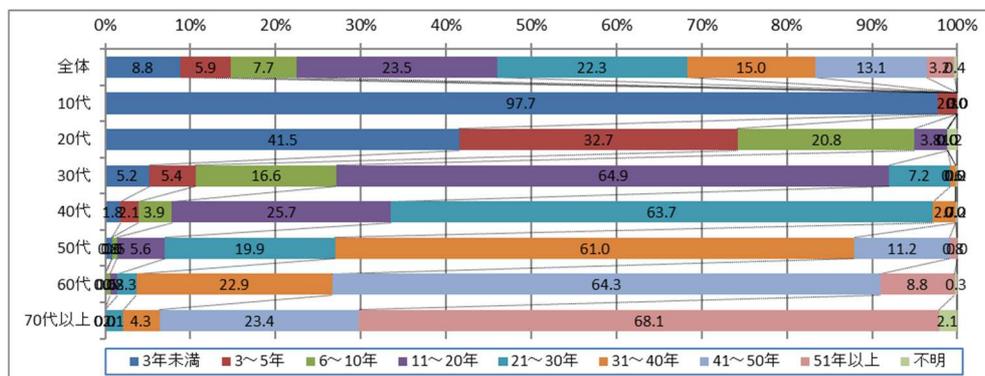


図 3.3.1# 職種の経験年数（H29年度）

②職種においてベテランだと思いませんか。

- ・「10代」は「見習い（90.9%）」の割合が最も大きい。
- ・「20代」は「見習い（63.0%）」が最も大きく、次いで「やや中堅（23.0%）」。
- ・「30代」は「中堅（42.2%）」が最も大きく、次いで「やや中堅（21.7%）」。
- ・「40代」は「中堅（50.9%）」が最も大きく、次いで「ややベテラン（24.4%）」。
- ・「30代」、「40代」は同じ年代の中でも経験年数により違いが見られる。
- ・「50代」は「ややベテラン（32.9%）」、「中堅（31.1%）」、「ベテラン（26.1%）」が高い割合を占め、考え方に幅がある。
- ・「60代」は「ベテラン（43.8%）」が多いが、「ややベテラン（33.2%）」もいる。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「ベテラン」が「10代」～「40代」で増加し、「50代」以上で減少しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(5)あなたのベテラン度合いについて					
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明
全体	1335	18.1	20.7	31.4	10.9	15.9	3.0
年齢							
10代	22	4.5	0.0	0.0	0.0	90.9	4.5
20代	200	0.5	0.0	11.0	23.0	63.0	2.5
30代	263	6.1	11.8	42.2	21.7	15.2	3.0
40代	336	13.4	24.4	50.9	6.8	3.0	1.5
50代	222	26.1	32.9	31.1	5.4	2.7	1.8
60代	235	43.8	33.2	15.7	2.1	1.7	3.4
70代以上	40	40.0	22.5	15.0	2.5	2.5	17.5

表 3.3.2 職種のベテラン度合（H30年度）（割合%）

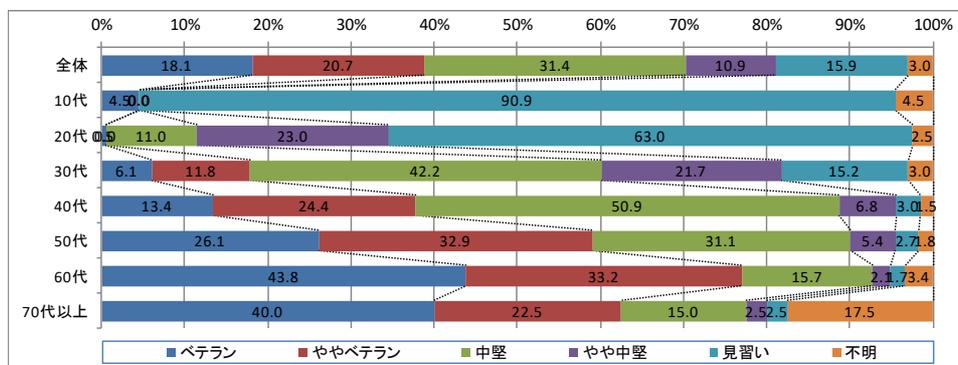


図 3.3.2 職種のベテラン度合（H30年度）

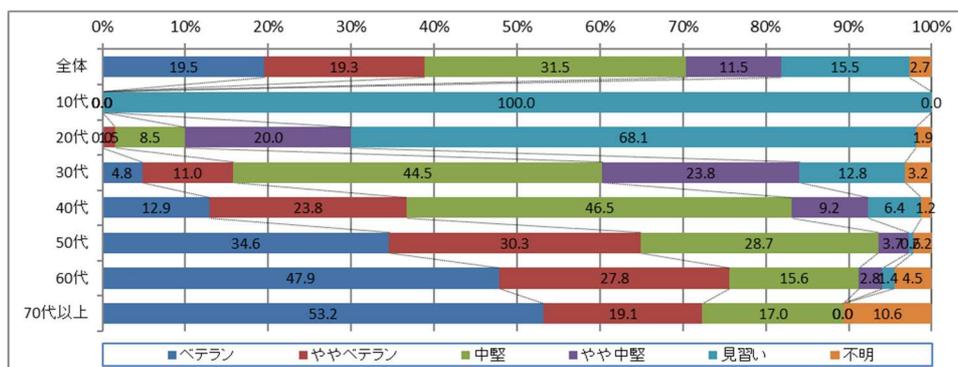


図 3.3.2# 職種のベテラン度合（H29年度）

(2) 雇用形態について

①雇用形態（工務店等との）

- ・ P.73②就業規則及び P.74③有給休暇の傾向と一致しない結果となっており、参考とされたい。
- ・ 全体では「工務店社員（39.3%）」、「元請として仕事（33.9%）」が大きい。
- ・ 「工務店社員」は「20代（77.5%）」が最も大きく、「60代（17.0%）」と年齢が高くなるにつれて割合は小さくなっている。
- ・ 一方、「元請として仕事」は「30代（26.6%）」で急増し、「60代（46.8%）」と年齢が高くなるにつれて割合も大きくなっている。
- ・ これらの状況から、社員化を行っている工務店も大工育成を行うある期間（20代の経験年数7～10年頃）を過ぎると、工務店の負担軽減と大工の収入増を図り、専属大工（一人親方）として独り立ちさせている状況が推察される。
- ・ 前回調査（H29年度）と比較して「10代」、「60代」以外の年齢で「工務店社員」が増加し、「外注常用（日当制）」が減少している。「60代」、「70代以上」以外の年齢で「外注常用（坪請主体）」が減少している。また、「元請として仕事」が「30代」～「50代」で増加している。

	合計	(6)あなたの雇用形態						
		工務店社員	外注常用(日当制)	外注常用(坪請主体)	その都度契約	元請として仕事	その他(アルバイト等)	不明
全体	1335	39.3	9.2	8.5	4.3	33.9	1.3	3.4
年齢								
10代	22	59.1	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1	13.6
20代	200	77.5	5.5	0.5	0.0	5.0	3.5	8.0
30代	263	47.9	9.5	8.7	4.2	26.6	0.8	2.3
40代	336	34.5	8.9	9.8	5.1	39.0	0.9	1.8
50代	222	26.6	9.9	9.9	5.0	45.0	0.5	3.2
60代	235	17.0	11.1	13.6	7.7	46.8	1.3	2.6
70代以上	40	17.5	7.5	5.0	2.5	65.0	0.0	2.5

表 3.3.3 雇用形態（H30年度）（割合%）

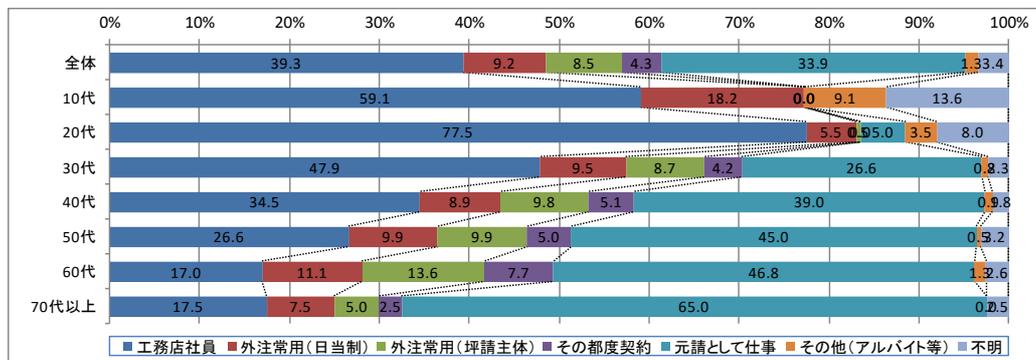


図 3.3.3 雇用形態（H30年度）

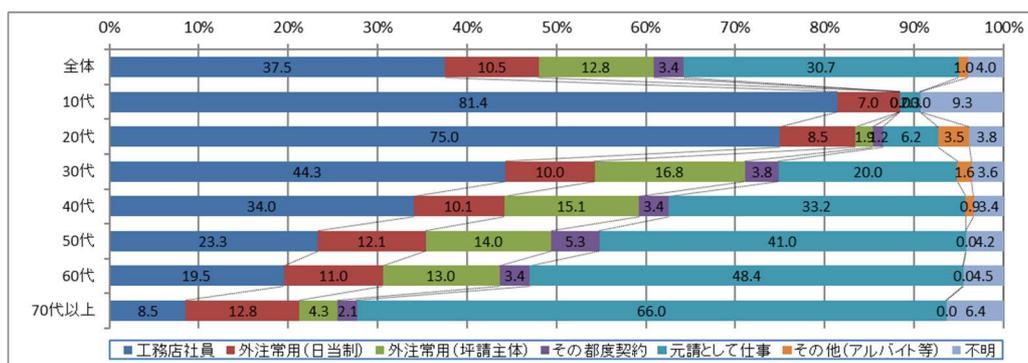


図 3.3.3# 雇用形態（H29年度）

②就業規則

- ・P.72①雇用形態「工務店社員」の傾向と一致しない結果となっている。
- ・「有る」は「10代、20代(45.5%)」が最も大きい。次いで「30代(33.5%)」、「70代以上(32.5%)」。
- ・「無い」は「40代(61.0%)」が最も大きい。次いで「50代(58.1%)」、「60代(48.5%)」。
- ・「30代」～「60代」の4～6割が「無い」と回答している。
- ・前回調査(H29年度)と比較して「10代」で「有る」が減少し、「70代以上」で「無い」が減少しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(7)就業規則			
		有	無	不明	
全体	1335	30.3	48.3	21.3	
年齢	10代	22	45.5	13.6	40.9
	20代	200	45.5	28.0	26.5
	30代	263	33.5	47.1	19.4
	40代	336	23.5	61.0	15.5
	50代	222	25.2	58.1	16.7
	60代	235	27.2	48.5	24.3
	70代以上	40	32.5	25.0	42.5

表 3.3.4 就業規則 (H30 年度) (割合%)

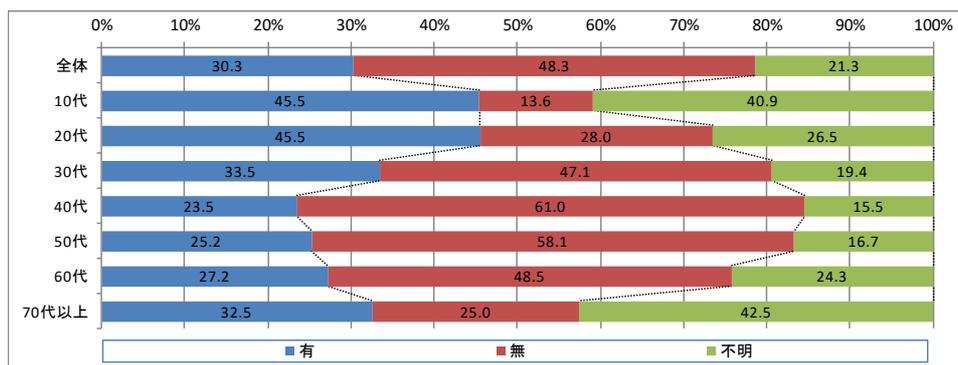


図 3.3.4 就業規則 (H30 年度)

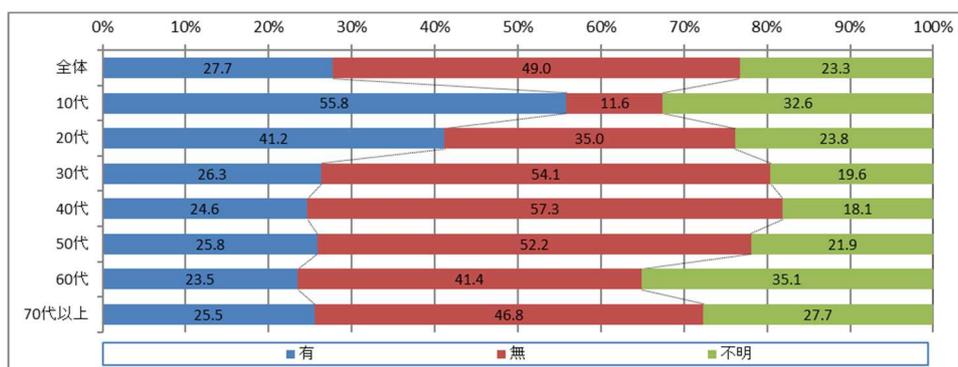


図 3.3.4# 就業規則 (H29 年度)

③有給休暇

- ・ P.72①雇用形態「工務店社員」の傾向と一致しない結果となっているが、本来であれば有給休暇を持つ社員が「工務店社員」の割合である可能性がある。
- ・ 「有る」は「10代（31.8%）」が最も大きい。次いで「20代（28.5%）」、「30代（20.9%）」。
- ・ 「無い」は「40代（68.5%）」が最も大きい。次いで「50代（67.1%）」、「30代（63.9%）」。
- ・ 前回調査（H29年度）と比較して「有る」が「10代」、「20代」、「60代」、「70代以上」で減少し、「30代」～「50代」で増加している。

	合計	(8)有給休暇		
		有	無	不明
全体	1335	16.3	59.7	24.0
年齢				
10代	22	31.8	31.8	36.4
20代	200	28.5	50.0	21.5
30代	263	20.9	63.9	15.2
40代	336	15.8	68.5	15.8
50代	222	9.9	67.1	23.0
60代	235	8.5	54.9	36.6
70代以上	40	7.5	25.0	67.5

表 3.3.5 有給休暇（H30年度）（割合%）

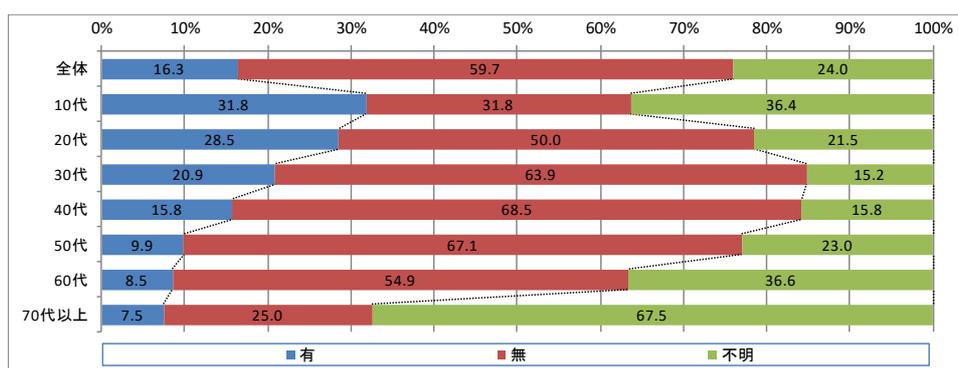


図 3.3.5 有給休暇（H30年度）

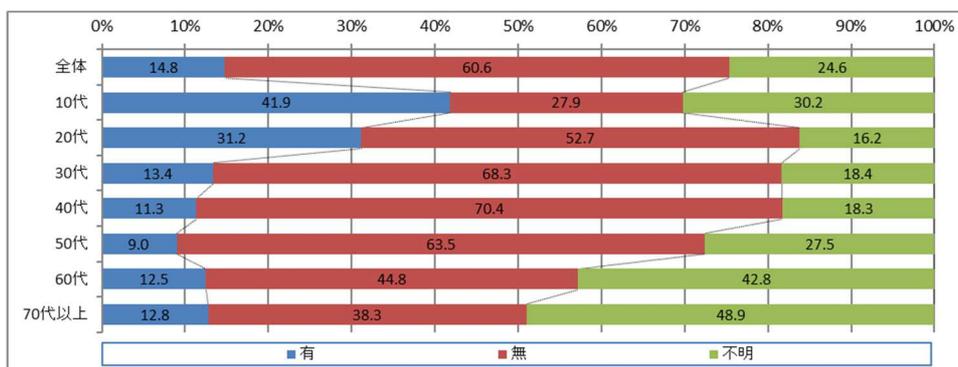


図 3.3.5# 有給休暇（H29年度）

④年間就業日数

- ・平均年間就業日数は、「10代（274.22日）」が最も多い。次いで「40代（267.09日）」、「30代（265.34日）」。一方「70代以上（215.38日）」が最も少ない。次いで「20代（252.09日）」、「60代（252.81日）」。
- ・平均年間就業日数が最も多い年代と少ない年代では58.84日の差がみられた。また、平均年間就業日数が260日未満（年間休日105日）の年代は「20代」「60代」、「70代以上」であった。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「10代」、「60代」、「70代以上」の平均年間就業日数が増加しているが、その他の年齢では減少している。
- ・P.96 経験年数別集計でも同様の結果が出ており、そちらも参考とされたい。

	合計	(9)年間就業日数							不明	平均
		100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上			
全体	1335	3.0	1.5	0.9	5.8	18.3	21.9	48.6	259.68	
年齢										
10代	22	0.0	0.0	0.0	4.5	27.3	9.1	59.1	274.22	
20代	200	4.0	2.5	0.5	3.0	18.0	17.0	55.0	252.09	
30代	263	3.8	0.8	0.0	4.6	15.6	25.9	49.4	265.34	
40代	336	3.9	1.2	0.3	3.0	17.6	29.2	44.9	267.09	
50代	222	2.7	0.9	1.4	7.2	23.0	21.6	43.2	260.48	
60代	235	1.3	2.1	2.1	10.6	20.9	17.4	45.5	252.81	
70代以上	40	0.0	2.5	5.0	17.5	5.0	2.5	67.5	215.38	

表 3.3.6 年間就業日数（H30年度）（割合％）

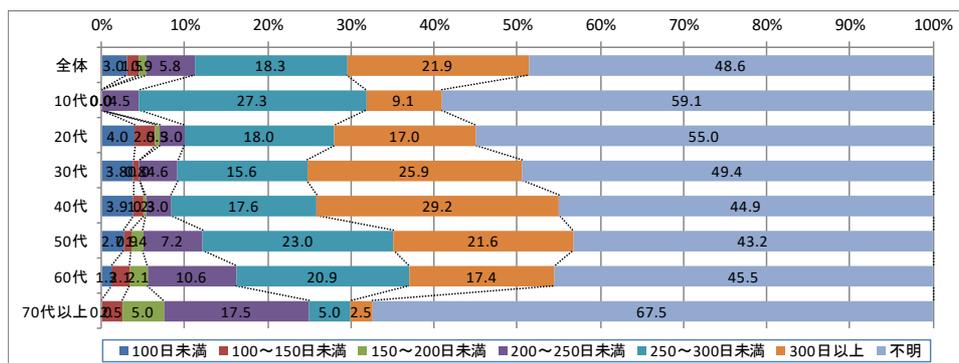


図 3.3.6 年間就業日数（H30年度）

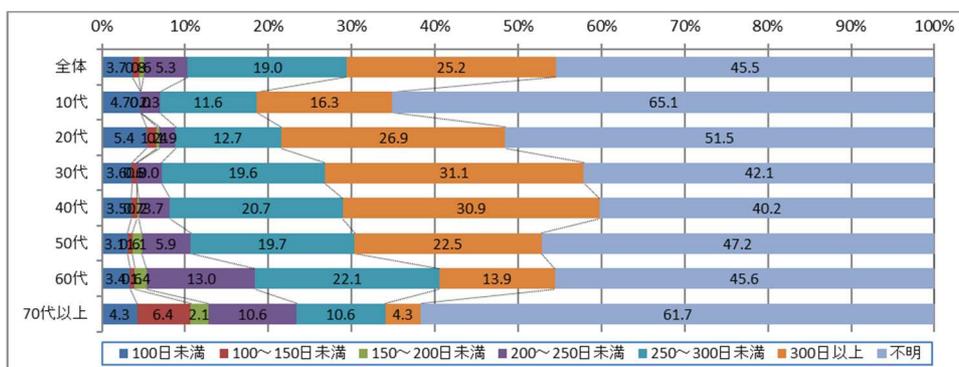


図 3.3.6# 年間就業日数（H29年度）

⑤賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

- ・自己負担となっているものの割合の合計値は「60代（273.2%）」が最も大きい。次いで「40代（264.6%）」、「70代以上（247.5%）」。一方「10代（172.7%）」が最も小さい。
- ・「手道具」、「電動工具」の自己負担は、全体で6割程度となっている。年代別では「手道具」は「20代（62.0%）」以上、「電動工具」は「40代（64.0%）」以上でその割合が大きくなっている。
- ・「車（保険含む）」、「ガソリン」の自己負担は、全体で5割弱となっている。年代別では「20代（車／30.5%、ガソリン／32.5%）」に対し、「40代（車／52.7%、ガソリン／51.5%）」、「60代（車／57.4%、ガソリン／58.7%）」と大きくなっている。
- ・「全て所属する工務店等が負担」は、全体で17.5%となっている。年代別では「30代」～「50代」は2割程度と大きくなっている。
- ・前回調査（H29年度）と比較して自己負担となっているものの割合の合計値は「40代」、「60代」以外の年齢で減少している。

年齢	合計	(11)自己負担となっているもの						
		手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明
全体	1335	66.0	58.7	21.3	47.3	46.9	17.5	10.6
10代	22	54.5	31.8	9.1	45.5	31.8	9.1	22.7
20代	200	62.0	47.5	2.0	30.5	32.5	17.0	12.0
30代	263	67.3	55.1	20.5	43.7	44.1	21.7	7.2
40代	336	70.2	64.0	26.2	52.7	51.5	17.9	6.8
50代	222	63.5	63.5	26.6	48.6	46.4	19.4	8.6
60代	235	66.4	63.8	26.8	57.4	58.7	12.3	16.2
70代以上	40	65.0	60.0	30.0	45.0	47.5	12.5	25.0

表 3.3.7 自己負担となっているもの（H30年度）（割合%）

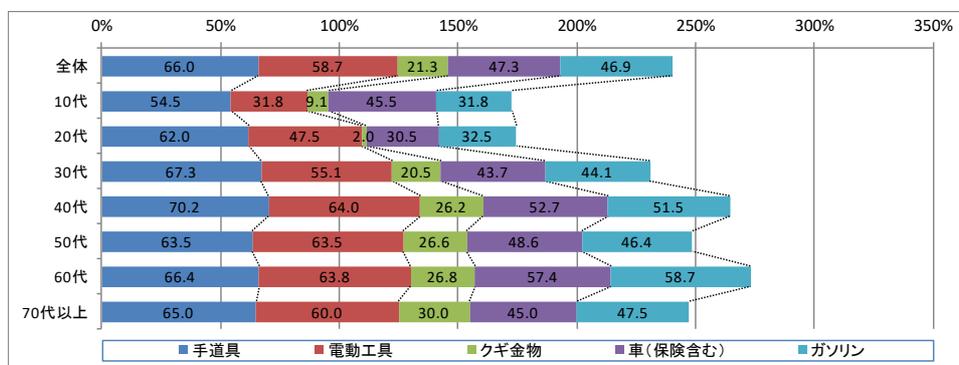


図 3.3.7 自己負担となっているもの（H30年度）

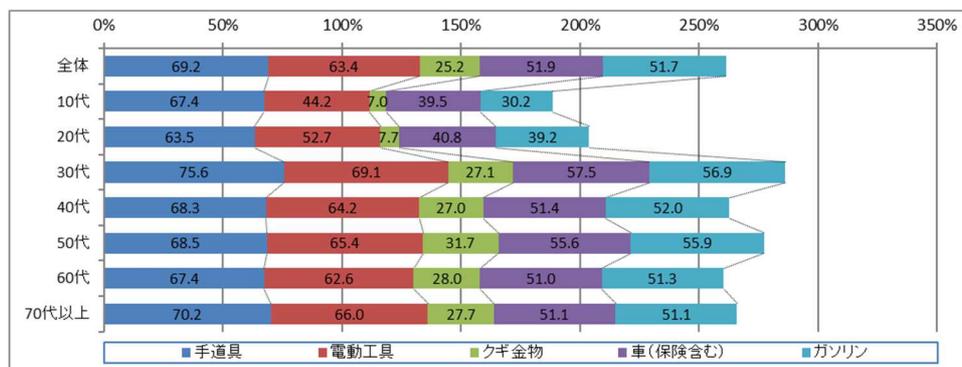


図 3.3.7# 自己負担となっているもの（H29年度）

⑥おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

- ・一日あたりのおおよその賃金の平均値は「40代(16,452円)」が最も高く、次いで「50代(15,894円)」。一方「10代(8,063円)」が最も低く、次いで「20代(10,008円)」。
- ・平均賃金は P.70 経験年数と比較すると、「10代」～「40代」は概ね経験年数に応じて増加し、「40代」で「20,000～25,000円未満」は15.2%となっている。一方「40代」以上の各年代とも「10,000～15,000円未満」が3.5割程度と、賃金の伸びが停滞する技能者が一定数見られる。また「40代」～「60代」は「15,000～20,000円未満」が最も大きく、「50代」以上の経験の積み重ねが賃金と結びついていない。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「30代」以上で「15,000～20,000円未満」が減少し、「10,000～15,000円未満」が増加している。また、平均の賃金はすべての年齢で減少し、全体における平均の賃金は約500円減少している。

	合計	(12)1日あたりのおおよその賃金							平均 (円)
		8,000円未 満	8,000～ 10,000円 未満	10,000～ 15,000円 未満	15,000～ 20,000円 未満	20,000～ 25,000円 未満	25,000円 以上	不明	
全体	1335	7.3	10.4	34.3	30.5	8.8	3.3	5.3	14745
年 齢	10代	22	68.2	4.5	0.0	0.0	0.0	27.3	8063
	20代	200	29.5	34.0	23.0	4.0	0.5	9.0	10008
	30代	263	1.1	12.9	42.6	24.7	11.4	3.8	14931
	40代	336	1.5	3.6	33.6	37.8	15.2	4.8	16452
	50代	222	2.3	2.7	37.8	41.4	9.9	3.6	15894
	60代	235	2.6	6.0	36.2	41.7	5.1	3.8	15386
	70代以上	40	7.5	5.0	35.0	30.0	2.5	2.5	14379

表 3.3.8 1日あたりのおおよその賃金（H30年度）（割合%）

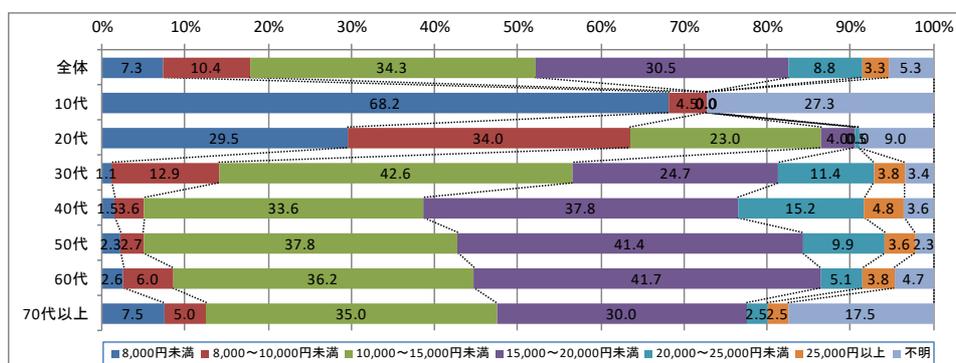


図 3.3.8 1日あたりのおおよその賃金（H30年度）

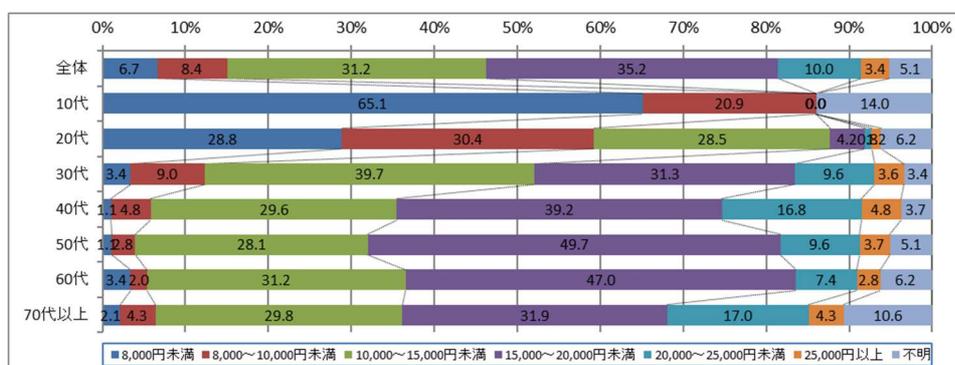


図 3.3.8# 1日あたりのおおよその賃金（H29年度）

(3) 資格や技能について

①持っている資格

- ・全体では「玉掛け技能講習修了者（41.0%）」が最も大きく、「10代」～「30代」においても最大となっている。
- ・持っている資格の合計値は「70代以上（360.0%）」が最も大きく、次いで「60代（315.7%）」と年齢が高いほど大きい。一方「10代（63.6%）」が最も小さく、次いで「20代（113.5%）」。
- ・「2級建築士」、「2級建築施工管理技士」、「職業訓練指導員」、「足場の組立て等作業主任者」、「木造建築物組立て作業主任者」、「木材加工用機械作業主任者」は、年齢が高くなるにつれて増加している。
- ・前回調査（H29年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

年齢	合計	(13)お持ちの資格														
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級・2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体	1335	4.9	30.3	2.2	5.4	14.4	22.5	1.0	9.3	7.0	35.1	35.9	41.0	17.8	8.7	19.9
10代	22	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.8	13.6	0.0	50.0
20代	200	0.5	7.5	0.0	0.0	5.0	21.5	0.0	0.0	0.0	11.5	11.0	38.5	15.5	2.5	39.0
30代	263	2.7	27.4	1.5	3.8	14.8	25.5	0.4	4.9	3.8	34.2	29.7	47.9	16.3	4.6	20.9
40代	336	4.5	35.4	0.9	6.3	13.4	18.5	0.6	5.4	6.5	37.8	40.8	40.5	15.8	9.2	15.5
50代	222	11.3	42.3	1.4	8.6	18.9	18.9	1.8	9.5	12.2	39.6	43.7	40.5	20.7	10.4	11.3
60代	235	6.0	36.2	7.7	7.2	20.4	29.8	2.6	23.0	11.5	48.1	50.6	37.0	22.1	13.6	13.6
70代以上	40	10.0	37.5	5.0	10.0	10.0	27.5	2.5	35.0	15.0	52.5	55.0	50.0	22.5	27.5	15.0

表 3.3.9 持っている資格（H30年度）（割合%）

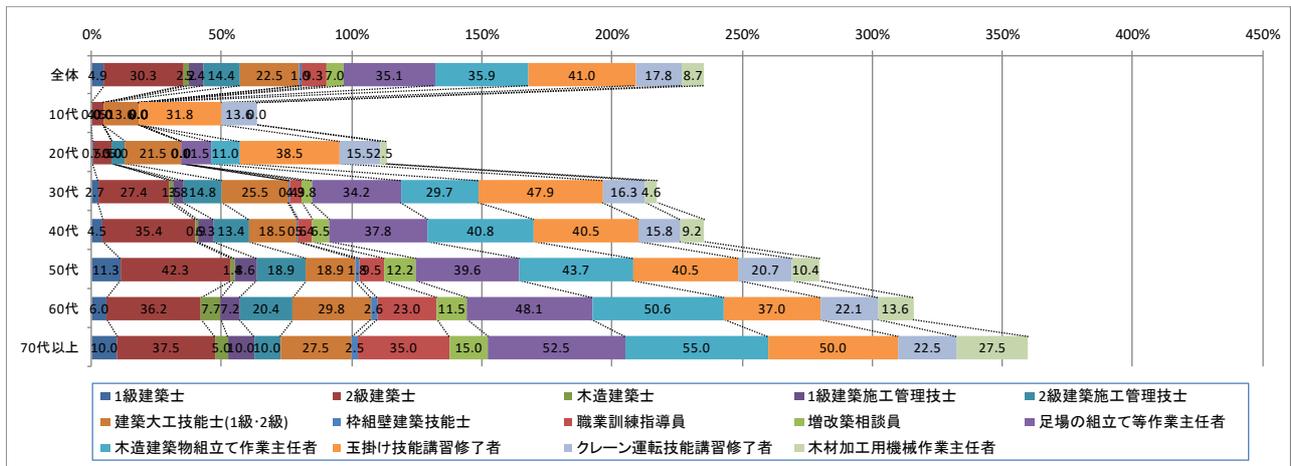


図 3.3.9 持っている資格（H30年度）

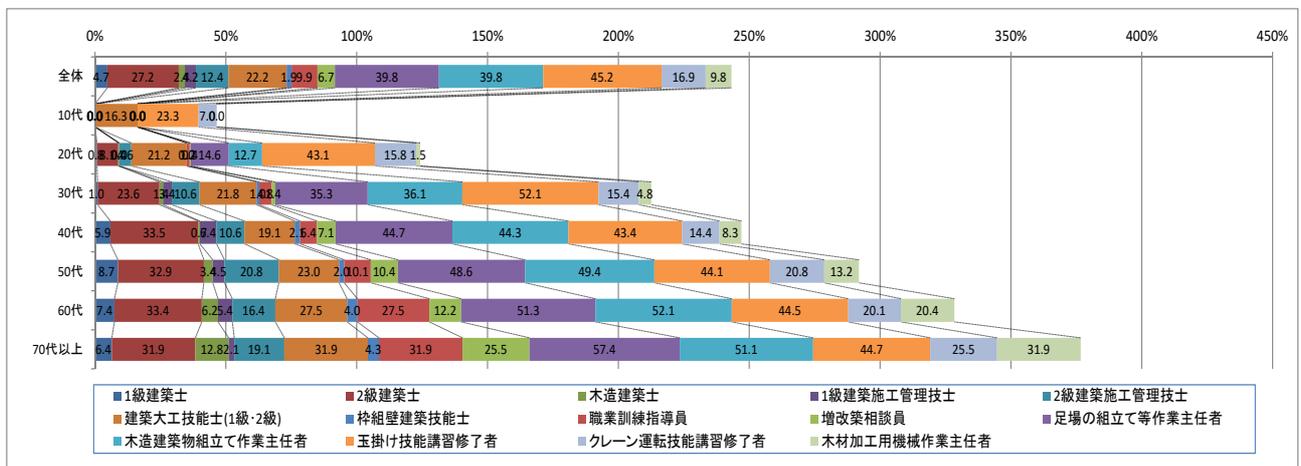


図 3.3.9# 持っている資格（H29年度）

②大工職のみ回答 墨付けができますか。

- ・ P.100 経験年数別集計も同様の結果となっており、参考とされたい。
- ・ 前回調査（H29年度）と同様に、全体の7割弱が墨付けができる。
- ・ 「はい」は「60代（81.7%）」が最も大きい。次いで「50代（80.6%）」、「40代（76.5%）」。
- ・ 「いいえ」は「20代（49.0%）」が最も大きい。次いで、「10代（36.4%）」、「30代（24.3%）」。
- ・ 「はい」は「20代（35.5%）」、「30代（58.9%）」、「40代」～「60代」が8割程度と大きく変わっている。「30代」が入職した2000年以降にプレカット率が50%から90%へ増加したことにより、墨付けの教育を受けていない大工が増加していることが分かる。
- ・ 前回調査（H29年度）と比較して「10代」、「40代」～「60代」で「はい」が増加しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(14)①墨付けができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	1335	67.3	17.2	15.5
年齢				
10代	22	45.5	36.4	18.2
20代	200	35.5	49.0	15.5
30代	263	58.9	24.3	16.7
40代	336	76.5	10.7	12.8
50代	222	80.6	6.3	13.1
60代	235	81.7	2.6	15.7
70代以上	40	67.5	0.0	32.5

表 3.3.10 墨付け（H30年度）（割合%）

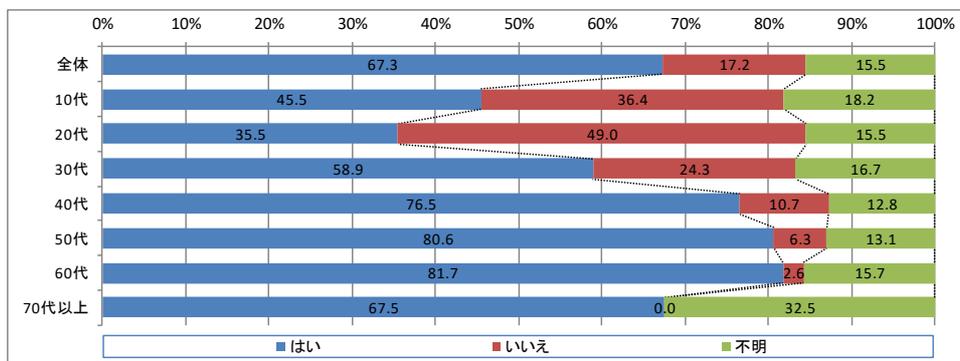


図 3.3.10 墨付け（H30年度）

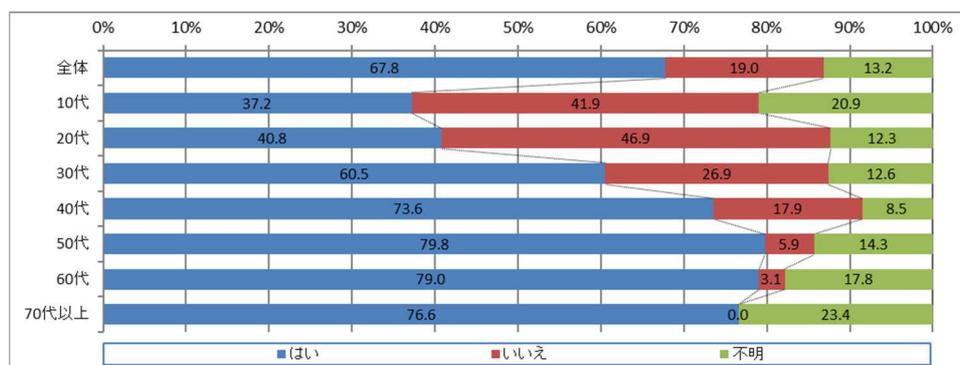


図 3.3.10# 墨付け（H29年度）

③大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(新築)

- ・前回調査（H29年度）と同様に、全体の2割程度が手刻みを年1棟以上行っている。
- ・「はい」は「60代（26.8%）」が最も大きい。次いで「70代以上（25.0%）」、「50代（23.0%）」。
- ・「いいえ」は「30代（68.4%）」が最も大きい。次いで「10代（68.2%）」、「40代（66.4%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「40代」以上の年代において「はい」が増加している。

	合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	不明
全体	1335	20.7	62.3	17.0
年齢				
10代	22	4.5	68.2	27.3
20代	200	19.5	64.5	16.0
30代	263	14.8	68.4	16.7
40代	336	20.8	66.4	12.8
50代	222	23.0	60.4	16.7
60代	235	26.8	54.0	19.1
70代以上	40	25.0	42.5	32.5

表 3.3.11 手刻み加工の仕事（新築）（H30年度）（割合%）

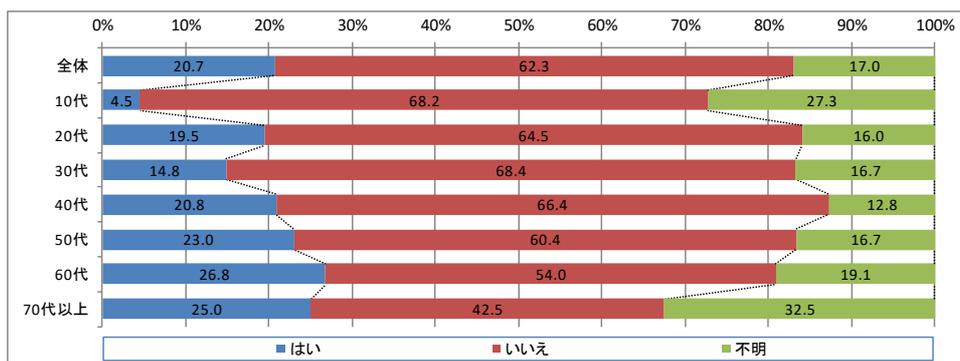


図 3.3.11 手刻み加工の仕事（新築）（H30年度）

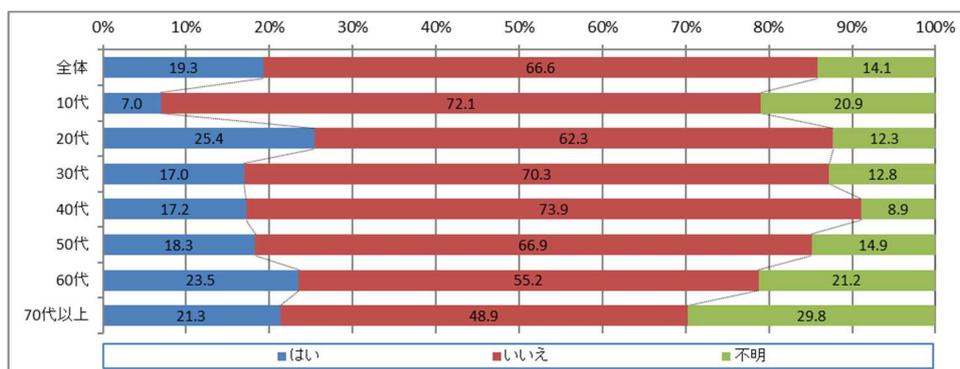


図 3.3.11# 手刻み加工の仕事（新築）（H29年度）

④大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(増改築)

- ・前回調査 (H29 年度) と同様に、全体の 4 割強が手刻みを年 1 棟以上行っており、特に「30 代」以上の熟練大工の比率が高い。
- ・「はい」は「60 代 (50.2%)」が最も大きい。次いで「50 代 (49.5%)」、「40 代 (44.6%)」。
- ・「いいえ」は「10 代 (59.1%)」が最も大きい。次いで「20 代 (51.0%)」、「40 代 (43.2%)」。
- ・前回調査 (H29 年度) と比較して「20 代」、「70 代以上」以外の年代で「いいえ」が減少し、「はい」が増加している。

	合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	不明
全体	1335	42.9	40.2	16.9
年齢				
10代	22	13.6	59.1	27.3
20代	200	31.5	51.0	17.5
30代	263	41.4	41.8	16.7
40代	336	44.6	43.2	12.2
50代	222	49.5	34.7	15.8
60代	235	50.2	31.5	18.3
70代以上	40	37.5	27.5	35.0

表 3.3.12 手刻み加工の仕事 (増改築) (H30 年度) (割合%)

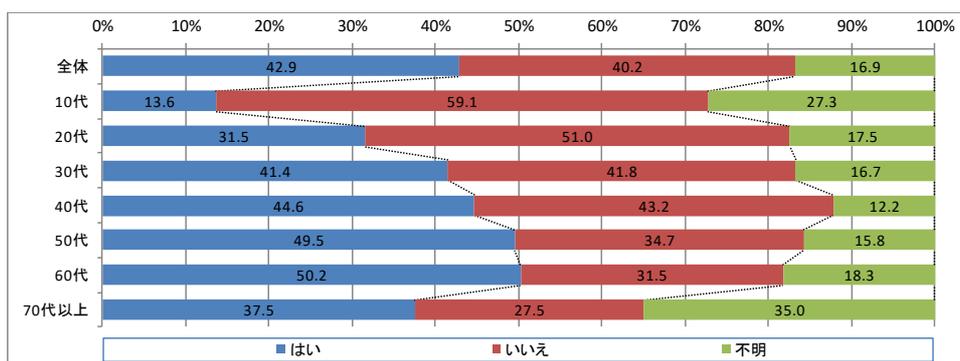


図 3.3.12 手刻み加工の仕事 (増改築) (H30 年度)

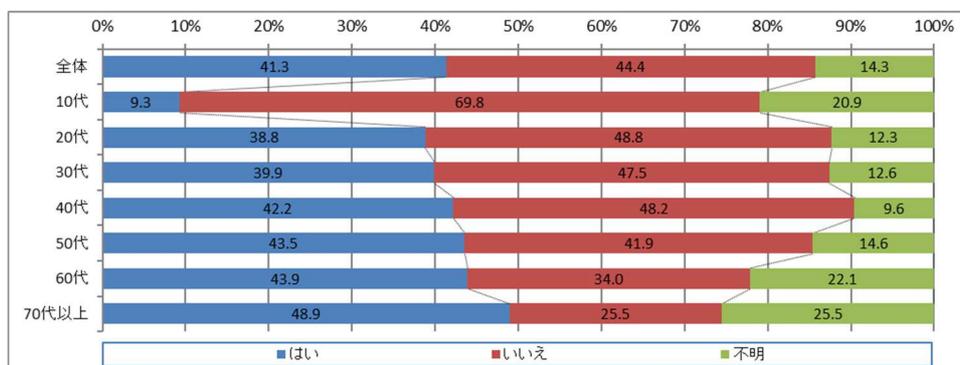


図 3.3.12# 手刻み加工の仕事 (増改築) (H29 年度)

⑤大工職のみ回答 和室造作ができますか。

- ・前回調査（H29 年度）と同様に、全体の 6 割強は和室造作ができるが、「30 代（53.2%）」、「20 代（16.5%）」の割合が低いことから、その多くは「40 代」以上の大工となっている。
- ・「はい」は「50 代（80.2%）」が最も大きい。次いで「60 代（80.0%）」、「40 代（74.4%）」。
- ・「いいえ」は「10 代（72.7%）」が最も大きい。次いで「20 代（66.5%）」、「30 代（29.7%）」。
- ・前回調査（H29 年度）と比較して「50 代」以下の年代で「いいえ」が減少している。

	合計	(14)④和室造作ができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	1335	61.6	22.3	16.1
年齢				
10代	22	0.0	72.7	27.3
20代	200	16.5	66.5	17.0
30代	263	53.2	29.7	17.1
40代	336	74.4	13.1	12.5
50代	222	80.2	6.3	13.5
60代	235	80.0	3.8	16.2
70代以上	40	65.0	0.0	35.0

表 3.3.13 和室造作（H30 年度）（割合%）

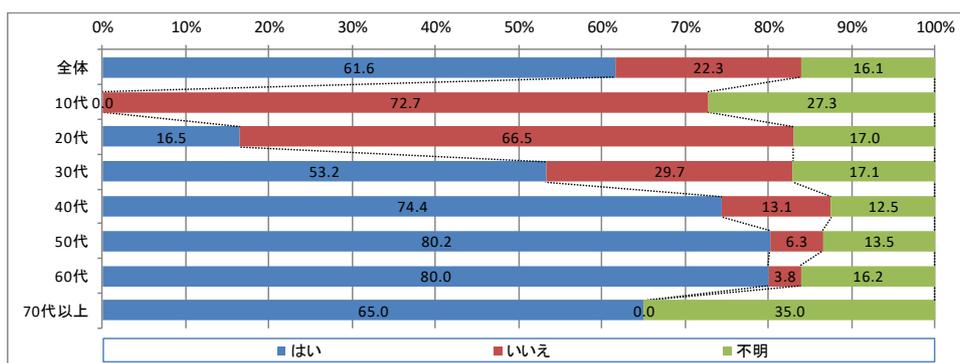


図 3.3.13 和室造作（H30 年度）

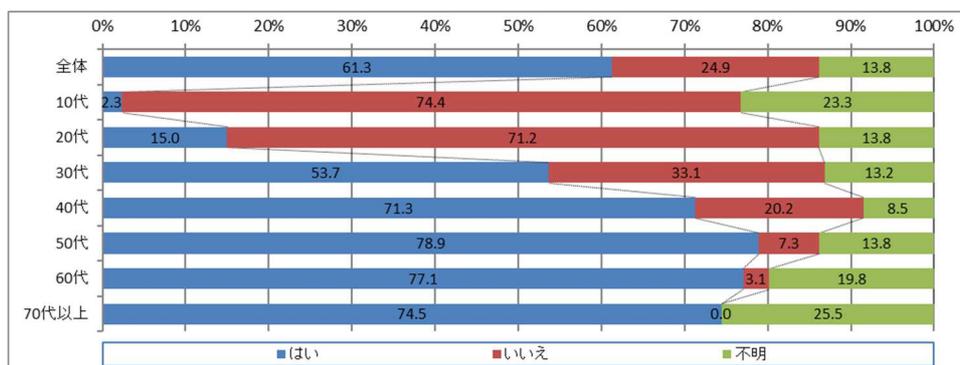


図 3.3.13# 和室造作（H29 年度）

⑥大工職のみ回答 2×4 工法の住宅の施工ができますか。

- ・前回調査（H29 年度）と同様に、全体の 4 分の 1 程度、「40 代」以上で 3 割程度が 2×4 工法の住宅の施工ができる。
- ・「はい」は「70 代以上（32.5%）」が最も大きい。次いで「60 代（31.5%）」、「50 代（30.2%）」。
- ・「いいえ」は「10 代（72.7%）」が最も大きい。次いで「20 代（68.5%）」、「30 代（58.9%）」。
- ・前回調査（H29 年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工ができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	1335	26.1	56.6	17.3
年齢				
10代	22	0.0	72.7	27.3
20代	200	13.5	68.5	18.0
30代	263	24.0	58.9	17.1
40代	336	29.8	56.8	13.4
50代	222	30.2	55.9	14.0
60代	235	31.5	48.1	20.4
70代以上	40	32.5	32.5	35.0

表 3.3.14 2×4 工法の住宅の施工（H30 年度）（割合%）

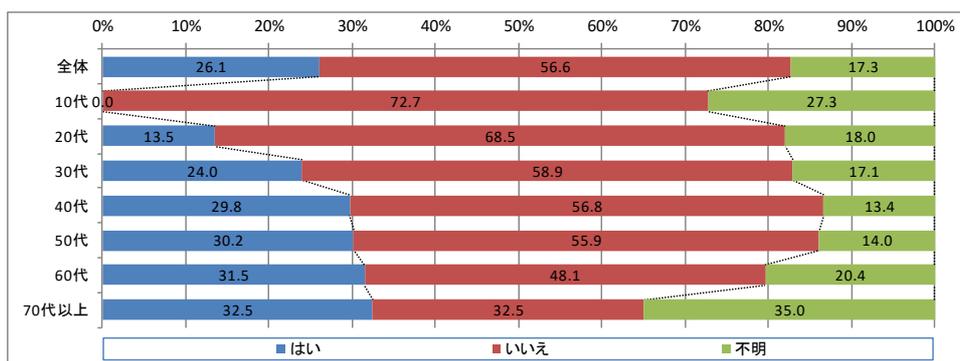


図 3.3.14 2×4 工法の住宅の施工（H30 年度）

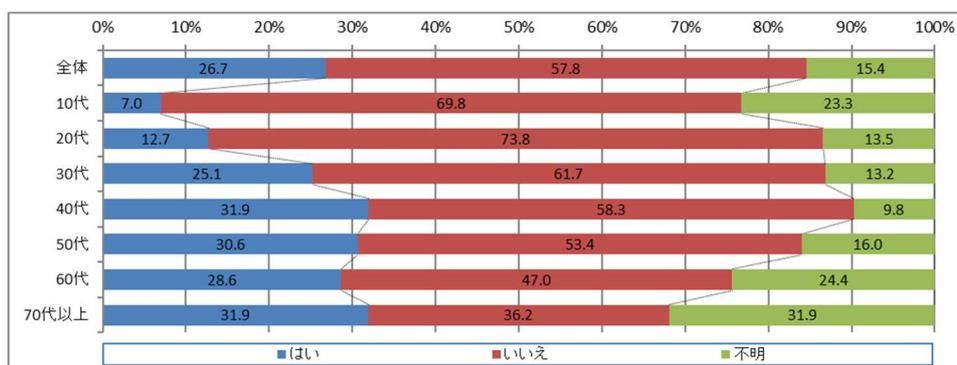


図 3.3.14# 2×4 工法の住宅の施工（H29 年度）

(4) 仕事に対する満足度や今後の意向について

①現在の仕事の内容について満足していますか。

- ・全体で「とても満足している (10.5%)」、「まあ満足している (52.5%)」であり、前回調査 (H29年度) と同様に、全体の6割強が満足していると回答している。
- ・「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値は「20代 (66.0%)」が最も大きい。次いで「10代 (63.7%)」、「30代 (63.5%)」。
- ・「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値は「40代 (29.2%)」が最も大きい。次いで「50代 (28.8%)」、「30代 (25.1%)」。
- ・前回調査 (H29年度) と比較して「10代」で「とても満足している」が増加しており、今回調査では年齢が高くなるにつれて割合が低くなる傾向が見られた。また「50代」以上で「まあ満足している」が増加している。

	合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	1335	10.5	52.5	20.8	4.6	11.6
年齢						
10代	22	27.3	36.4	13.6	0.0	22.7
20代	200	16.5	49.5	18.5	6.0	9.5
30代	263	10.3	53.2	19.4	5.7	11.4
40代	336	9.2	53.3	25.0	4.2	8.3
50代	222	7.7	55.0	23.4	5.4	8.6
60代	235	8.1	55.3	17.9	3.0	15.7
70代以上	40	15.0	40.0	17.5	0.0	27.5

表 3.3.15 仕事の内容についての満足度 (H30年度) (割合%)

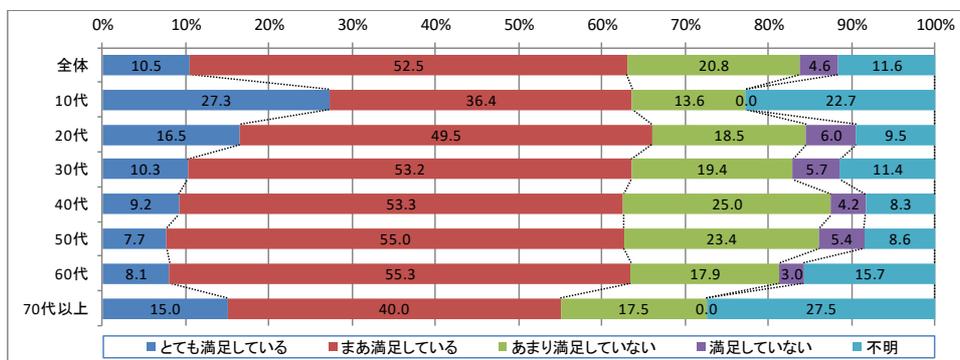


図 3.3.15 仕事の内容についての満足度 (H30年度)

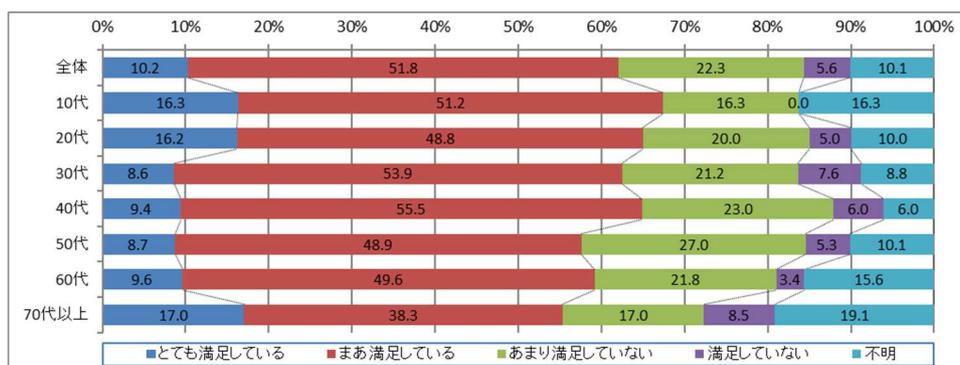


図 3.3.15# 仕事の内容についての満足度 (H29年度)

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

- ・全体で「とても満足している（3.8%）」、「まあ満足している（34.0%）」であり、前回調査（H29年度）と同様に、全体の4割弱が満足していると回答している。
- ・「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値は「70代以上（42.5%）」が最も大きい。次いで「20代（41.5%）」、「60代（41.3%）」。
- ・「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値は「40代（59.3%）」が最も大きい。次いで「50代（54.1%）」、「20代（49.5%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「10代」で「あまり満足していない」が減少しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度					
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明	
全体	1335	3.8	34.0	35.6	14.9	11.7	
年齢	10代	22	9.1	27.3	18.2	18.2	27.3
	20代	200	7.5	34.0	30.5	19.0	9.0
	30代	263	4.6	34.6	35.7	13.7	11.4
	40代	336	2.4	30.7	42.0	17.3	7.7
	50代	222	1.8	35.1	40.1	14.0	9.0
	60代	235	3.0	38.3	31.1	11.1	16.6
	70代以上	40	5.0	37.5	27.5	2.5	27.5

表 3.3.16 収入等についての満足度（H30年度）（割合%）

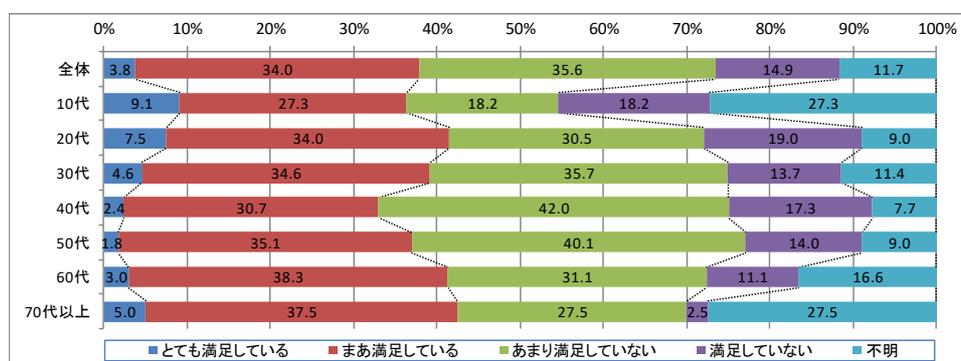


図 3.3.16 収入等についての満足度（H30年度）

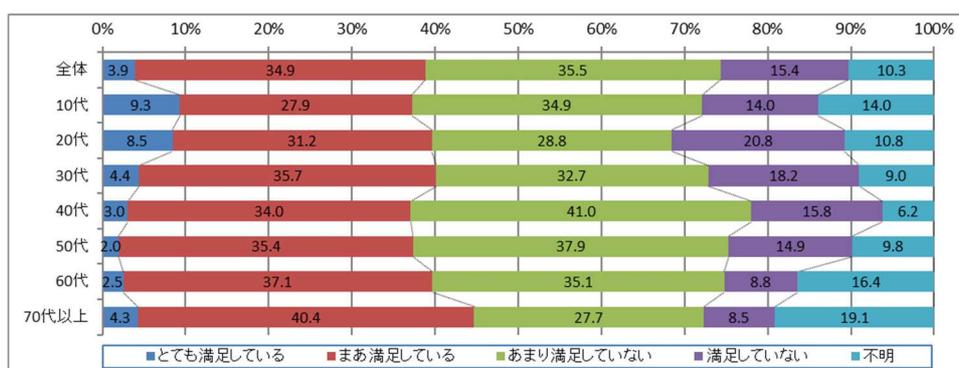


図 3.3.16# 収入等についての満足度（H29年度）

③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

- ・全体的には前回調査（H29年度）と大きな変化は見られなかったが、具体的なリタイヤ時期を考えている大工が「20代（21.5%）」から「60代（49.4%）」と年齢が高くなるにつれて増加している。
- ・「仕事ができる限り続ける」は「10代（72.7%）」が最も大きい。次いで「20代（64.5%）」、「30代（63.5%）」。一方「60代（34.5%）」が最も小さい。
- ・「65歳で引退する」は「10代」、「30代」～「50代」において「仕事ができる限り続ける」の次に大きな割合を占める。
- ・「仕事がないため、近々退職・引退する予定である」は「70代以上（2.5%）」で最も大きく、次いで「20代（2.0%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「10代」で「仕事ができる限り続ける」が増加している。

	合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか						
		60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明
全体	1335	6.4	13.8	12.0	3.4	51.4	0.7	12.3
年齢								
10代	22	0.0	4.5	0.0	0.0	72.7	0.0	22.7
20代	200	9.5	8.0	4.0	0.0	64.5	2.0	12.0
30代	263	9.1	10.6	4.6	0.8	63.5	0.4	11.0
40代	336	8.6	18.5	11.9	0.9	51.8	0.3	8.0
50代	222	5.9	23.0	13.5	3.6	41.9	0.9	11.3
60代	235	0.0	10.2	29.4	9.8	34.5	0.0	16.2
70代以上	40	0.0	0.0	2.5	25.0	45.0	2.5	25.0

表 3.3.17 何歳まで仕事を続ける予定か（H30年度）（割合%）

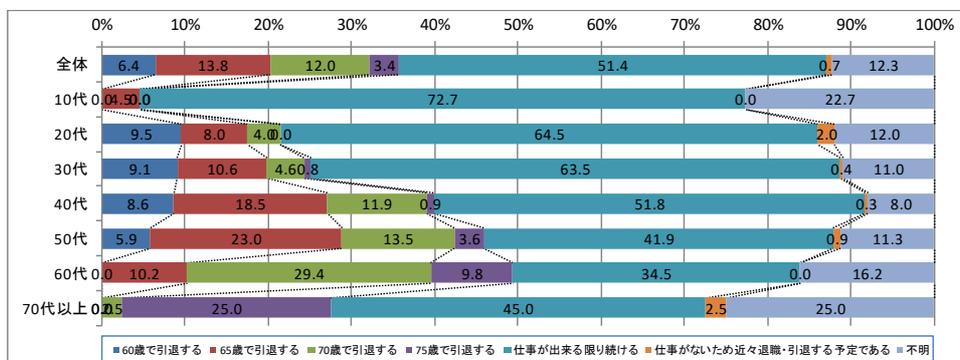


図 3.3.17 何歳まで仕事を続ける予定か（H30年度）

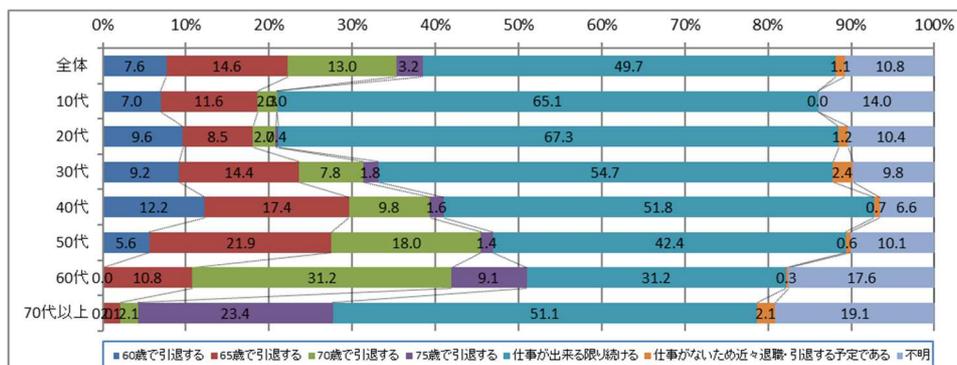


図 3.3.17# 何歳まで仕事を続ける予定か（H29年度）

(5) 担い手育成について

①現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

- ・全体で「現在育てている（13.3%）」、「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい（37.4%）」であり、前回調査（H29年度）と同様に、合計値は全体の5割程度となっている。
- ・「現在育てている」は「30代（17.5%）」が最も大きい。次いで「60代（15.3%）」、「50代（14.0%）」。
- ・「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」は「40代（45.8%）」、「30代（43.0%）」が他の年齢に比べて大きくなっている。
- ・「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」とは「60代（42.1%）」が最も大きい。次いで「70代以上（37.5%）」、「50代（36.5%）」と高齢になるにつれて育成意欲が薄れている。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」が「20代」で減少し、「50代」で増加しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか			
		現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明
全体	1335	13.3	37.4	31.2	18.2
年齢					
10代	22	4.5	22.7	27.3	45.5
20代	200	6.5	36.5	22.0	35.0
30代	263	17.5	43.0	24.3	15.2
40代	336	12.8	45.8	30.4	11.0
50代	222	14.0	36.0	36.5	13.5
60代	235	15.3	26.0	42.1	16.6
70代以上	40	12.5	27.5	37.5	22.5

表 3.3.18 担い手の育成状況（H30年度）（割合%）

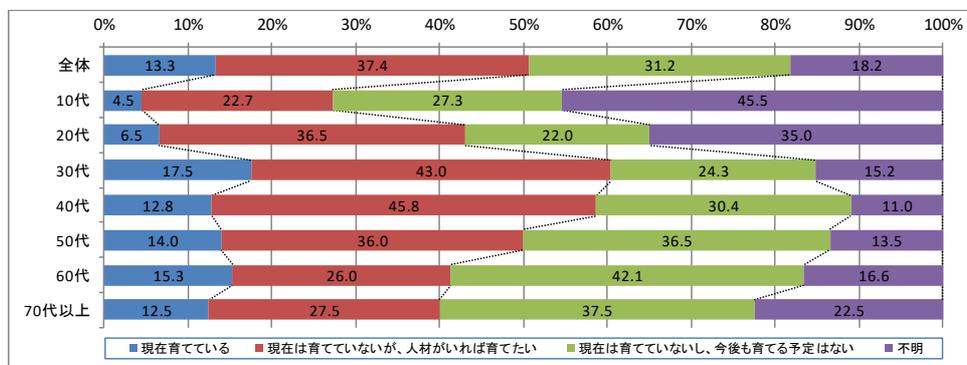


図 3.3.18 担い手の育成状況（H30年度）

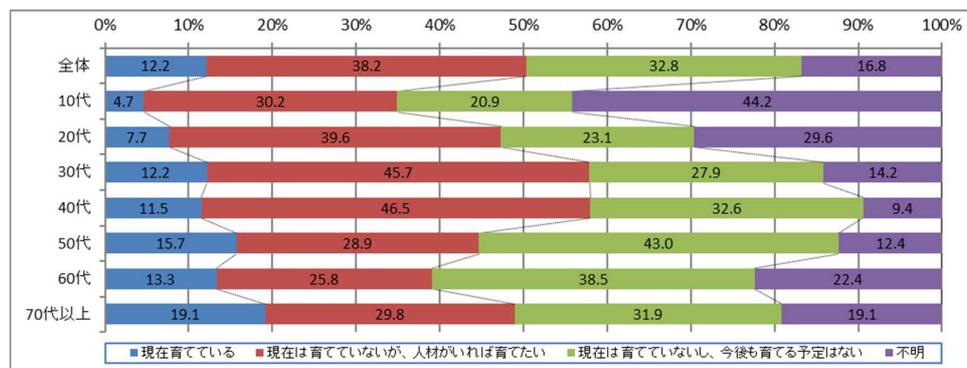


図 3.3.18# 担い手の育成状況（H29年度）

② 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

- ・全体で「正社員（職業訓練校）（18.6%）」、「正社員（弟子として）（70.1%）」であり、前回調査（H29年度）と比較して、合計値は1割程度増加している。
- ・「正社員（職業訓練校）」は「70代以上（40.0%）」が最も大きい。次いで「20代（30.8%）」、「30代（19.6%）」。
- ・「正社員（弟子として）」は「40代（76.7%）」、「30代（73.9%）」が大きい。
- ・「一人親方等にあずける（職業訓練校）」は「50代（6.5%）」のみとなっている。
- ・「一人親方等にあずける（弟子として）」は「70代以上（20.0%）」が最も大きい。次いで「60代（13.9%）」、「40代（9.3%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「正社員（職業訓練校）」、「正社員（弟子として）」の合計値は「70代以上」以外の年齢で増加している。

	合計	(19)育成期間の担い手の立場				
		正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親方 等にあず ける(職業 訓練校)	一人親方 等にあず ける(弟子 として)	不明
全体	177	18.6	70.1	1.1	8.5	1.7
10代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
20代	13	30.8	61.5	0.0	7.7	0.0
30代	46	19.6	73.9	0.0	6.5	0.0
40代	43	14.0	76.7	0.0	9.3	0.0
50代	31	16.1	71.0	6.5	3.2	3.2
60代	36	16.7	63.9	0.0	13.9	5.6
70代以上	5	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0

表 3.3.19 育成期間の担い手の立場（H30年度）（割合%）

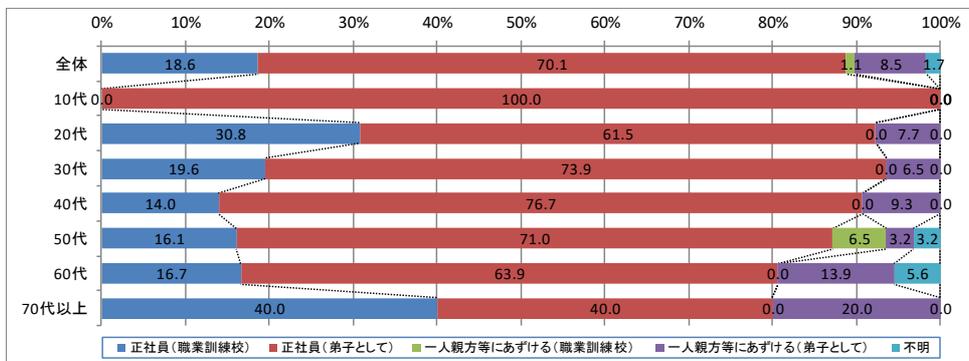


図 3.3.19 育成期間の担い手の立場（H30年度）

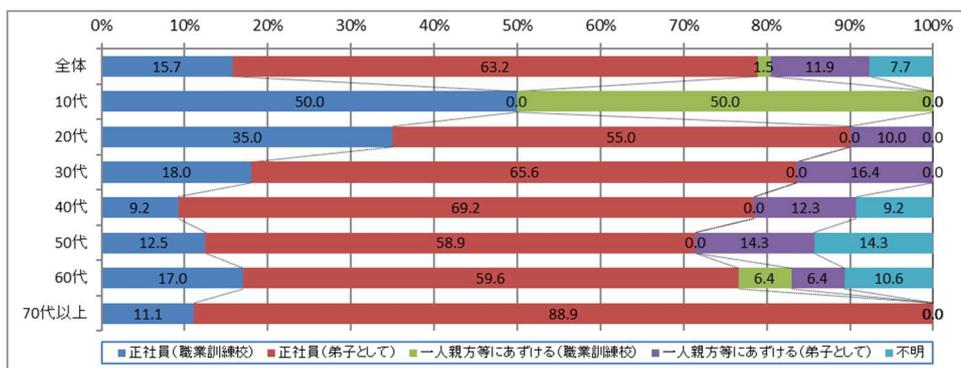


図 3.3.19# 育成期間の担い手の立場（H29年度）

③ 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成にかかる費用負担

- ・前回調査（H29年度）と同様に、全体の3割強が育成にかかる費用負担が有ると回答しているが、年代別の構成は大きく変わっている。
- ・「有る」は「60代（41.7%）」が最も大きい。次いで「70代以上（40.0%）」、「30代（34.8%）」。
- ・「無い」は「20代（38.5%）」が最も大きい、次いで「70代以上（20.0%）」、「60代（16.7%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「30代」、「40代」で「有る」が増加し、「50代」以上で減少している。

	合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
		有	無	不明
全体	177	32.8	15.3	52.0
年齢				
10代	1	0.0	0.0	100.0
20代	13	7.7	38.5	53.8
30代	46	34.8	13.0	52.2
40代	43	32.6	16.3	51.2
50代	31	32.3	6.5	61.3
60代	36	41.7	16.7	41.7
70代以上	5	40.0	20.0	40.0

表 3.3.20 育成期間にかかる費用負担（H30年度）（割合%）

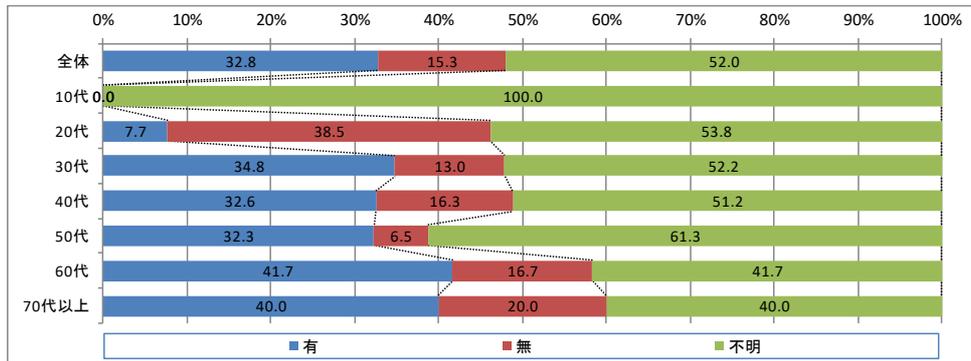


図 3.3.20 育成期間にかかる費用負担（H30年度）

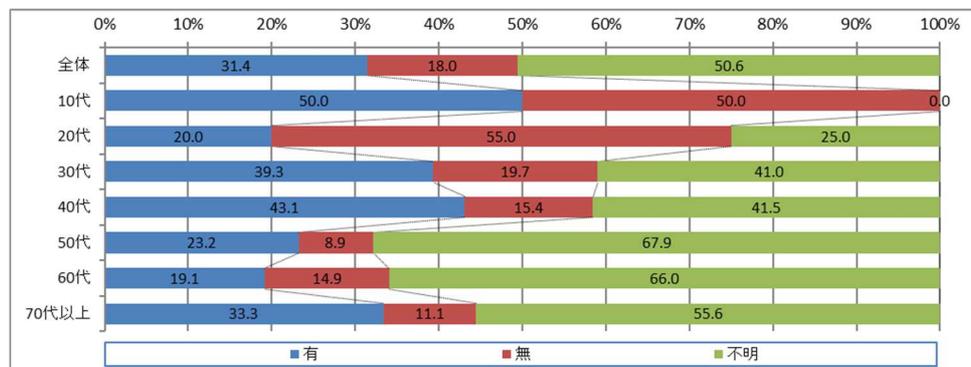


図 3.3.20# 育成期間にかかる費用負担（H29年度）

④ 「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答

なぜ育てる予定はないのか。

- ・全体では「将来の保障が出来ないため (36.5%)」、「人材がないため (21.9%)」、「費用がかかるため (17.8%)」、「新築が少ないため (16.3%)」である。また育成に係る費用負担の項目である「費用がかかるため」、「新築が少ないため」を合算すると 33.9%となる。
- ・「将来の保障が出来ないため」は、「30代」以上で割合が大きく、特に「50代 (51.9%)」、「40代 (47.1%)」で割合が大きくなっている。
- ・「人材がないため」は、「30代」以上で割合が大きく、「70代以上 (33.3%)」で最も大きい。
- ・「費用がかかるため」は、特に「40代 (34.3%)」、「30代 (25.0%)」で割合が大きくなっている。
- ・「新築が少ないため」は、「40代」以上で割合が大きく、「60代 (26.3%)」で最も大きい。

	合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカートのため	新築が少ないため	その他	不明
全体	416	7.7	7.9	17.8	2.9	21.9	15.9	36.5	15.1	7.7	16.3	5.3	10.8
10代	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3
20代	44	0.0	9.1	4.5	2.3	4.5	29.5	11.4	0.0	0.0	2.3	22.7	22.7
30代	64	9.4	14.1	25.0	7.8	17.2	14.1	28.1	4.7	4.7	7.8	3.1	10.9
40代	102	10.8	8.8	34.3	2.0	28.4	14.7	47.1	2.9	6.9	16.7	2.9	7.8
50代	81	7.4	8.6	13.6	4.9	23.5	18.5	51.9	13.6	13.6	19.8	2.5	9.9
60代	99	8.1	2.0	9.1	0.0	24.2	9.1	35.4	40.4	10.1	26.3	5.1	4.0
70代以上	15	6.7	6.7	0.0	0.0	33.3	6.7	20.0	33.3	6.7	20.0	0.0	33.3

表 3.3.21 なぜ育てる予定はないのか (H30 年度) (割合%)

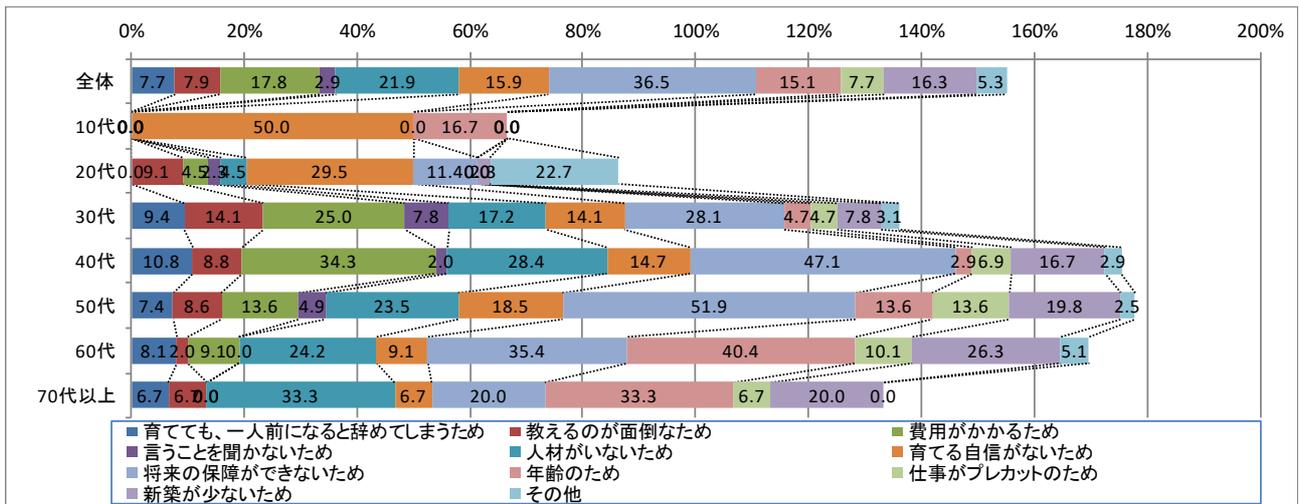


図 3.3.21 なぜ育てる予定はないのか (H30 年度)

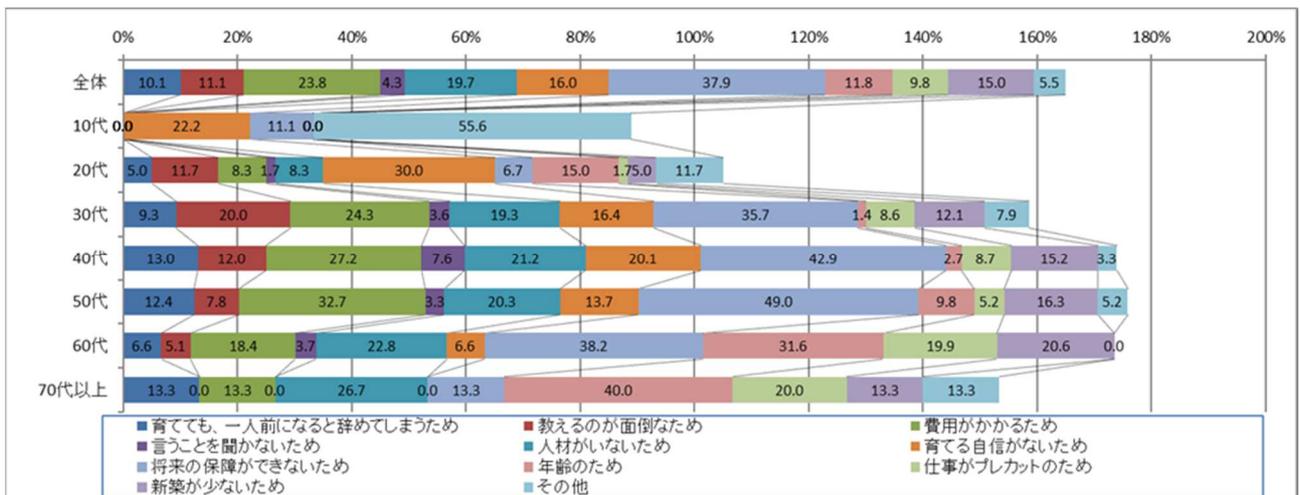


図 3.3.21# なぜ育てる予定はないのか (H29 年度)

⑤担い手育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。

- ・前回調査（H29年度）と同様に、全体では「10万円/月（25.4%）」、「15万円/月（19.0%）」の順で高い。
- ・全体で最も大きい「10万円/月」は「30代」～「50代」の3割程度が必要と考えている。
- ・前回調査（H29年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か						
		3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明	
全体	1335	5.4	12.6	25.4	19.0	3.7	33.9	
年齢	10代	22	9.1	9.1	9.1	9.1	0.0	63.6
	20代	200	5.5	12.5	17.0	12.5	5.5	47.0
	30代	263	7.2	14.4	26.2	20.5	4.6	27.0
	40代	336	3.3	13.7	32.4	23.8	3.6	23.2
	50代	222	5.0	10.8	27.5	23.0	4.1	29.7
	60代	235	6.4	12.8	23.4	14.0	2.1	41.3
	70代以上	40	7.5	5.0	20.0	10.0	2.5	55.0

表 3.3.22 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H30年度）（割合%）

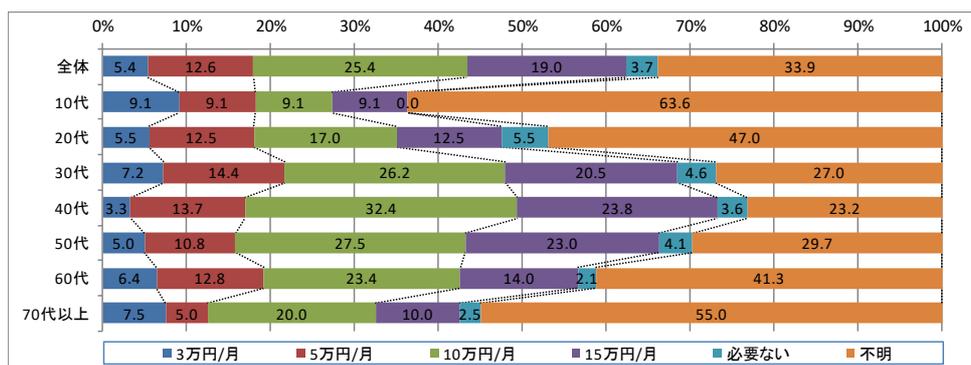


図 3.3.22 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H30年度）

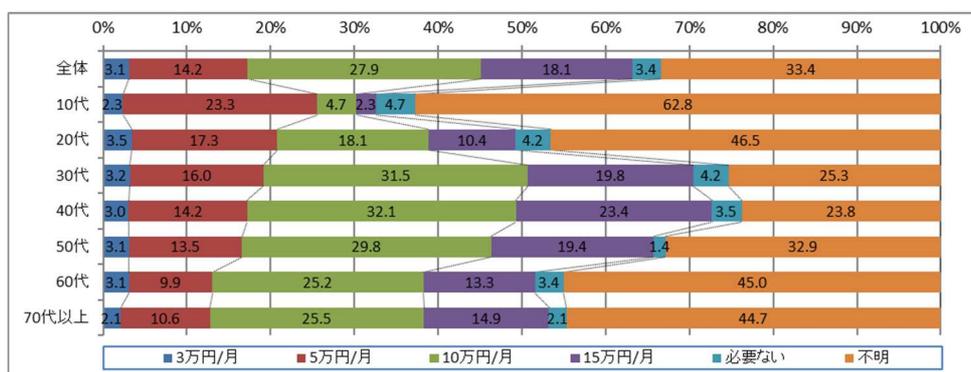


図 3.3.22# 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H29年度）

4. 経験年数別集計

(1) 職業等について

①職種においてベテランだと思いませんか。

- ・「5年未満」は「見習い（80.5%）」が最も大きい。
- ・「6～10年」は「やや中堅（37.1%）」が最も大きく、次いで「中堅（34.3%）」。
- ・「11～20年」は「中堅（55.7%）」が最も大きく、次いで「やや中堅（20.5%）」。
- ・「21～30年」は「中堅（46.6%）」が最も大きく、次いで「ややベテラン（28.0%）」。
- ・「31～40年」は「ややベテラン（39.7%）」、「ベテラン（34.9%）」、「中堅（21.2%）」が高い割合を占め、考え方に幅がある。
- ・「41～50年」は「ベテラン（44.1%）」が最も大きく、次いで「ややベテラン（30.7%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「51年以上」で「ベテラン」が減少している。

	合計	(5)あなたのベテラン度合いについて						
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明	
全体	1335	18.1	20.7	31.4	10.9	15.9	3.0	
経験年数	5年未満	215	0.9	0.9	5.1	11.6	80.5	0.9
	6～10年	105	1.0	5.7	34.3	37.1	19.0	2.9
	11～20年	264	4.9	13.3	55.7	20.5	3.0	2.7
	21～30年	322	17.7	28.0	46.6	4.7	1.2	1.9
	31～40年	189	34.9	39.7	21.2	2.1	0.5	1.6
	41～50年	179	44.1	30.7	15.1	3.9	2.2	3.9
	51年以上	51	43.1	27.5	13.7	0.0	3.9	11.8

表 3.4.1 職種のベテラン度合（H30年度）（割合%）

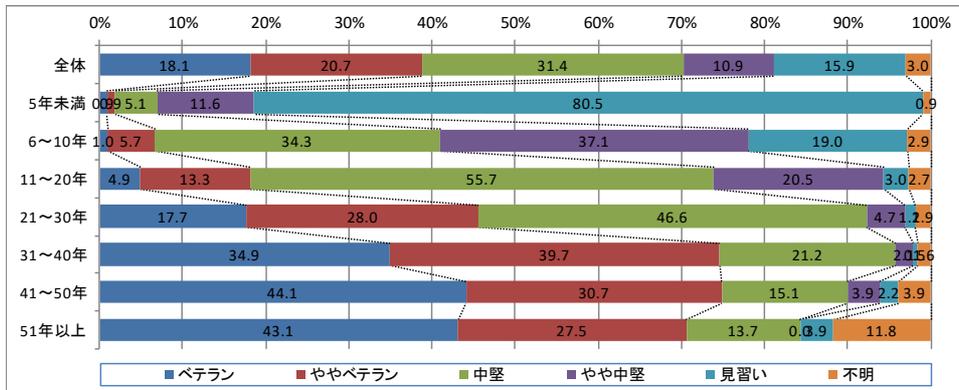


図 3.4.1 職種のベテラン度合（H30年度）

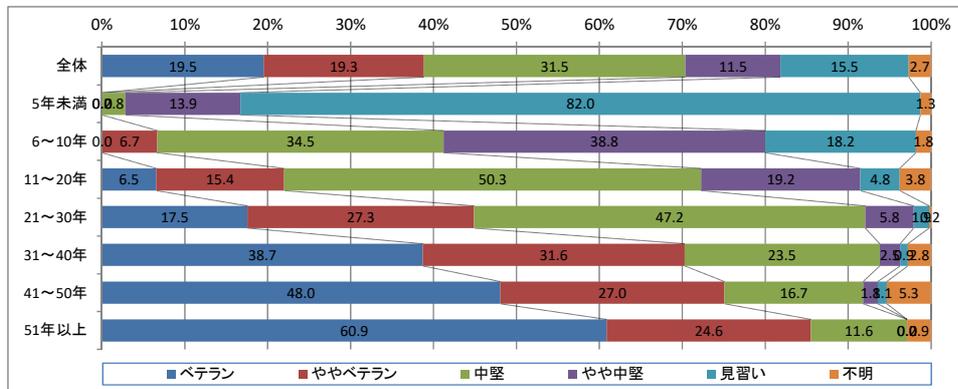


図 3.4.1# 職種のベテラン度合（H29年度）

(2) 雇用形態について

①雇用形態（工務店等との）

- ・ P.94②就業規則及び P.95③有給休暇の傾向と一致しない結果となっており、参考とされたい。
- ・ 「工務店社員」は「6～10年」以下の割合が大きく、「6～10年（72.4%)」、「5年未満（71.2%)」。また「11～20年（43.9%)」、「21～30年（30.1%)」、「30～40年（21.7%)」と経験年数が長くなるにつれて割合は減少しており、永久雇用されているのは2割程度と考えられる。
- ・ 一方「6～10年」以下のうち3割程度の大工は、すでに一人親方化している。
- ・ 「元請として仕事」は「51年以上（51.0%)」が最も大きい。次いで「31～40年、41～50年（49.2%)」。
- ・ 「その他（アルバイト等）」は「5年未満（4.7%)」が最も大きい。次いで「51年以上（2.0%)」。
- ・ 前回調査（H29年度）と比較して「51年以上」以外の経験年数で「外注常用（日当制）」、「外注常用（坪請主体）」が減少している。

	合計	(6)あなたの雇用形態							
		工務店社員	外注常用(日当制)	外注常用(坪請主体)	その都度契約	元請として仕事	その他(アルバイト等)	不明	
全体	1335	39.3	9.2	8.5	4.3	33.9	1.3	3.4	
経験年数	5年未満	215	71.2	6.5	0.9	0.9	6.5	4.7	9.3
	6～10年	105	72.4	9.5	2.9	0.0	14.3	1.0	0.0
	11～20年	264	43.9	10.2	8.0	5.3	30.3	0.8	1.5
	21～30年	322	30.1	8.7	11.8	5.9	41.6	0.3	1.6
	31～40年	189	21.7	10.1	10.1	5.3	49.2	0.5	3.2
	41～50年	179	20.1	10.1	14.5	3.9	49.2	0.6	1.7
	51年以上	51	9.8	11.8	7.8	11.8	51.0	2.0	5.9

表 3.4.2 雇用形態（H30年度）（割合%）

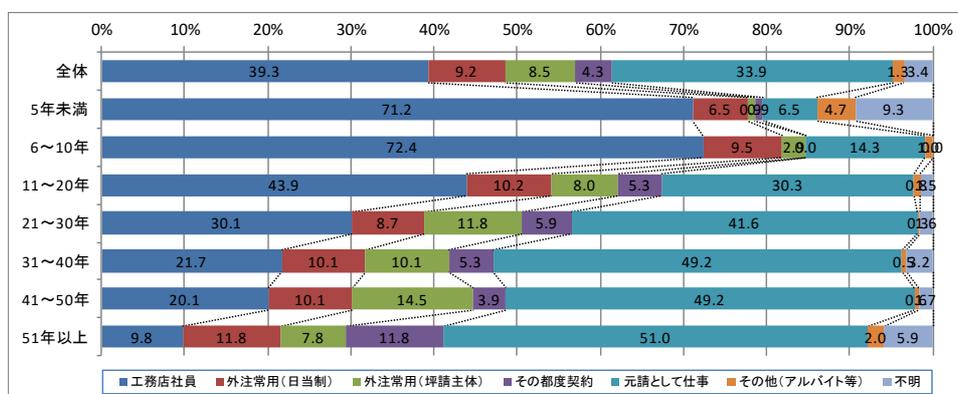


図 3.4.2 雇用形態（H30年度）

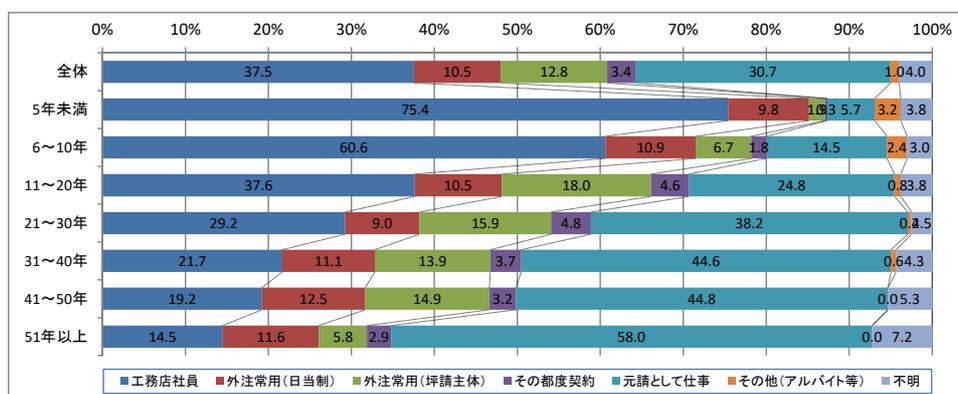


図 3.4.2 雇用形態（H29年度）

②就業規則

- ・ P.93①雇用形態「工務店社員」の傾向と一致しない結果となっている。
- ・ 「有る」は「6～10年(51.4%)」が最も大きい。次いで「5年未満(41.4%)」、「51年以上(29.4%)」。
- ・ 「無い」は「21～30年(59.6%)」が最も大きい。次いで「31～40年(55.6%)」、「11～20年(52.7%)」。
「11～20年」～「41～50年」の5～6割が「無い」と回答している。
- ・ 前回調査(H29年度)と比較して「6～10年」で「有る」が増加し、「無い」が減少しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(7)就業規則			
		有	無	不明	
全体	1335	30.3	48.3	21.3	
経験年数	5年未満	215	41.4	32.1	26.5
	6～10年	105	51.4	31.4	17.1
	11～20年	264	27.7	52.7	19.7
	21～30年	322	23.9	59.6	16.5
	31～40年	189	25.4	55.6	19.0
	41～50年	179	26.3	49.7	24.0
	51年以上	51	29.4	33.3	37.3

表 3.4.3 就業規則 (H30年度) (割合%)

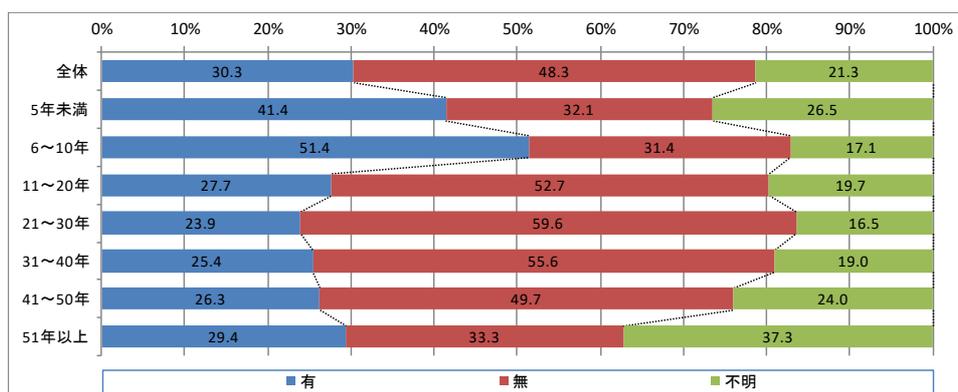


図 3.4.3 就業規則 (H30年度)

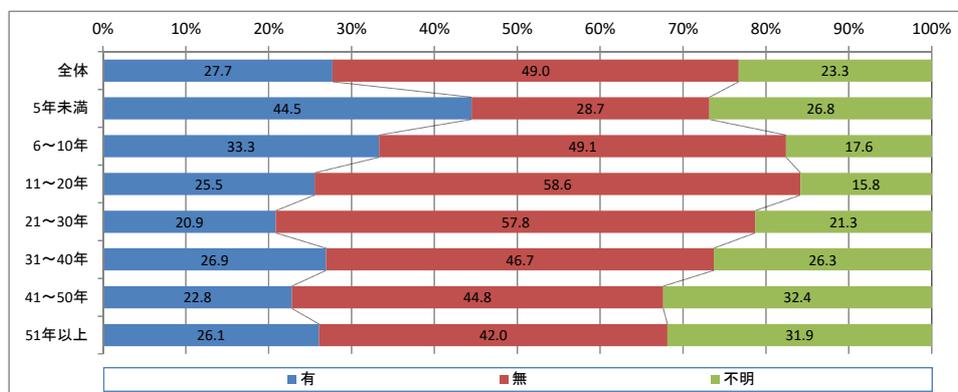


図 3.4.3# 就業規則 (H29年度)

③有給休暇

- ・P.93①雇用形態「工務店社員」の傾向と一致しない結果となっている。
- ・「有る」は「6～10年(29.5%)」が最も大きい。次いで「5年未満(28.4%)」、「11～20年(17.0%)」。
- ・「無い」は「21～30年(68.6%)」が最も大きい。次いで「11～20年(66.7%)」、「31～40年(63.5%)」。
- ・前回調査(H29年度)と比較して「6～10年」で「有る」が増加し、「41～50年」で「無い」が増加しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(8)有給休暇			
		有	無	不明	
全体	1335	16.3	59.7	24.0	
経験年数	5年未満	215	28.4	49.3	22.3
	6～10年	105	29.5	58.1	12.4
	11～20年	264	17.0	66.7	16.3
	21～30年	322	13.4	68.6	18.0
	31～40年	189	9.5	63.5	27.0
	41～50年	179	7.8	53.6	38.5
	51年以上	51	9.8	29.4	60.8

表 3.4.4 有給休暇 (H30年度) (割合%)

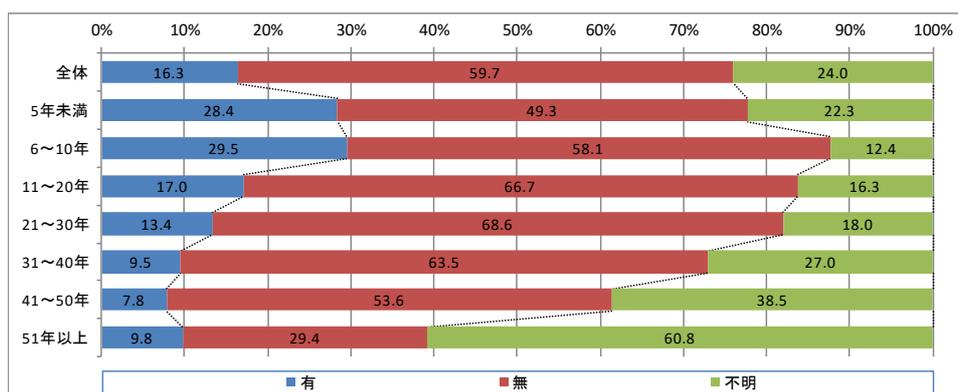


図 3.4.4 有給休暇 (H30年度)

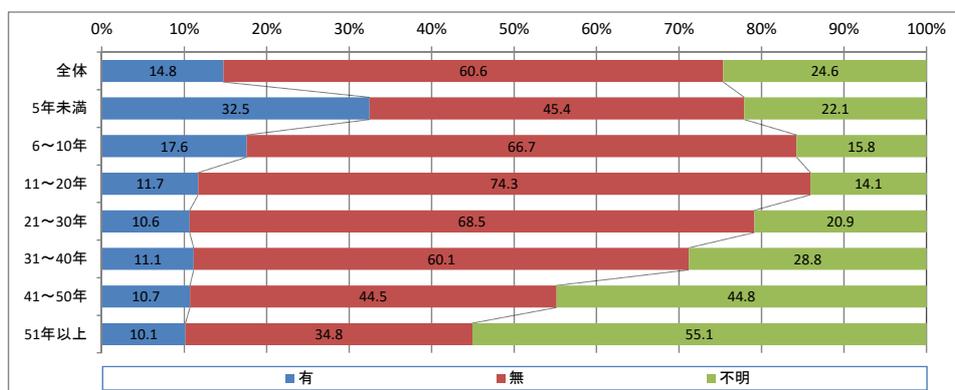


図 3.4.4# 有給休暇 (H29年度)

④年間就業日数

- 平均年間就業日数は、全体で 259.68 日と隔週 2 日休（264 日）より少ない。これは仕事の繁閑や雨天作業中止の結果として生まれていると考えられる。
- 平均年間就業日数は、「6～10 年」以上で急増し、「11～20 年（268.06 日）」が最も多い。次いで「21～30 年（264.21 日）」、「31～40 年（261.71 日）」。
- 一方「41～50 年（247.45 日）」が最も少ない。次いで「51 年以上（248.00 日）」、「5 年未満（250.54 日）」。
- 前回調査（H29 年度）と比較して平均年間就業日数は「21～30 年」以下で減少し、「31～40 年」以上で増加している。

	合計	(9)年間就業日数							平均
		100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上	不明	
全体	1335	3.0	1.5	0.9	5.8	18.3	21.9	48.6	259.68
経験年数									
5年未満	215	3.7	1.9	0.5	4.2	18.1	14.4	57.2	250.54
6～10年	105	3.8	2.9	0.0	5.7	20.0	27.6	40.0	260.14
11～20年	264	3.0	1.5	0.4	3.0	15.2	28.4	48.5	268.06
21～30年	322	4.0	0.9	0.3	4.3	18.9	25.5	46.0	264.21
31～40年	189	2.1	0.5	1.6	9.0	18.0	24.3	44.4	261.71
41～50年	179	1.7	2.2	2.2	10.1	24.6	11.7	47.5	247.45
51年以上	51	0.0	2.0	3.9	11.8	5.9	15.7	60.8	248.00

表 3.4.5 年間就業日数（H30 年度）（割合%）

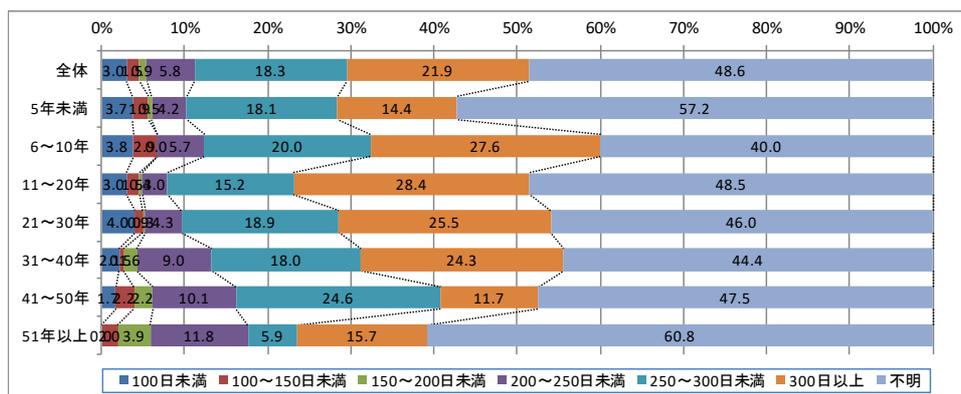


図 3.4.5 年間就業日数（H30 年度）

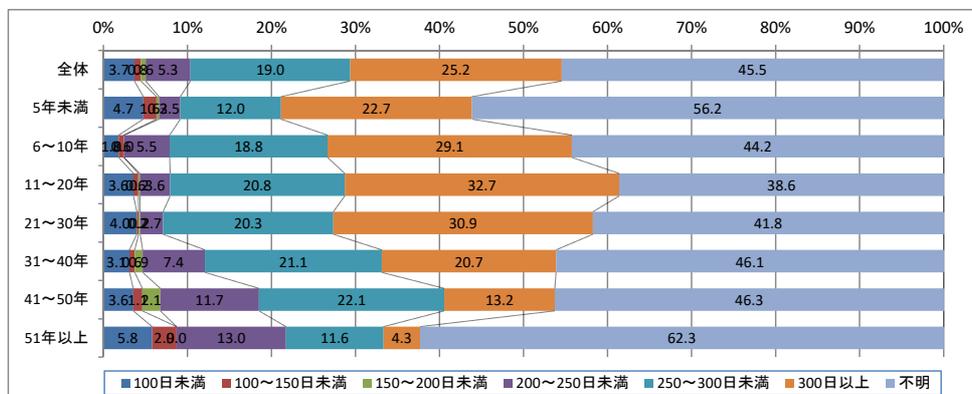


図 3.4.5# 年間就業日数（H29 年度）

⑤賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

- ・自己負担となっているものの割合の合計値は「51年以上（290.2%）」が最も大きい。次いで「41～50年（270.4%）」、「31～40年（263.5%）」。一方「5年未満（166.1%）」が最も小さい。
- ・「手道具」の自己負担は「6～10年（61.9%）」以上、「電動工具」の自己負担は「11～20年（62.9%）」以上で6割を超えている。
- ・「車（保険含む）」、「ガソリン」の自己負担は、「6～10年」以下で3割程度、「11～20年」以上で5～6割程度となっている。
- ・「全て所属する工務店等が負担」は「6～10年（22.9%）」以下で2割を超えているが、経験を増すごとに減少している。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「自己負担となっているもの」の合計値は「31～40年」、「51年以上」以外の経験年数で減少している。

	合計	(11)自己負担となっているもの						
		手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明
全体	1335	66.0	58.7	21.3	47.3	46.9	17.5	10.6
経験年数								
5年未満	215	57.7	40.9	4.2	32.6	30.7	20.5	12.6
6～10年	105	61.9	50.5	5.7	31.4	35.2	22.9	8.6
11～20年	264	73.5	62.9	23.5	49.6	50.4	16.3	4.9
21～30年	322	67.1	62.7	26.1	51.9	49.7	18.6	9.3
31～40年	189	65.6	65.1	32.8	51.3	48.7	15.9	12.2
41～50年	179	65.9	63.1	25.7	55.9	59.8	14.5	13.4
51年以上	51	68.6	68.6	31.4	62.7	58.8	11.8	19.6

表 3.4.6 自己負担となっているもの（H30年度）（割合%）

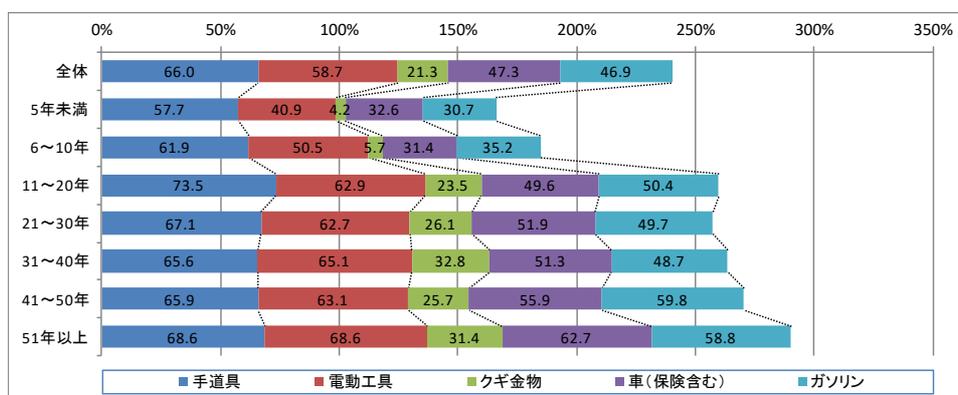


図 3.4.6 自己負担となっているもの（H30年度）

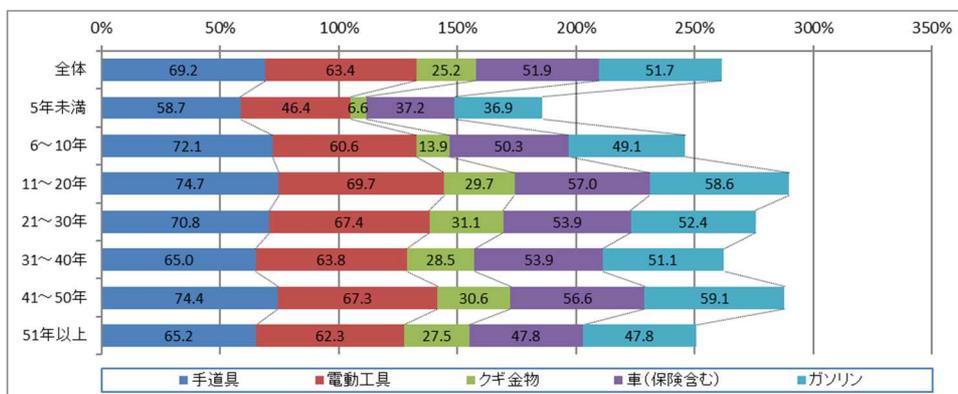


図 3.4.6# 自己負担となっているもの（H29年度）

⑥おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

- ・一日あたりのおおよその賃金の平均値は「21～30年（16,594円）」が最も高く、次いで「31～40年（16,142円）」。「5年未満（10,122円）」が最も低く、次いで「6～10年（12,440円）」。
- ・「5年未満」は10,000円未満が64.7%となっている。
- ・「11～20年」は「15,000～20,000円未満（29.9%）」がいるものの、「10,000～15,000円未満（41.3%）」の割合が大きい。この傾向は、21年以上の経験年数でも同様であり、多くが「15,000～20,000円未満」に停滞しており、さらに高い賃金は1～2割程度、さらに低い賃金は3.5～5割程度となっている。
- ・前回調査（H29年度）と比較してすべての経験年数で平均賃金が減少し、全体の平均賃金は約500円減少している。

	合計	(12)1日あたりのおおよその賃金							平均 (円)	
		8,000円未 満	8,000～ 10,000円 未満	10,000～ 15,000円 未満	15,000～ 20,000円 未満	20,000～ 25,000円 未満	25,000円 以上	不明		
全体	1335	7.3	10.4	34.3	30.5	8.8	3.3	5.3	14745	
経験 年数	5年未満	215	32.6	32.1	19.1	3.3	2.3	0.5	10.2	10122
	6～10年	105	5.7	22.9	50.5	13.3	1.0	1.9	4.8	12440
	11～20年	264	2.3	6.4	41.3	29.9	14.8	3.0	2.3	15595
	21～30年	322	1.6	3.1	29.8	43.5	12.7	5.3	4.0	16594
	31～40年	189	1.1	4.2	34.4	40.2	10.6	4.8	4.8	16142
	41～50年	179	3.4	3.9	40.2	40.2	5.6	3.4	3.4	15295
	51年以上	51	3.9	3.9	39.2	37.3	3.9	2.0	9.8	14924

表 3.4.7 1日あたりのおおよその賃金（H30年度）（割合%）

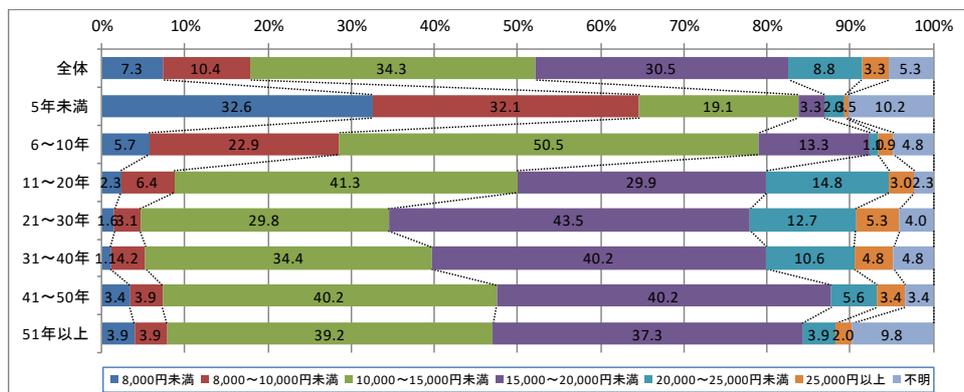


図 3.4.7 1日あたりのおおよその賃金（H30年度）

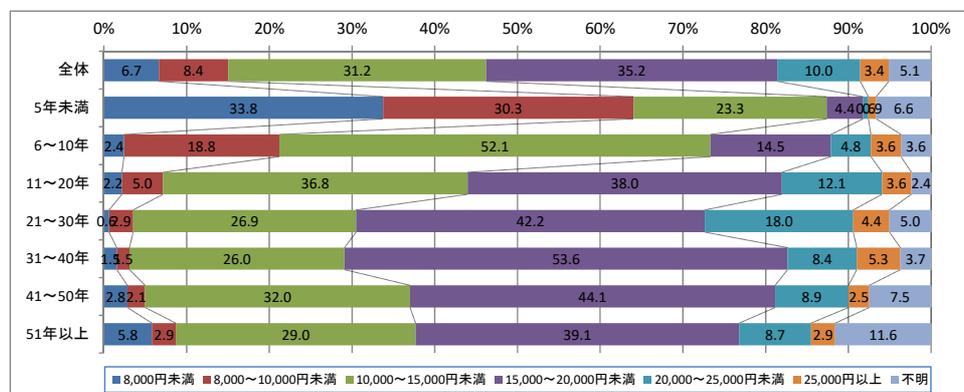


図 3.4.7# 1日あたりのおおよその賃金（H29年度）

(3) 資格や技能について

①持っている資格

- ・持っている資格の合計値を見ると、「5年未満（107.9%）」で何らかの資格を1個持って作業に従事している。また「6～10年（161.0%）」で1.5個、「21～30年（250.0%）」で2.5個、「41～50年（357.0%）」で3.5個の資格を持っている。
- ・持っている資格の合計値は「41～50年（357.0%）」が最も大きく、次いで「51年以上（331.4%）」。
- ・一方「5年未満（107.9%）」が最も小さく、次いで「6～10年（161.0%）」。
- ・「11～20年」以上の経験年数では「2級建築士」、「足場の組立て等作業主任者」、「木造建築物組立て作業主任者」が増加する。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「5年未満」、「41～50年」以外の経験年数で持っている資格の合計値が減少している。

経験年数	合計	(13)お持ちの資格														
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級・2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体	1335	4.9	30.3	2.2	5.4	14.4	22.5	1.0	9.3	7.0	35.1	35.9	41.0	17.8	8.7	19.9
5年未満	215	0.5	7.4	0.0	0.5	6.5	17.2	0.0	0.9	0.5	12.1	9.3	35.3	14.9	2.8	39.1
6～10年	105	1.0	16.2	1.0	1.9	11.4	21.0	1.0	1.0	2.9	29.5	19.0	38.1	12.4	4.8	32.4
11～20年	264	5.7	33.7	1.5	6.1	15.9	24.6	0.8	4.9	4.9	34.8	33.7	44.7	15.9	5.3	17.4
21～30年	322	6.2	35.4	0.9	6.8	14.0	19.3	0.6	6.8	7.8	38.5	41.9	43.5	18.0	9.9	14.0
31～40年	189	11.6	38.1	2.1	6.3	19.6	19.0	1.1	9.5	9.5	38.6	45.0	35.4	18.0	10.1	17.5
41～50年	179	2.2	43.0	8.9	7.8	20.1	34.6	2.8	29.6	12.8	53.1	56.4	44.1	24.6	16.8	7.3
51年以上	51	5.9	31.4	3.9	9.8	11.8	31.4	3.9	29.4	19.6	47.1	52.9	41.2	25.5	17.6	17.6

表 3.4.8 持っている資格（H30年度）（割合％）

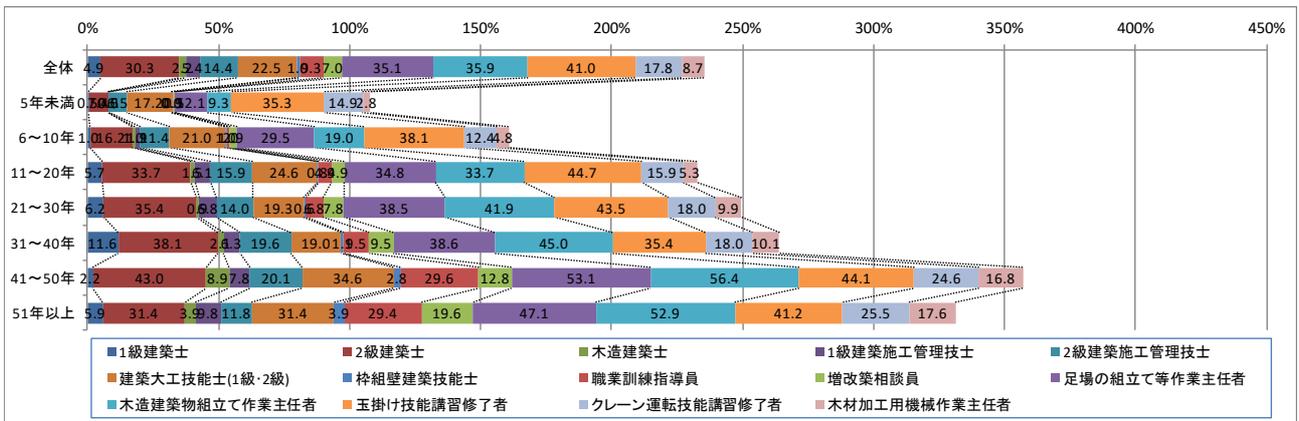


図 3.4.8 持っている資格（H30年度）

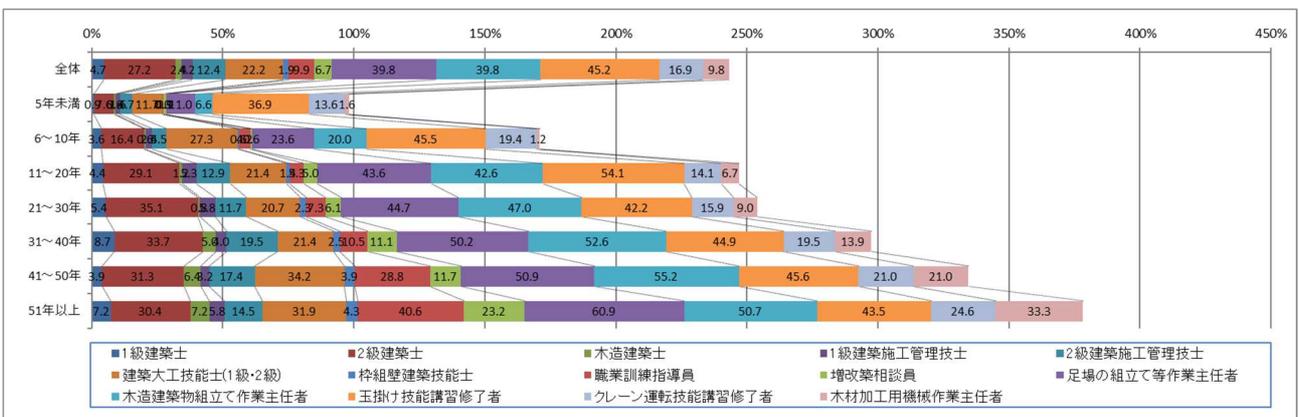


図 3.4.8# 持っている資格（H29年度）

②大工職のみ回答 墨付けができますか。

- ・ P.79 年齢別集計も同様の結果となっており、参考とされたい。
- ・ 前回調査（H29 年度）と同様に、全体の 7 割弱が墨付けができる。
- ・ 「はい」は「41～50 年(83.8%)」が最も大きい。次いで「31～40 年(81.5%)」、「21～30 年(79.8%)」。経験年数 21 年以上では 8 割程度が「はい」と回答している。
- ・ 「いいえ」は「5 年未満(50.7%)」が最も大きい。次いで「6～10 年(30.5%)」、「11～20 年(20.5%)」。
- ・ 前回調査（H29 年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(14)①墨付けができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	1335	67.3	17.2	15.5	
経験年数	5年未満	215	31.2	50.7	18.1
	6～10年	105	49.5	30.5	20.0
	11～20年	264	67.0	20.5	12.5
	21～30年	322	79.8	7.1	13.0
	31～40年	189	81.5	2.6	15.9
	41～50年	179	83.8	2.2	14.0
	51年以上	51	74.5	2.0	23.5

表 3.4.9 墨付け（H30 年度）（割合％）

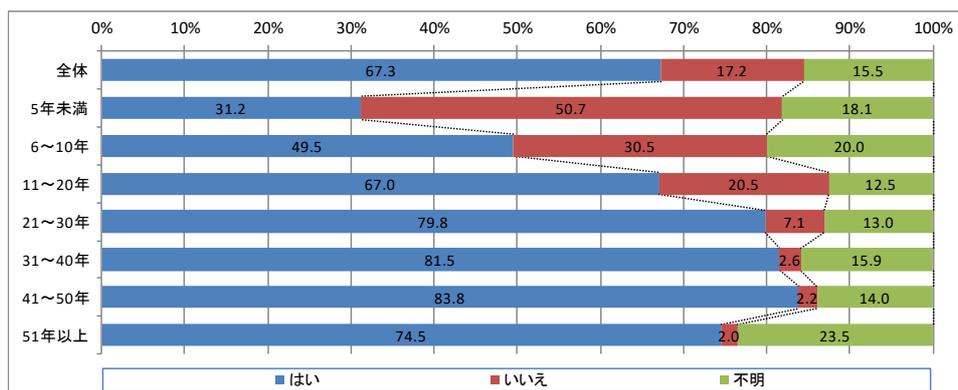


図 3.4.9 墨付け（H30 年度）

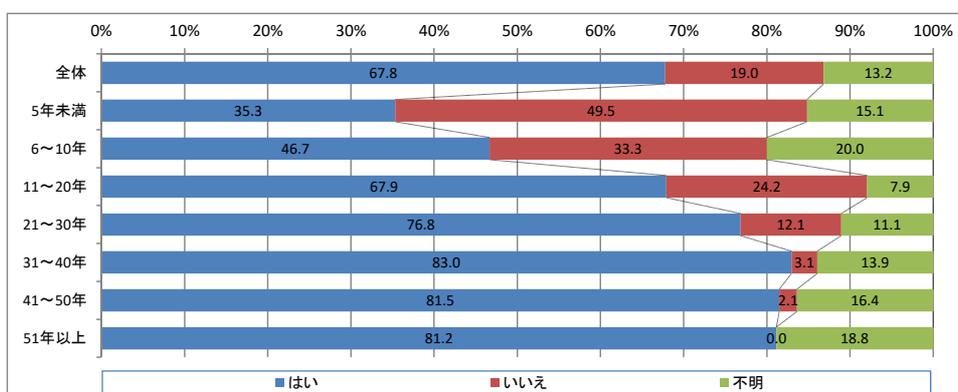


図 3.4.9# 墨付け（H29 年度）

③ **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(新築)

- ・前回調査（H29年度）と同様に、全体の2割程度が手刻みを年1棟以上行っている。
- ・「はい」は「51年以上(33.3%)」が最も大きい。次いで「41～50年(30.2%)」、「31～40年(23.8%)」。
- ・「いいえ」は「11～20年(72.0%)」が最も大きい。次いで「5年未満(65.6%)」、「21～30年(65.2%)」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「はい」が「11～20年」以下で減少し、「21～30年」以上で増加しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	1335	20.7	62.3	17.0	
経験年数	5年未満	215	14.4	65.6	20.0
	6～10年	105	19.0	61.9	19.0
	11～20年	264	15.9	72.0	12.1
	21～30年	322	20.8	65.2	14.0
	31～40年	189	23.8	56.1	20.1
	41～50年	179	30.2	53.6	16.2
	51年以上	51	33.3	39.2	27.5

表 3.4.10 手刻み加工の仕事（新築）（H30年度）（割合%）

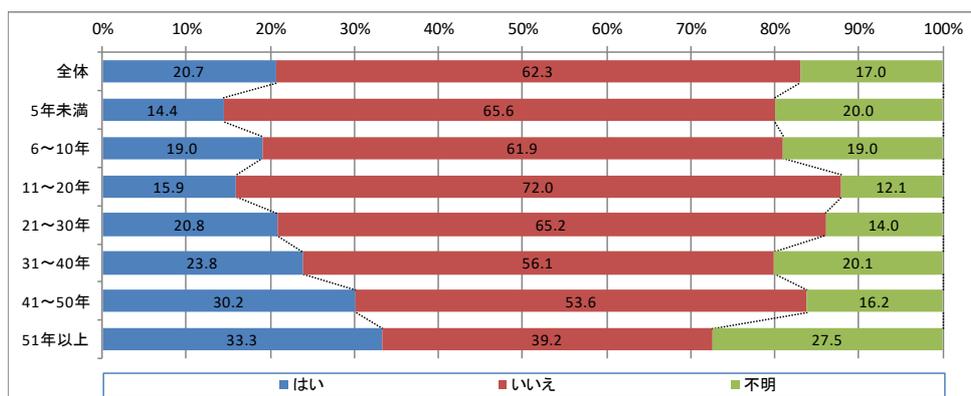


図 3.4.10 手刻み加工の仕事（新築）（H30年度）

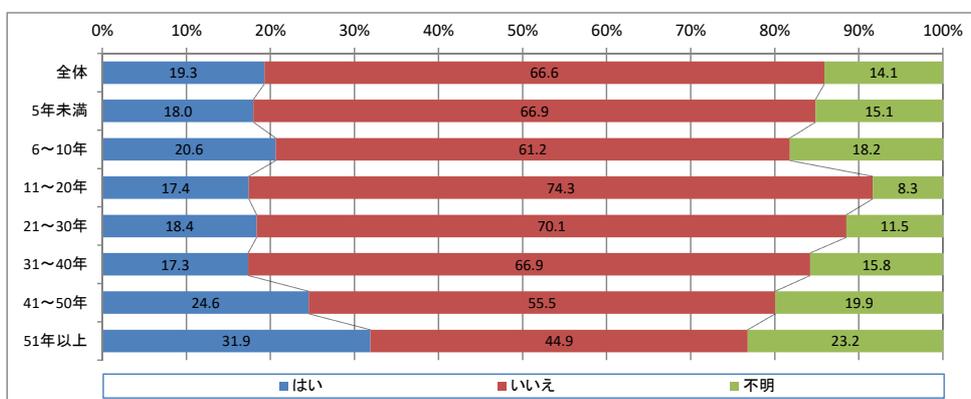


図 3.4.10# 手刻み加工の仕事（新築）（H29年度）

④ **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(増改築)

- ・前回調査（H29年度）と同様に、全体の4割強が手刻みを年1棟以上行っている。
- ・「はい」は「41～50年以上（53.6%）」が最も大きい。次いで「31～40年（50.3%）」、「21～30年（45.3%）」。
- ・「いいえ」は「5年未満（53.0%）」が最も大きい。次いで「11～20年（44.7%）」、「21～30年（41.0%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「51年以上」で「はい」が減少しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

		合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
			はい	いいえ	不明
全体		1335	42.9	40.2	16.9
経験年数	5年未満	215	26.5	53.0	20.5
	6～10年	105	40.0	39.0	21.0
	11～20年	264	43.2	44.7	12.1
	21～30年	322	45.3	41.0	13.7
	31～40年	189	50.3	32.3	17.5
	41～50年	179	53.6	29.1	17.3
	51年以上	51	45.1	29.4	25.5

表 3.4.11 手刻み加工の仕事（増改築）（H30年度）（割合%）

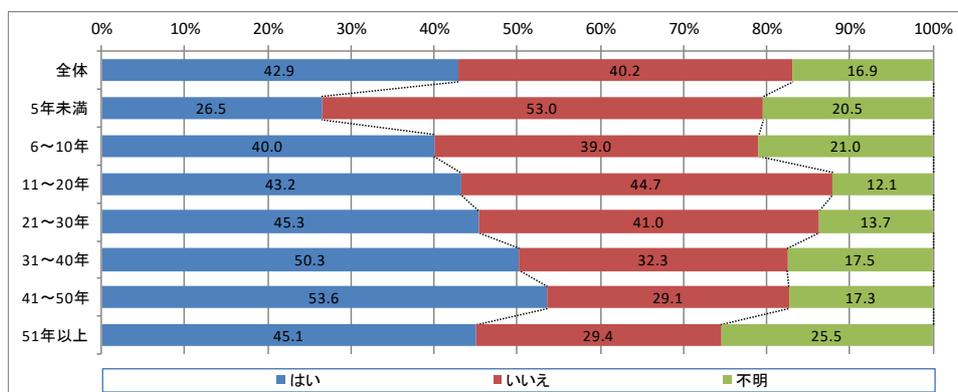


図 3.4.11 手刻み加工の仕事（増改築）（H30年度）

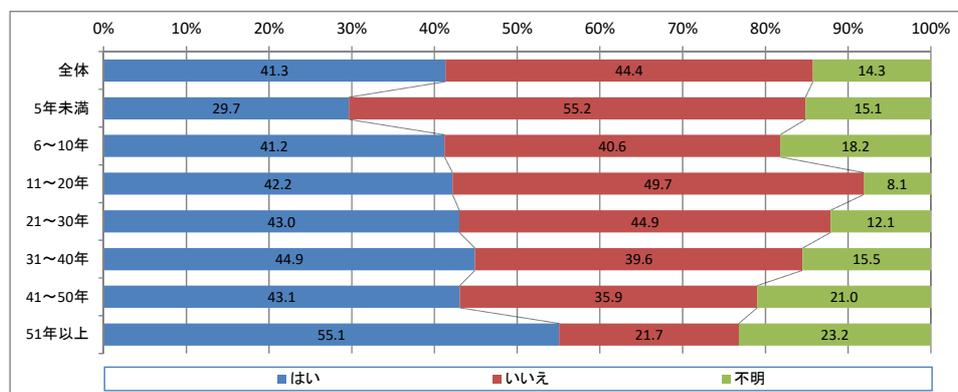


図 3.4.11# 手刻み加工の仕事（増改築）（H29年度）

⑤ **大工職のみ回答** 和室造作ができますか。

- ・前回調査（H29 年度）と同様に、全体の 6 割強は和室造作ができるが、その多くは経験年数 11 年以上の大工であり、特に経験年数 21 年以上で 8 割程度となっている。
- ・「はい」は「41～50 年(83.2%)」が最も大きい。次いで「31～40 年(82.0%)」、「21～30 年(79.2%)」。
- ・「いいえ」は「5 年未満(68.4%)」が最も大きい。次いで「6～10 年(50.5%)」、「11～20 年(24.2%)」。
- ・前回調査（H29 年度）と比較して「41～50 年」以下で「いいえ」が減少しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(14)④和室造作ができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	1335	61.6	22.3	16.1
経験年数	5年未満	12.1	68.4	19.5
	6～10年	28.6	50.5	21.0
	11～20年	63.3	24.2	12.5
	21～30年	79.2	7.8	13.0
	31～40年	82.0	2.1	15.9
	41～50年	83.2	1.1	15.6
	51年以上	74.5	2.0	23.5

表 3.4.12 和室造作（H30 年度）（割合%）

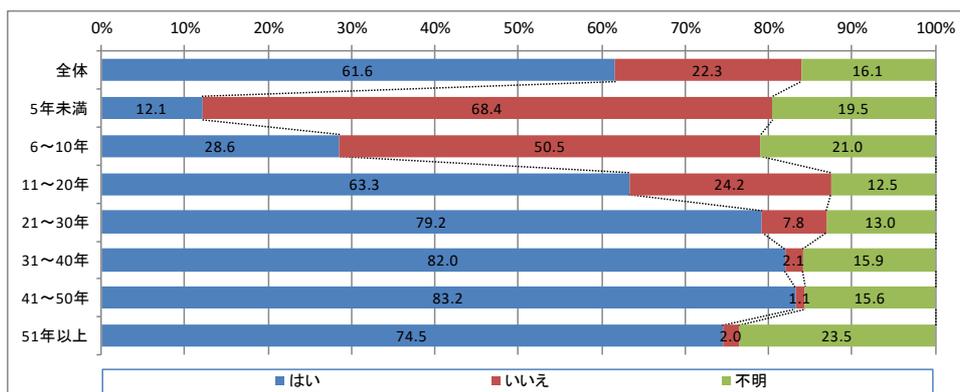


図 3.4.12 和室造作（H30 年度）

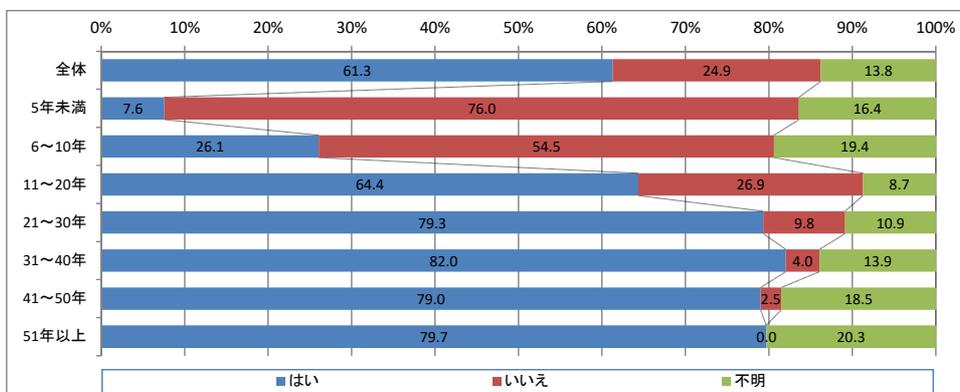


図 3.4.12# 和室造作（H29 年度）

⑥ **大工職のみ回答** 2×4工法の住宅の施工ができますか

- ・前回調査（H29年度）と同様に、全体の4分の1程度が2×4工法の住宅の施工ができる。
- ・「はい」は「51年以上(43.1%)」が最も大きい。次いで「41～50年(36.3%)」、「21～30年(29.5%)」。
- ・「いいえ」は「5年未満(69.8%)」が最も大きい。次いで「6～10年(63.8%)」、「11～20年(58.7%)」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工 ができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	1335	26.1	56.6	17.3	
経験 年数	5年未満	215	9.3	69.8	20.9
	6～10年	105	15.2	63.8	21.0
	11～20年	264	29.2	58.7	12.1
	21～30年	322	29.5	56.2	14.3
	31～40年	189	27.5	55.6	16.9
	41～50年	179	36.3	45.3	18.4
	51年以上	51	43.1	27.5	29.4

表 3.4.13 2×4工法の住宅の施工（H30年度）（割合%）

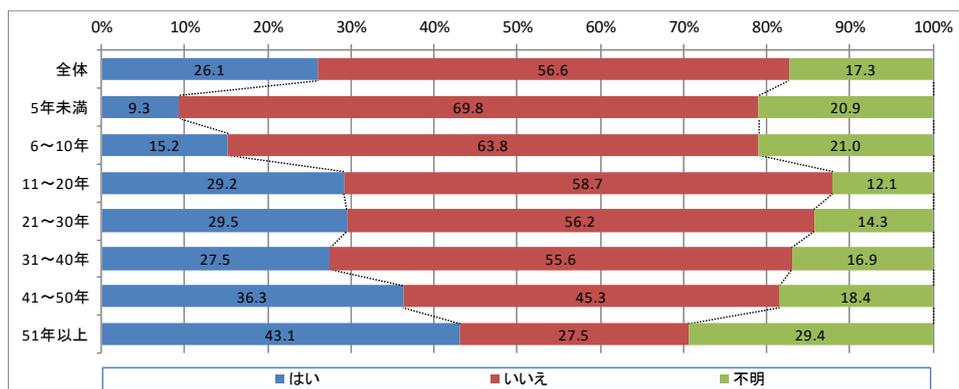


図 3.4.13 2×4工法の住宅の施工（H30年度）

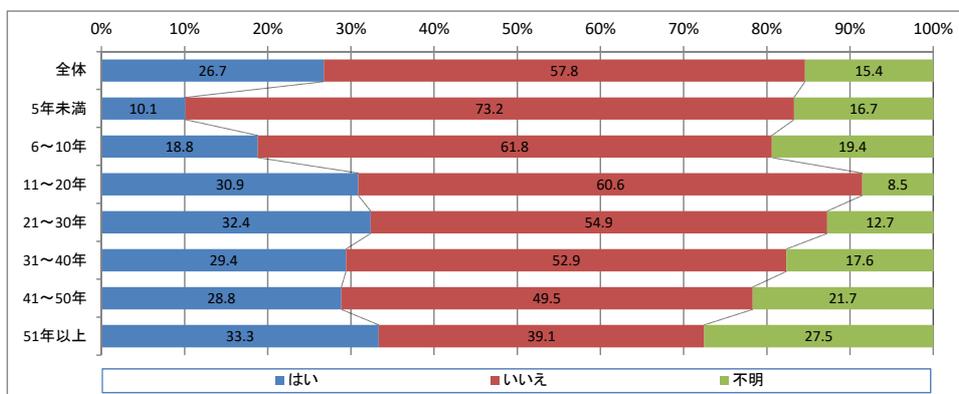


図 3.4.13# 2×4工法の住宅の施工（H29年度）

(4) 仕事に対する満足度や今後の意向について

①現在の仕事の内容について満足していますか。

- ・全体で「とても満足している (10.5%)」、「まあ満足している (52.5%)」であり、前回調査 (H29年度) と同様に、全体の6割強が満足していると回答している。
- ・「とても満足している」は「5年未満 (19.1%)」に対して、経験年数6年以上では1割程度に減少している。
- ・「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値は「5年未満 (66.1%)」が最も大きい。次いで「41～50年 (65.4%)」、「51年以上 (64.7%)」。
- ・「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値は「21～30年 (29.9%)」が最も大きい。次いで「11～20年 (28.0%)」、「6～10年 (25.7%)」。
- ・前回調査 (H29年度) と比較して「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値は「6～10年」、「21～30年」以外の経験年数で減少している。

	合計	(15)現在の仕事の内容について満足度					
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明	
全体	1335	10.5	52.5	20.8	4.6	11.6	
経験年数	5年未満	215	19.1	47.0	18.1	4.2	11.6
	6～10年	105	7.6	55.2	15.2	10.5	11.4
	11～20年	264	11.7	52.7	23.5	4.5	7.6
	21～30年	322	7.1	52.8	25.2	4.7	10.2
	31～40年	189	6.3	55.6	20.1	4.8	13.2
	41～50年	179	11.2	54.2	19.0	2.8	12.8
	51年以上	51	9.8	54.9	11.8	0.0	23.5

表 3.4.14 仕事の内容についての満足度 (H30年度) (割合%)

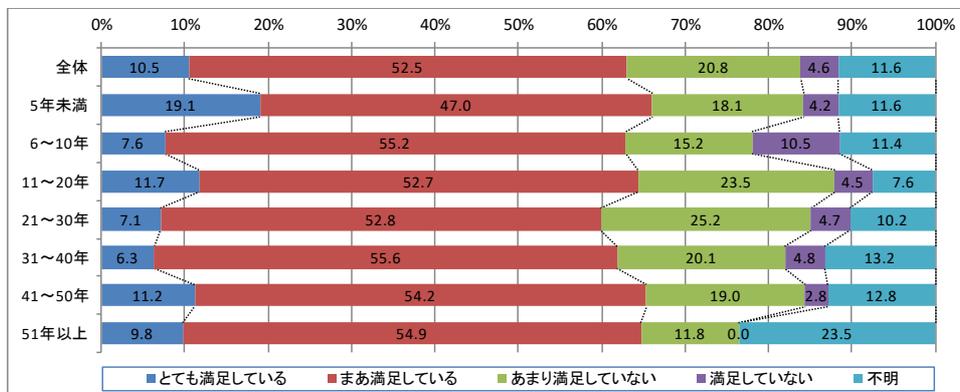


図 3.4.14 仕事の内容についての満足度 (H30年度)

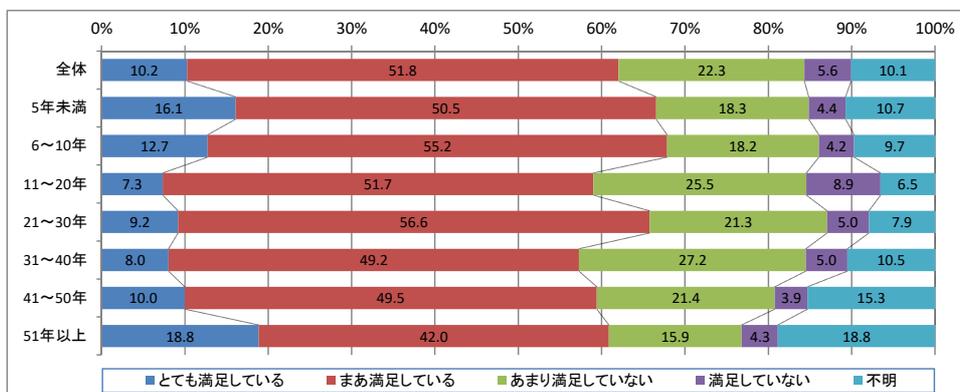


図 3.4.14# 仕事の内容についての満足度 (H29年度)

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

- ・全体で「とても満足している（3.8%）」、「まあ満足している（34.0%）」であり、前回調査（H29年度）と同様に、全体の4割弱が満足していると回答している。
- ・「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値は「5年未満（43.7%）」が最も大きい。次いで「51年以上（43.1%）」、「31～40年未満（41.2%）」。
- ・「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値は「21～30年（58.0%）」が最も大きい。次いで「11～20年（55.3%）」、「6～10年（54.2%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度					
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明	
全体	1335	3.8	34.0	35.6	14.9	11.7	
経験年数	5年未満	215	8.8	34.9	26.0	18.1	12.1
	6～10年	105	4.8	29.5	37.1	17.1	11.4
	11～20年	264	3.4	34.5	42.0	13.3	6.8
	21～30年	322	1.6	30.4	39.4	18.6	9.9
	31～40年	189	2.6	38.6	36.0	10.6	12.2
	41～50年	179	3.4	36.3	33.0	12.3	15.1
	51年以上	51	3.9	39.2	21.6	9.8	25.5

表 3.4.15 収入等についての満足度（H30年度）（割合%）

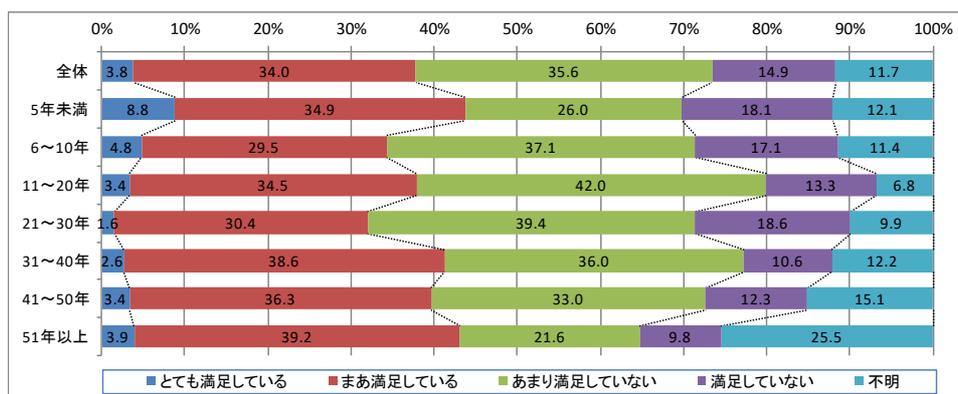


図 3.4.15 収入等についての満足度（H30年度）

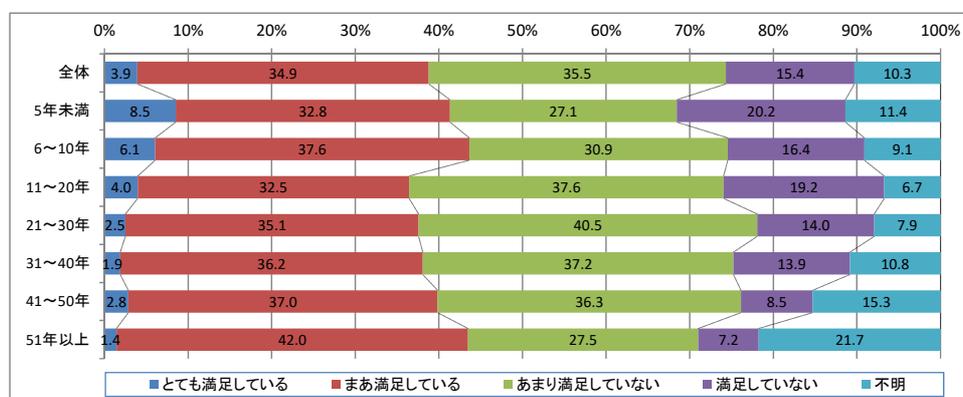


図 3.4.15# 収入等についての満足度（H29年度）

③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

- ・全体的には前回調査（H29年度）と大きな変化は見られなかったが、具体的なリタイヤ時期を考えている大工が「5年未満（18.6%）」から「41～50年（48.6%）」と年齢が高くなるにつれて増加している。
- ・「仕事ができる限り続ける」は「5年未満（67.0%）」が最も大きい。次いで「11～20年（61.7%）」、「6～10年（55.2%）」。
- ・「65歳で引退する」は「21～30年（19.9%）」が最も大きく、次いで「31～40年（18.5%）」。
- ・「70歳で引退する」は「41～50年（27.9%）」が最も大きく、次いで「31～40年（16.4%）」。
- ・「仕事がないため近々退職・引退する予定である」は「51年以上（2.0%）」が最も大きく、次いで「5年未満（1.9%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「6～10年」で「仕事ができる限り続ける」が減少している。

	合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか							
		60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明	
全体	1335	6.4	13.8	12.0	3.4	51.4	0.7	12.3	
経験年数	5年未満	215	7.4	4.7	3.7	0.9	67.0	1.9	14.4
	6～10年	105	10.5	13.3	7.6	0.0	55.2	1.0	12.4
	11～20年	264	8.7	15.2	6.1	1.1	61.7	0.4	6.8
	21～30年	322	7.8	19.9	13.4	1.6	47.2	0.3	9.9
	31～40年	189	5.3	18.5	16.4	5.3	40.2	0.5	13.8
	41～50年	179	0.0	11.2	27.9	9.5	37.4	0.0	14.0
	51年以上	51	0.0	0.0	7.8	15.7	49.0	2.0	25.5

表 3.4.16 何歳まで仕事を続ける予定か（H30年度）（割合%）

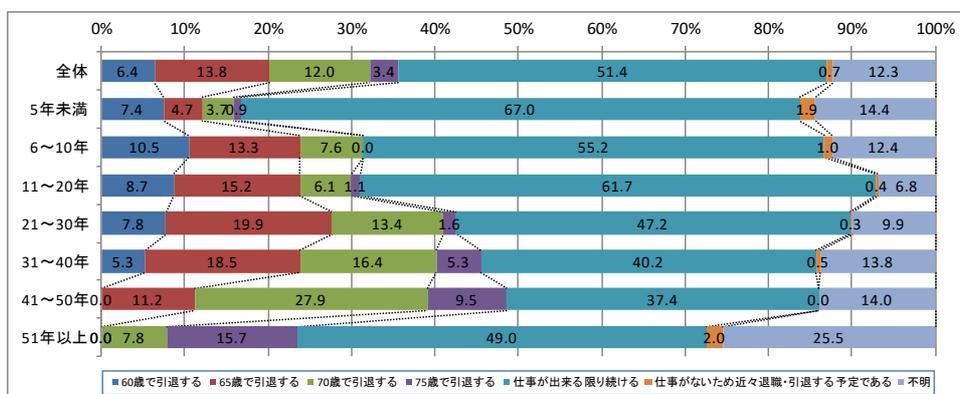


図 3.4.16 何歳まで仕事を続ける予定か（H30年度）

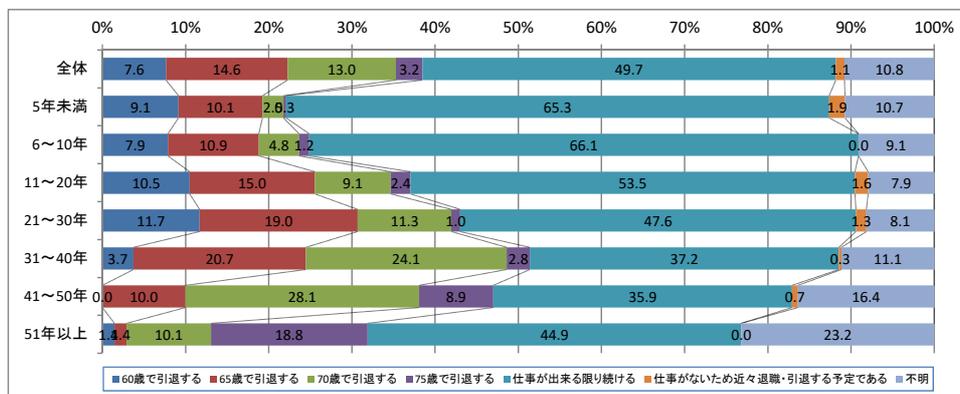


図 3.4.16# 何歳まで仕事を続ける予定か（H29年度）

(5) 担い手育成について

①現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

- ・全体で「現在育てている（13.3%）」、「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい（37.4%）」であり、前回調査（H29年度）と同様に、合計値は全体の5割程度となっている。
- ・「現在育てている」は「41～50年（17.3%）」が最も大きい。次いで「21～30年（16.1%）」、「11～20年（14.8%）」。
- ・「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」は「11～20年（46.6%）」が最も大きい。次いで「6～10年（45.7%）」、「21～30年（40.4%）」。
- ・「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」は「41～50年（40.8%）」が最も大きい。次いで「31～40年（39.2%）」、「51年以上（35.3%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「6～10年」で「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」が減少しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか			
		現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明
全体	1335	13.3	37.4	31.2	18.2
経験年数					
5年未満	215	7.0	32.1	23.3	37.7
6～10年	105	9.5	45.7	22.9	21.9
11～20年	264	14.8	46.6	29.2	9.5
21～30年	322	16.1	40.4	30.4	13.0
31～40年	189	12.2	33.3	39.2	15.3
41～50年	179	17.3	27.9	40.8	14.0
51年以上	51	11.8	27.5	35.3	25.5

表 3.4.17 担い手の育成状況（H30年度）（割合%）

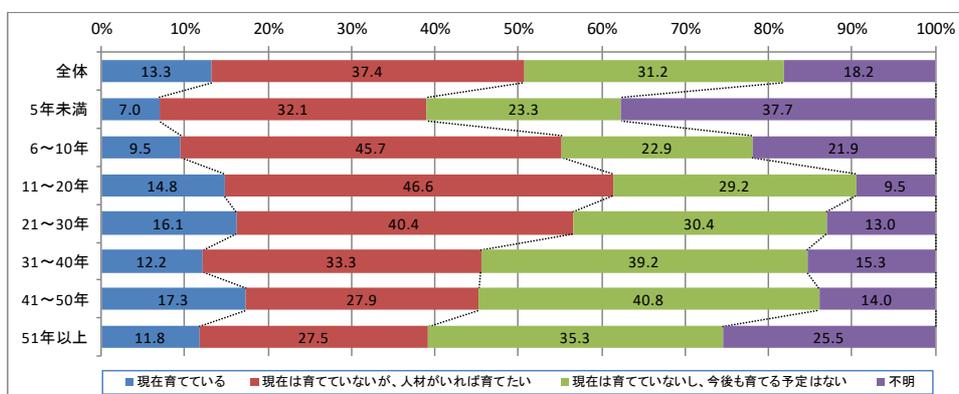


図 3.4.17 担い手の育成状況（H30年度）

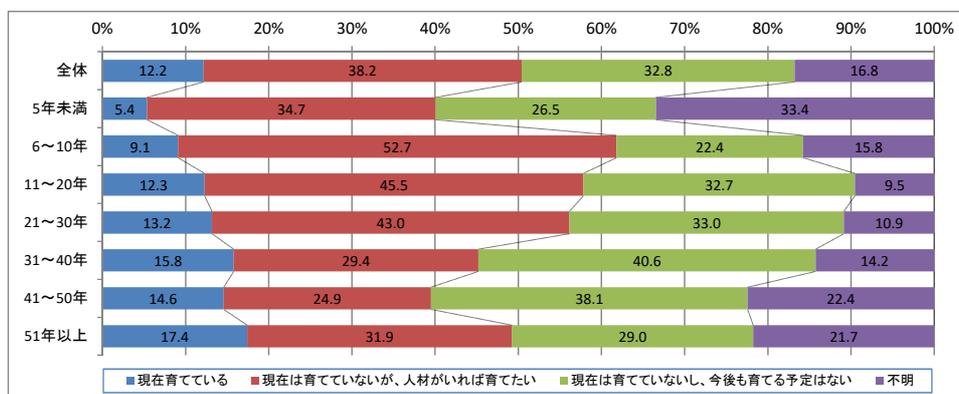


図 3.4.17# 担い手の育成状況（H29年度）

② 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

- ・「正社員（職業訓練校）（18.6%）」、「正社員（弟子として）（70.1%）」であり、全体で88.7%。
- ・「正社員（職業訓練校）」は「6～10年（40.0%）」が最も大きい。次いで「41～50年（25.8%）」、「21～30年（17.3%）」。
- ・「正社員（弟子として）」は「11～20年（79.5%）」が最も大きい。次いで「31～40年（73.9%）」、「21～30年（73.1%）」。
- ・「一人親方にあずける（職業訓練校）」は「5年未満（6.7%）」が最も大きい。次いで「21～30年（1.9%）」。
- ・「一人親方にあずける（弟子として）」は「51年以上（16.7%）」が最も大きい。次いで「5年未満（13.3%）」、「6～10年（10.0%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「5年未満」、「51年以上」以外の経験年数で「正社員（職業訓練校）」、「正社員（弟子として）」の合計値が増加している。

		合計	(19)育成期間の担い手の立場				
			正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親方 等にあず ける(職業 訓練校)	一人親方 等にあず ける(弟子 として)	不明
全体		177	18.6	70.1	1.1	8.5	1.7
経験 年数	5年未満	15	13.3	66.7	6.7	13.3	0.0
	6～10年	10	40.0	50.0	0.0	10.0	0.0
	11～20年	39	15.4	79.5	0.0	5.1	0.0
	21～30年	52	17.3	73.1	1.9	7.7	0.0
	31～40年	23	8.7	73.9	0.0	8.7	8.7
	41～50年	31	25.8	61.3	0.0	9.7	3.2
	51年以上	6	16.7	66.7	0.0	16.7	0.0

表 3.4.18 育成期間の担い手の立場（H30年度）（割合%）

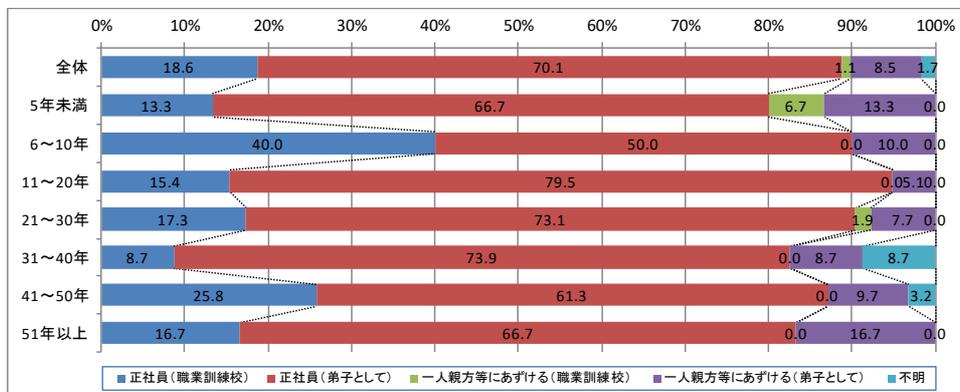


図 3.4.18 育成期間の担い手の立場（H30年度）

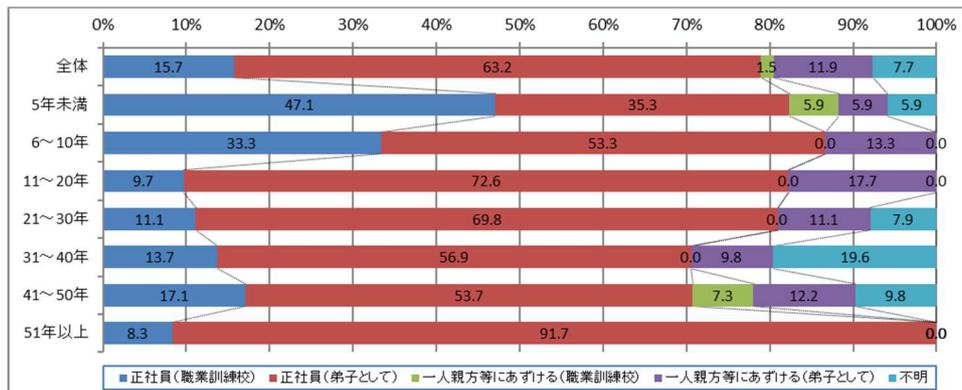


図 3.4.18# 育成期間の担い手の立場（H29年度）

③ 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成にかかる費用負担

- ・前回調査（H29年度）と同様に、全体の3割強が育成にかかる費用負担が有ると回答しているが、経験年数別の構成は大きく変わっている。
- ・「有る」は「41～50年(45.2%)」が最も大きい。次いで「11～20年(35.9%)」、「51年以上(33.3%)」。
- ・「無い」は「6～10年(40.0%)」が最も大きい。次いで「51年以上(33.3%)」、「5年未満(26.7%)」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「有る」が「21～30年」以下で減少し、「31～40年」以上で増加している。また、「無い」が「5年未満」で減少し、「51年以上」で増加している。

	合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか			
		有	無	不明	
全体	177	32.8	15.3	52.0	
経験年数	5年未満	15	20.0	26.7	53.3
	6～10年	10	0.0	40.0	60.0
	11～20年	39	35.9	7.7	56.4
	21～30年	52	32.7	15.4	51.9
	31～40年	23	30.4	8.7	60.9
	41～50年	31	45.2	12.9	41.9
	51年以上	6	33.3	33.3	33.3

表 3.4.19 育成期間にかかる費用負担（H30年度）（割合％）

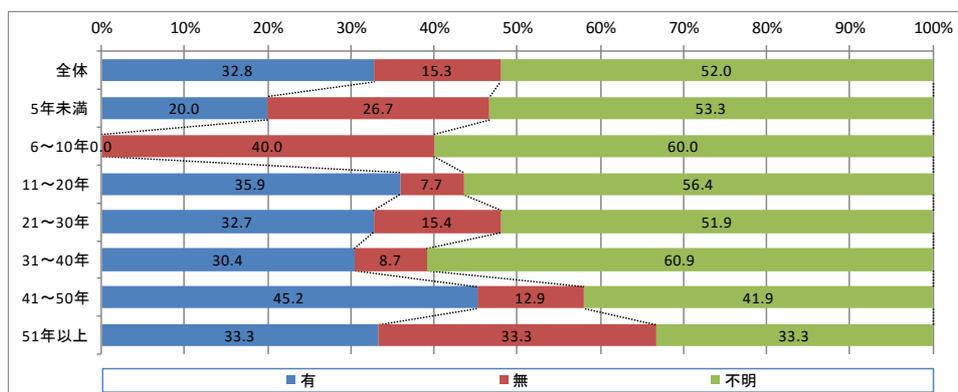


図 3.4.19 育成期間にかかる費用負担（H30年度）

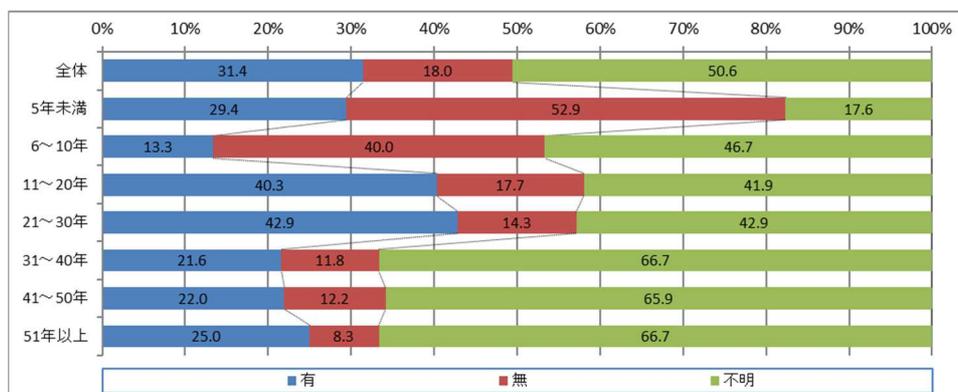


図 3.4.19# 育成期間にかかる費用負担（H29年度）

④ 「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答

なぜ育てる予定はないのか。

- ・育てる予定がない理由として回答した割合の合計値は「21～30年（175.5%）」が最も大きい。次いで、「31～40年（174.3%）」、「51年以上（166.7%）」。
- ・「将来の保障ができないため」、「費用がかかるため」は「11～20年」～「31～40年」で最も割合が大きい。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「6～10年」、「51年以上」で「育てる自信がないため」が増加している。また、「11～20年」以上で「人材がないため」が増加している。
- ・P.90 年齢別集計も同様の結果となっており、参考とされたい。

	合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカートのため	新築が少ないため	その他	不明
全体	416	7.7	7.9	17.8	2.9	21.9	15.9	36.5	15.1	7.7	16.3	5.3	10.8
経験年数													
5年未満	50	2.0	10.0	8.0	2.0	8.0	24.0	6.0	6.0	0.0	2.0	20.0	24.0
6～10年	24	0.0	12.5	4.2	4.2	8.3	25.0	4.2	8.3	4.2	4.2	4.2	12.5
11～20年	77	10.4	11.7	32.5	6.5	24.7	13.0	40.3	2.6	3.9	14.3	1.3	9.1
21～30年	98	10.2	9.2	25.5	3.1	24.5	18.4	48.0	7.1	12.2	14.3	3.1	5.1
31～40年	74	5.4	5.4	16.2	2.7	27.0	13.5	50.0	18.9	6.8	25.7	2.7	10.8
41～50年	73	8.2	2.7	8.2	0.0	24.7	6.8	32.9	37.0	11.0	26.0	5.5	6.8
51年以上	18	16.7	0.0	5.6	0.0	22.2	16.7	22.2	50.0	11.1	16.7	5.6	22.2

表 3.4.20 なぜ育てる予定はないのか（H30年度）（割合%）

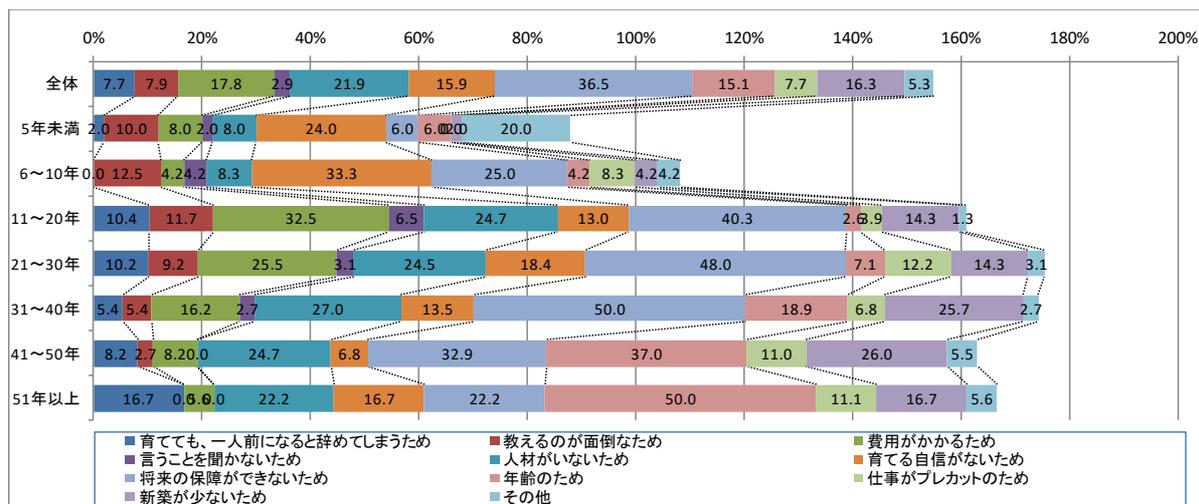


図 3.4.20 なぜ育てる予定はないのか（H30年度）

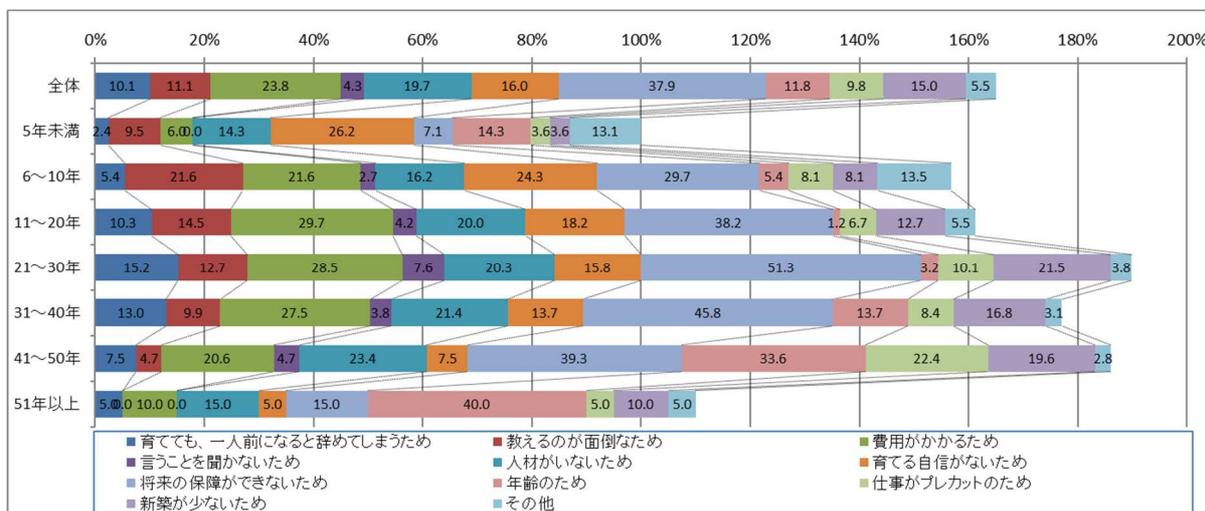


図 3.4.20# なぜ育てる予定はないのか（H29年度）

⑤ 担い手育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。

- ・ 前回調査（H29年度）と同様に、全体では「10万円/月（25.4%）」、「15万円/月（19.0%）」の順で高い。
- ・ 「10万円/月」は「11～20年（31.8%）」以上で急増し、すべての経験年数で最も大きな割合となっている。
- ・ 「15万円/月」は「11～20年（25.8%）」が最も大きい。次いで「21～30年（21.7%）」、「31～40年（19.6%）」。
- ・ 前回調査（H29年度）と比較して「51年以上」で「15万円/月」が減少しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か						
		3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明	
全体	1335	5.4	12.6	25.4	19.0	3.7	33.9	
経験年数	5年未満	215	5.6	10.7	15.8	13.0	4.2	50.7
	6～10年	105	3.8	19.0	19.0	16.2	4.8	37.1
	11～20年	264	5.7	11.7	31.8	25.8	4.9	20.1
	21～30年	322	4.3	13.4	29.5	21.7	4.0	27.0
	31～40年	189	4.2	14.3	25.4	19.6	3.7	32.8
	41～50年	179	6.7	10.6	25.7	18.4	1.7	36.9
	51年以上	51	9.8	9.8	21.6	2.0	0.0	56.9

表 3.4.21 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H30年度）（割合%）

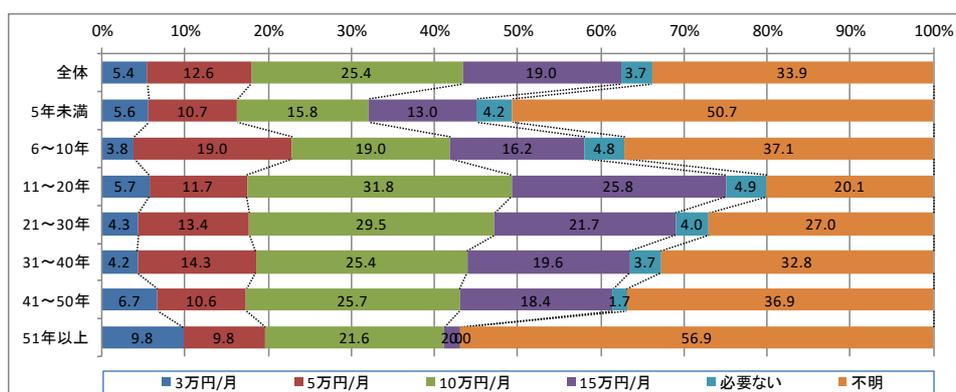
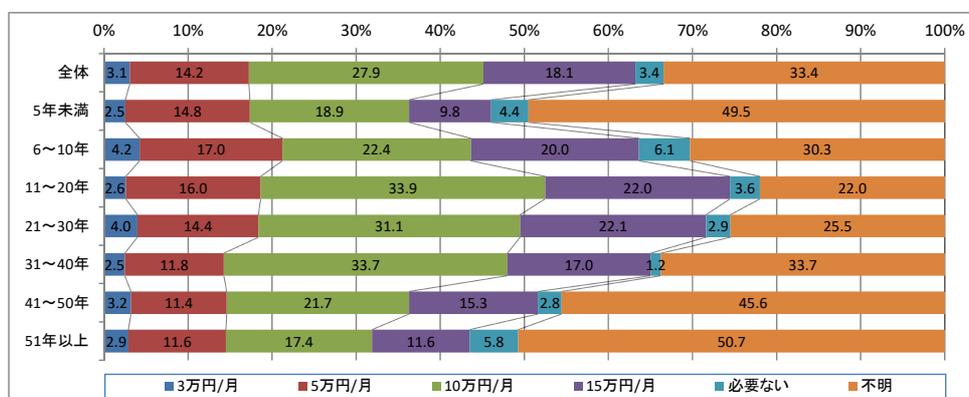


図 3.4.21 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H30年度）



公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H29年度）

5. 雇用形態別集計

(1) 職業等について

①職種においてベテランだと思いませんか。

- ・「ベテラン」は「その都度契約（34.5%）」が最も大きく、次いで「元請として仕事（27.4%）」。
- ・「ややベテラン」は「外注常用（坪請主体）（31.9%）」が最も大きく、次いで「元請として仕事（28.1%）」。
- ・「中堅」は「外注常用（日当制）（36.6%）」が最も大きく、次いで「その都度契約（34.5%）」。
- ・「やや中堅」は「工務店社員（14.9%）」が最も大きく、次いで「外注常用（日当制）（12.2%）」。
- ・「見習い」は「その他（アルバイト等）（55.6%）」が最も大きく、次いで「工務店社員（28.8%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「その都度契約」で「ベテラン」が増加し、「ややベテラン」が減少しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(5)あなたのベテラン度合いについて					
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明
全体	1335	18.1	20.7	31.4	10.9	15.9	3.0
雇用形態							
工務店社員	525	9.0	13.7	31.4	14.9	28.8	2.3
外注常用(日当制)	123	14.6	21.1	36.6	12.2	11.4	4.1
外注常用(坪請主体)	113	23.0	31.9	31.9	8.0	2.7	2.7
その都度契約	58	34.5	17.2	34.5	8.6	5.2	0.0
元請として仕事	452	27.4	28.1	31.9	7.1	3.3	2.2
その他(アルバイト等)	18	5.6	5.6	22.2	5.6	55.6	5.6

表 3.5.1 職種のベテラン度合（H30年度）（割合%）

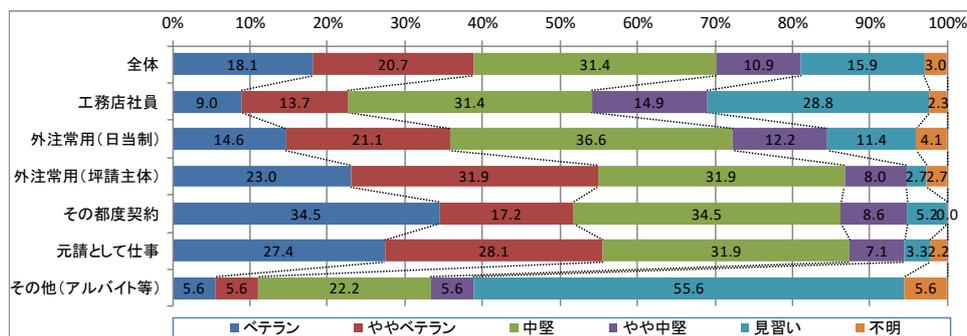


図 3.5.1 職種のベテラン度合（H30年度）

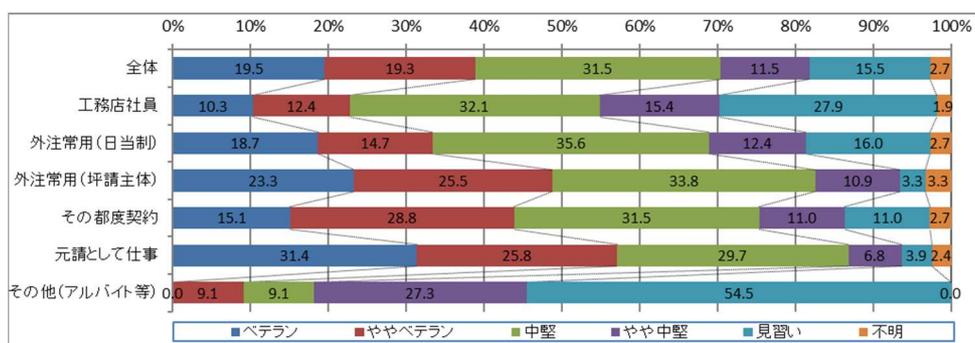


図 3.5.1# 職種のベテラン度合（H29年度）

(2) 雇用形態について

①就業規則

- ・「有る」は「工務店社員（48.8%）」が最も大きい。次いで「元請として仕事（24.3%）」、「その他（アルバイト等）（16.7%）」。
- ・「無い」は「外注常用（坪請主体）（74.3%）」が最も大きい。次いで「その都度契約（74.1%）」、「その他（アルバイト等）（61.1%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「工務店社員」以外の雇用形態で「無い」が増加しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(7)就業規則		
		有	無	不明
全体	1335	30.3	48.3	21.3
雇用形態				
工務店社員	525	48.8	29.3	21.9
外注常用(日当制)	123	9.8	61.0	29.3
外注常用(坪請主体)	113	7.1	74.3	18.6
その都度契約	58	13.8	74.1	12.1
元請として仕事	452	24.3	59.7	15.9
その他(アルバイト等)	18	16.7	61.1	22.2

表 3.5.2 就業規則（H30年度）（割合%）

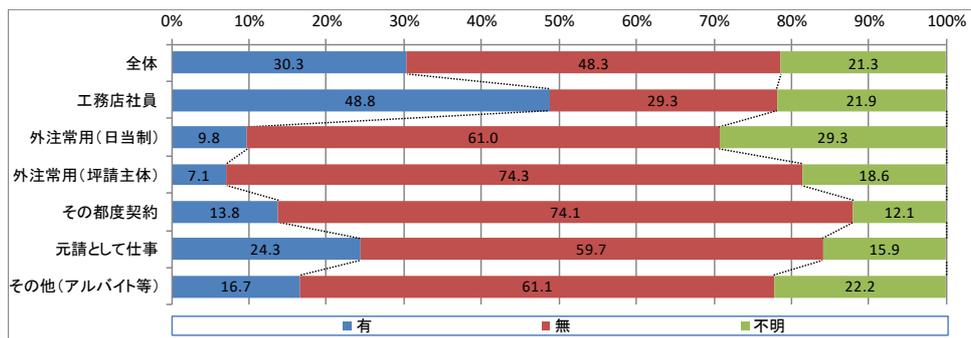


図 3.5.2 就業規則（H30年度）

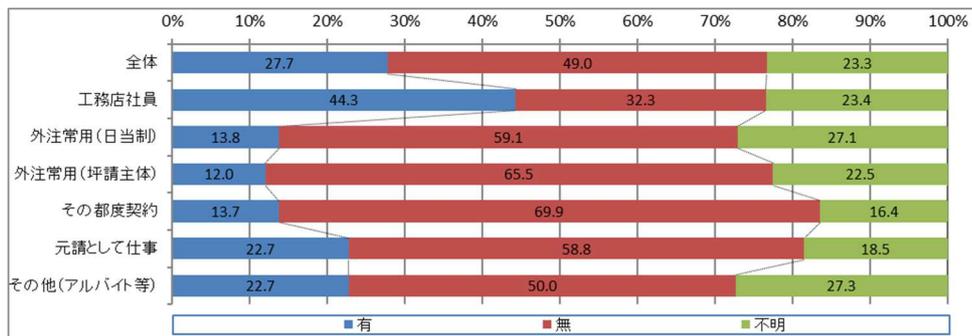


図 3.5.2# 就業規則（H29年度）

②有給休暇

- ・「有る」は「工務店社員（30.1%）」が最も大きい。次いで「元請として仕事（11.1%）」、「その他（アルバイト等）（5.6%）」。
- ・「無い」は「その都度契約（77.6%）」が最も大きい。次いで「外注常用（坪請主体）（73.5%）」、「外注常用（日当制）（70.7%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「その他（アルバイト等）」で「有る」が減少しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(8)有給休暇		
		有	無	不明
全体	1335	16.3	59.7	24.0
雇用形態				
工務店社員	525	30.1	49.9	20.0
外注常用(日当制)	123	3.3	70.7	26.0
外注常用(坪請主体)	113	0.9	73.5	25.7
その都度契約	58	1.7	77.6	20.7
元請として仕事	452	11.1	65.3	23.7
その他(アルバイト等)	18	5.6	61.1	33.3

表 3.5.3 有給休暇（H30年度）（割合%）

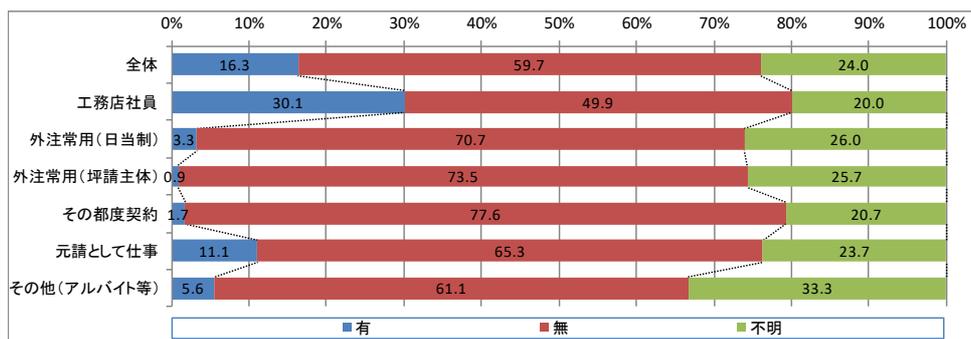


図 3.5.3 有給休暇（H30年度）

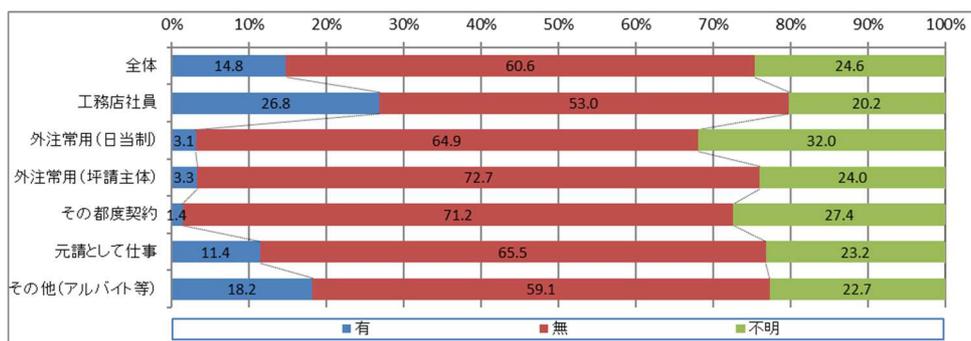


図 3.5.3# 有給休暇（H29年度）

③年間就業日数

- 平均年間就業日数は「その都度契約（268.33日）」が最も多い。次いで「外注常用（坪請主体）（266.47日）」、「外注常用（日当制）（262.40日）」。一方「その他（アルバイト等）（240.00日）」が最も少ない。次いで「元請として仕事（255.75日）」、「工務店社員（261.73日）」。
- 「その都度契約」、「外注常用（坪請主体）」は平均年間就業日数が隔週2日休（264日）より多い。
- 前回調査（H29年度）と比較して「その他（アルバイト等）」で「100日未満」、「200～250日未満」、「250～300日未満」が減少し、「100～150日未満」が増加しているものの、総じて大きな変化はない。

	合計	(9)年間就業日数							平均
		100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上	不明	
全体	1335	3.0	1.5	0.9	5.8	18.3	21.9	48.6	259.68
雇用形態									
工務店社員	525	2.3	1.9	0.8	4.6	22.5	18.7	49.3	261.73
外注常用(日当制)	123	0.8	1.6	1.6	9.8	17.1	17.9	51.2	262.40
外注常用(坪請主体)	113	4.4	0.9	0.0	3.5	14.2	31.9	45.1	266.47
その都度契約	58	1.7	0.0	1.7	8.6	19.0	31.0	37.9	268.33
元請として仕事	452	4.4	0.9	1.1	6.9	17.0	24.8	44.9	255.75
その他(アルバイト等)	18	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	66.7	240.00

表 3.5.4 年間就業日数（H30年度）（割合%）

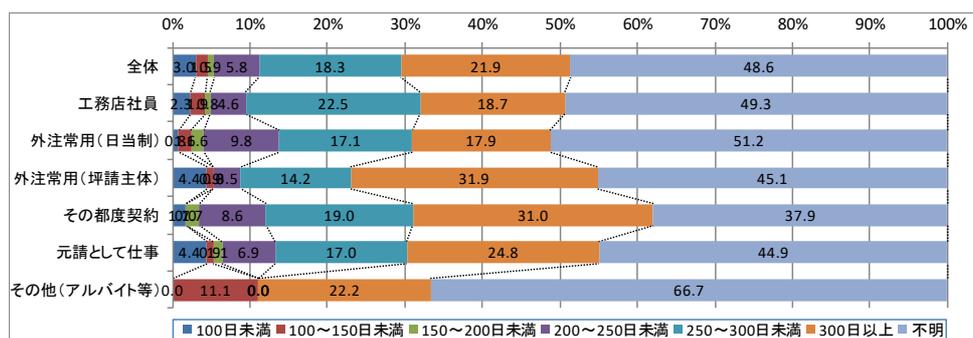


図 3.5.4 年間就業日数（H30年度）

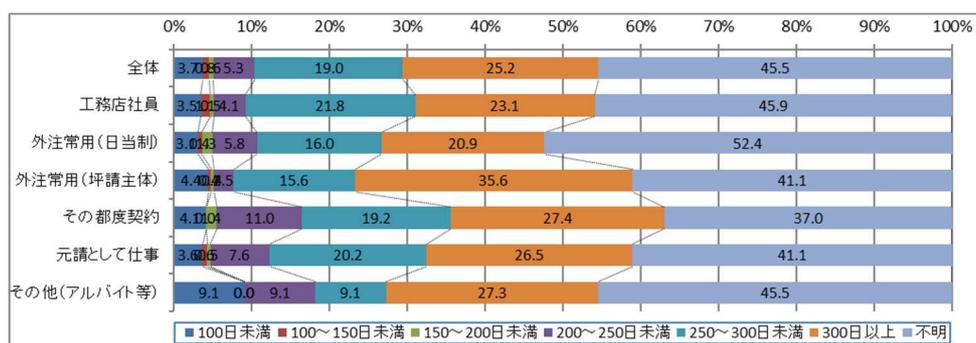


図 3.5.4# 年間就業日数（H29年度）

④保険等について

1) 年金保険

- ・「厚生年金」、「国民年金」、「企業年金」の合計値は「その都度契約（94.8%）」が最も大きい。次いで「工務店社員（89.9%）」、「元請として仕事（87.8%）」。一方「その他（アルバイト等）（61.1%）」が最も小さい。次いで「外注常用（日当制）（78.9%）」、「外注常用（坪請主体）（81.4%）」。
- ・厚生年金は「工務店社員（61.5%）」が最も大きい。次いで「元請として仕事（31.2%）」、「その他（アルバイト等）（5.6%）」。
- ・国民年金は「その都度契約（91.4%）」が最も大きい。次いで「外注常用（坪請主体）（76.1%）」、「外注常用（日当制）（74.0%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「その都度契約」以外の雇用形態で合計値が減少している。

	合計	(10-1)加入している年金				
		厚生年金	国民年金	企業年金	不明	
全体	1335	36.6	48.3	1.1	15.8	
雇用形態	工務店社員	61.5	27.6	0.8	13.1	
	外注常用(日当制)	123	4.9	74.0	0.0	22.8
	外注常用(坪請主体)	113	5.3	76.1	0.0	19.5
	その都度契約	58	1.7	91.4	1.7	6.9
	元請として仕事	452	31.2	54.4	2.2	13.3
	その他(アルバイト等)	18	5.6	55.6	0.0	38.9

表 3.5.5 年金保険（H30 年度）（割合%）

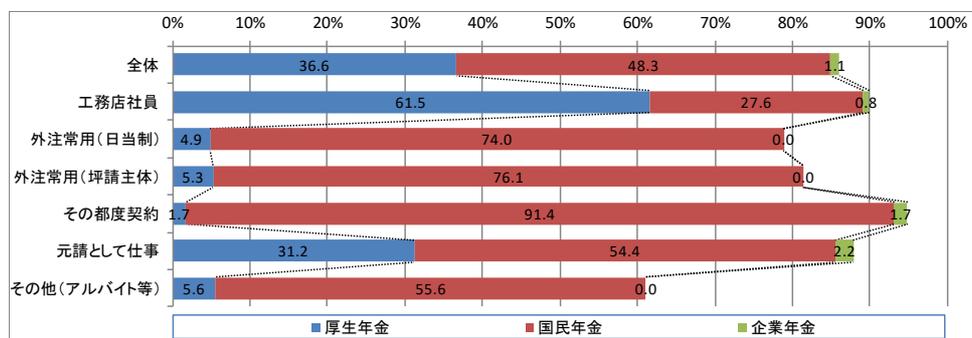


図 3.5.5 年金保険（H30 年度）

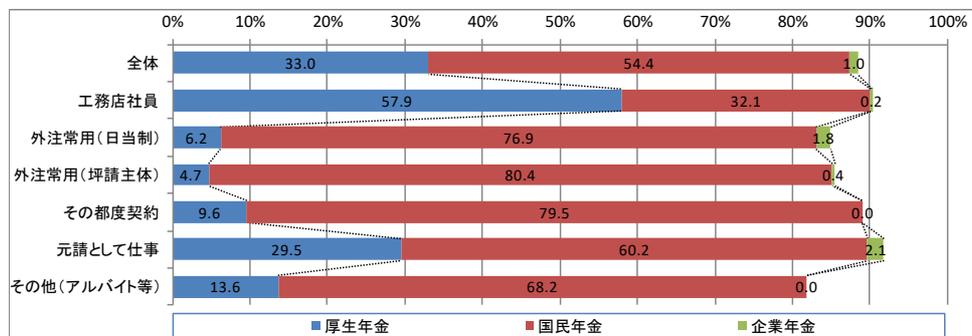


図 3.5.5# 年金保険（H29 年度）

2) 労働保険

- ・「雇用保険」は「工務店社員（45.3%）」が最も大きい。次いで「元請として仕事（13.7%）」、「その他（アルバイト等）（11.1%）」。
- ・「労災保険」は「元請として仕事（46.7%）」が最も大きい。次いで「工務店社員（34.3%）」、「その都度契約（24.1%）」。
- ・「一人親方労災保険」は「その都度契約（70.7%）」が最も大きい。次いで「外注常用（坪請主体）（60.2%）」、「外注常用（日当制）（48.8%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して、「その他（アルバイト等）」で「労災保険」「一人親方労災保険」が減少している。また、「その都度契約」で「一人親方労災保険」が増加している。

	合計	(10-2)加入している労働保険			
		雇用保険	労災保険	一人親方 労災保険	不明
全体	1335	23.8	34.8	25.9	27.9
雇用形態					
工務店社員	525	45.3	34.3	4.0	31.4
外注常用(日当制)	123	6.5	19.5	48.8	30.9
外注常用(坪請主体)	113	1.8	23.9	60.2	21.2
その都度契約	58	3.4	24.1	70.7	12.1
元請として仕事	452	13.7	46.7	33.0	21.0
その他(アルバイト等)	18	11.1	22.2	11.1	61.1

表 3.5.6 労働保険（H30年度）（割合%）

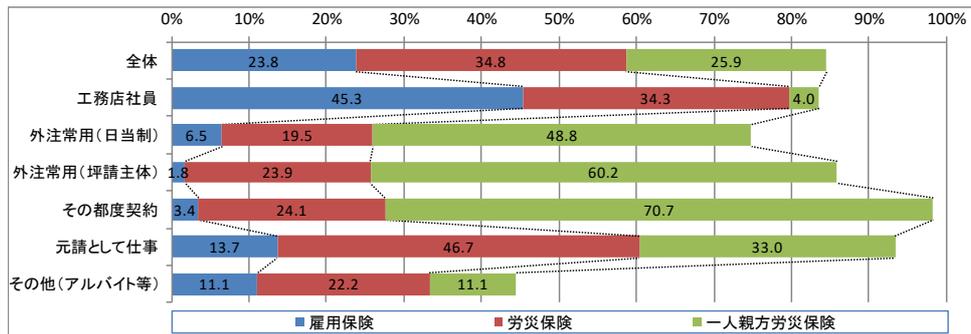


図 3.5.6 労働保険（H30年度）

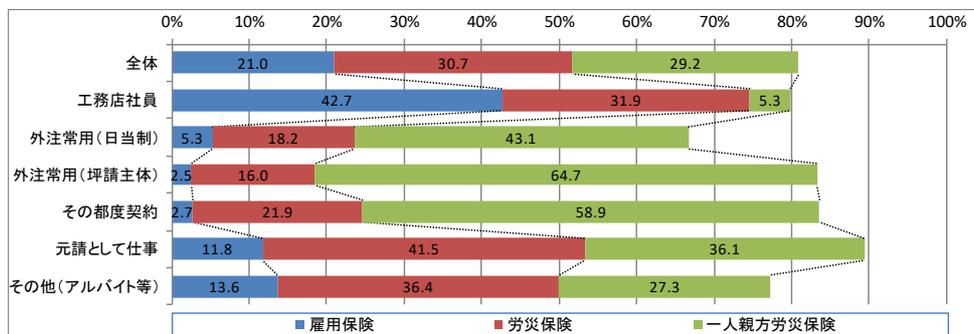


図 3.5.6# 労働保険（H29年度）

3) 健康保険

- ・「国民健康保険」は「工務店社員 (33.1%)」が最も大きい。次いで「外注常用 (日当制) (32.5%)」、「外注常用 (坪請主体) (29.2%)」。
- ・「組合健康保険 (建設国保)」は「その都度契約 (63.8%)」が最も大きい。次いで「外注常用 (坪請主体) (54.0%)」、「元請として仕事 (46.0%)」。
- ・「組合健康保険 (建設国保以外)」は「元請として仕事 (4.2%)」が最も大きい。次いで「工務店社員 (4.0%)」、「外注常用 (坪請主体) (2.7%)」。
- ・「その他の健康保険」は「その他 (アルバイト等) (5.6%)」が最も大きい。次いで「工務店社員 (5.1%)」、「元請として仕事 (3.5%)」。
- ・前回調査 (H29 年度) と比較して「その他 (アルバイト等)」で「国民健康保険」、「組合健康保険 (建設国保)」が減少している。また、その他の雇用形態で「組合健康保険 (建設国保)」が増加している。

	合計	(10-3)加入している健康保険				
		国民健康保険	組合健康保険 (建設国保)	組合健康保険 (建設国保以外)	その他の健康保険	不明
全体	1335	29.1	37.7	3.4	3.4	27.4
雇用形態						
工務店社員	525	33.1	25.0	4.0	5.1	33.9
外注常用 (日当制)	123	32.5	44.7	2.4	0.0	22.0
外注常用 (坪請主体)	113	29.2	54.0	2.7	0.0	15.0
その都度契約	58	25.9	63.8	0.0	0.0	13.8
元請として仕事	452	25.2	46.0	4.2	3.5	21.7
その他 (アルバイト等)	18	22.2	16.7	0.0	5.6	55.6

表 3.5.7 健康保険 (H30 年度) (割合%)

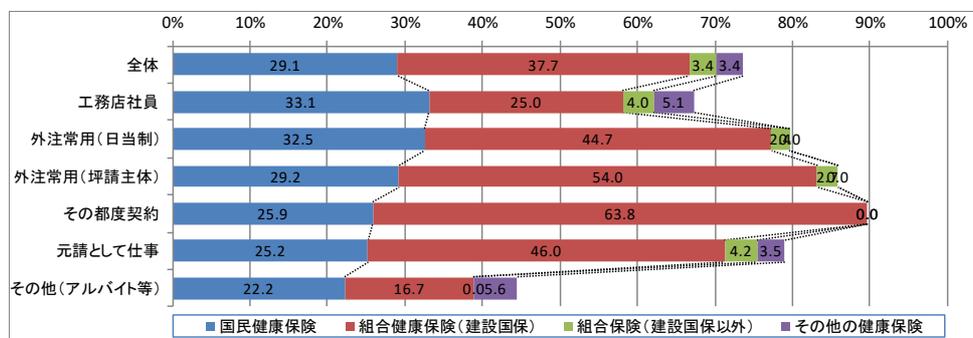


図 3.5.7 健康保険 (H30 年度)

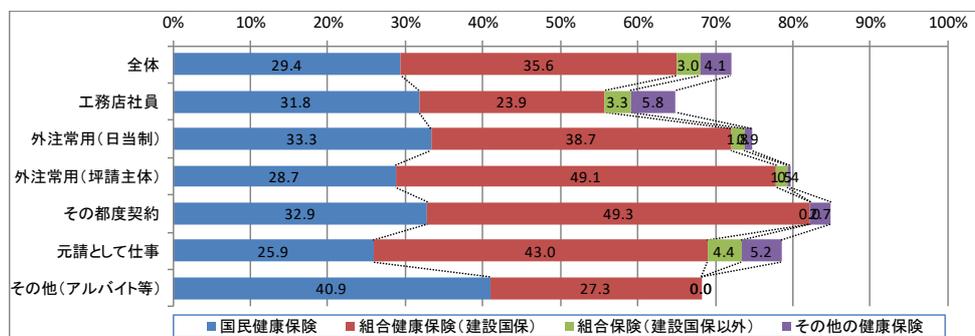


図 3.5.7# 健康保険 (H29 年度)

⑤賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

- ・自己負担となっているものの割合の合計値は「その都度契約（432.8%）」が最も大きい。次いで「外注常用（坪請主体）（419.5%）」、「外注常用（日当制）（349.6%）」。一方「その他（アルバイト等）（150.0%）」が最も小さい。
- ・「全て所属する工務店等が負担」は「元請として仕事（24.3%）」が最も大きい。次いで「工務店社員（20.8%）」、「その他（アルバイト等）（16.7%）」。一方「外注常用（坪請主体）（0.9%）」が最も小さい。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「外注常用（坪請主体）」、「その他（アルバイト等）」で自己負担となっているものの合計値が減少している。

	合計	(11)自己負担となっているもの						
		手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明
全体	1335	66.0	58.7	21.3	47.3	46.9	17.5	10.6
雇用形態								
工務店社員	525	63.0	49.0	2.9	28.6	26.9	20.8	8.8
外注常用(日当制)	123	83.7	85.4	24.4	77.2	78.9	2.4	4.9
外注常用(坪請主体)	113	89.4	92.0	61.1	88.5	88.5	0.9	3.5
その都度契約	58	91.4	93.1	65.5	89.7	93.1	3.4	5.2
元請として仕事	452	58.6	54.0	27.9	47.3	46.9	24.3	12.6
その他(アルバイト等)	18	44.4	38.9	5.6	27.8	33.3	16.7	27.8

表 3.5.8 自己負担となっているもの（H30年度）（割合%）

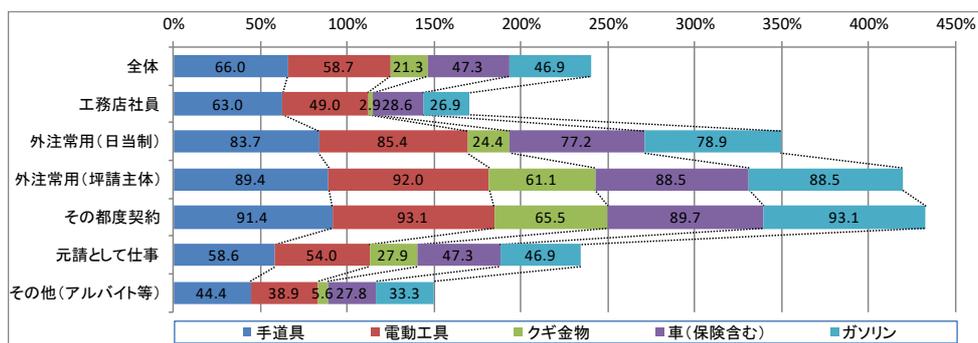


図 3.5.8 自己負担となっているもの（H30年度）

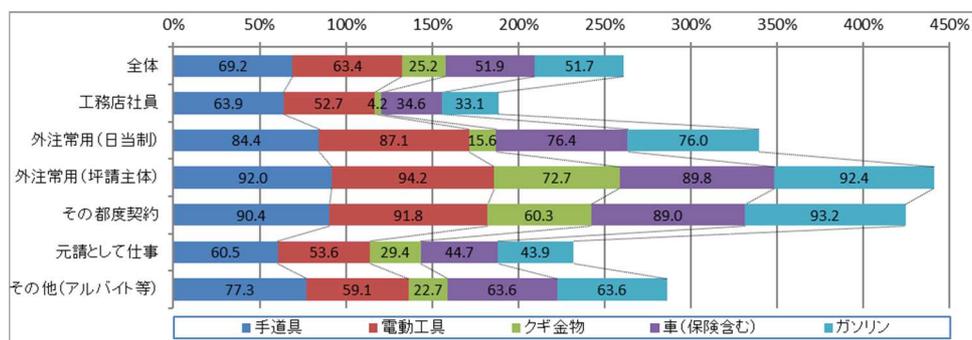


図 3.5.8# 自己負担となっているもの（H29年度）

⑥おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

- ・一日あたりのおおよその賃金の平均値は「外注常用（坪請主体）（17,409円）」が最も高く、次いで「その都度契約（16,877円）」。一方「工務店社員（12,273円）」が最も低く、次いで「その他（アルバイト等）（12,500円）」。
- ・「10,000～15,000円未満」は「工務店社員（43.0%）」が最も大きい。次いで「外注常用（日当制）（42.3%）」、「その他（アルバイト等）（33.3%）」。
- ・「15,000～20,000円未満」は「外注常用（坪請主体）（50.4%）」が最も大きい。次いで「その都度契約（48.3%）」、「元請として仕事（42.3%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「外注常用（坪請主体）」以外の雇用形態で「15,000～20,000円未満」が減少し、すべての雇用形態で「10,000～15,000円未満」が増加している。また、「その他（アルバイト等）」で「8,000円未満」が減少している。

	合計	(12)1日あたりのおおよその賃金							平均 (円)	
		8,000円未 満	8,000～ 10,000円 未 満	10,000～ 15,000円 未 満	15,000～ 20,000円 未 満	20,000～ 25,000円 未 満	25,000円 以上	不明		
全体	1335	7.3	10.4	34.3	30.5	8.8	3.3	5.3	14745	
雇用 形態	工務店社員	525	13.9	20.6	43.0	14.7	2.3	1.3	4.2	12273
	外注常用(日当制)	123	7.3	3.3	42.3	36.6	5.7	1.6	3.3	14731
	外注常用(坪請主体)	113	0.9	2.7	20.4	50.4	19.5	3.5	2.7	17409
	その都度契約	58	1.7	1.7	27.6	48.3	13.8	5.2	1.7	16877
	元請として仕事	452	1.5	3.1	28.5	42.3	13.9	5.8	4.9	16755
	その他(アルバイト等)	18	16.7	22.2	33.3	5.6	5.6	5.6	11.1	12500

表 3.5.9 1日あたりのおおよその賃金（H30年度）（割合％）

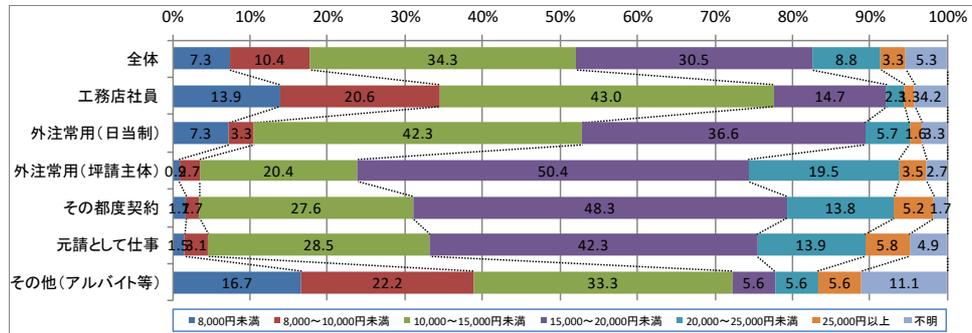


図 3.5.9 1日あたりのおおよその賃金（H30年度）

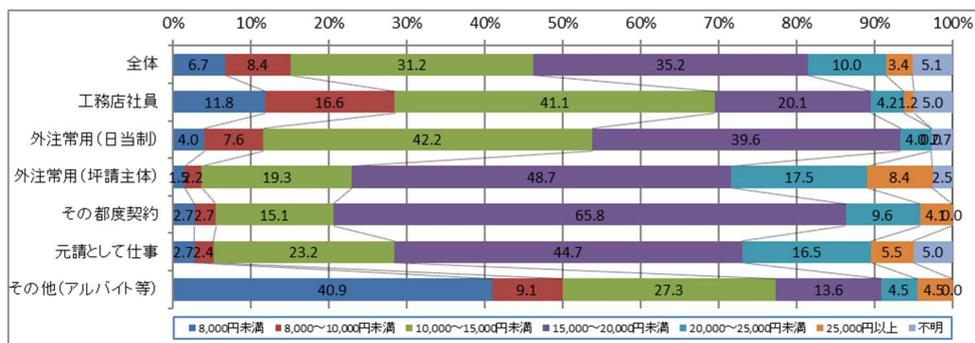


図 3.5.9# 1日あたりのおおよその賃金（H29年度）

(3) 資格や技能について

①持っている資格

- 持っている資格の合計値は「元請として仕事（306.0%）」が最も大きく、次いで「その都度契約（267.2%）」。一方「その他（アルバイト等）（138.9%）」が最も小さく、次いで「外注常用（日当制）（171.5%）」。
- 「元請として仕事」では、他の雇用形態と比較して「二級建築士」が大きい。
- 前回調査（H29年度）と比較して「外注常用（日当制）」、「その都度契約」以外の雇用形態で「足場の組立て等作業主任者」、「木造建築物組立て作業主任者」、「玉掛け技能講習修了者」が減少しているものの、総じて大きな変化はない。

雇用形態	合計	(13)お持ちの資格														
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級・2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体	1335	4.9	30.3	2.2	5.4	14.4	22.5	1.0	9.3	7.0	35.1	35.9	41.0	17.8	8.7	19.9
工務店社員	525	4.6	22.7	1.5	5.9	13.5	23.2	1.5	5.5	2.7	27.4	24.2	40.0	17.5	7.2	24.6
外注常用(日当制)	123	0.0	13.8	0.0	2.4	8.9	20.3	0.8	8.9	3.3	32.5	33.3	33.3	10.6	3.3	30.9
外注常用(坪請主体)	113	0.9	25.7	2.7	2.7	8.8	17.7	0.0	8.8	4.4	40.7	54.9	45.1	13.3	8.0	15.9
その都度契約	58	1.7	24.1	1.7	5.2	12.1	34.5	0.0	10.3	1.7	41.4	51.7	53.4	17.2	12.1	13.8
元請として仕事	452	8.8	48.2	4.0	6.9	19.7	22.8	1.1	14.4	14.4	44.5	44.7	42.7	22.1	11.7	10.6
その他(アルバイト等)	18	0.0	5.6	0.0	5.6	5.6	16.7	0.0	0.0	5.6	27.8	16.7	33.3	11.1	11.1	44.4

表 3.5.10 持っている資格（H30年度）（割合%）

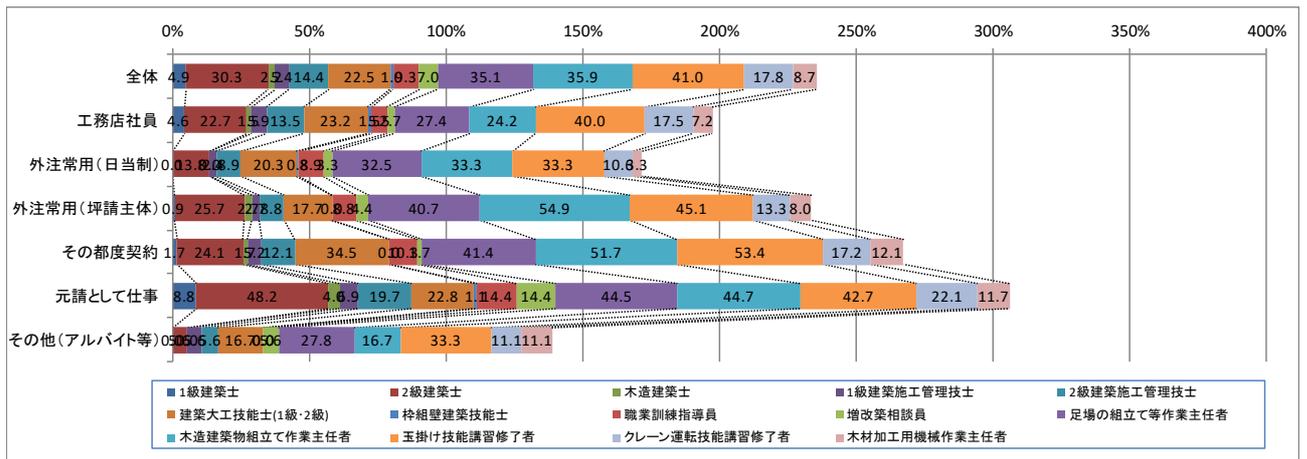


図 3.5.10 持っている資格（H30年度）

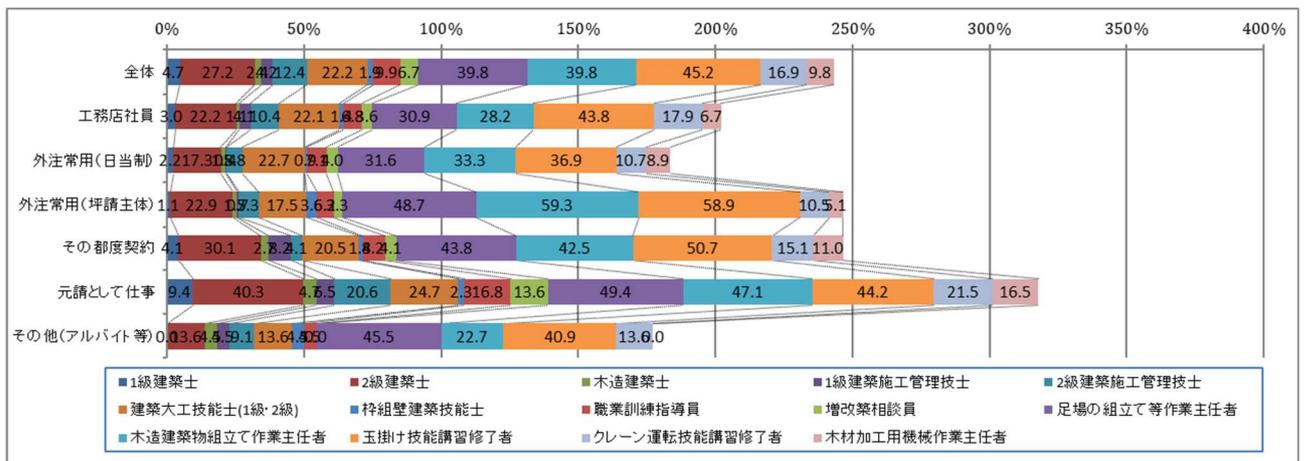


図 3.5.10# 持っている資格（H29年度）

②大工職のみ回答 墨付けができますか。

- ・前回調査（H29年度）と同様に、全体の7割弱が墨付けができる。
- ・「はい」は「元請として仕事（80.5%）」が最も大きい。次いで「その都度契約（77.6%）」、「外注常用（日当制）（71.5%）」。
- ・「いいえ」は「工務店社員（28.0%）」が最も大きい。次いで「その他（アルバイト等）（22.2%）」、「外注常用（坪請主体）（15.0%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較してすべての雇用形態で「いいえ」が減少しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(14)①墨付けができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	1335	67.3	17.2	15.5
雇用形態	工務店社員	56.4	28.0	15.6
	外注常用(日当制)	123	71.5	13.8
	外注常用(坪請主体)	113	66.4	15.0
	その都度契約	58	77.6	12.1
	元請として仕事	452	80.5	6.6
	その他(アルバイト等)	18	55.6	22.2

表 3.5.11 墨付け（H30年度）（割合%）

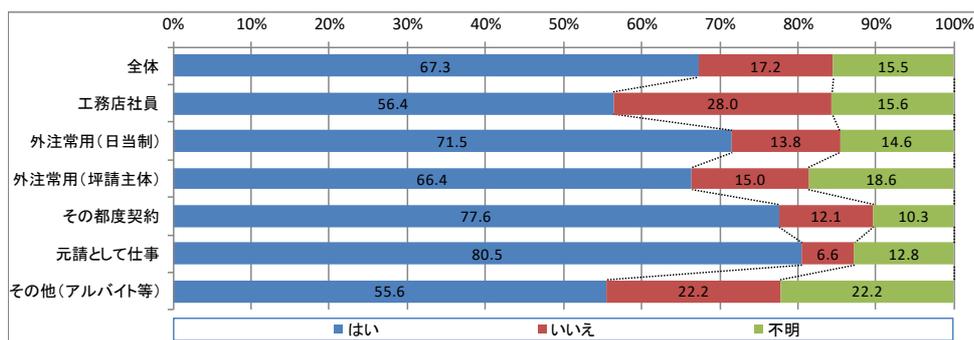


図 3.5.11 墨付け（H30年度）

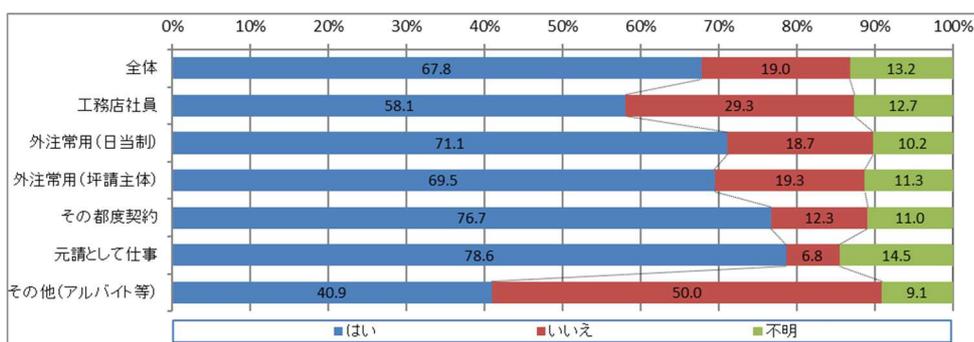


図 3.5.11# 墨付け（H29年度）

③大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(新築)

- ・前回調査（H29年度）と同様に、全体の2割程度が手刻みを年1棟以上行っている。
- ・「はい」は「元請として仕事（24.1%）」が最も大きい。次いで「工務店社員（21.9%）」、「外注常用（日当制）（19.5%）」。
- ・「いいえ」は「その都度契約（74.1%）」が最も大きい。次いで「外注常用（坪請主体）（73.5%）」、「外注常用（日当制）（65.0%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較してすべての雇用形態で「いいえ」が減少しているものの、総じて大きな変化はない。

	合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	不明
全体	1335	20.7	62.3	17.0
雇用形態				
工務店社員	525	21.9	61.7	16.4
外注常用(日当制)	123	19.5	65.0	15.4
外注常用(坪請主体)	113	8.0	73.5	18.6
その都度契約	58	15.5	74.1	10.3
元請として仕事	452	24.1	60.6	15.3
その他(アルバイト等)	18	16.7	61.1	22.2

表 3.5.12 手刻み加工の仕事（新築）（H30年度）（割合%）

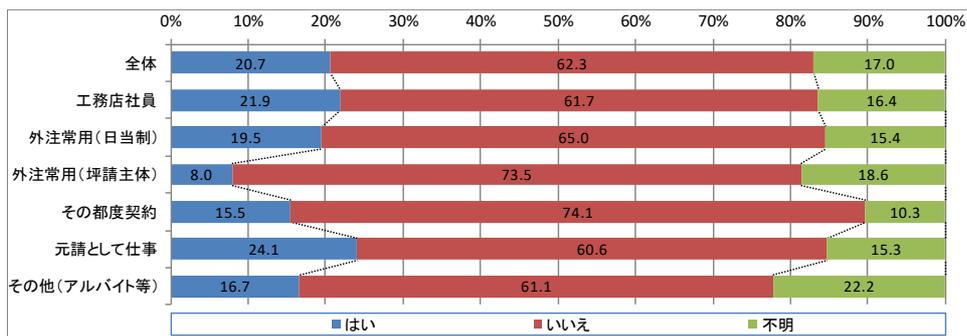


図 3.5.12 手刻み加工の仕事（新築）（H30年度）

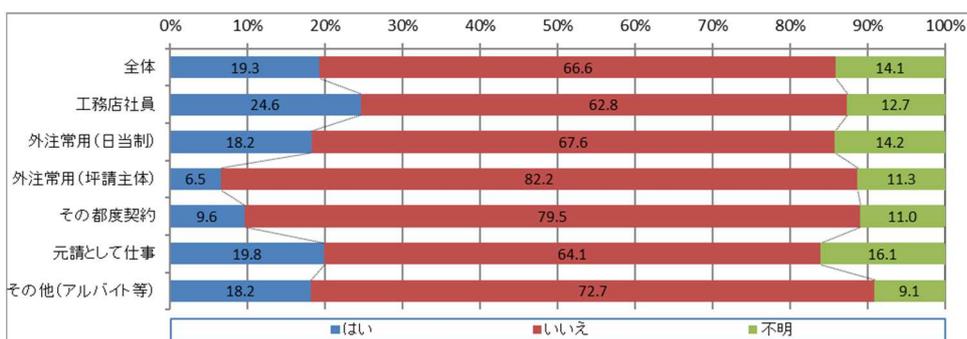


図 3.5.12# 手刻み加工の仕事（新築）（H29年度）

④大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(増改築)

- ・前回調査（H29年度）と同様に、全体の4割強が手刻みを年1棟以上行っている。
- ・「はい」は「元請として仕事（54.4%）」が最も大きい。次いで「工務店社員（41.9%）」、「外注常用（日当制）（39.8%）」。
- ・「いいえ」は「外注常用（坪請主体）（61.1%）」が最も大きい。次いで「その他（アルバイト等）（55.6%）」、「その都度契約（50.0%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較してすべての雇用形態で「いいえ」が減少している。

	合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	1335	42.9	40.2	16.9	
雇用形態	工務店社員	525	41.9	41.3	16.8
	外注常用(日当制)	123	39.8	44.7	15.4
	外注常用(坪請主体)	113	19.5	61.1	19.5
	その都度契約	58	39.7	50.0	10.3
	元請として仕事	452	54.4	31.2	14.4
	その他(アルバイト等)	18	22.2	55.6	22.2

表 3.5.13 手刻み加工の仕事（増改築）（H30年度）（割合%）

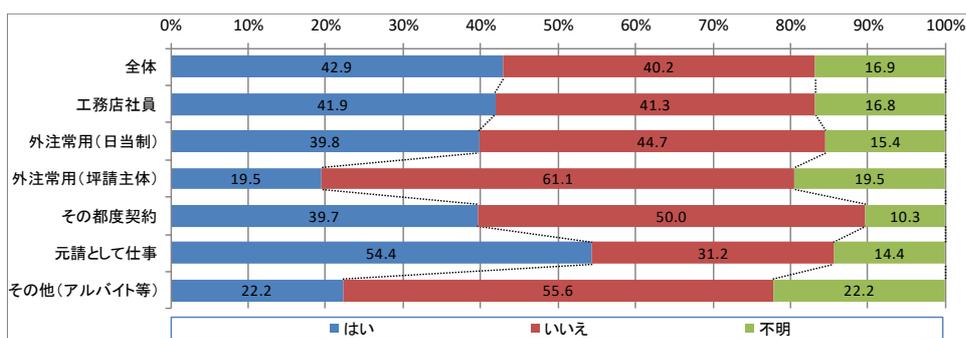


図 3.5.13 手刻み加工の仕事（増改築）（H30年度）

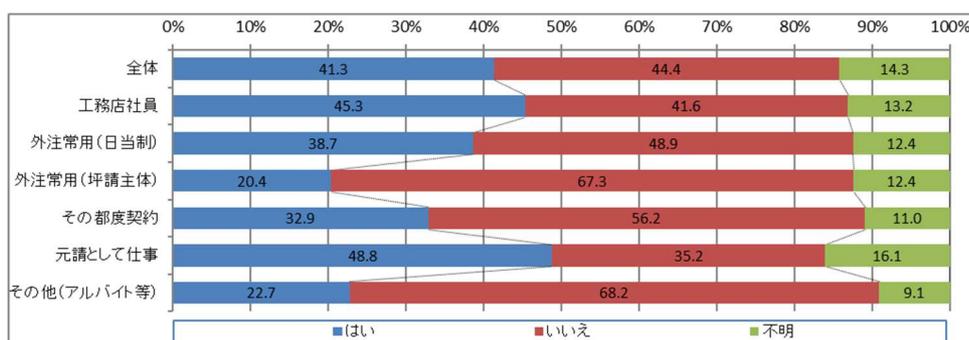


図 3.5.13# 手刻み加工の仕事（増改築）（H29年度）

⑤ **大工職のみ回答** 和室造作ができますか。

- ・前回調査（H29 年度）と同様に、全体の 6 割強は和室造作ができる。
- ・「はい」は「その都度契約（77.6%）」が最も大きい。次いで「元請として仕事（77.4%）」、「外注常用（坪請主体）（70.8%）」。
- ・「いいえ」は「その他（アルバイト等）（50.0%）」が最も大きい。次いで「工務店社員（36.6%）」、「外注常用（日当制）（20.3%）」。
- ・前回調査（H29 年度）と比較してすべての雇用形態において「はい」が増加し、「いいえ」が減少している。

	合計	(14)④和室造作ができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	1335	61.6	22.3	16.1	
雇用形態	工務店社員	525	47.4	36.6	16.0
	外注常用(日当制)	123	65.9	20.3	13.8
	外注常用(坪請主体)	113	70.8	10.6	18.6
	その都度契約	58	77.6	12.1	10.3
	元請として仕事	452	77.4	9.1	13.5
	その他(アルバイト等)	18	27.8	50.0	22.2

表 3.5.14 和室造作（H30 年度）（割合%）

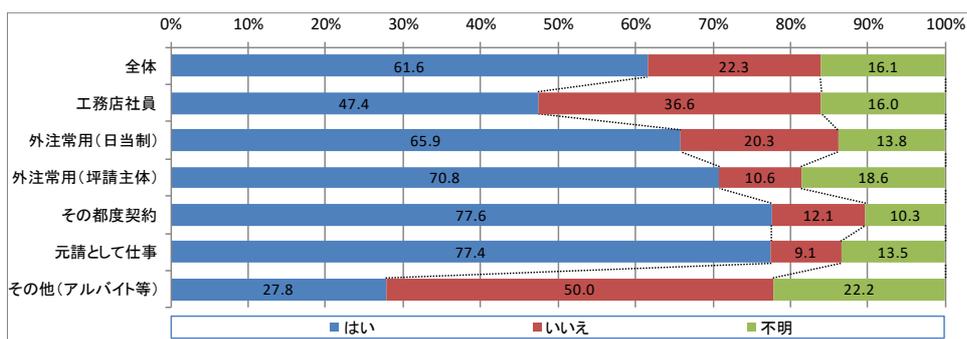


図 3.5.14 和室造作（H30 年度）

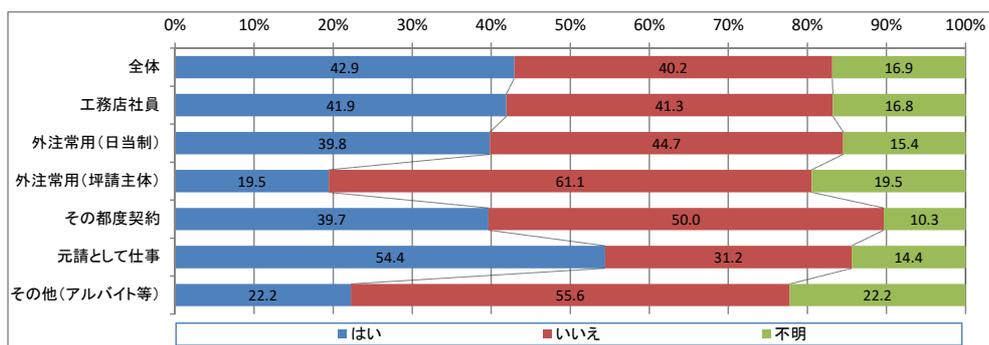


図 3.5.14# 和室造作（H29 年度）

⑥大工職のみ回答 2×4 工法の住宅の施工ができますか。

- ・前回調査（H29 年度）と同様に、全体の 4 分の 1 程度が 2×4 工法の住宅の施工ができる。
- ・「はい」は「その都度契約（41.4%）」が最も大きい。次いで「外注常用（坪請主体）（36.3%）」、「外注常用（日当制）（33.3%）」。
- ・「いいえ」は「その他（アルバイト等）（72.2%）」が最も大きい。次いで「工務店社員（62.7%）」、「元請として仕事（57.3%）」。
- ・前回調査（H29 年度）と比較して「その都度契約」で「はい」が増加し、「いいえ」が減少しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工 ができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	1335	26.1	56.6	17.3
雇用形態				
工務店社員	525	20.6	62.7	16.8
外注常用(日当制)	123	33.3	52.0	14.6
外注常用(坪請主体)	113	36.3	43.4	20.4
その都度契約	58	41.4	46.6	12.1
元請として仕事	452	27.4	57.3	15.3
その他(アルバイト等)	18	5.6	72.2	22.2

表 3.5.15 2×4 工法の住宅の施工（H30 年度）（割合%）

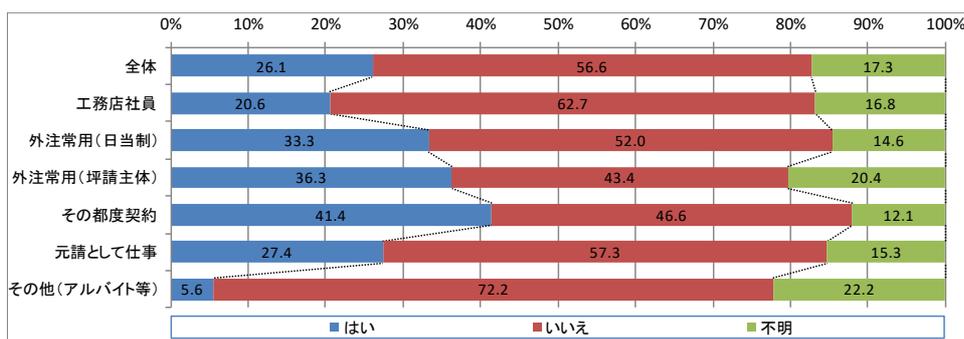


図 3.5.15 2×4 工法の住宅の施工（H30 年度）

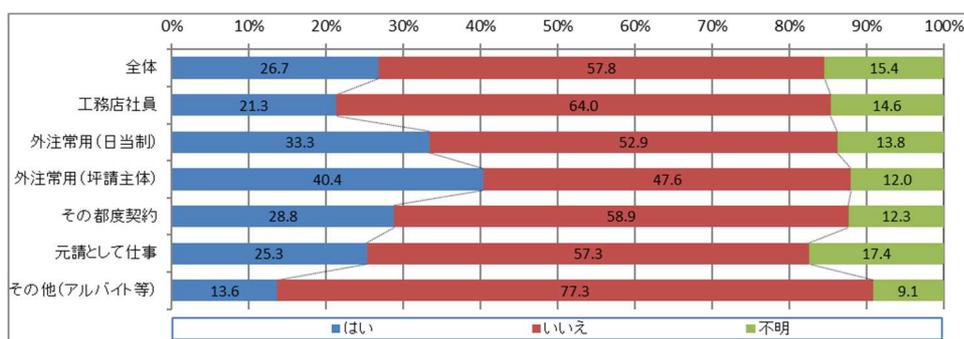


図 3.5.15# 2×4 工法の住宅の施工（H29 年度）

(4) 仕事に対する満足度や今後の意向について

①現在の仕事の内容について満足していますか。

- 全体で「とても満足している (10.5%)」、「まあ満足している (52.5%)」であり、前回調査 (H29年度) と同様に、全体の6割強が満足していると回答している。
- 「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値は「工務店社員 (66.7%)」が最も大きい。次いで「元請として仕事 (66.3%)」、「外注常用 (日当制) (62.6%)」。
- 「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値は「外注常用 (坪請主体) (44.2%)」が最も大きい。次いで「その都度契約 (34.5%)」、「その他 (アルバイト等) (27.8%)」。
- 前回調査 (H29年度) と比較して「その他 (アルバイト等)」で「まあ満足している」が減少しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	1335	10.5	52.5	20.8	4.6	11.6
雇用形態						
工務店社員	525	12.4	54.3	18.1	5.3	9.9
外注常用(日当制)	123	7.3	55.3	21.1	4.9	11.4
外注常用(坪請主体)	113	5.3	39.8	40.7	3.5	10.6
その都度契約	58	5.2	50.0	27.6	6.9	10.3
元請として仕事	452	10.8	55.5	18.6	4.0	11.1
その他(アルバイト等)	18	5.6	44.4	22.2	5.6	22.2

表 3.5.16 仕事の内容についての満足度 (H30年度) (割合%)

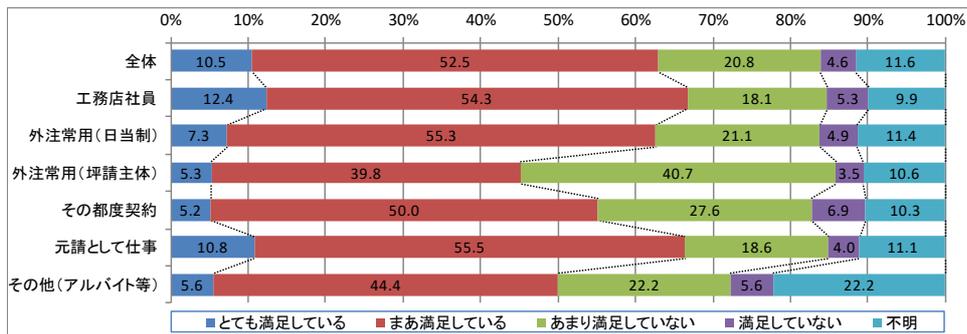


図 3.5.16 仕事の内容についての満足度 (H30年度)

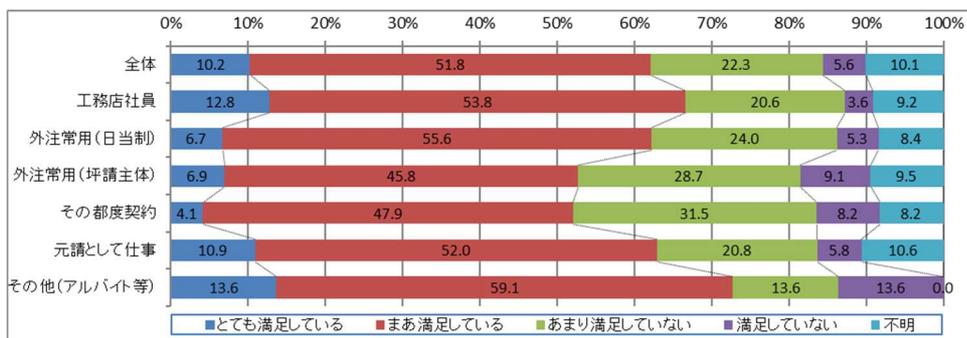


図 3.5.16# 仕事の内容についての満足度 (H29年度)

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

- ・全体で「とても満足している（3.8%）」、「まあ満足している（34.0%）」であり、前回調査（H29年度）と同様に、全体の4割弱が満足していると回答している。
- ・「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値は「工務店社員（43.2%）」が最も大きい。次いで「元請として仕事（39.1%）」、「外注常用（日当制）（32.6%）」。
- ・「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値は「外注常用（坪請主体）（68.1%）」が最も大きい。次いで「外注常用（日当制）（57.7%）」、「その都度契約（56.9%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「工務店社員」、「元請として仕事」以外の雇用形態で「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値が減少している。

	合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度					
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明	
全体	1335	3.8	34.0	35.6	14.9	11.7	
雇用形態	工務店社員	6.1	37.1	30.7	16.0	10.1	
	外注常用(日当制)	123	3.3	29.3	39.0	18.7	9.8
	外注常用(坪請主体)	113	0.0	20.4	52.2	15.9	11.5
	その都度契約	58	0.0	31.0	41.4	15.5	12.1
	元請として仕事	452	2.2	36.9	36.7	13.5	10.6
	その他(アルバイト等)	18	11.1	16.7	38.9	16.7	16.7

表 3.5.17 収入等についての満足度（H30年度）（割合%）

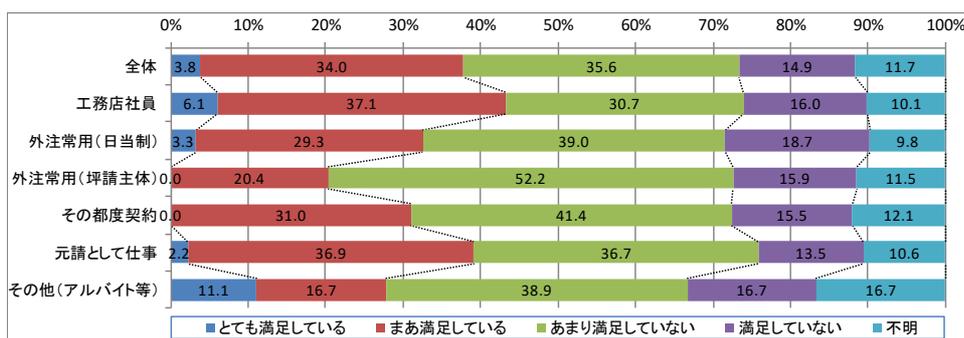


図 3.5.17 収入等についての満足度（H30年度）

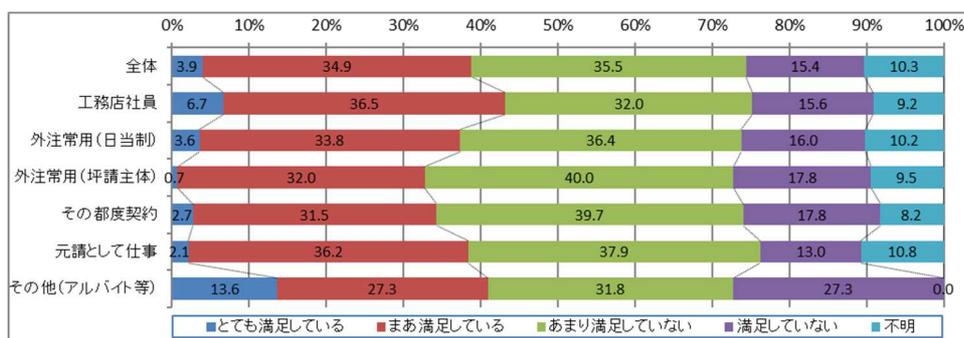


図 3.5.17# 収入等についての満足度（H29年度）

③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

- ・「仕事ができる限り続ける」は「外注常用（日当制）（61.8%）」が最も大きい。次いで「外注常用（坪請主体）（55.8%）」、「工務店社員（55.0%）」。一方「その他（アルバイト等）（38.9%）」が最も小さい。
- ・「65歳で引退する」は「工務店社員（15.8%）」が最も大きく、次いで「元請けとして仕事（14.4%）」。
- ・「70歳で引退する」は「その他（アルバイト等）（22.2%）」が最も大きく、次いで「その都度契約（19.0%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「その他（アルバイト等）」以外の雇用形態で「仕事ができる限り続ける」が増加している。また、すべての雇用形態で「60歳で引退する」、「65歳で引退する」の合計値が減少している。

	合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか						
		60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明
全体	1335	6.4	13.8	12.0	3.4	51.4	0.7	12.3
雇用形態								
工務店社員	525	8.6	15.8	7.8	1.0	55.0	1.0	10.9
外注常用(日当制)	123	4.9	8.1	10.6	4.1	61.8	0.8	9.8
外注常用(坪請主体)	113	1.8	14.2	12.4	5.3	55.8	0.0	10.6
その都度契約	58	5.2	10.3	19.0	1.7	46.6	1.7	15.5
元請として仕事	452	5.5	14.4	16.6	6.0	46.2	0.4	10.8
その他(アルバイト等)	18	11.1	5.6	22.2	0.0	38.9	0.0	22.2

表 3.5.18 何歳まで仕事を続ける予定か（H30年度）（割合）

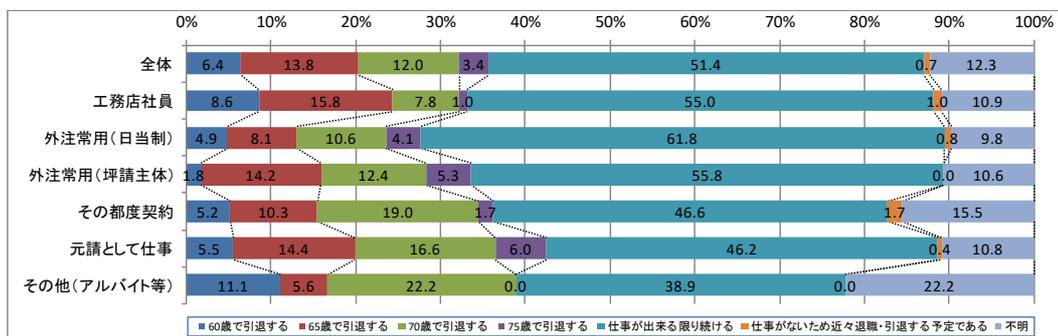


図 3.5.18 何歳まで仕事を続ける予定か（H30年度）

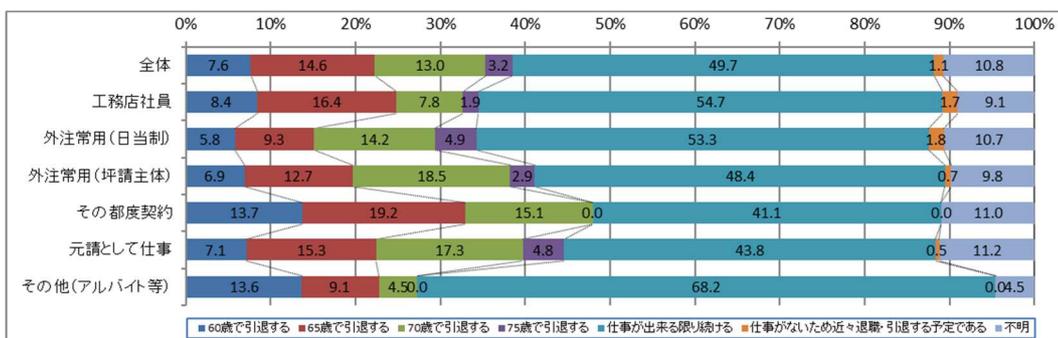


図 3.5.18# 何歳まで仕事を続ける予定か（H29年度）

(5) 担い手育成について

①現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

- ・全体で「現在育てている（13.3%）」、「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい（37.4%）」であり、前回調査（H29年度）と同様に、合計値は全体の5割程度となっている。
- ・「現在育てている」は「元請として仕事（17.9%）」が最も大きい。次いで「工務店社員（14.7%）」、「外注常用（坪請主体）（8.8%）」。
- ・「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」は「元請として仕事（41.8%）」が最も大きい。次いで「その都度契約（41.4%）」、「工務店社員（38.5%）」。
- ・「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」は「外注常用（日当制）（52.8%）」が最も大きい。次いで「外注常用（坪請主体）（48.7%）」、「その都度契約（43.1%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」が「その他（アルバイト等）」で減少し、「その都度契約」で増加しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか				
		現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明	
全体	1335	13.3	37.4	31.2	18.2	
雇用形態	工務店社員	525	14.7	38.5	24.2	22.7
	外注常用(日当制)	123	4.1	27.6	52.8	15.4
	外注常用(坪請主体)	113	8.8	30.1	48.7	12.4
	その都度契約	58	1.7	41.4	43.1	13.8
	元請として仕事	452	17.9	41.8	28.5	11.7
	その他(アルバイト等)	18	0.0	27.8	38.9	33.3

表 3.5.19 担い手の育成状況（H30年度）（割合%）

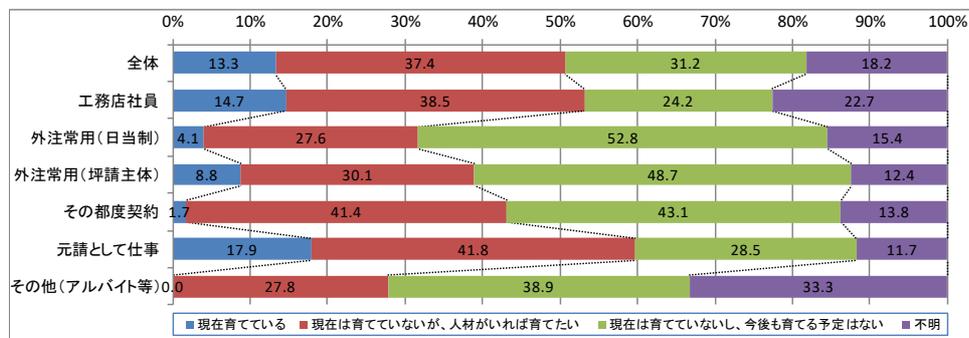


図 3.5.19 担い手の育成状況（H30年度）

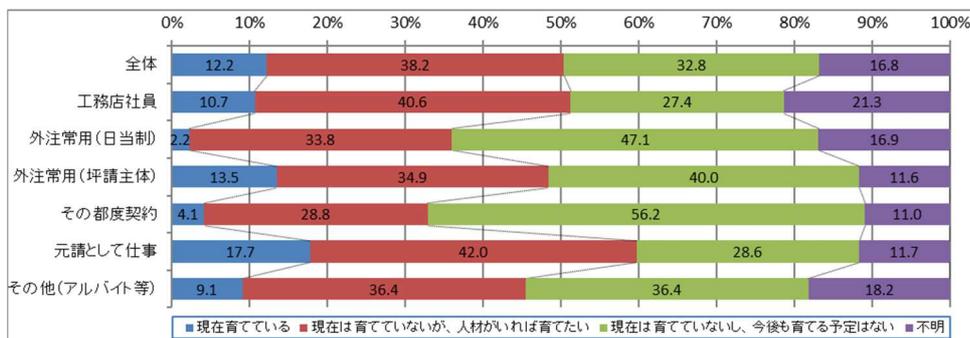


図 3.5.19# 担い手の育成状況（H29年度）

② 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

- ・全体で「正社員（職業訓練校）（18.6%）」、「正社員（弟子として）（70.1%）」であり、前回調査（H29年度）と比較して、合計値は1割程度増加している。
- ・「正社員（職業訓練校）」は「工務店社員（28.6%）」が最も大きい。次いで「元請として仕事（12.3%）」、「外注常用（坪請主体）（10.0%）」。
- ・「正社員（弟子として）」は「その都度契約（100.0%）」が最も大きい。次いで「外注常用（日当制）（80.0%）」、「元請として仕事（74.1%）」。
- ・「一人親方等にあずける（職業訓練校）」は「元請として仕事（2.5%）」のみとなっている。
- ・「一人親方等にあずける（弟子として）」は「外注常用（坪請主体）（30.0%）」が最も大きい。次いで「外注常用（日当制）（20.0%）」、「元請として仕事（8.6%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「外注常用（日当制）」で「正社員（職業訓練校）」が減少している。

	合計	(19)育成期間の担い手の立場				
		正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親方 等にあずける(職業 訓練校)	一人親方 等にあずける(弟子 として)	不明
全体	177	18.6	70.1	1.1	8.5	1.7
雇用形態						
工務店社員	77	28.6	66.2	0.0	3.9	1.3
外注常用(日当制)	5	0.0	80.0	0.0	20.0	0.0
外注常用(坪請主体)	10	10.0	60.0	0.0	30.0	0.0
その都度契約	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
元請として仕事	81	12.3	74.1	2.5	8.6	2.5
その他(アルバイト等)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

表 3.5.20 育成期間の担い手の立場（H30年度）（割合%）

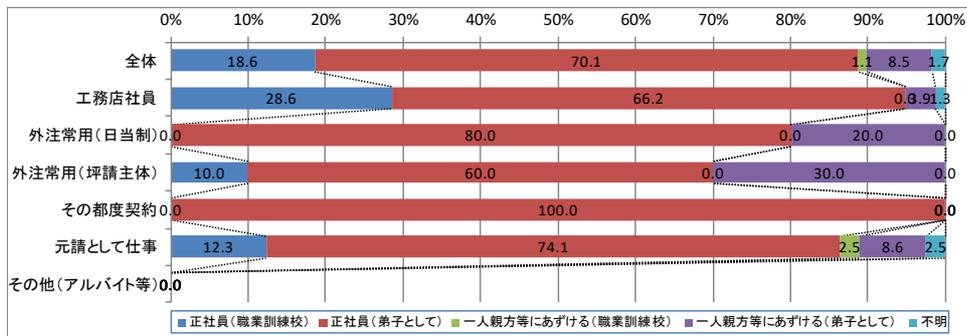


図 3.5.20 育成期間の担い手の立場（H30年度）

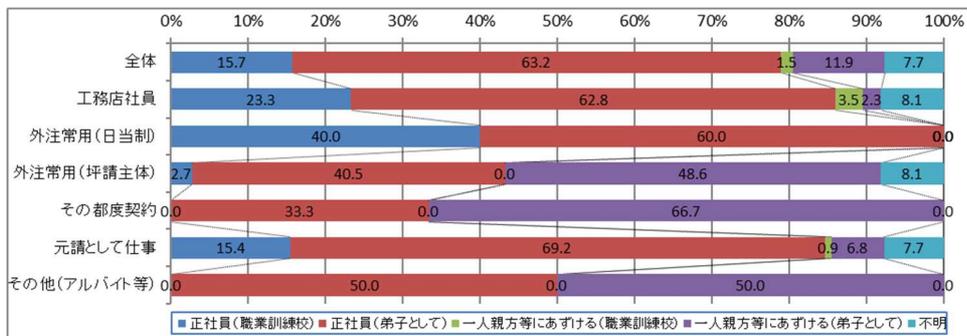


図 3.5.20# 育成期間の担い手の立場（H29年度）

③ 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成にかかる費用負担

- ・前回調査（H29年度）と同様に、全体の3割強が育成にかかる費用負担が有ると回答している。
- ・「有る」は「その都度契約（100.0%）」が最も大きい。次いで「外注常用（坪請主体）（60.0%）」、「元請として仕事（42.0%）」。
- ・「無い」は「外注常用（日当制）（20.0%）」が最も大きい。次いで「工務店社員（19.5%）」、「元請として仕事（11.1%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「外注常用（日当制）」以外の雇用形態で「有る」が増加しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(2)育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
		有	無	不明
全体	177	32.8	15.3	52.0
雇用形態				
工務店社員	77	19.5	19.5	61.0
外注常用(日当制)	5	20.0	20.0	60.0
外注常用(坪請主体)	10	60.0	10.0	30.0
その都度契約	1	100.0	0.0	0.0
元請として仕事	81	42.0	11.1	46.9
その他(アルバイト等)	0	0.0	0.0	0.0

表 3.5.21 育成期間にかかる費用負担（H30年度）（割合%）

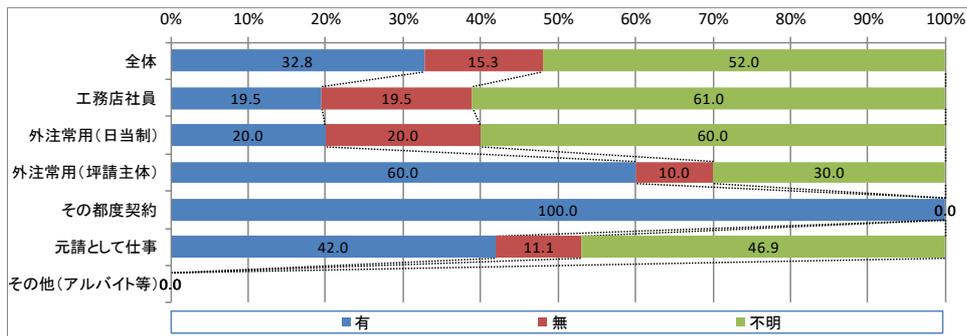


図 3.5.21 育成期間にかかる費用負担（H30年度）

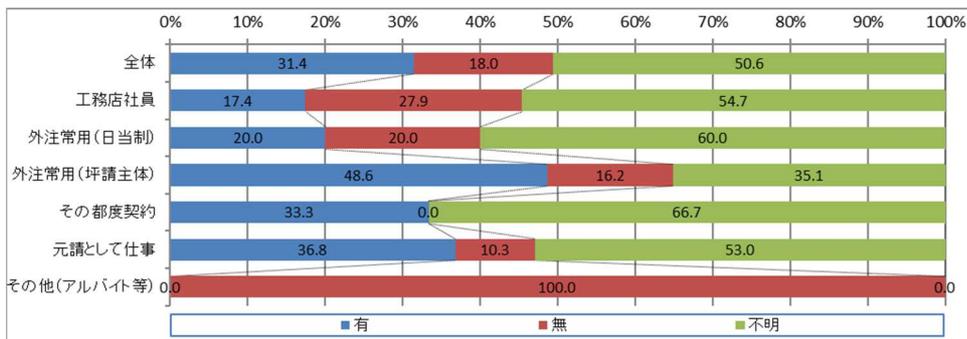


図 3.5.21 # 育成期間にかかる費用負担（H29年度）

④ 「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答

なぜ育てる予定はないのか。

- ・育てる予定がない理由として回答した割合の合計値は「元請として仕事（186.0%）」が最も大きい。次いで「その都度契約（180.0%）」、「外注常用（坪請主体）（172.7%）」。
- ・どの雇用形態においても「人材がいないため」、「将来の保障ができないため」が大きい。また、「外注常用（日当制）」、「外注常用（坪請主体）」で「費用がかかるため」が大きい。「工務店社員」で「育てる自信がないため」が大きい。
- ・前回調査（H29年度）と比較して総じて大きな変化はない。

	合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がいないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカットののため	新築が少ないため	その他	不明
全体	416	7.7	7.9	17.8	2.9	21.9	15.9	36.5	15.1	7.7	16.3	5.3	10.8
雇用形態													
工務店社員	127	4.7	9.4	10.2	3.9	18.9	23.6	23.6	7.9	6.3	13.4	7.1	17.3
外注常用(日当制)	65	7.7	7.7	21.5	3.1	16.9	9.2	35.4	15.4	6.2	9.2	1.5	12.3
外注常用(坪請主体)	55	5.5	3.6	32.7	3.6	32.7	14.5	47.3	12.7	7.3	9.1	3.6	3.6
その都度契約	25	8.0	8.0	20.0	4.0	32.0	16.0	48.0	12.0	8.0	16.0	8.0	4.0
元請として仕事	129	12.4	7.0	18.6	1.6	21.7	11.6	45.7	24.8	10.1	27.1	5.4	6.2
その他(アルバイト等)	7	0.0	28.6	0.0	0.0	28.6	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3

表 3.5.22 なぜ育てる予定はないのか（H30年度）（割合%）

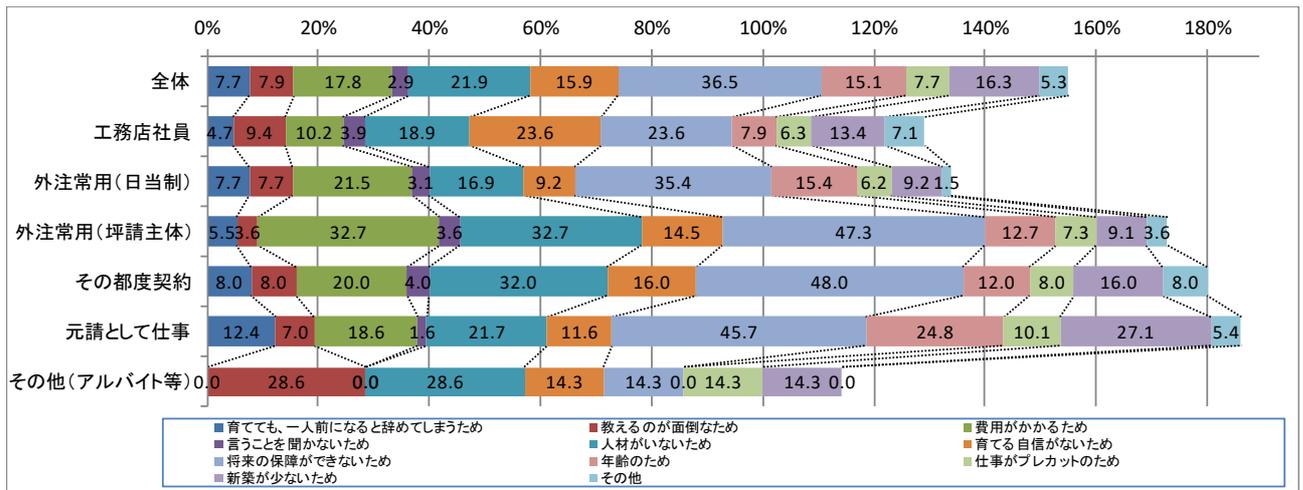


図 3.5.22 なぜ育てる予定はないのか（H30年度）

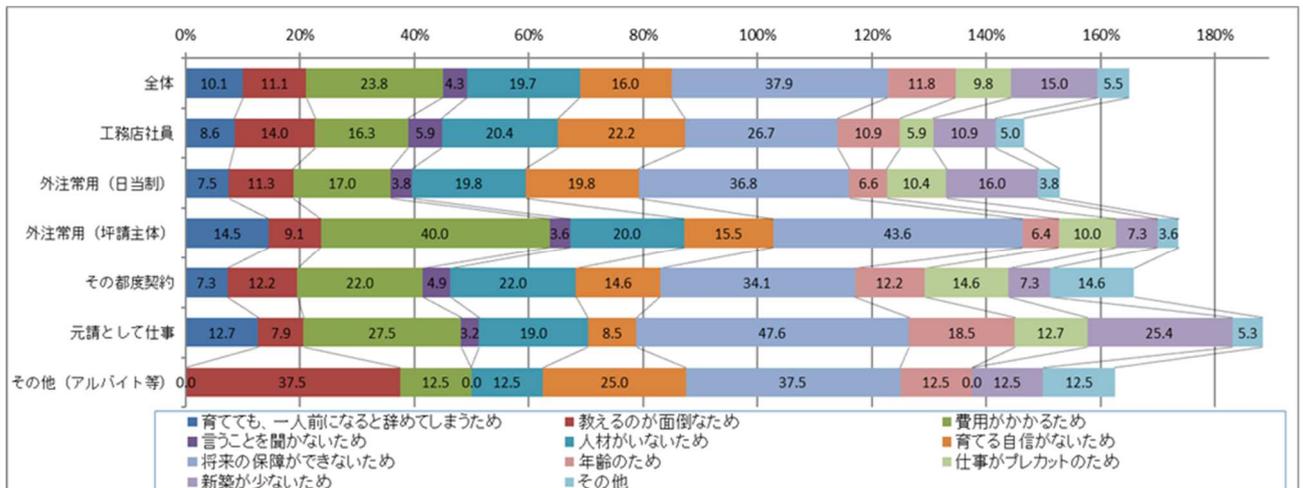


図 3.5.22# なぜ育てる予定はないのか（H29年度）

⑤担い手育成にかかる費用の公的補助について、1人／月当たりどの程度必要と考えますか。

- ・前回調査（H29年度）と同様に、全体では「10万円／月（25.4%）」、「15万円／月（19.0%）」の順で高い。
- ・「外注常用（坪請主体）」以外の雇用形態で「10万円／月」の割合が最も大きい。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「その他（アルバイト等）」で「10万円／月」が減少したものの、総じて大きな変化はない。

	合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か					
		3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明
全体	1335	5.4	12.6	25.4	19.0	3.7	33.9
雇用形態							
工務店社員	525	6.3	12.8	22.5	15.6	4.6	38.3
外注常用(日当制)	123	4.1	6.5	32.5	14.6	4.9	37.4
外注常用(坪請主体)	113	2.7	11.5	23.0	39.8	0.0	23.0
その都度契約	58	5.2	5.2	37.9	17.2	6.9	27.6
元請として仕事	452	6.0	16.2	27.9	20.1	3.5	26.3
その他(アルバイト等)	18	0.0	5.6	16.7	11.1	0.0	66.7

表 3.5.23 公的補助について、1人／月当たりどの程度必要か（H30年度）（割合%）

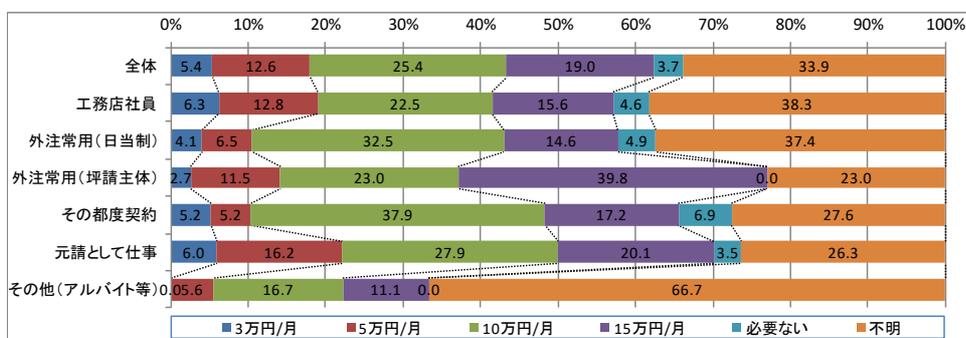


図 3.5.23 公的補助について、1人／月当たりどの程度必要か（H30年度）

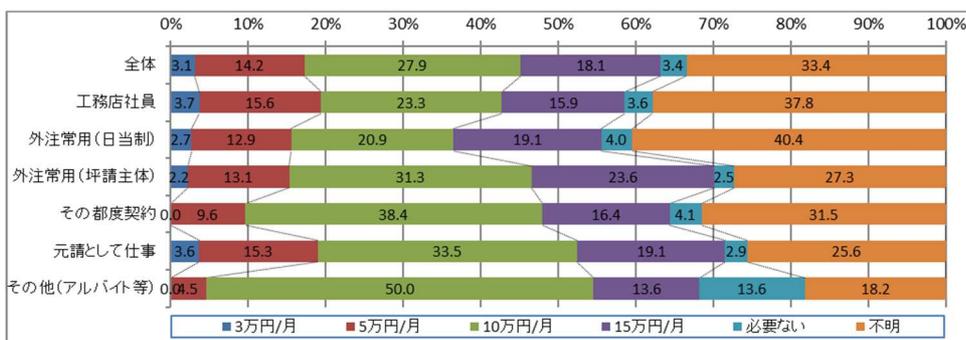


図 3.5.23# 公的補助について、1人／月当たりどの程度必要か（H29年度）

6. 賃金別集計

(1) 職業等について

①職種においてベテランだと思いませんか。

- ・「ベテラン」は「25,000円以上(40.9%)」が最も大きく、次いで「20,000～25,000円未満(28.8%)」。
- ・「ややベテラン」は「20,000～25,000円未満(29.7%)」が最も大きく、次いで「15,000～20,000円未満(26.5%)」。
- ・「中堅」は「10,000～15,000円未満(37.6%)」が最も大きく、次いで「15,000～20,000円未満(37.1%)」。
- ・「やや中堅」は「8,000～10,000円未満(19.4%)」が最も大きく、次いで「10,000～15,000円未満(14.6%)」。
- ・「見習い」は「8,000円未満(69.4%)」が最も大きく、次いで「8,000～10,000円未満(50.4%)」。
- ・前回調査(H29年度)と比較して「20,000～25,000円未満」で「中堅」が減少し、「ややベテラン」が増加しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(5)あなたのベテラン度合いについて						
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明	
全体	1335	18.1	20.7	31.4	10.9	15.9	3.0	
賃金	8,000円未満	98	7.1	3.1	10.2	7.1	69.4	3.1
	8,000～10,000円未満	139	4.3	7.9	16.5	19.4	50.4	1.4
	10,000～15,000円未満	458	15.7	21.6	37.6	14.6	8.5	2.0
	15,000～20,000円未満	407	23.6	26.5	37.1	7.4	2.5	2.9
	20,000～25,000円未満	118	28.8	29.7	32.2	5.1	2.5	1.7
	25,000円以上	44	40.9	22.7	29.5	2.3	2.3	2.3

表 3.6.1 職種のベテラン度合 (H30年度) (割合%)

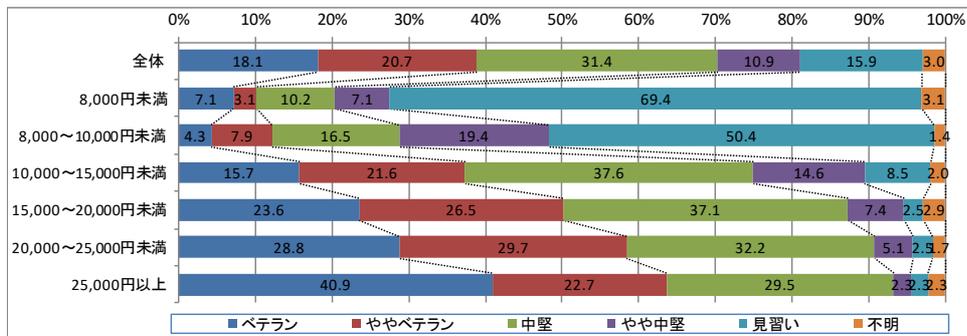


図 3.6.1 職種のベテラン度合 (H30年度)

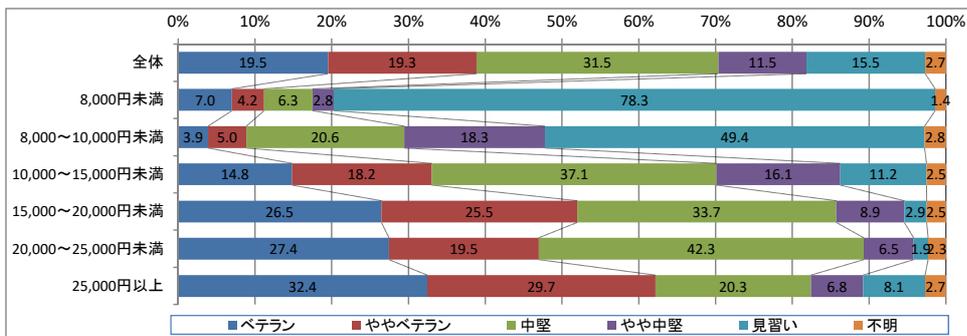


図 3.6.1# 職種のベテラン度合 (H29年度)

(2) 資格や技能について

①持っている資格

- 持っている資格の合計値は「15,000～20,000円未満（277.6%）」が最も大きく、次いで「25,000円以上（261.4%）」。
- 一方「8,000円未満（134.7%）」が最も小さく、次いで「8,000～10,000円未満（161.9%）」。
- 「25,000円以上」では「1級建築士」、「1級建築施工管理技士」が大きく、「建築大工技能士（1級・2級）」が小さい。
- 「10,000～15,000円未満」以上の賃金では「2級建築士」、「職業訓練指導員」、「増改築相談員」、「足場の組立て等作業主任者」、「木造建築物組立て作業主任者」との回答が増加する。
- 前回調査（H29年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

賃金	合計	(13)お持ちの資格														
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級・2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体	1335	4.9	30.3	2.2	5.4	14.4	22.5	1.0	9.3	7.0	35.1	35.9	41.0	17.8	8.7	19.9
8,000円未満	98	1.0	14.3	1.0	3.1	3.1	32.7	0.0	3.1	0.0	13.3	11.2	32.7	17.3	2.0	36.7
8,000～10,000円未満	139	2.9	18.7	0.7	2.9	14.4	20.1	0.0	3.6	2.9	23.7	15.1	35.3	15.8	5.8	33.8
10,000～15,000円未満	458	3.7	32.5	2.0	6.1	15.1	23.4	1.7	10.3	6.6	38.9	37.8	42.4	18.1	9.0	17.9
15,000～20,000円未満	407	7.6	36.1	2.9	5.2	16.0	22.4	1.0	11.8	8.4	43.7	49.6	44.2	18.7	10.1	11.8
20,000～25,000円未満	118	5.9	39.8	4.2	5.9	17.8	22.9	0.0	9.3	11.9	34.7	38.1	42.4	16.1	9.3	12.7
25,000円以上	44	11.4	38.6	2.3	15.9	13.6	11.4	2.3	9.1	15.9	36.4	34.1	38.6	18.2	13.6	13.6

表 3.6.2 持っている資格（H30年度）（割合%）

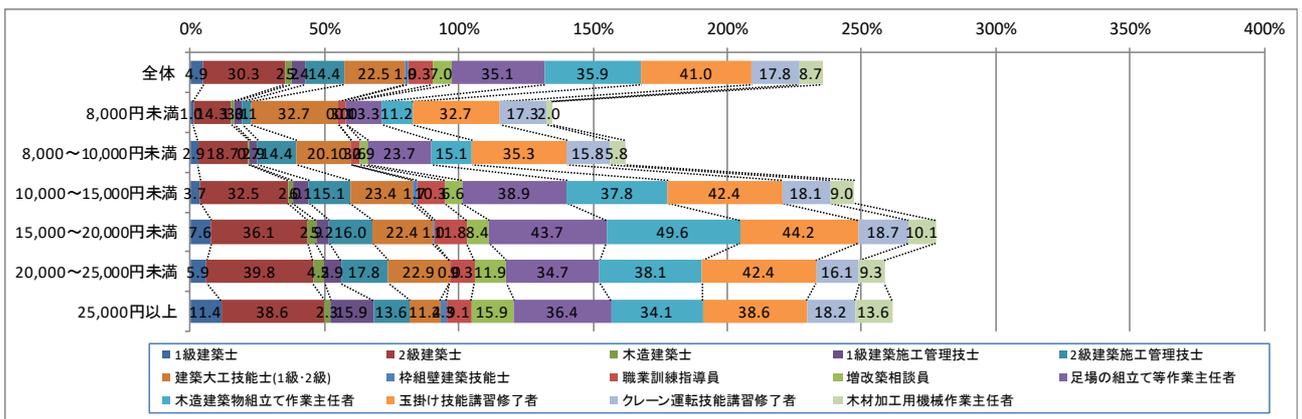


図 3.6.2 持っている資格（H30年度）

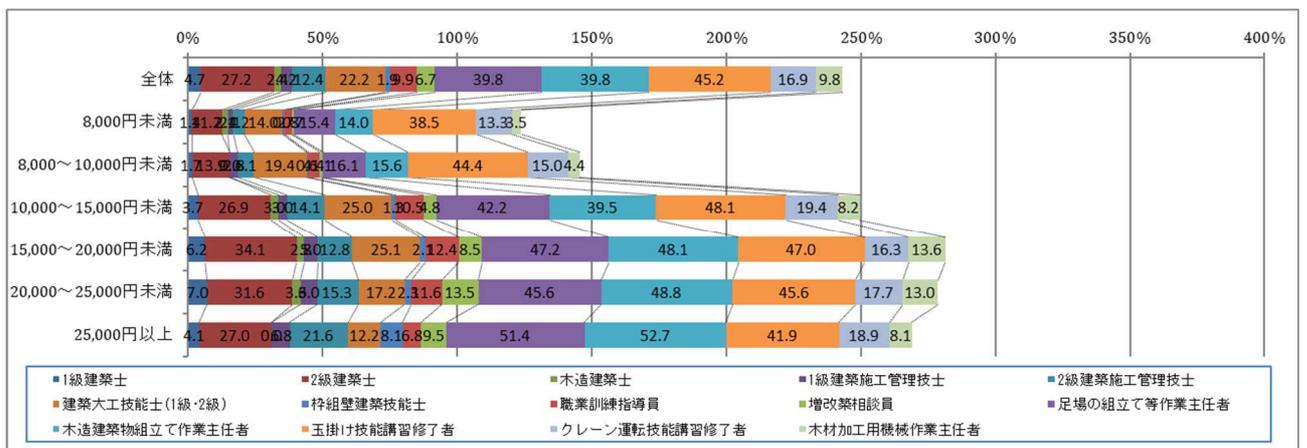


図 3.6.2# 持っている資格（H29年度）

②大工職のみ回答 墨付けができますか。

- ・前回調査（H29年度）と同様に、全体の7割弱が墨付けができる。
- ・「はい」は「15,000～20,000円以上（79.1%）」が最も大きい。「10,000～15,000円未満」以上の賃金では7～8割程度が「はい」と回答している。
- ・「いいえ」は「8,000～10,000円未満（41.7%）」が最も大きい。また「8,000～10,000円未満」以下は4割程度が「いいえ」と回答している。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「はい」は「25,000円以上」以外の賃金で増加している。

	合計	(14)①墨付けができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	1335	67.3	17.2	15.5	
賃金	8,000円未満	98	45.9	40.8	13.3
	8,000～10,000円未満	139	42.4	41.7	15.8
	10,000～15,000円未満	458	70.7	16.6	12.7
	15,000～20,000円未満	407	79.1	8.8	12.0
	20,000～25,000円未満	118	78.8	7.6	13.6
	25,000円以上	44	72.7	4.5	22.7

表 3.6.3 墨付け（H30年度）（割合％）

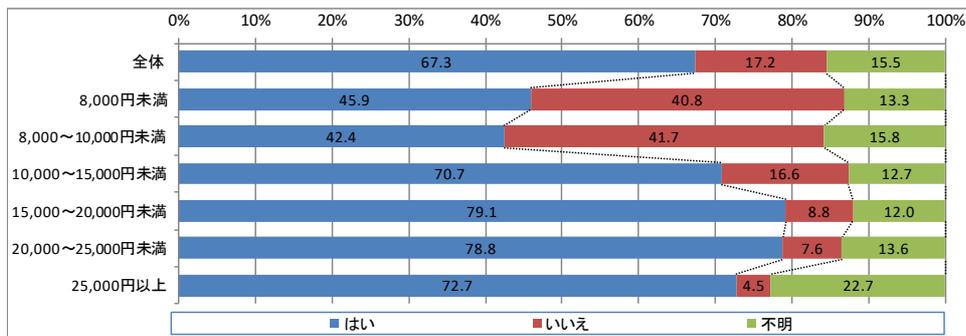


図 3.6.3 墨付け（H30年度）

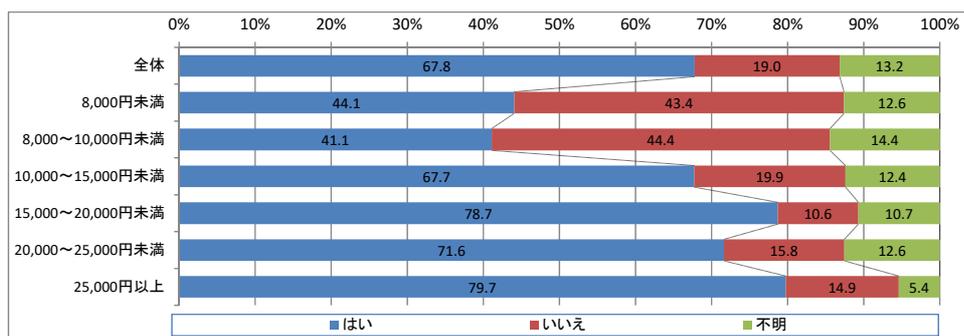


図 3.6.3# 墨付け（H29年度）

③大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(新築)

- ・前回調査（H29年度）と同様に、全体の2割程度が手刻みを年1棟以上行っている。
- ・「はい」は「15,000～20,000円未満（23.1%）」が最も大きい。次いで「25,000円以上（22.7%）」、「10,000～15,000円未満（22.5%）」。
- ・「いいえ」は「8,000円未満（68.4%）」が最も大きい。次いで「20,000～25,000円未満（67.8%）」、「15,000～20,000円未満（64.1%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「はい」は「8,000円未満」、「10,000～15,000円未満」以外の賃金で増加している。

	合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	1335	20.7	62.3	17.0	
賃金	8,000円未満	98	15.3	68.4	16.3
	8,000～10,000円未満	139	20.9	62.6	16.5
	10,000～15,000円未満	458	22.5	62.7	14.8
	15,000～20,000円未満	407	23.1	64.1	12.8
	20,000～25,000円未満	118	17.8	67.8	14.4
	25,000円以上	44	22.7	54.5	22.7

表 3.6.4 手刻み加工の仕事（新築）（H30年度）（割合%）

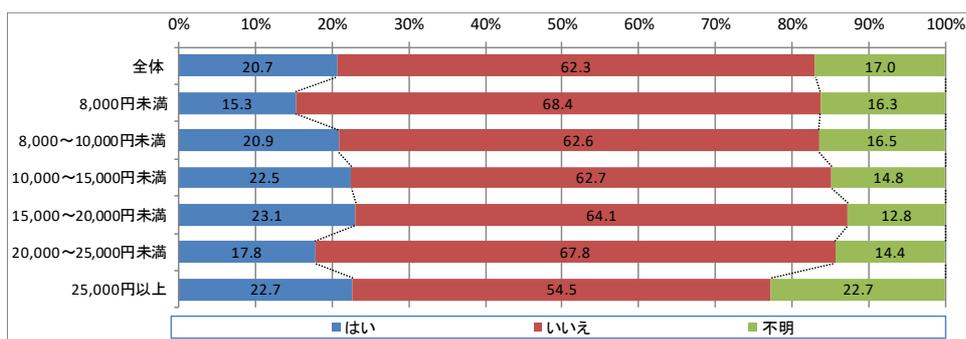


図 3.6.4 手刻み加工の仕事（新築）（H30年度）

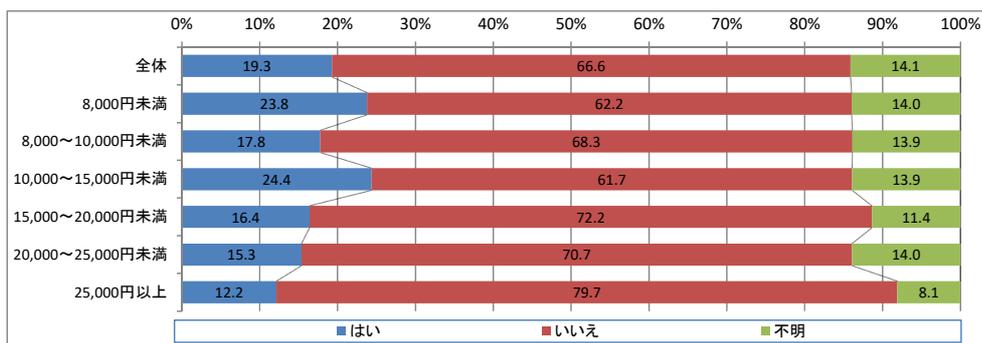


図 3.6.4# 手刻み加工の仕事（新築）（H29年度）

④大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(増改築)

- ・前回調査（H29年度）と同様に、全体の4割強が手刻みを年1棟以上行っている。
- ・「はい」は「25,000円以上（52.3%）」が最も大きい。次いで「10,000～15,000円未満（48.5%）」、「15,000～20,000円未満（48.2%）」。
- ・「いいえ」は「8,000円未満（53.1%）」が最も大きい。次いで「8,000～10,000円未満（51.8%）」、「20,000～25,000円未満（45.8%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「10,000～15,000円未満」以上の賃金で「はい」が増加している。また「20,000～25,000円未満」以外の賃金で「いいえ」が減少している。

	合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	1335	42.9	40.2	16.9	
賃金	8,000円未満	98	29.6	53.1	17.3
	8,000～10,000円未満	139	31.7	51.8	16.5
	10,000～15,000円未満	458	48.5	37.1	14.4
	15,000～20,000円未満	407	48.2	39.3	12.5
	20,000～25,000円未満	118	40.7	45.8	13.6
	25,000円以上	44	52.3	22.7	25.0

表 3.6.5 手刻み加工の仕事（増改築）（H30年度）（割合%）

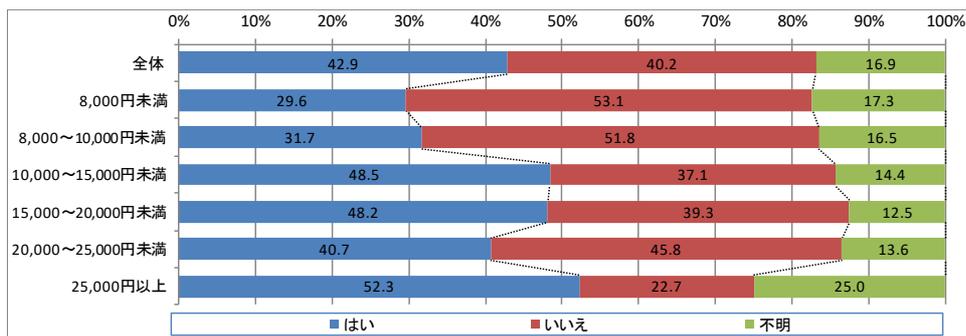


図 3.6.5 手刻み加工の仕事（増改築）（H30年度）

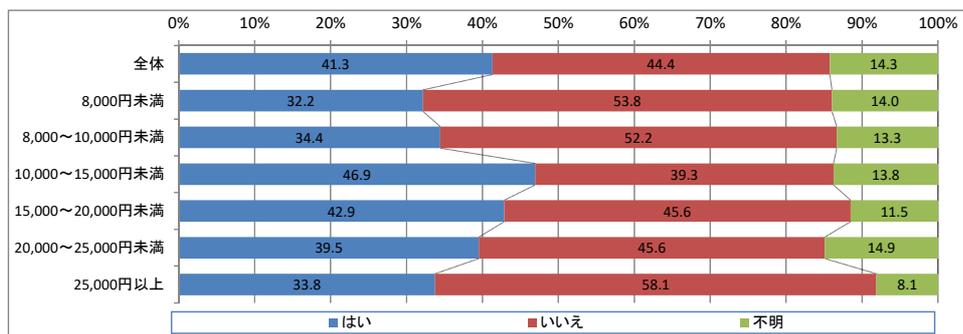


図 3.6.5# 手刻み加工の仕事（増改築）（H29年度）

⑤大工職のみ回答 和室造作ができますか。

- ・前回調査（H29年度）と同様に、全体の6割強は和室造作ができる。
- ・「はい」は「15,000～20,000円未満（78.9%）」が最も大きい。次いで「20,000～25,000円未満（75.4%）」、「25,000円以上（68.2%）」。
- ・「いいえ」は「8,000円未満（67.3%）」が最も大きい。次いで「8,000～10,000円未満（51.8%）」、「10,000～15,000円未満（21.0%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「8,000円未満」以外の賃金で「いいえ」が減少しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(14)④和室造作ができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	1335	61.6	22.3	16.1	
賃金	8,000円未満	98	17.3	67.3	15.3
	8,000～10,000円未満	139	30.9	51.8	17.3
	10,000～15,000円未満	458	65.9	21.0	13.1
	15,000～20,000円未満	407	78.9	9.6	11.5
	20,000～25,000円未満	118	75.4	10.2	14.4
	25,000円以上	44	68.2	6.8	25.0

表 3.6.6 和室造作（H30年度）（割合%）

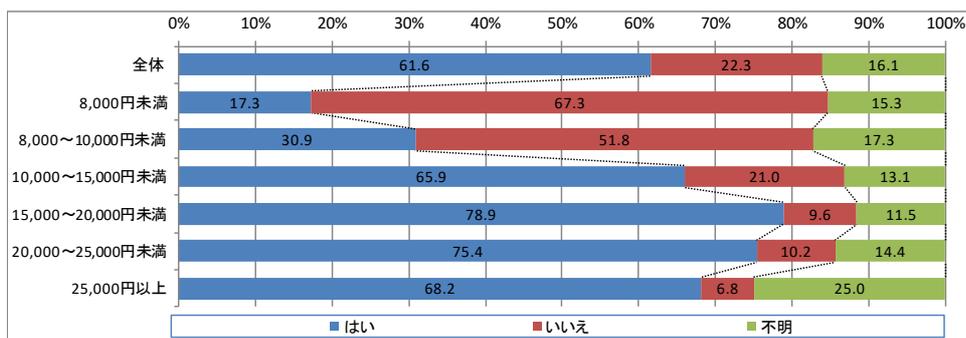


図 3.6.6 和室造作（H30年度）

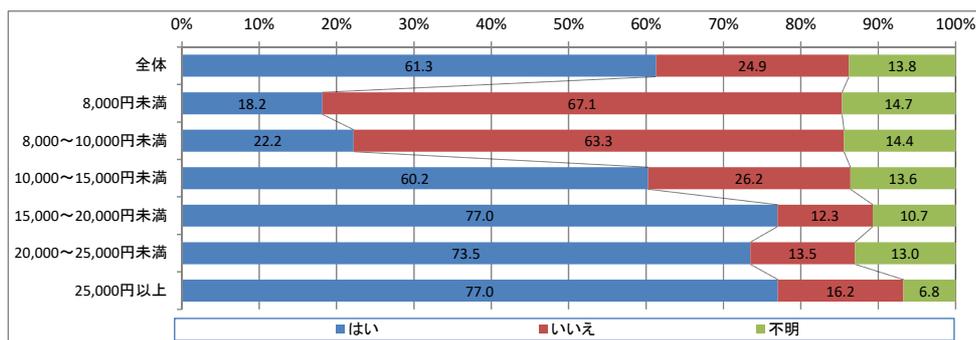


図 3.6.6# 和室造作（H29年度）

⑥大工職のみ回答 2×4 工法の住宅の施工ができますか。

- ・前回調査（H29 年度）と同様に、全体の 4 分の 1 程度が 2×4 工法の住宅の施工ができる。
- ・「はい」は「25,000 円以上（34.1%）」が最も大きい。次いで「20,000～25,000 円未満（32.2%）」、「15,000～20,000 円未満（30.2%）」。
- ・「いいえ」は「8,000 円未満（74.5%）」が最も大きい。次いで「8,000～10,000 円未満（66.2%）」、「15,000～20,000 円未満（56.5%）」。
- ・前回調査（H29 年度）と比較して「25,000 円以上」で「はい」、「いいえ」とともに減少しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工ができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	1335	26.1	56.6	17.3	
賃金	8,000円未満	98	10.2	74.5	15.3
	8,000～10,000円未満	139	15.1	66.2	18.7
	10,000～15,000円未満	458	29.3	56.1	14.6
	15,000～20,000円未満	407	30.2	56.5	13.3
	20,000～25,000円未満	118	32.2	52.5	15.3
	25,000円以上	44	34.1	40.9	25.0

表 3.6.7 2×4 工法の住宅の施工（H30 年度）（割合%）

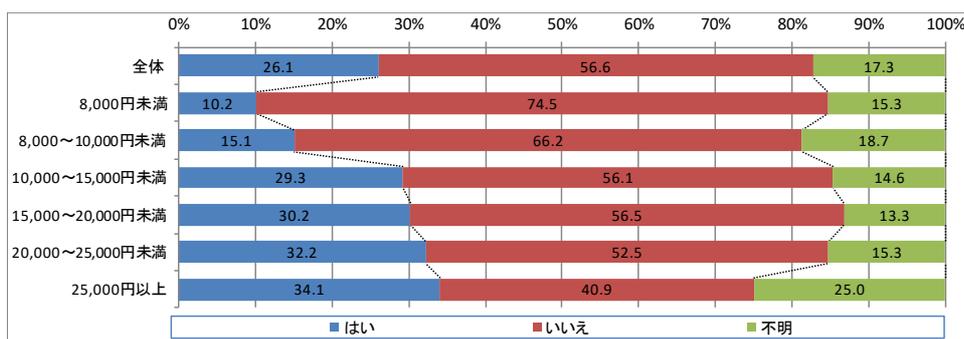


図 3.6.7 2×4 工法の住宅の施工（H30 年度）

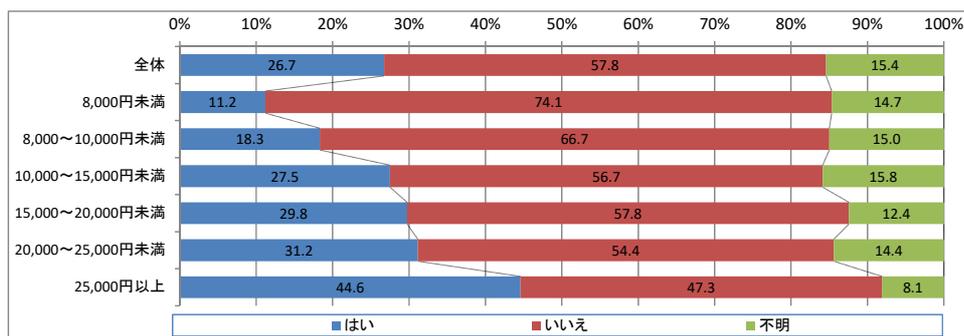


図 3.6.7# 2×4 工法の住宅の施工（H29 年度）

(3) 仕事に対する満足度や今後の意向について

①現在の仕事の内容について満足していますか。

- ・全体で「とても満足している (10.5%)」、「まあ満足している (52.5%)」であり、前回調査 (H29年度) と同様に、全体の6割強が満足していると回答している。
- ・「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値は「25,000円以上 (72.7%)」が最も大きい。次いで「8,000円未満 (68.4%)」、「8,000～10,000円未満 (66.2%)」。
- ・「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値は「15,000～20,000円未満 (28.5%)」が最も大きい。次いで「10,000～15,000円未満 (27.5%)」、「8,000～10,000円未満 (25.2%)」。
- ・前回調査 (H29年度) と比較して「10,000～15,000円未満」、「25,000円以上」以外の賃金で「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値が増加している。

	合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	1335	10.5	52.5	20.8	4.6	11.6
賃金						
8,000円未満	98	18.4	50.0	16.3	6.1	9.2
8,000～10,000円未満	139	12.9	53.2	18.0	7.2	8.6
10,000～15,000円未満	458	7.6	54.8	22.7	4.8	10.0
15,000～20,000円未満	407	10.1	53.8	23.6	4.9	7.6
20,000～25,000円未満	118	13.6	51.7	22.9	1.7	10.2
25,000円以上	44	15.9	56.8	4.5	2.3	20.5

表 3.6.8 仕事の内容についての満足度 (H30年度) (割合%)

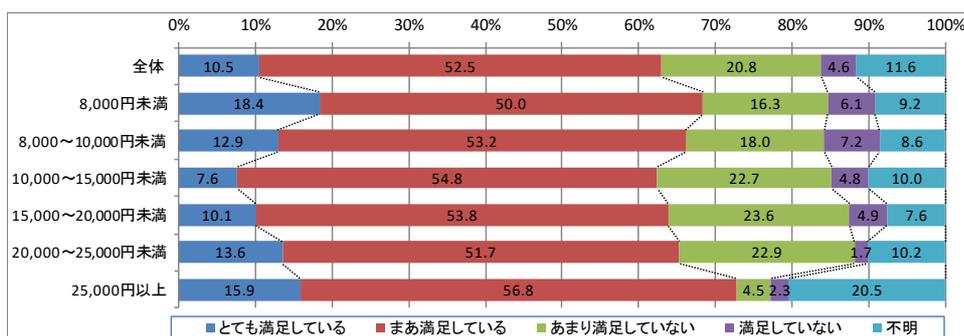


図 3.6.8 仕事の内容についての満足度 (H30年度)

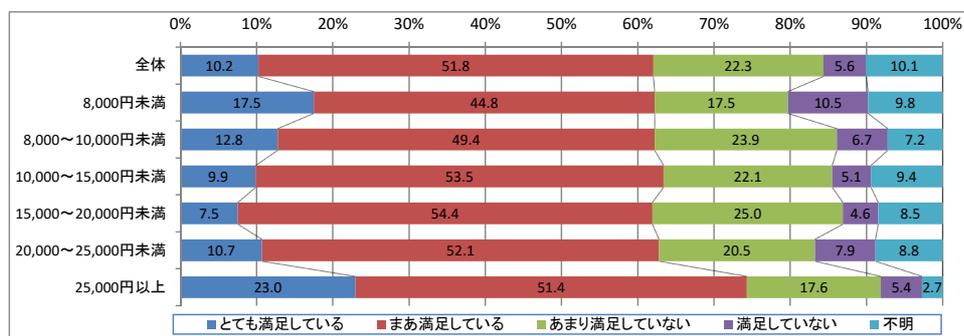


図 3.6.8# 仕事の内容についての満足度 (H29年度)

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

- ・全体で「とても満足している（3.8%）」、「まあ満足している（34.0%）」であり、前回調査（H29年度）と同様に、全体の4割弱が満足していると回答している。
- ・「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値は「25,000円以上（56.8%）」が最も大きい。次いで「10,000～15,000円未満（38.6%）」、「20,000～25,000円未満（38.2%）」。
- ・「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値は「15,000～20,000円未満（56.5%）」が最も大きい。次いで「8,000円未満（54.1%）」、「8,000～10,000円未満（51.8%）」。
- ・前回調査（H29年度）と比較して「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値が「10,000～15,000円未満」以下及び「25,000円以上」の賃金で増加しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	1335	3.8	34.0	35.6	14.9	11.7
賃金						
8,000円未満	98	9.2	27.6	29.6	24.5	9.2
8,000～10,000円未満	139	5.0	33.1	30.2	21.6	10.1
10,000～15,000円未満	458	2.4	36.2	38.6	12.7	10.0
15,000～20,000円未満	407	2.9	33.4	38.8	17.7	7.1
20,000～25,000円未満	118	5.1	33.1	42.4	9.3	10.2
25,000円以上	44	4.5	52.3	20.5	0.0	22.7

表 3.6.9 収入等についての満足度（H30年度）（割合%）

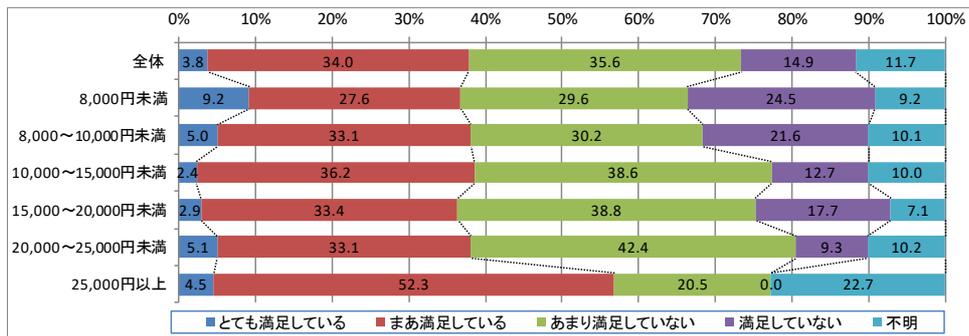


図 3.6.9 収入等についての満足度（H30年度）

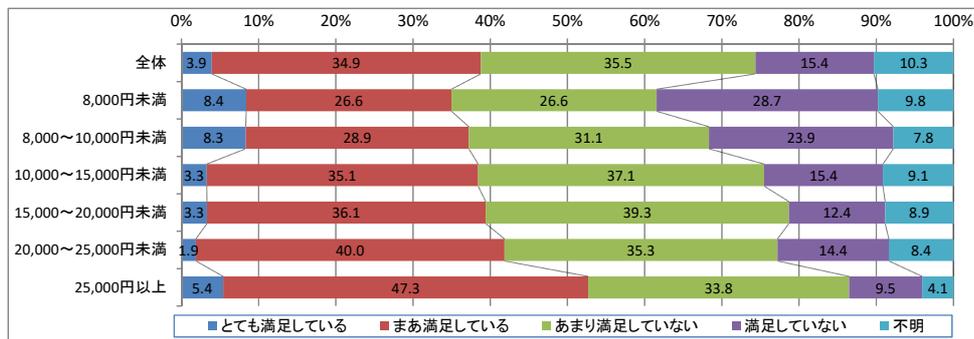


図 3.6.9# 収入等についての満足度（H29年度）

資料編

目次

■ アンケート調査 自由記述回答

- | | |
|-------------------------------------|--------|
| 1. 設問（3）職種 【その他】の自由記述回答 | 資料編-1- |
| 2. 設問（10）-3 健康保険 【その他】の自由記述回答 | 資料編-7- |
| 3. 設問（21）なぜ育てる予定はないのですか【その他】の自由記述回答 | 資料編-8- |
| 4. 設問（23）担い手育成についての意見（自由記述） | 資料編-9- |

4. 設問（23）担い手育成についての意見の概要

担い手育成について、業界や公的な補助・サポートが必要だとの意見が 40 件程見られた。具体的には、育成に係る補助金のほか、大工の入職初期の賃金、資格取得、道具等の自己負担に係る補助を求める意見があった。費用面以外では、大工という職業に対するイメージアップの必要性、職業理解を広めたいといった意見が見られた。

また、話の伝え方が難しい、仕事のおもしろさを伝えられないといった指導方法についての悩みや意見が 10 件程見られた。

担い手の育成が必要である、あるいは、育成をしたいという思いを抱えている大工技能者が多いが、育成に掛かる費用・時間の余裕がないことや、将来的に安定した仕事量を確保できるか分からないため、個人では育成に踏み出せない現状が推察される。

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

現場管理	202
設計	156
施工管理	105
学生	74
現場監督	45
営業	43
管理	26
設計事務所	24
現場監理	22
工務店	18
建築士	13
建築設計	11
会社員	9
設計、施工管理	9
設計士	9
監督	8
工務店経営	7
設計管理	6
設計監理	6
管理職	6
電気工事	6
住宅営業	5
管理者	5
販売店	5
現場代理人	5
設計者	5
監理	5
現場管理、設計	5
電気工事士	5
建設会社	4
建設業	4
左官	4
事務	4
検査員	4
リフォーム	4
行政	4
型枠大工	4
専門学生	4
建築施工管理	4
施工管理者	4
建材メーカー	4
公務員	4
工務店社員	3
断熱材メーカー	3
電気設備	3
施工監理	3
電気	3
現場施工管理	3
不動産	3
設備	3
建材販売	3
設計営業	3
工事管理	3
電工	2
代表者	2
工務	2
現場かんり	2
メーカー	2
事業主	2
配管工	2

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

営業(メーカー)	2
総合建設業	2
ポリテクセンター	2
断熱工事	2
住宅設計	2
リフォーム工事	2
商社営業	2
塗装工	2
畳工	2
施工管理、積算、事務	2
水道工事	2
官公庁	2
現場監理、元請	2
多能工	2
設計、監理	2
代表取締役	2
経営者	2
建築業	2
会社経営	2
サッシ	2
現場管理者	2
検査	2
建材卸	2
塗装業	2
ポリテク受講生	2
土木	2
設計施工管理	2
ハウスメーカー	2
建材問屋	2
瓦工	2
工務店、現場管理	2
設計・現場監督	1
都市ガス	1
全般	1
リフォーム営業兼工務	1
職業訓練生	1
建材販売営業	1
設計事務所勤務	1
建材販売店	1
鉄工	1
リフォーム会社	1
品質管理(検査)	1
建設	1
設計、現場監理	1
サッシ業	1
サービス業	1
建設会社員	1
設備業	1
建設会社営業	1
代表	1
建設会社社員	1
建材	1
育休中	1
納材店	1
建設業設計	1
防水施工	1
建設業設備管理	1
監督、設計	1
建設業代表社員	1
設計、施工監理	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

建設資材販売	1
設計51	1
建築家生徒	1
基礎工事	1
建築会社、自営	1
求職中	1
建築会社社員	1
設備配管	1
建築会社役員	1
総合建築業	1
建築監理	1
断熱メーカー	1
建築管理	1
電気工	1
一級建築士	1
塗装、左官	1
建築業、不動産	1
内装希望	1
建築作業員	1
建材店	1
一財	1
不動産仲介	1
一般	1
建材配送	1
建築請負業	1
請負業	1
一般(自営)	1
設計、管理	1
建築設計士	1
設計、工事監理	1
建築設計施工	1
設計、施工管理(自営業社)	1
建築設計事務	1
設計・施工会社	1
建築塗装他	1
コーディネーター	1
建築等	1
設計現場	1
建築板金	1
機関	1
サッシ工	1
設計従事者	1
検査、現場管理	1
設備アドバイザー	1
サッシ販売	1
設備施工業者	1
元請(現場管理)	1
給排水設備	1
元請業者	1
総合建設	1
現場	1
サイディング	1
現場カントク	1
ガスその他設備工事	1
現場カンリ	1
建具	1
営業、現場管理	1
建具メーカー営業	1
営業、施工管理	1
電気工事業	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

現場監督(住宅)	1
リフォーム営業、工事	1
現場監督、設計	1
建材営業	1
現場監督助力	1
内装	1
現場監督補助	1
内装工	1
営業、設計補助	1
板金工	1
営業、大工手元	1
評価機関	1
現場監理者	1
建材店、卸し、工事	1
現場監理設計	1
防水工	1
営業～現場管理等	1
無職	1
営業アシスタント	1
プランナー	1
営業兼施工	1
プレカットCAD	1
現場検査	1
積算	1
営業等	1
プレカット業	1
営業等軽作業	1
設計、企画	1
屋根	1
設計、現場管理	1
屋根、防水	1
設計、施工	1
卸売	1
監理職	1
家計・経営相談	1
設計、事務	1
工務店(自営)	1
設計・現場管理	1
木材店	1
設計・施工管理	1
役員	1
ポリテク	1
CADオペレーター	1
設計監理、施工管理	1
工務店、総務	1
設計建築士	1
セールスエンジニア	1
基礎その他	1
工務店見習い	1
設計事務	1
工務店施工管理	1
設計事務所(個人)	1
会社員(建築技術)	1
技術者	1
工務店社長	1
設計職	1
会社員、設計	1
設備、現場管理	1
高校生	1
設備屋	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

デベロッパー	1
設備施工管理	1
左官施工管理、セルローズ、断熱材、製造管理	1
設備設計	1
材料屋	1
設備配管工	1
施	1
専門校	1
施工	1
窓メーカー	1
施工カンリ	1
金属工	1
施工会社の施工担当	1
総務	1
施工監督	1
多能工(大工)	1
会社代表	1
経営(元大工15年)	1
会社役員、内装(LGSボード)	1
大工じゃない	1
施工管理、現場代理人	1
軽天	1
外装	1
地方公務員	1
施工管理、設計	1
展示場受付スタッフ	1
施工管理元請	1
電気、設備	1
外壁	1
建具業	1
施工管理他	1
建具工(サッシ)	1
施工店	1
電気通信工事	1
資材メーカー	1
塗装、営業	1
確認検査	1
建材メーカー営業	1
確認検査機関検査員	1
塗装工事	1
事務員	1
リフォーム営業、施工管理	1
事務等	1
内装リフォーム	1
自営	1
内装業	1
自動車整備	1
熱絶縁(吹付硬質ウレタンフォーム)	1
住宅メーカー営業	1
建材関係	1
住宅リフォーム工	1
販売	1
なし	1
評価員	1
住宅管理、施工管理	1
品質管理	1
住宅検査	1
品質検査	1
住宅検査員	1
不動産業	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

住宅資材販売	1
保険代理店	1
住宅性能評価機関	1
防水工事業	1
学生、生徒	1
民間検査機関	1
助っ人大工	1
木材、住宅建材販売	1
カントク	1
硝子工事	1
インテリアコーディネーター	1
瑕疵保険法人検査員	1
工務店、施工管理	1
工務店、設計役員	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

10-3) 加入している健康保険について...(MA)

4. その他の健康保険

社会保険	75
協会けんぽ	18
社保	11
全国健康保険協会	6
社会	5
全国健康保険協会栃木支部	1
健康保険協会	1
不動産保険組合	1
厚生年金	1
県保	1
中建	1
県民共済	1
中建国保	1
派遣	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(21) なぜ育てる予定はないのですか...(MA)

11. その他

まだ見習のため	3
自分の事で精一杯	2
見習いのため	2
魅力的収入でないため	1
自分が見習のためまだ考えられません	1
私が一番部下のため	1
まだ考えた事もない	1
職種違いなので	1
安定した仕事がない	1
考えていない	1
育てるだけの売上がない	1
自身が見習のため	1
育てる程仕事量はない	1
手間うけのため	1
一人で仕事をやりたいから	1
続かない	1
引退	1
現場管理のため	1
会社方針による	1
仕事が少ない	1
外注なので	1
私が大工ではないので	1
管理職の為	1
自分1代でいい	1
興味がない	1
まだ教えるまでの技術がないため	1
業種ちがい	1
職種が違うため	1
検査会社で育てるシステムがないため	1
職人になれない	1
立場にない	1

「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
	担い手がいない
1618	もっと若者のなり手を紹介してほしい
1402	若い人があまり大工になりたがらない
2923	若い人が居ないので、このままだと建築全体が衰退していくと思う。大工育成の為、40才ぐらいまで補助金制度を工務店でほしい。
3016	我が子供達もひまな時、アルバイトとしてしか来ない！！
1388	若手大工の不足が不安。いれば教えていただきたい。
2693	求人を出しても人が来ないので、良い方法について考える機会があったら参加してみたいです。
844	人材、意欲的な人がいないみたい
1207	担い手がいない
3019	担い手をもっとほしい。
1930	道具と材料の性能が向上しているのに技術の低下は自然なこと、担い手も少なくても自然なこと。
3064	そもそも入社する人間がいない。弱小は新人からも相手にされない世の中です。
	・担い手がいない理由 雇用体制
321	休みが少ないから今の若者がこの業界に入ってこないんだと思う。
2867	ハウスメーカー等の工期スケジュールが基準になっているのが問題。
1788	建設業のイメージアップが必要で若い人達が働きやすいけど休みもとれる環境を作る
2471	休日、安全、給与等を書面化実行しないと若い人は集まらないと思います。
1233	職人と会社員との溝を埋める。離職率を下げるため魅力的な雇用体制を作る
1465	会社員の方が安定
	・担い手がいない理由 給料が低い
1826	今の賃金では若い人にすすめられません
292	収入が低いために人気がない
2846	大工工事が若い子の魅力が少ない、お金が安い、一人前になるまでに時間がかかる割にお金が安いので来ない。
2160	本当は、ほしい。でも？手間が上がれば、今は大工は最低の賃金でとても使えない。
1988	賃金が少なすぎる為、続かない。担い手だけでなく。
1874	賃金の安定と収入面での魅力が少ないと思う。昔は、手に職を付けば、一生食っていけると言われていたが、現在は、ギリギリで生活しているのではと思います。過度な安売りが元凶となっていると思います。
2378	手刻みの仕事がしたいと若者は来るが、ある時とない時がある。大工の手間が安すぎるので期待に添えない。
3200	元請のみの利益優先が先の望を無くする。
1035	外人受け入れのための手間上がらないメーカーは安すぎる。
	・担い手がいない理由 その他
115	他の業種に比べ若者に勤めることができない業種となってしまっているのではどうにもならない。
	公的補助がほしい
3154	行政のサポートが必須！
2104	公的補助があれば良いと思います
278	助成金制度の説明会等の周知をもう少し分かりやすくしてほしい
	・公的補助の内容 社会的地位の向上
1756	専門職が少なくなりつつあるので待遇等良くして少しでも職人を増やし、日本伝統技術を継承できたら良いと思います。
1208	世間的な、公的に大工の良さをアピールするセミナーがあれば、担い手は増えるのでは？道具代がかかるわりに稼げないのも、問題。現代人はもっと頭を使って儲ける手段を考えている。
2435	国全体が大工職の立場を昔のように上げてほしい
70	職人の社会的地位、イメージを変えていくための方法を考えていく事が大事だと思う。職人さんの大事さが、上の人に伝わるといい。
	・公的補助の内容 イメージアップ
1903	イメージで若い人は避けていると思うので、職業体験を通して、賃金などの面を含めて、実際にどのような仕事で、いくらもらえるのか？ということを理解してもらうことが必要かと思えます。新築だけでなく、リフォームや各職人さんの職種や内容
2056	会社員として修業している子も組合等の行事だけでも参加してもらえたら、考え方や見えるものも変わってくるのでは是非参加してほしいです。
1107	建設業界のイメージを良くしていくことが大切だと思います。(賃金を含めて)仕事が好きで続けている人が多くいるのでその点も強調すべきかと思えます。
1466	ローコスト住宅などによる予算、工期縮小は新しい担い手を雇う、育てるのに困難になってしまうため職人が重宝されるような環境になればいいと思います。腕のある職人さんがもったいないと思います。
2997	住宅を建てるという事は、夢がある事でカッコイイ、危険すぎる事はない、という様に。

「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
・公的補助の内容 収入面	
939	育成に公的補助に反対。それより職人賃金アップのために公的資金を使うべき。建築大工としては、大好きですが、収入面で若者に勧められない。
1117	国がもっと取り組むべき。週休2日と給与、国家資格を取っても給与が安すぎる！他の士業と比べられな
2420	単価を下げていっている資本主義の中で3Kと言われる代表職にお金以外で人が集まり今後育っていきけるとは思えない。国が対策を。
1195	賃金、単価の引き上げ建設産業の民主化、働くルールの確立をお願いします。
1777	賃金を日給月給から完全月給制にして全体的な労務費を今の現在から1.3～1.5倍する
2048	見習いに対しての人工等報酬が少なすぎる。雇用する側、発注する側の意識を変えないとだめだと思う。正当な報酬の見直し。
・公的補助の内容 仕事に必要な道具	
320	エアーツール・充電工具・電動工具、1台1台安価ではないので、道具を買う補助が必要なのかと思います。
3151	道具など揃えるのには、かなりの金額がかかり負担は大きいものだと思うので、補助金は必要だと思う。
・公的補助の内容 担い手の育成	
3179	指導者のスキルについて。県産材を利用している住宅を建築している等、補助金を出す条件が厳しい。
1114	育成にも費用がかかるし今の大工の手間ではやりたがる人はいないと思う。現状！50代以下の大工はなかなかない。
1849	育成にあたり補助金がほしい。(大工)
2269	育成の補助金制度がありますが、後でお金がかかるので最終的に赤字になるのをなんとかしてほしいです。消費税、社会保険等。
237	育成用補助金制度が必要かと思う。自己資金だとやっていけない
654	担い手育成費用の額を多くすれば育つと思う！
546	木造大工育成のための補助金が必要
3083	上記について、経費が1人あたり、1人の手取り給与額の1.5倍くらい(保険も含め)がかかるため、給与の半分くらい公的補助(3年ほど)が助かる。
1408	若手の育成には、人力、金銭の不安があり、育て子までの期間に補助があれば、受け入れる事ができますが、今の段階では、むずかしく思います。
220	医者、弁護士になりたがるのは高給だと思ってるから。大工を増やしたいなら給与上げるか、育成に補助入れるかどちらかですよね。やらなければ減るだけなんで。がんばってください。
2647	大工、左官、瓦屋の担い手を国が育成のための補助を行うべき。これをやらないと、職人の担い手がいなくなります。
1460	手間うけのため会社が半分負担すれば育成につながる
2205	続ける程、有利になる制度としたい
・公的補助の内容 その他	
2837	厚生年金を1人親方でもつけられる制度を設けて欲しい。
2121	資格取得費用の公的補助をもっと増加すべき
担い手の育成が困難	
・担い手の育成が困難な理由 金銭的余裕がない	
854	育成は自分の仕事を並行して行う必要があるし、賃金的に余裕がないとおっしゃっていました。
799	親方への、元請より経費の支払いを義務化すれば、負担が減り、弟子も雇えるのではないかと思います。
1921	手間が安く工期がないため教えてる時間がない
・担い手の育成が困難な理由 時間的余裕がない	
1013	仕事量も安定せず就業日数もバラバラ、休日も定期的に取れないため。育成にまで余裕がない。
2936	プレカット時代において木造軸組墨付、加工の育成はなかなか困難。改修・増築では現場に慣れたベテランが(即戦力)が欠かせず、現場の進捗を優先すると育成は難しい。
265	建築工事全体の時間的余裕がほしい。
3113	時代がどうしてもスピード重視なので、ゆっくり教えられない。今は手きざみもないので大工職としてのおもしろさを伝えられない、ような？建前の時はいつもドキドキしてたのでおもしろかったんですけど。うまくいったときは本当にうれしかったです。
1513	現状として若い人を育てるのは大変むずかしい。自分自身が成長しないと大変です。仕事に余裕がなくなっている。工期とか金銭面できびしい為
・担い手の育成が困難な理由 仕事が不安定	
2409	仕事の波があるので安定しない
2110	仕事が一人分で余れば考えたい
3123	継続的に仕事がある保障がないため、担い手を雇うことが難しい。
1034	将来性が感じられないので担い手を育成してもその担い手の将来の生活が心配になるので育成は、考えられない。

「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
1940	担い手育成のためには、安定した受注が必要となるので現状は厳しいと思う。ハウスメーカーがほとんどの現在は、担い手は育たないし、育てられない。
・担い手の育成が困難な理由 仕事内容	
2996	大工の老齢化がすすみ、一人前になるまでの年月がたりない。プレカットが増え、墨付けをすることも減っているから、なおさらです。
1261	作業員は育成できる。職人はできない。
1712	工務店の社長やっています。手刻みで新築、増改築を請負でやっています。今、大工になりたいと思う若者に墨付け、手刻みを教えても、今後、生活ができるかどうか？
1260	現在は建築の建て方が多く変わってしまって木造住宅が少なくなりました。
1262	今の建築は建築でないから
1337	このままの状況で現場が加工無し造作材の加工無しの仕事が続くなら大工さんの入職は無理です。当方はやっとの事で静かに少ない仕事で自社加工で仕事を続けてますよ(笑)
1484	本来の木の特性を活かした家づくりができていないのが大問題だと思う。手で刻む家を作るのが当たり前な世にしなければ大工は育ちません。担い手の前に、木の仕事をいかに成り立たせるか。それから。
1706	木材の良さ、健康に必要なピーアールが少ない。
2695	木造軸組の建物の構造計算も出来ない、又むくの木材の必要、又良い所を全く大切にしていない。
1278	もっと技術を活かす建築業界にしないと担い手はほとんど減ると思います。
473	住宅メーカーの仕事だけではなく、本当の大工をした人材を育てたい
211	大工という職業が、とても安く見られているので、他の会社の若い職人では、できない仕事を教えていきたい。
2023	現在、木造大工の減少が進んでいて、現場はプレカット、ボード張り、建材の多用で無垢の木を使えない若手が増加しています。担い手育成はとても大切なことだと思います。
2373	新築や手刻み加工がなかなか自社でとなると限られていますが、大工という職業をつないでいくという気持ちは常にあり、今後も可能な限りやっていきたいと思っています。
・担い手の育成が困難な理由 育成手法が難しい	
91	立場が違いますので、回答は控えさせて頂きました。但し、担い手の育成は業界としての大きな課題と感じています。
2088	育成はいいことだと思う
3161	もっと頭に良い人が大工になると、まだまだ伸びると思う。
44	基礎学力の無い人にいくら教えても伸びない為、「考える力」のある人材の育成を望みます。
1683	勉強する気のない人間に高校・大学へ行かせるから担い手候補がカン違いする。
2000	ゆとり教育を受けた若い人はよくわからない
276	現場の世代交代が急務と考える
2845	一昔前の従弟制度と違い、近年は教える側が遠慮せねばならず苦戦を要する。時代の流れだろうか？
1768	古風の見て覚えるは現代の若者に向かないので自分から興味を持てる教え方が必要だと思われる。
2532	楽しくする
2937	これからの担い手はよっぽど好きではなくては出来ないと思う。一人前の大工になるためには、かなり時間がかかるものだから、辛抱できる人でなければならないからだ。
239	人材育成をしても、一人前になる前に育成されている本人が一人前になったと勘違いをし、辞めてしまう。だが会社の経営上、人材は補充していかなければいけないので今後は経験者の中途採用を行い、資格等の取得等の育成はつとめたい。
1426	育ててもすぐ辞める傾向にあるから、育てないのでは
3108	担い手育成がうまくいっても他社へ転職したり、辞めたりとムダになることが多い。非常に難しい問題だと思います。
2438	諦めずに仕事を続けてほしい
233	今の若者は辛抱しない
2522	人間による
2210	世の中が甘い！！
793	昔、育てたことはあるが厳しくしたため根気がなかった。早く育てたかった。反省している。
2673	時代が変化し厳しくすると逃げる。辞める。向上心を育てる方法が知りたい。セミナー等が少なく、今後育成セミナー等を増やしてほしい。
2880	若い方の定職性をどうするか。会社の将来性と従業員の協調性。
2247	親方さんの教育の仕方次第で、担い手が良くなったり悪くなったりかと思えます。言い方、伝え方、本当に難しいです。
1598	職人は教えるのが苦手なので向いている人にまかせた方がいい。企業で育成者は選定すべき(人材をつぶす)
2832	弟子に入る会社、親方によって育つペースが大きく異なり、又、いじめや収入によって辞めてしまう事も多く、直すべき。
2465	3つほめて1つ注意する事を行っています。注意や叱るだけでは、覚えなし、伸びないです。

「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
	・担い手の育成が困難な理由 その他
1269	元請の仕事が多いので客とのつながりがあり担い手が難しい
2991	現役の者が楽しくないのに、育成どころではないですね。
2196	見習いから見ても担い手を育てるのは、大変だと思う。作業によっては、親方一人の方が早い時もある。また少子化や職業の多様化により、大工になる人も少ない。育成や労働の見直しも必要な時かもしれない。
1480	担い手が育てることができる環境が必要！
2611	担い手育成に賃金ではない問題もあるので難しい
	教育機関の必要性
1354	将来大工養成所をやりたい
1506	入職者の確保がまず先決だが、入職後は、大工さんの本来の技能習得はもちろんだが省エネ施工など最新の技能研修も必要
814	大工育成塾の復活、大工のイメージを変える、手刻み加工を行う工務店への国のバックアップ
2317	現場施工者、職人に向けた講習が必要
2156	職業訓練校(職人育成学校)の数が県内に少ない。大学ばかりではだめ！
1767	訓練校でなく手作業(墨付)のできる高等学校をつくる。
1470	訓練校の全額補助、職人養成の普及、給料等賃金の値上げ等
796	組合などの力を借りて、若手を集めてもらい、1人親方等に気づけて育てるといったやり方などを考えてほしい
2774	これからは多能工の時代になると考えられますので、建設業界で育成していく機関を設けて育成していった方が良いのでは？
3182	担い手育成の専門(各工種の)学校へのアピール、設置が必要。
2594	高校、中学、大学への紹介
	その他
83	海外からの若者例(ベトナム人)とか良いと思う。
1911	外国人労働者をもっと働けるようにするにはどうしたらよいか？
1561	自分は設計者ですが、大工さんの直の話を聞ける機会があるとありがたいです。(どういう雇用形態が良いのかとか、現場での設計について、やりやすい現場とはどういうものかなど...)
344	青森県の場合、もう遅いと思います。
79	会社勤務の人には向かないアンケート。職人にやってもらって下さい。
104	見習いの身なので分からぬ的が多々あり申し訳ないです
1594	講習会を開いて頂きありがとうございました。
575	特になし
1049	特になし
1179	特になし
1462	特になし
2761	特になし
3139	特になし
1929	ないね
39	無し
53	なし
75	ナシ
240	なし
736	なし
2151	なし
2290	なし

平成30年度 国土交通省補助事業
住宅市場整備推進等事業
大工・職人の実態に関するアンケート調査 報告書

平成31年3月
一般社団法人 木を活かす建築推進協議会
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 5F
TEL:03-3560-2882 FAX:03-3560-2878 URL: <http://www.kiwoikasu.or.jp>
